

HARRIER

HDDナビゲーションシステム

取扱書

よくお読みになってご使用ください。

取扱書は車の中に保管しましょう。



このたびはHDDナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

HDDナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

- ・ 本書は、HDDナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- ・ トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- ・ 本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
- ・ 本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期等によって異なることがあります。

CONTENTS

目次

	お使いになる前の注意事項	2
	表示について	3
	<hr/>	
	HDDナビゲーションシステムの操作	4
	<hr/>	
	GPSボイスナビゲーション	34
	<hr/>	
	オーディオ&ビジュアル	168
	<hr/>	
	エアコン	271
	<hr/>	
	音声操作システム	282
	<hr/>	
	情報	332
	<hr/>	
	バックガイドモニター	353
	<hr/>	
	フロント&サイドモニター	385
	<hr/>	
	ETCシステム	405
	<hr/>	
	ハンズフリー	410
	<hr/>	
	G-BOOKオンラインサービス	470
	<hr/>	
	さくいん	626

お使いになる前の注意事項

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データをハードディスクに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、ハードディスクに保存されたデータ等が変化・消失する場合があります。

お客様がハードディスクに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機で購入された曲の取り扱いについて

お車を乗り換える場合、この車両で購入された曲（G-SOUNDおよびAUTOLIVE）は、新しい車両で利用することはできません。あらかじめご了承ください。

GPSボイスナビゲーションについて

GPSボイスナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

表示について

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」や「車両の故障や破損につながるおそれがあること」と、その回避方法を下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、必ず読んで遵守してください。



警告

記載事項をお守りいただかないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。



注意

記載事項をお守りいただかないと、傷害、車両の故障や破損につながるおそれがあること。



してはならない行為を示すイラストには、マークが記載されています。

スイッチ表示



HDDナビゲーションシステム本体（画面外）のスイッチ名称を表示しています。

（**現在地**・**オーディオ**など）



画面のスイッチ（タッチスイッチ）の名称を表示しています。

（**広域**・**詳細**など）

その他の表示

知識

「知っておくと便利なこと」、「知っておいていただきたいこと」を記載しています。

000

参照するページを表示しています。



グレード、オプション等により装備が異なる項目を表示しています。

HDDナビゲーションシステムの操作

HDDナビゲーションシステムでできること	6
----------------------	---

作動条件	7
------	---

各部の名称とおもな働き	8
-------------	---

ディスプレイ・オーディオ	8
ステアリングスイッチ	9
ディスプレイについて	10
操作について	10

説明機能	12
------	----

説明機能について	12
操作ガイドを使う	12
ヒント機能を使う	13

ソフトウェアキーボード	14
-------------	----

入力画面の各スイッチの使い方	14
定型文の編集をする	18
入力履歴を削除する	19
予測変換をする	20
単語を登録する	21

リスト画面について	23
-----------	----

リスト画面の切り替え方	23
文字の表示範囲の変更	25

HDDナビゲーションシステムの設定	26
操作画面継続表示の設定をする	26
タッチスイッチの色を切り替える	26
応答音のON・OFF	27
画面を調整・設定する	28
画質調整画面を表示する	28
画質を調整する	28
ライト点灯時に昼画表示にする	29
画面を消す	29
画面モードを切り替える	30
個人情報を消去する	31
アンテナの位置と取り扱い	32
ナビゲーション用アンテナ (GPSアンテナ)	32
ラジオ用アンテナ	32

HDDナビゲーションシステムでできること

モード	主な機能	記載場所
GPSボイスナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地の表示 ・ 目的地への案内 ・ メモリ地点の登録 ・ VICS情報の地図への表示 	34～166
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両情報の表示 ・ FM多重放送の受信 ・ メンテナンス機能の設定 ・ カレンダー機能 ・ 施設の情報の検索 	332～351
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンズフリー ・ G-BOOKオンラインサービス 	410～625
オーディオ&ビジュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・ AM・FM放送の受信 ・ CDプレーヤーの操作★ ・ MDプレーヤーの操作 ・ DVDチェンジャーの操作★ ・ サウンドライブラリの操作 ・ ステアリングオーディオスイッチの操作 	168～270
周辺モニター	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックガイドモニター ・ フロント&サイドモニター★ 	353～403
エアコン	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの操作 	271～280

※本車両では、アナログテレビをご覧になることができません。あらかじめご了承ください。
 (アナログテレビモードには切り替わりませんが、放送を受信できません)
 地上デジタルテレビ放送をご覧になるには販売店装着オプションの地上デジタルテレビチューナーが必要です。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。

作動条件

HDDナビゲーションシステムの各機能は、次の条件により操作できるときと、できないときがあります。

○：操作できます。

×：操作できません。

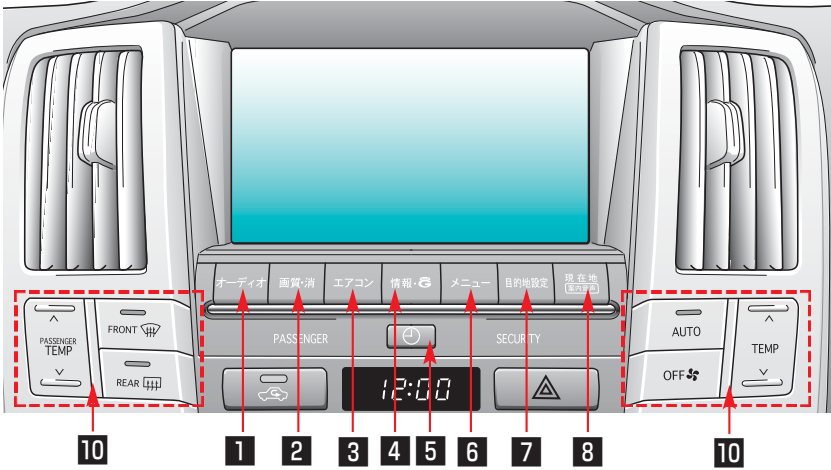
機能	エンジン スイッチ	“LOCK”	“ACC”	“ON” (停車中)	“ON” (走行中)
GPSボイス ナビゲーション／情報		×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
オーディオ		×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD		×	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。
エアコン		×	×	○	○
バックガイドモニター		×	×	○ シフトレバーがRのときのみ。	○ シフトレバーがRのときのみ。
フロント&サイド モニター★		×	×	○ シフトレバーがR以外のときのみ。	○ 前進で車速が6～10km/h以下のときのみ。

知識

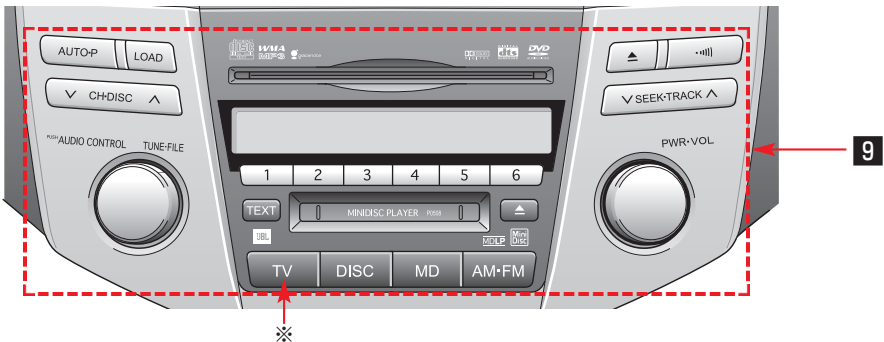
−20℃以下の低温時には、通信ができなくなったり、ハードディスクへの書き込みができなくなります。

各部の名称とおもな働き

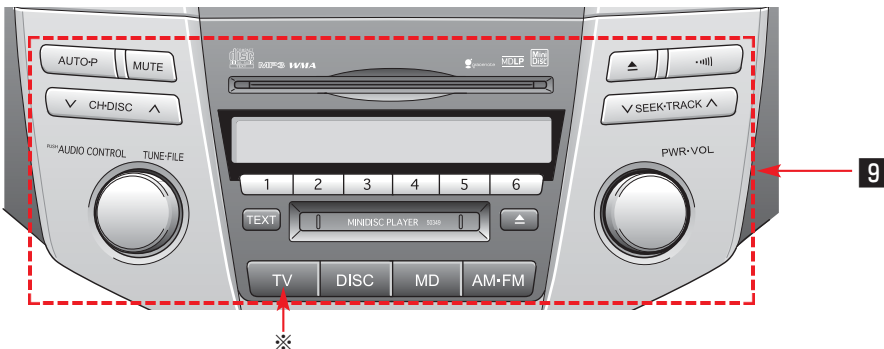
ディスプレイ・オーディオ



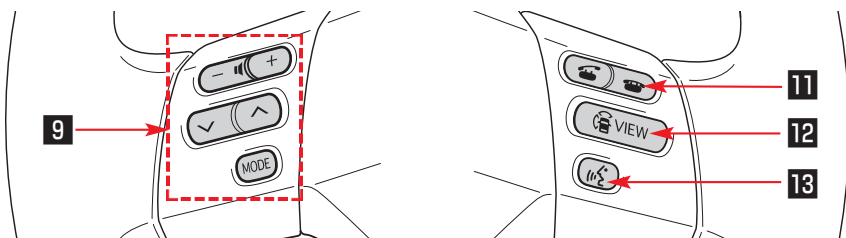
DVDチェンジャー、MD一体AM/FMラジオ



CD、MD一体AM/FMラジオ



ステアリングスイッチ



1 オーディオ操作スイッチ	オーディオ操作画面を表示するときに押します。(➡181)
2 画質・消スイッチ	画質の調整をするときや画面を消すときなどに押します。(➡28)
3 エアコン操作スイッチ	エアコン操作画面を表示するときに押します。(➡272)
4 情報・Gスイッチ	情報画面を表示するときに押します。(➡334)
5 時計スイッチ	時計設定画面を表示するときに押します。(➡351)
6 メニュースイッチ	ナビゲーションの設定をするときに押します。(➡48)
7 目的地設定スイッチ	目的地を設定するときに押します。(➡91)
8 現在地スイッチ	ナビゲーション画面で現在地を表示するときなどに押します。(➡50)
9 オーディオスイッチ	オーディオ操作画面以外の画面を表示させているときも、オーディオを操作することができます。(➡168)
10 エアコンスイッチ	エアコン操作画面以外の画面を表示させているときも、エアコンを操作することができます。(➡271)
11 電話スイッチ	ハンズフリーを使用して電話をかける、受けるなどの操作をするときに操作します。(➡424)
12 フロント&サイドモニタースイッチ	フロントモニター、サイドモニターをON・OFFするときに押します。(➡386)
13 トークスイッチ	音声操作システムで使用します。音声認識コマンドを発声するときに押します。(➡285)

※販売店装着オプションの地上デジタルテレビチューナー、もしくはVTRアダプターを取りつけたときに使用することができます。
本車両では、アナログテレビをご覧になることができません。あらかじめご了承ください。
(アナログテレビモードには切り替わりませんが、放送を受信できません。)

ディスプレイについて

⚠ 注意

画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。

手で強く押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

知識

- ・液晶ディスプレイは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- ・太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- ・偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

操作について

HDDナビゲーションシステムは、おもに画面のスイッチ（タッチスイッチ）に直接タッチして、操作します。

- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは、灰色になり、タッチしても操作できません。

スイッチの機能が働いているときは、以下のようになります。

- ・タッチスイッチの色が明るくなる
- ・タッチスイッチに作動表示灯があるものは、作動表示灯が点灯する

1つ前の画面に戻すときは、**戻る** にタッチします。

タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

⚠ 警告

・安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

・走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートが表示されることがあります。

⚠ 注意

バッテリー上がりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。



MEMO

説明機能について

説明機能は、操作方法やスイッチの機能を説明する機能で、次の2つの機能があります。

操作ガイド…画像と音声で各アプリケーションの説明をします。

ヒント機能…表示中のスイッチの機能を説明します。

- ・ページは自動的に切り替わりますが、**◀**または**▶**にタッチすると、ページを手動で切り替えることができます。



知識

- ・操作ガイドで表示される画面は、装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。
- ・画像はパーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

操作ガイドを使う

画像と音声を使って、各アプリケーションの操作説明をすることができます。

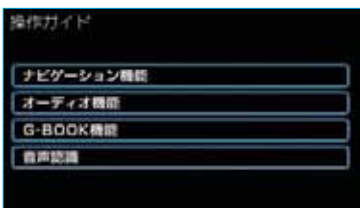
- ・操作ガイドは走行中でも使用できますが、その場合は音声のみで操作説明をします。

- 1 情報画面で、**操作ガイド** にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 2 操作説明が見たいアプリケーションのタイトルにタッチします。



ヒント機能を使う

「？」が表示されている場合、その画面に表示されているスイッチの機能がわからないときに、スイッチの説明を表示させることができます。

- 「？」にタッチすると、ヒントモードに切り替わります。



- 使い方を知りたいタッチスイッチにタッチします。

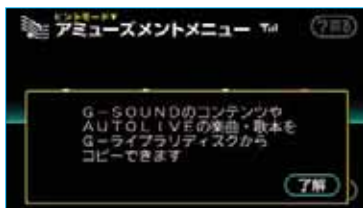


- 使い方の確認ができれば、次の操作をするとヒント画面が解除されます。

- ヒント内容が3行以下の場合は、画面にタッチする、または約6秒以上操作しないとヒント画面が解除されます。



- ヒント内容が4行の場合は、「了解」にタッチすると、ヒント画面が解除されます。



- 「?戻る」にタッチすると、ヒントモードが解除されます。



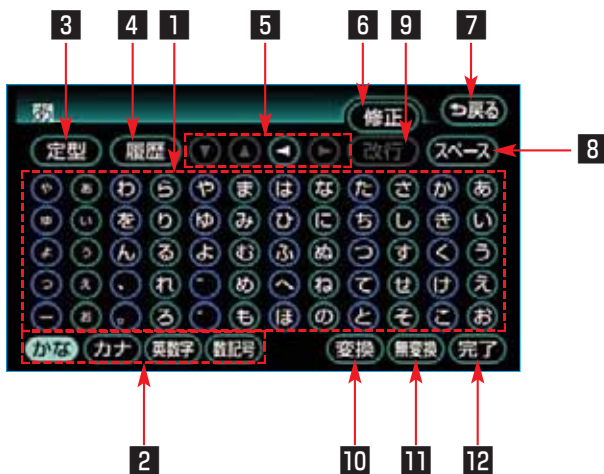
入力画面の各スイッチの使い方

本システムでは、文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボードが表示されます。

各スイッチの働きは、次のようになっています。

- ・特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
- ・ここではG-BOOKオンラインサービスのソフトウェアキーボードで説明しています。ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。
- ・ナビで文字入力するときは、専用のソフトウェアキーボードを使用します。「メモリ地点の名称入力」(➡127)、または「名称で地図を呼び出す」(➡78)をご覧ください。

■かな・漢字入力時



1 文字入力スイッチ	スイッチにタッチして、各種文字を入力します。
2 入力モード切り替え スイッチ	<p>スイッチにタッチして、文字の入力モードを切り替えます。</p> <p>かな ……ひらがな、漢字を入力します。</p> <p>カナ ……カタカナを入力します。</p> <p>英数字 …アルファベット、数字を入力します。</p> <p>数記号 …数字、記号を入力します。</p>
3 定型スイッチ	<p>定型入力画面を表示します。</p> <p>定型文を入力するときに使用します。</p>
4 履歴スイッチ	<p>入力履歴画面を表示します。</p> <p>前回までに入力した文字列の履歴から入力するときに使用します。</p>
5 カーソル移動スイッチ	<p>スイッチにタッチすると、カーソルが移動できます。</p> <p>タッチし続けると、連続してカーソルが移動できます。</p> <p>確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。</p> <p>なお、未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動できます。</p>
6 修正スイッチ	<p>スイッチにタッチすると、1文字消去できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字が消去できます。 ・カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字が消去できます。 <p>タッチし続けると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去できます。</p>
7 戻るスイッチ	ソフトウェアキーボードで入力した文字を入力しないで、キーボードを終了するときにタッチします。
8 スペーススイッチ	スイッチにタッチすると、カーソル位置に空白が入力できます。
9 改行スイッチ	タッチすると、改行ができます。
10 変換スイッチ	漢字で入力するとき、かな文字入力後にタッチします。
11 無変換スイッチ	ひらがなで入力するとき、かな文字入力後にタッチします。
12 完了スイッチ	<p>すべての文字を入力後にタッチします。</p> <p>ソフトウェアキーボードが表示される前の画面にもどり、文字が入力されます。</p>

■カタカナ入力時



13

■数字・記号入力時



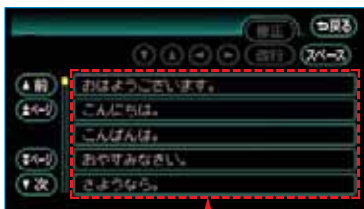
15

■英字・数字入力時



14

■定型文入力時／履歴入力時



16

13 全角／半角スイッチ	タッチするたびに、半角入力と全角入力が切り替わります。
14 大文字／小文字スイッチ	タッチするたびに、大文字入力と小文字入力が切り替わります。
15 ページ切り替えスイッチ	タッチすると、ページの切り替えができます。
16 定型文入力スイッチ／履歴入力スイッチ	スイッチにタッチして、各文字列を入力します。

漢字に変換する

- 1 かな入力状態で、文字を入力します。
- 2 **変換** にタッチします。
漢字変換候補リストが表示されます。



- 3 すべての文字が変換されたままの状態であれば、**全確定** にタッチします。



- ・変換範囲のみ変換するときは、漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。
- ・変換範囲（文節）が間違っている場合は、**◀**・**▶** にタッチして変換範囲を修正すると、漢字変換候補リストが自動的に更新されます。
- ・漢字を1文字ずつ変換したいときは、単漢字変換をご利用ください。
(☞17)

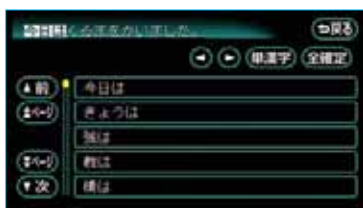
- 4 変換範囲のみ変換する場合は、変換範囲の文節または単語が確定すると、次の文節または単語に変換範囲が移動します。
すべての文字の変換が終わるまで、3の操作を繰り返します。



- 入力したい漢字に変換されないときは

漢字変換候補リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を1つずつ変換してください。

- 1 漢字変換候補リストで **単漢字** にタッチします。
単漢字変換候補が表示されます。



2 すべての文字が変換されたままの状態であれば、**全確定** にタッチします。

入力したい文字でないときは、単漢字変換候補から、希望の候補を選択しタッチします。



- ・単漢字変換候補には、音読み、訓読みに対応した単漢字を表示します。
- ・単漢字変換候補が複数ページになる場合は、**▲前**・**▼次** にタッチしてページを切り替えます。
- ・変換範囲が間違っている場合は、**◀**・**▶** にタッチして変換範囲を修正すると、単漢字変換候補リストが自動的に更新されます。

定型文の編集をする

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。

ただし、新規に追加することはできません。

1 情報画面で、**メインメニュー** にタッチします。

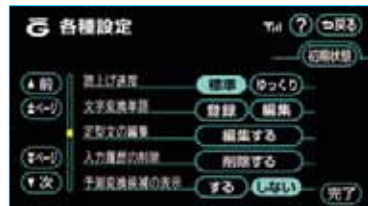


※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

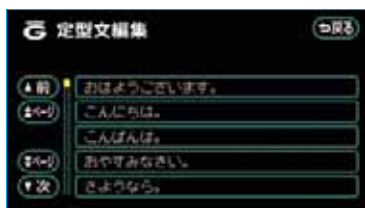
2 メインメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。



3 各種設定画面で、定型文の編集の項目の**編集する** にタッチします。



- 4 定型文編集画面で、編集したい定型文にタッチします。



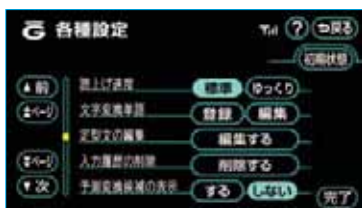
- 5 定型文を編集します。
- ・定型文はソフトウェアキーボードで入力します。
 - ・全角で最大17文字まで入力することができます。



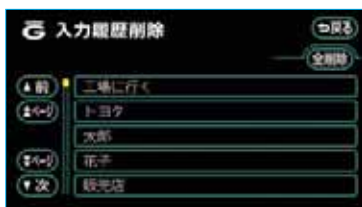
入力履歴を削除する

不要な入力履歴を削除することができます。

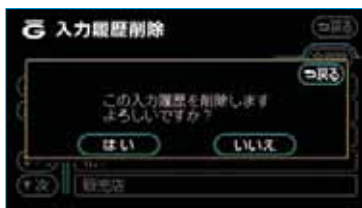
- 1 各種設定画面で、入力履歴の削除の項目の**削除する**にタッチします。



- 2 入力履歴削除画面で、削除したい履歴にタッチします。
- ・すべての履歴を削除したいときは、**全削除**にタッチします。



- 3 **はい**にタッチします。



予測変換をする

各種設定の予測変換候補の表示で「する」を選択しているとき、予測変換をすることができます。

文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

- 1 かな入力状態で、文字を1文字以上入力します。



予測変換候補

- 2 表示された予測変換候補でよければ、予測変換候補にタッチすると入力されます。
希望の候補でないときは、**▼**にタッチすると次の候補が表示されます。

知識

予測変換候補は最大5候補まで表示されます。

予測変換候補の表示設定をする

ソフトウェアキーボードを使用するとき、予測変換候補を表示するかしないかを選択できます。

- 1 各種設定画面で、予測変換候補の表示の**する**または**しない**にタッチします。

する : 予測変換候補を表示する
しない : 予測変換候補を表示しない



- 2 設定が終わったら、**完了**にタッチします。

単語を登録する

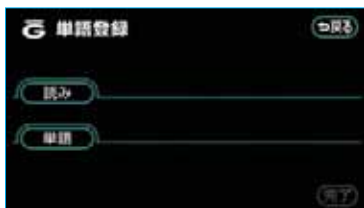
読みと単語を指定して、車載機の辞書に変換候補対象となる単語を登録することができます。

- ・単語は最大100個まで登録することができます。

- 1 各種設定画面で、文字変換単語の**登録**にタッチします。

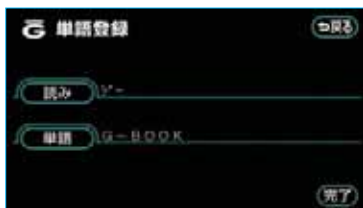


- 2 単語登録画面で、**読み** および **単語** にタッチしてそれぞれ入力します。



- ・読みは、半角カタカナで最大16文字まで入力することができます。
- ・単語は、全角で最大16文字（半角32文字）まで入力することができます。
- ・読み、単語は、ソフトウェアキーボードで入力します。

- 3 入力が終わったら、**完了** にタッチします。



単語の編集をする

登録した単語は、次の手順で編集をすることができます。

- 1 各種設定画面で、文字変換単語の**編集**にタッチします。



- 2 単語編集画面で、編集したい単語の右側にある**編集**にタッチします。



- 3 次に表示された画面で、**読み** または **単語** にタッチして、単語の編集をします。



- 4 単語の編集が終わったら、**完了** にタッチします。



引き続き単語の編集をするときは、**戻る** にタッチして2~4の操作を繰り返します。

単語を削除する

登録した単語の内、不要となった単語は辞書から削除することができます。

- 1 単語編集画面で、削除したい単語の右側にある **編集** にタッチします。



・すべての単語を削除したいときは、**全削除** にタッチします。

- 2 単語を個別に削除する場合は、次に表示された画面で **削除** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



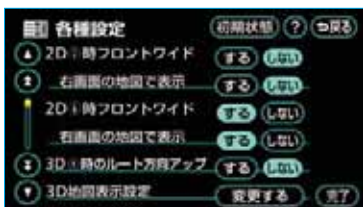
リスト画面について

リスト画面の切り替え方

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補が表示されているリストにないときは、リストを切り替え希望の候補を選択します。

▲・▼の切り替え表示

▲または▼にタッチします。
1項目ずつリストが動きます。



前・次の切り替え表示

▲前または▼次にタッチします。
1項目ずつリストが動きます。



50音順の切り替え表示

▲50音 または ▼50音 にタッチします。
「あ→い」というように次の音に飛ばして、リストが動きます。

行の切り替え表示

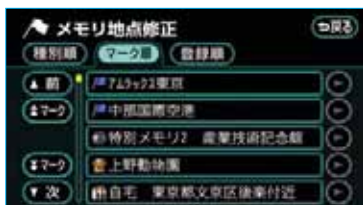
あ行 ・ **か行** ・ **さ行** ・ **た行** ・
な行 ・ **は行** ・ **ま行** ・ **や行** ・
ら行 ・ **わ行** のいずれかにタッチし
ます。

「あ行→か行」というように行ごと
にリストが動きます。

・リストがない行のタッチスイッチ
は灰色になり、タッチしても操作
できません。

マークの切り替え表示

▲マーク または ▼マーク にタッチし
ます。
次のマークに飛ばして、リストが動
きます。



ページの切り替え表示

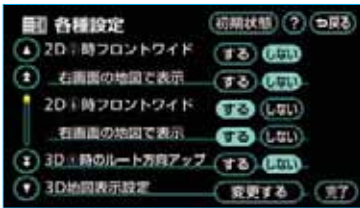
▲ページ または ▼ページ にタッチします。

1ページずつリストが動きます。



▲ または ▼ にタッチします。

1ページずつリストが動きます。



種類の切り替え表示

▲種類 または ▼種類 にタッチします。

次の種類に飛ばして、リストが動きます。



地域の切り替え表示

北海道・東北・関東・中部・近畿・中国四国・九州のいずれかにタッチします。

地域ごとにリストが動きます。



施設項目の切り替え表示

店・車・宿泊・遊び・公共・医療・交通・文化・他のいずれかにタッチします。

施設項目ごとにリストが動きます。

・リストがない施設項目のタッチスイッチは灰色になり、タッチしても操作できません。



文字の表示範囲の変更

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、名称がすべて表示されないことがあります。次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

▶ にタッチすると、名称をすべて確認することができます。

- ◀ にタッチすると、先頭に戻ります。



操作画面継続表示の設定をする

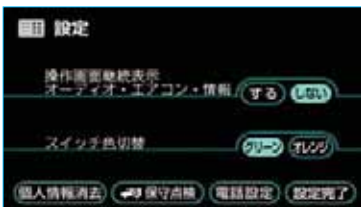
情報画面とオーディオ・エアコン操作画面の継続表示を「する」・「しない」に設定することができます。「しない」に設定すると、情報画面またはオーディオ・エアコン操作画面を表示してから、約20秒以上操作しないと、自動的にもとの画面にもどります。

- 1 **情報・G**を押します。
- 2 情報画面で、**設定**にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 3 操作画面継続表示の**する**、または**しない**にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 4 **設定完了**にタッチします。

知識

するを選択していても、バックガイドモニターなどの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面にもどらないことがあります。

タッチスイッチの色を切り替える

タッチスイッチの表示色を変えることができます。

グリーン



オレンジ



- 1 「操作画面継続表示の設定をする」(26) 3で表示された画面で、スイッチ色切替の**グリーン**・**オレンジ**のいずれかにタッチします。

- 2 **設定完了**にタッチします。

知識

本書で使用している画面のタッチスイッチの表示色は、グリーンを使用しています。

応答音のON・OFF

タッチスイッチにタッチしたときの応答音を出力するか、出力しないか選ぶことができます。

情報画面で、**BEEP消** にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- ・ 作動表示灯が点灯しているときは、応答音は出力されません。

画質調整画面を表示する

画質・消を押します。

・画質調整画面が表示されます。

画質調整画面の表示例
(ライト点灯時の昼画表示)

ナビゲーション画面



DVD画面



調整完了にタッチすると、画質調整画面が解除されます。(約20秒以上操作しなかったときは、自動で解除されます。)

画質を調整する

画質調整画面で調整します。

■色あい*

緑色を強くするときは**緑**、赤色を強くするときは**赤**にタッチします。

■色の濃さ*

色を濃くするときは**濃**、色を淡くするときは**淡**にタッチします。

■コントラスト

強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

■明るさ

明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。

*色あい、色の濃さは、DVDなどの映像を表示しているときに調整できます。
ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できません。

知識

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

ライト点灯時に昼画表示にする

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて映像が見えにくくなることがあります。そのため、画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わりますが、つねに〈昼画表示〉にしておくこともできます。

- ・ライト消灯時 ……………〈昼画表示〉
- ・ライト点灯時で周囲が暗いとき ……………〈夜画表示〉

昼画表示と夜画表示の画面例

昼画表示 〈ライト消灯時〉



夜画表示 〈ライト点灯時〉



夜画表示のとき画質調整画面で、

昼画面 にタッチします。

タッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

- ・昼画表示のときは、タッチスイッチの作動表示灯が点灯します。

知識

- ・ライト消灯時の画質調整画面には **昼画面** は表示されません。
- ・メーター照度調整ダイヤルを右にいったいにまわした位置（“カチッ”と音がする位置）にすると、ライト点灯時でも昼画表示になります。この時、バックガイドモニターの明るさも切り替わります。メーター照度調整ダイヤルについては、「ハリアー取扱書」をご覧ください。
- ・夜画表示への切り替えは、ライトの点灯と周囲の暗さの両方を判断して行います。したがって、周囲が明るいとき（昼間など）にライトを点灯しても、夜画表示には切り替わりません。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

画質調整画面で、**画面消** にタッチします。

- ・再度、画面を表示させるには各モードのスイッチを押します。

知識

画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。

画面モードを切り替える

DVDなどの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

1 各操作画面で、**WIDE MODE** にタッチします。

・画面モード切り替え画面が表示されます。

2 **Normal** ・ **Wide 1** ・ **Wide 2** のいずれかにタッチして、画面モードを選択します。

画面モード切り替え画面



■標準画モード (Normal)

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード (Wide 1)

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード (Wide 2)

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。



*お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

個人情報情報を消去する

以下の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

項目	情報
GPSボイスナビゲーション	ルート学習結果
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	目的地履歴
	走行軌跡
	ユーザーカスタマイズ
オーディオ&ビジュアル	サウンドライブラリに録音している音楽
情報	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス案内の設定
ハンズフリー	電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth電話機の登録情報
	ロックNo.

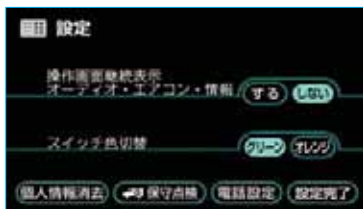
1 **情報・G**を押します。

2 情報画面で、**設定**にタッチします。



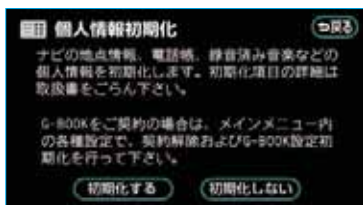
※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

3 **個人情報消去**にタッチします。



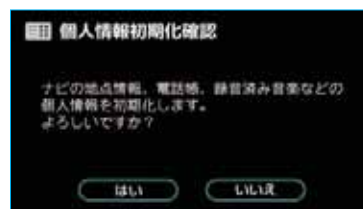
※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

4 **初期化する**にタッチします。



※G-BOOKオンラインサービスをご利用でないときは、表示される内容が異なります。

5 **はい**にタッチします。



6 3の画面が表示されますので、**設定完了**にタッチします。

知識

G-BOOKオンラインサービスをご利用の場合、G-BOOK設定については個人情報初期化では初期化することができません。G-BOOK設定を初期化するときは、「G-BOOK設定を初期化する」(➡533)をご覧ください。

アンテナの位置と取り扱い

ナビゲーション用アンテナ (GPSアンテナ)

インストルメントパネルに内蔵されています。

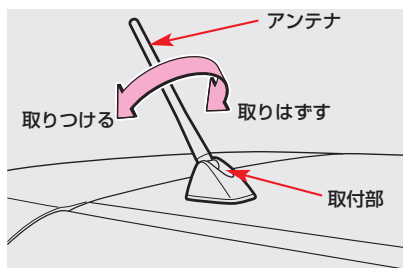
⚠ 注意

インストルメントパネル上やウィンドウガラス面には、次の物を設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。詳しくは「GPSについて」(P.143)をご覧ください。

- ・金属を含有するウィンドウフィルム
- ・その他の金属物（トヨタ純正品以外の電子機器やアンテナなど）

取りはずすときは、アンテナをまわしてルーフの取付部から取りはずします。

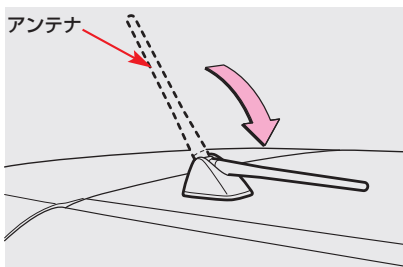
取りつかけるときは、アンテナを取付部にねじ込み、しっかりと固定してください。



ラジオ用アンテナ

ルーフ上にあります。アンテナは下図のように格納したり、取りはずすことができます。

- ・ラジオ受信時は節度感のある所まで立てて使用してください。



⚠ 注意

- ・次のようなときには、アンテナを損傷するおそれがあるため、アンテナを格納してください。
 - ・車庫の天井などにアンテナが当たるとき
 - ・カーカバーをかけるとき
- ・自動洗車機にかけるときは、アンテナを損傷するおそれがあるため、アンテナを取りはずしてください。
- ・洗車時などアンテナを取りはずしたときは、アンテナを紛失しないように注意してください。また、走行前には必ずアンテナをもとどおりに取りつけてください。



MEMO

GPSボイスナビゲーション

お使いになる前に	38
----------	----

ここからはじめましょう	39
-------------	----

■ 地図を操作してみましょ	地図に現在の車の位置を表示するには	39
	地図を動かすには	39
	地図を拡大／縮小するには	39
■ 自宅を登録してみましょ	自宅を登録してみましょ	40
■ ルート案内をさせて みましょ	目的地を決めましょ	42
	ルート案内を中止したいときは	44
	目的地を消去したいときは	44
■ GPSボイスナビゲーション とは？	ナビゲーション画面の見方	45
	音声案内について	47

I 地図の操作	48
---------	----

■ メニュー画面について	メニュー画面	48
■ 地図の表示	現在地の表示	50
	タッチスイッチの表示	50
	地図の移動（ワンタッチスクロール）	51
	地図縮尺の切り替え	52
	地図向きの切り替え	53
	地図の文字サイズの変更	54
	フロントワイド表示	54
	2画面表示	55
	3D表示	56
	地図の表示色の切り替え	58
	市街図表示	59
	駐車場マップ表示	60
■ 地図表示画面の設定	施設の表示	61
	周辺施設走行中呼出ジャンルの変更	63
	ビジュアルシティマップ表示	64
	立体ランドマークの表示	64
	道路形状警告	65

	交通事故多発区間警告	65
	季節規制区間の表示	66
	走行軌跡の表示	66
	シーズンレジャーランドマークの表示	68
	県境案内表示	68
	画面切り替え時の動画表現	68
■ 高速道路・都市高速道路表示	ハイウェイモード	69
	高速路線マップ	71
	高速分岐案内	72
	都市高速マップ	73
■ 音声の設定	音量設定	75
	操作説明音声	75
	ハートフル音声	75
■ 地図の呼び出し方法	名称で地図を呼び出す	78
	施設で地図を呼び出す	82
	住所で地図を呼び出す	83
	電話番号で地図を呼び出す	84
	郵便番号で地図を呼び出す	85
	ジャンルで地図を呼び出す	85
	履歴で地図を呼び出す	86
	マップコードで地図を呼び出す	87
■ 呼び出した地図の操作	ピンポイント検索	88
	位置の変更	88
	施設の内容の表示	88
	提携駐車場の検索	88
	住所の検索	89

II 目的地案内 90

■ 目的地の設定・ルート探索	目的地の設定	91
	ルート探索	92
	全ルート図表示	93
■ 目的地案内の開始	目的地案内の開始	98
	目的地案内の中止	98
■ 目的地への案内	音声案内	99
	交差点案内	100
	到着予想時刻の表示	104
	料金案内	105
	フェリー航路の案内	107

■ 案内中の操作	オンルートスクロール	108
	全ルート図を表示させるには	110
	残距離表示を切り替えるには	110
■ ルートの再探索・変更	自動再探索	112
	ルートの再探索	112
	ルート変更	114
■ 目的地履歴の消去		123

Ⅲ 地点の登録 124

■ メモリ地点の登録	メモリ地点の登録	124
	メモリ地点の修正・入力	125
	メモリ地点の消去	131
■ 迂回メモリ地点の登録	迂回メモリ地点の登録	132
	迂回メモリ地点の修正・入力	133
	迂回メモリ地点の消去	133

Ⅳ ナビを使いこなすために 134

■ 補正が必要なとき	現在地の修正	134
	距離の補正	135
■ ナビの設定を記憶したいとき	記憶することのできる設定項目	136
	各種ナビ設定の記憶	136
	記憶の呼び出し	137
	名称の変更	137
	各種ナビ設定の記憶の消去	137
■ 各種設定機能一覧	地図表示設定	138
	自動表示切替設定	139
	案内表示設定	140
	音声設定	141
	ルート系設定	142
	その他	142
■ GPSについて	GPS情報を利用できないとき	143
	システムの特性上、避けられないズレ	143

■ 地図について	地図データの情報を見るには	144
	地図データベースについて	145
	地図のスケール表示について	146
	地図記号・表示について	146
■ 知っておいていただきたいこと	こんなメッセージが表示されたときは	148
	故障とお考えになる前に	150
	精度について	152

V VICS*		154
■ VICS情報を表示する	表示させたいVICS情報の決定	154
	VICS情報の表示	154
■ VICS情報の活用	渋滞・規制音声案内	157
	VICS図形情報・文字情報の表示	157
	割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示	158
	渋滞考慮探索	160
■ VICS放送局の選択	放送局の選択	161
■ VICSの概要	VICSとは	162
	VICSについて	163
	知っておいていただきたいこと	164
	VICS記号・表示について	166

※ 電波ビーコン・光ビーコンは、販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したときのみ受信することができます。

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
操作できないタッチスイッチは、灰色になり、タッチしても操作できません。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。
必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(☎135)
このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- 自転車位置マーク📍は、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
このシステムは、GPS情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすることはできません。
- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク📍が表示されている（自転車位置マーク📍がずれている）ことがあります。
人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自転車位置マーク📍がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自転車位置マーク📍がずれることがあります。ただし、地図の自転車位置マーク📍がずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※やGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
 - ・ 「精度について」(☎152) もあわせてご覧ください。

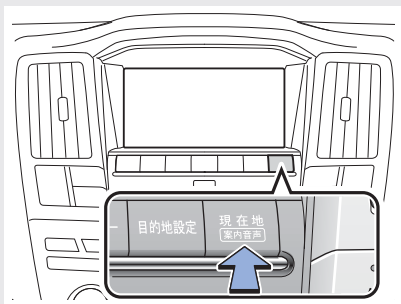
※ マップマッチングとは、GPS情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自転車位置マーク📍を表示させるシステムです。

ここからはじめましょう

地図を操作してみましょう

地図に現在の車の位置を表示するには

現在地を押します。










現在の車の位置  が表示されます。



現在の位置 (自車位置マーク)

■ 地図の表示について

地図の表示のしかたは、他にも以下のように変更することができます。

- ・ タッチスイッチを消す ……  50
- ・ 地図の向きをかえる ……  53
- ・ 進行方向の地図を広く表示する ……  54
- ・ 左右2画面で表示する ……  55
- ・ 地図を立体的に表示する ……  56
- ・ 地図の表示色をかえる ……  58
- ・ 市街図を表示する ……  59

地図を動かすには

地図にタッチします。



例えばここに
タッチすると

タッチした位置が地図の中央に移動します。



タッチした位置

地図を拡大／縮小するには

拡大するには、**詳細**にタッチします。
縮小するには、**広域**にタッチします。



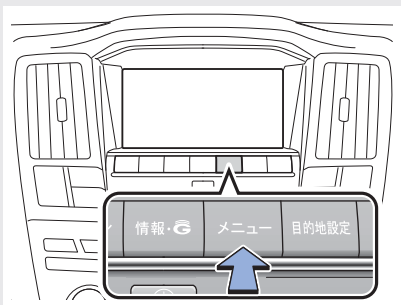
ここからはじめましょう

自宅を登録してみましよう

自宅を登録してみましよう

自宅を登録すると、目的地設定で**自宅に帰る**にタッチするだけで、自宅までのルート探索ができます。例として、自宅「東京都文京区後楽1丁目4-18」の地図を住所から呼び出し、登録します。

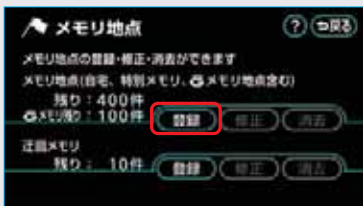
1 **メニュー**を押します。



2 **メモリ地点**にタッチします。



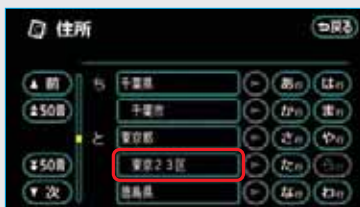
3 メモリ地点の**登録**にタッチします。



4 地図を呼び出す方法を選びます。ここでは、**住所**にタッチします。



5-1 都道府県名から順に、住所を選択します。まず、**東京23区**にタッチします。



-2 **文京区**にタッチします。



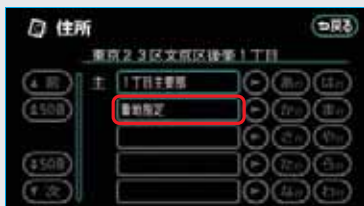
-3 **後楽**にタッチします。



-4 **1丁目** にタッチします。



-5 **番地指定** にタッチします。



-6 番地を入力します。



-7 **完了** にタッチします。



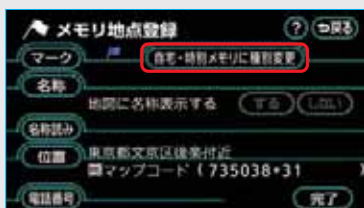
6 **家** にタッチして、自宅の位置に **+** を合わせます。



7 **セット** にタッチします。



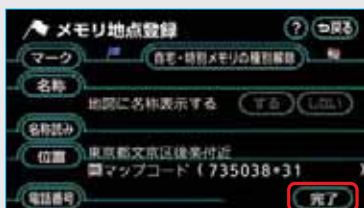
8 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。



9 自宅の **未登録** にタッチします。



10 **完了** にタッチします。



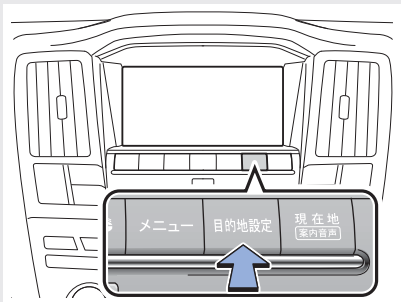
ここからはじめましょう

ルート案内をさせてみましょう

目的地を決めましょう

例として、「名称」から「上野動物園」を探して、目的地に設定してみましょう。

1 **目的地設定** を押します。



2 **名称** にタッチします。



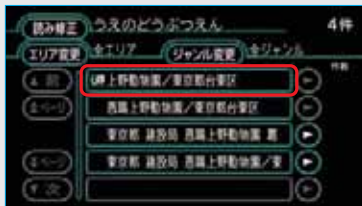
3-1 「うえのどうぶつえん」と入力します。



-2 **完了** にタッチします。



-3 **上野動物園** にタッチします。



4 **↑** にタッチして、目的地に設定したい場所に **↑** を合わせます。



5 **目的地セット** にタッチします。



6 案内開始 にタッチします。



■ **目的地セット** が表示されないときは

新規目的地 にタッチします。



■ **追加目的地** の使い方については、「目的地の設定」(➡91) をご覧ください。

■ 検索方法について

目的地は、名称から検索する方法以外にも、さまざまな方法で検索することができます。

- ・施設検索 ……………➡82
- ・住所検索 ……………➡83
- ・電話番号検索 ……………➡84
- ・郵便番号検索 ……………➡85
- ・ジャンル検索 ……………➡85
- ・マップコード検索 ……………➡87
- ・Gで設定 ……………➡621

■ 全ルート図について

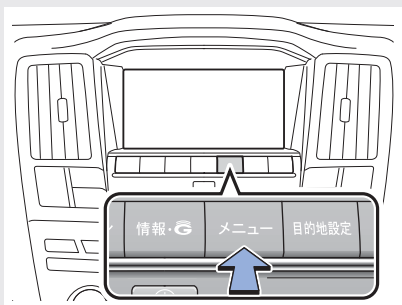
案内を開始する前に、全ルート図から以下のことができます。

- ・ルート情報を表示する ……➡96
- ・別のルートを表示する ……➡97
- ・探索条件を変更する ……➡114
- ・目的地を追加する ……➡114
- ・目的地を並び替える ……➡116
- ・目的地を消去する ……➡117
- ・出入口ICの指定・解除をする
……………➡118
- ・通過道路を指定する ……➡119
- ・通過道路を修正する ……➡120
- ・通過道路指定を解除する
……………➡121
- ・季節規制区間を迂回する
ルートを探索する ……➡122
- ・Gルート探索する ……➡612

ルート案内を 中止したいときは

ルート案内中に寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

- 1 **メニュー** を押します。



- 2 **案内中止** にタッチします。

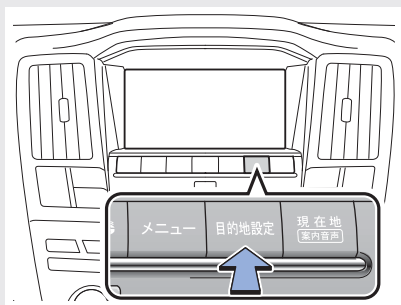


案内を再開するときは、この画面で **案内再開** にタッチします。

目的地を 消去したいときは

目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

- 1 **目的地設定** を押します。



- 2 **目的地消去** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



ここからはじめましょう


GPSボイスナビゲーションとは？



目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

ナビゲーション画面の見方

目的地案内中の現在地画面



1 方位マーク（ヘディングアップ時は )	地図の方角が表示されます。(☞53)
2 自車位置マーク	現在位置と車が向いている方角が表示されます。
3 レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。(地図データに情報のある交差点のみ) ・目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。
4 名称表示	状況により以下のものが表示されます。(地図データに情報のある地点のみ) ・通過・分岐する交差点の名称 ・走行している道路の名称 ・通過するIC・SA・PAの名称（高速道路を走行しているときのみ） ・分岐するIC・JCTの方面名称（高速道路を走行しているときのみ）
5 ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。(☞96)
6 案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示されます。(☞101)

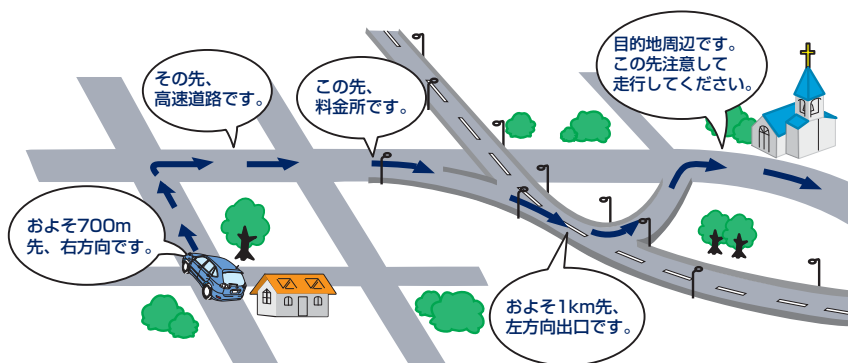
7 スケール表示	表示させている地図の縮尺が表示されます。 詳しくは、「地図縮尺の切り替え」(☞52)・「地図のスケール表示について」(☞146)をご覧ください。
8 GPSマーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、表示されます。 ただし、GPSマークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。(☞143)
9 VICSタイムスタンプ	VICS情報が発信されている地域で、VICS情報が提供された時刻が表示されます。 ・ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色が変わります。(☞155)
10 到着予想時刻表示／ 目的地方向マーク	状況により以下のマークが表示されます。 ■到着予想時刻表示  目的地案内中、目的地への到着予想時刻が表示されます。(☞104) 到着予想時刻表示の切り替えについては、「残距離表示を切り替えるには」(☞110)をご覧ください。 ■目的地方向マーク  ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。
11 残距離表示	現在地から目的地までの距離が表示されます。 ・目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。 ・ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。 残距離表示の切り替えについては、「残距離表示を切り替えるには」(☞110)をご覧ください。

知識

- ・本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、ノースアップ・1画面・2D表示でフロントワイド表示を **しない** に設定している画面です。
- ・また、GPSマーク・VICSタイムスタンプが表示されていない地図画面を使用しています。
- ・**G** (Gスイッチ) は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。(☞539)
- ・なお、G-BOOKオンラインサービスをご利用でない場合、**G** は表示されません。

音声案内について

目的地案内中は、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声が出力されます。
(☎99)



I 地図の操作

メニュー画面について

メニュー画面



メニューを押すと、メニュー画面が表示されます。
メニュー画面から以下の操作を行うことができます。

知識

各種設定項目の設定のしかたについては、「各種設定機能一覧」(▶138)をご覧ください。

項目 (タッチスイッチ)	機能	ページ
案内中止／案内再開 ※1	目的地案内の中止・再開	98
音量設定	音量設定	75
VICS	VICS図形情報・文字情報の表示	157
	割り込み情報の表示の設定※3	158
	VICS提供放送局の選択	161
渋滞予測※2	渋滞予測情報の表示	608
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	124～131
	Gメモリ地点の修正・消去※2	125～131
	迂回メモリ地点の登録・修正・消去	132、133
ユーザーカスタマイズ	各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去	136、137
各種設定	フロントワイド表示のON・OFF	54
	3D時ルート方向アップ表示のON・OFF	58
	3D表示の角度の調整	56
	地図の表示色の切り替え	58
	ビジュアルシティマップ表示のON・OFF	64
	地図の文字サイズの変更	54
	立体ランドマーク表示のON・OFF	64
	シーズンレジャーランドマーク表示のON・OFF	68
	地図スクロール時の地名表示のON・OFF	52
	交差点拡大図自動表示のON・OFF	101
	高速分岐模式図自動表示のON・OFF	72
	レーンリスト自動表示のON・OFF	100
	ターンリスト自動表示のON・OFF	103
	都市高速マップ自動表示のON・OFF	73
	高速路線マップ自動表示のON・OFF	71
	駐車場マップ自動表示のON・OFF	60
	縮尺切替メッセージ表示のON・OFF	52
	道路形状警告のON・OFF	65
	交通事故多発区間警告のON・OFF	65
	料金案内のON・OFF	105
	県境案内のON・OFF	68

項目（タッチスイッチ）	機能	ページ
各種設定	3D交差点拡大図のON・OFF	102
	平均車速の設定	104
	G情報マーク連動サービスのON・OFF※2	620
	VICS渋滞・規制音声自動発声のON・OFF	157
	自動音声案内のON・OFF	99
	他モードでの案内のON・OFF	99
	操作説明音声のON・OFF	75
	ハートフル音声のON・OFF	75
	音声認識モードの切替	296
	音声認識ガイド音声のON・OFF	296
	自動再探索のON・OFF	112
	ルート学習のON・OFF	92
	ルート学習結果の消去	93
	季節規制区間メッセージのON・OFF	66
	渋滞考慮探索のON・OFF ※4	160
	Gルート探索情報自動取得のON・OFF※2	613
	スイッチ表示の設定	50
	周辺施設の走行中呼出ジャンルの変更	63
	車両情報の設定※5	106
	目的地履歴の消去	123
画面切り替え時の動画表現のON・OFF	68	
現在地の修正・距離の補正	134、135	
切断※6	G-BOOKセンター接続の切断	481
?（ヒント機能）	スイッチの機能説明	13
使用データ	地図データの情報の表示	144

※1 目的地が設定されていないときは、灰色になり、タッチしても操作できません。

※2 G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

※3 ビーコンユニットを装着したときのみ操作することができます。

※4 ビーコンユニットを装着したとき、またはG-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

※5 目的地が設定されているときは操作できません。

※6 G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で利用されているときのみ操作することができます。

I 地図の操作

地図の表示

現在地の表示

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。

現在地以外の地図やメニュー画面などを表示させているときは、**現在地**を押すと現在地画面にもどります。



- ・ 走行中は表示される道路が制限されます。（幅5.5m未満の道路などは表示されません。）ただし、幅5.5m未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

知識

新車時、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク①が表示されている（自車位置マーク②がずれている）ことがあります。

ただし、地図の自車位置マーク②がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（☎134）

- ・ 現在地画面で**現在地**を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



知識

以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。

- ・ 地図データに情報のないとき
- ・ 200m図より広域な地図を表示させているとき

また、高速路線マップ（☎71）を表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

タッチスイッチの表示

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。



Off にタッチします。

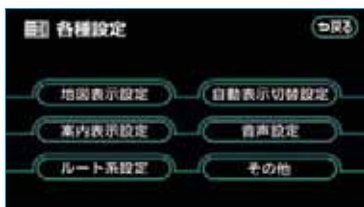


- ・ **Off** にタッチしたときに表示させたいタッチスイッチの設定をすることができます。（「スイッチ表示設定」☎51）をご覧ください。）
- ・ 再度、タッチスイッチを表示させたいときは、**On** にタッチします。

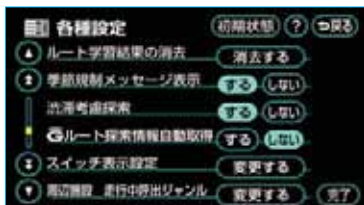
スイッチ表示設定

◀Off にタッチしたときに表示させたいタッチスイッチの設定をすることができます。

- 1 メニュー画面 (➡48) で、**各種設定** にタッチします。
- 2 **その他** にタッチします。



- 3 スイッチ表示設定の **変更する** にタッチします。



- 4 表示設定を変更したいタッチスイッチにタッチします。



- ・灰色になっているタッチスイッチは **◀Off** にタッチしたとき表示されなくなります。

知識

- ・ **初期状態** にタッチすると、スイッチ表示設定が初期設定の状態にもどります。
- ・ スイッチ表示設定では、G-BOOKオンラインサービスをご利用でない場合も **G** について選択できますが、現在地画面には表示されません。

- 5 **完了** にタッチします。

地図の移動 (ワンタッチスクロール)

地図を表示させているときに、タッチスイッチ以外の場所にタッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすことができます。



- ・ タッチし続けると、地図が動く速度が速くなります。(このとき、⊕が黄色になります。)
- ・ 地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。

知識

- ・ 走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図 (➡59) または駐車場マップ (➡60) を表示しているときは、地図を移動させることはできません。
- ・ ワンタッチスクロールで地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、**現在地** を押し現在の表示にすると、地図が動くようになります。
- ・ 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え (➡53) ができないことがあります。

地図スクロール時の地名表示

地図を移動しているとき、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号を表示させることができます。



・地図の移動をやめると、約6秒後自動的に消去されます。

地図スクロール時に地名を表示するか、表示しないか設定することができます。(☛139)

知識

以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。

- ・地図データに情報のないとき
- ・200m図より広域な地図を表示させているとき

また、高速路線マップ(☛71)を表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図～1/5千図までの希望の縮尺(地図の範囲)に切り替えることができます。

地図の範囲を広くするときは**広域**、狭くするときは**詳細**にタッチします。



スケールバー

- ・13段階に切り替えることができます。(☛146)
- ・タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- ・**広域**、または**詳細**にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。
- ・**広域**、または**詳細**を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

知識

- ・最大範囲(1/2048万図)にすると**広域**、最小範囲(1/5千図)にすると**詳細**は表示されません。
- ・走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺をかえることはできません。

縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージが画面に表示されます。



縮尺切替メッセージを表示するか、表示しないか設定することができます。(☛140)

知識

縮尺切替メッセージ表示を**しない**に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。

『都市高マップは、200m図より詳細な地図では表示できません』

『都市高マップは、1.6km図より広域な地図では表示できません』

『施設情報・VICs情報は、広域の地図には表示されません』

『施設情報は、800m図より広域の地図には表示されません』

『VICs情報は、1.6km図より広域の地図には表示されません』

『市街図を表示します』

『リアル市街図を表示します』

地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

● (または●) が黒色になっているときに、● (または●) にタッチするごとに、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。

ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。

**ヘディングアップ表示**

車の進行方向がつねに上向きになるように地図が表示されます。

**知識**

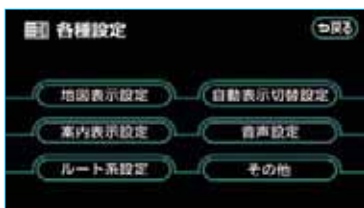
- ・ヘディングアップ表示のとき、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示に復帰します。
- ・3D表示 (56) にさせているときは、常にヘディングアップ表示されるため地図向きを切り替えることはできません。

地図の文字サイズの変更

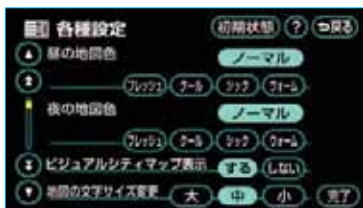
地図上に表示される地名などの文字サイズを変更することができます。



- 1 メニュー画面 (➡48) で、**各種設定** にタッチします。
- 2 **地図表示設定** にタッチします。




- 3 地図の文字サイズ変更の **大**・**中**・**小**のいずれかにタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

フロントワイド表示

通常は自転車位置マーク  が画面の中心に表示されますが、フロントワイド表示にすると、進行方向の地図を広く表示させることができます。



フロントワイド表示をするか、しないか設定することができます。(➡138)

2画面表示

画面を左右に2分割して表示させることができます。



以下のような表示をさせることができます。

【例】

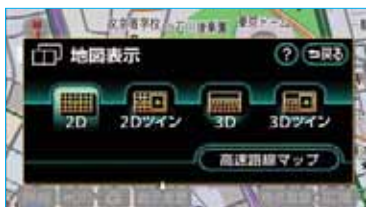
- ・左右異なる縮尺で表示
- ・ヘディングアップ表示とノースアップ表示
- ・施設表示のONとOFF
- ・3D表示のONとOFF

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **2Dツイン** (通常の2画面表示)、または **3Dツイン** (2画面3D表示) にタッチします。



・左画面の操作は、1画面表示のときと同じです。

知識

- ・2画面表示にさせているときは、左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
- ・現在地画面以外の地図 (目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など) は、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示に復帰します。

2画面表示の解除

「2画面表示」(☞55) 3で表示された画面で、**2D** (通常の表示)、または **3D** (通常の3D表示) にタッチします。

知識

再度、2画面表示にさせたときは、前回、2画面表示にさせていたときの縮尺で地図が表示されます。

右画面の操作

1 右画面内のタッチスイッチ以外の場所にタッチします。

2 右画面設定画面で、以下のことができます。



作動表示灯

■ **地図縮尺の切り替え** (☞52) **詳細**、または **広域** にタッチします。

■地図向きの切り替え (☞53)

- (または ●) にタッチします。
- ・1の画面でも、切り替えることができます。

■3D表示 (☞56)

- 3D表示にさせたいときは、**3D表示** にタッチします。
- ・3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。

■施設の表示 (☞61)

- 左画面に施設を表示させているとき、右画面でも施設を表示させることができます。

- 施設を表示させたいときは、**周辺施設表示** にタッチします。
- ・施設が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

■VICS情報の表示 (☞154)

- 左画面にVICS情報を表示させているとき、右画面でもVICS情報を表示させることができます。

- VICS情報を表示させたいときは、**VICS表示** にタッチします。
- ・VICS情報が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

知識

施設の表示・VICS情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。

3D表示

地図を立体的に表示させることができます。



「2画面表示」(☞55) 3で表示された画面で、**3D** (通常の3D表示)、または**3Dツイン** (2画面3D表示) にタッチします。

知識

- ・3D表示は、フロントワイド・ヘディングアップ表示で表示されます。
- ・現在地画面以外の地図(目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など)は、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示に復帰します。

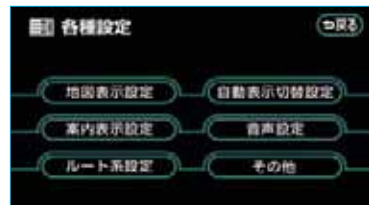
■3D表示の解除

「2画面表示」(☞55) 3で表示された画面で、**2D** (通常の見せ方)、または**2Dツイン** (通常の見せ方) にタッチします。

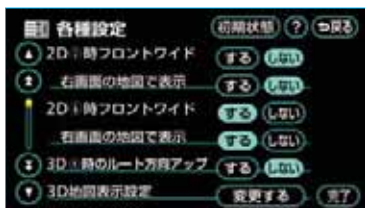
3D表示の角度調整

3D表示の角度を設定することができます。

- 1 メニュー画面 (☞48) で、**各種設定** にタッチします。
- 2 **地図表示設定** にタッチします。



- 3 3D地図表示設定の**変更する**にタッチします。



- 4 角度を上げるときは ⏏ 、下げるときは ⏏ にタッチします。



知識

- ・ 最高角度にすると ⏏ 、最低角度にすると ⏏ が灰色になり、タッチしても操作できません。
- ・ **初期状態**にタッチすると、角度が初期設定の状態にもどります。

- 5 **セット**にタッチします。

リアル市街図表示

3D表示にさせているとき、1/2500市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。



- ・ 通常の市街図 (59) は、表示されません。

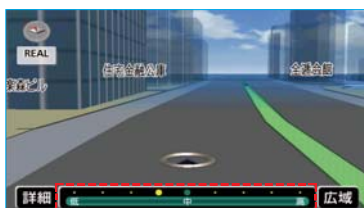
知識

市街図表示からリアル市街図表示にすると、 → (一方通行) の表示が → (進入禁止) の表示にかわります。

■ 視点の調整

リアル市街図の表示視点を切り替えることができます。

視点を上げるときは**広域**、下げるときは**詳細**にタッチします。





↑
スケールバー

- ・ すぐに手を離れたときは3段階、そのまま約1秒以上タッチし続けたときは9段階に切り替えることができます。
- ・ **広域**、または**詳細**にタッチしたあと、スケールバーにタッチしても視点を切り替えることができます。

知識

- ・ 最低角度の地図にすると、**詳細**は表示されません。
- ・ 最高角度の地図にさせているとき、**広域**にタッチすると、リアル市街図表示は解除されます。

地図の回転

- 1 地図を表示させているときに、タッチスイッチ以外の場所にタッチします。
- 2  にタッチすると時計まわり、 にタッチすると反時計まわりに回転します。




知識

現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

3D時ルート方向アップ表示

目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。



- ・ONのときは、方位マーク が青色になります。

3D時ルート方向アップ表示をするか、しないか設定することができます。(☎138)

地図の表示色の切り替え

ノーマル画の他に、昼画・夜画それぞれの地図表示色を切り替える（4種類）ことができます。

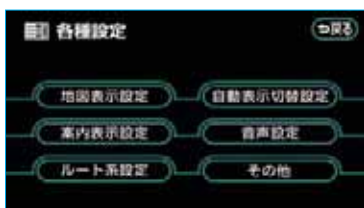
モード	画面
フレッシュ	 
クール	 
シック	 
ウォーム	 

それぞれのモードの上側が昼画、下側が夜画です。

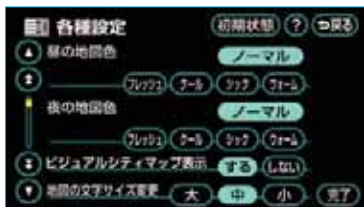
知識

本書で使用している地図画面は、ノーマル画を使用しています。

- 1 メニュー画面 (➡48) で、**各種設定** にタッチします。
- 2 **地図表示設定** にタッチします。



- 3 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、**ノーマル**・**フレッシュ**・**クール**・**シック**・**ウォーム**のいずれかにタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

市街図表示

地図データに市街図の情報がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。



1/5千図を表示させているときに、**市街図** にタッチすると、1/5千市街図が表示されます。



- ・市街図表示には1/5千市街図と1/2500市街図があります。**広域**、または**詳細**にタッチして1/5千市街図と1/2500市街図を切り替えます。

知識

- ・市街図のデータがある地域のみ、1/5千図を表示させているとき、**市街図**が表示され、市街図表示に切り替えることができます。(市街図がない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。)
- ・1/2500市街図にすると➡(一方通行)を表示します。
- ・3D表示にさせているとき、1/2500市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示(➡57)になります。(通常の市街図は、表示されません。)

市街図表示の解除

1/5千市街図を表示させているときに、**広域** にタッチします。

施設の内容の表示

- 1 市街図を表示させているときに、**情報** にタッチします。



- 2 **↑** にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。



知識

地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

- 3 **施設情報** にタッチします。
選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
・選んだ建物に1つしか施設がないときは、**施設情報** にタッチすると、施設の内容が表示されます。
- 4 施設名称にタッチします。



選んだ施設の内容が表示されます。

駐車場マップ表示

地図データに駐車場マップの情報をもっている駐車場に入ったとき、表示させることができます。



駐車場マップの自動表示をするか、しないか設定することができます。(P140)

知識

駐車場マップ自動表示が**しない**に設定されていても、**案内図替** から駐車場マップを表示することができます。

駐車場マップの解除

- P解除** にタッチします。
- ・再度、駐車場マップを表示させたいときは、**案内図替** にタッチします。

I 地図の操作

地図表示画面の設定

施設の表示

地図に施設の記号を表示させることができます。



知識

- ・ 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- ・ 1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)
- ・ 表示させることができる施設は、① (または②) から半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)
- ・ 高速路線マップ (⑦1)、または駐車場マップ (⑥0) を表示させているときは、施設情報を表示させることはできません。
- ・ 通常の地図画面での施設表示と、オンルートスクロールでの施設の選択 (⑩9) は別の設定のため、通常の地図画面で施設を変更しても、オンルートスクロールの施設は変更されません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 施設のジャンルにタッチします。



選んだジャンルの施設の記号が地図に表示されます。

- ・ 5つまで選択することができます。複数選択するときは、1~3を繰り返します。
- ・ すでに表示されている施設のジャンルにタッチすると、そのジャンルが解除されます。
- ・ **全ジャンル** にタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外のジャンルも選択することができます。

知識

G情報マーク表示 は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。(⑥18)

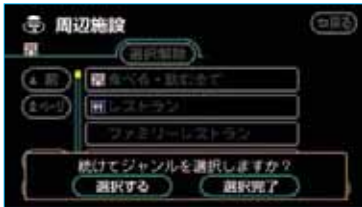
4 **全ジャンル** にタッチしたときは、次に表示された画面で、施設のジャンルにタッチし、次にさらに詳細な施設のジャンルにタッチします。



- ・ 5つまで選択することができます。
- ・ 間違えたときは**選択解除** にタッチする、またはすでに選んだ施設のジャンルにタッチすると解除されます。

5 **完了** にタッチします。

6 **選択完了** にタッチします。



選んだジャンルの施設の記号が地図に表示されます。

・複数選択するときは、**選択する** にタッチします。

■施設表示の消去

「施設の表示」(☞61) 3で表示された画面で、**表示解除** にタッチします。

■近くの施設の検索

地図に施設を表示させているときに、**📍** (または **📍**) の位置の近くにある施設の名称と **📍** (または **📍**) からの直線距離・方向を表示させることができます。

知識

検索させることができる施設は、**📍** (または **📍**) から半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)

1 「施設の表示」(☞61) 3で表示された画面で、**施設検索** にタッチします。

2 施設名称にタッチします。



選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。

- ・表示されている矢印は現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
- ・ワンタッチスクロールで地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

知識

- ・施設によっては、内容が表示されない施設もあります。
- ・施設のリストは、**📍** (または **📍**) から近い施設の順と、施設の記号の種類別の2種類の並べ方をさせることができます。
 - ・ **距離順** にタッチすると、**📍** (または **📍**) から近い施設の順に並びかわります。
 - ・ **種類順** にタッチすると、施設の記号の種類別に並びかわります。

3 **情報** にタッチすると、施設の内容が表示されます。



- ・情報付き施設が検索されたときの操作については、「ナビブラウザ画面の操作」(☞347) をご覧ください。

■ルートを考慮したリストの表示
目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示に連動したものにさせることができます。

「近くの施設の検索」(☉62) 2で表示された画面で、**ルート沿い考慮**にタッチします。



- ・設定されているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのいずれかの方向にあるかを表示します。
- ・ルートを考慮したリストが表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

知識

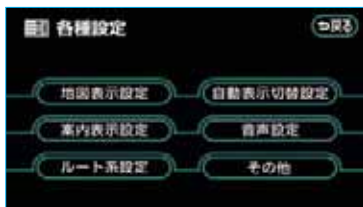
- ・表示させていた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
- ・表示される施設は、ルート沿いにある施設のみです。

周辺施設 走行中呼出ジャンルの変更

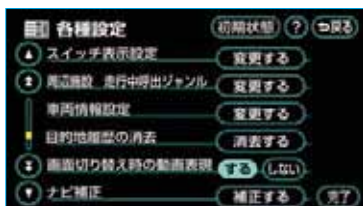
走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

- 1 メニュー画面 (☉48) で、**各種設定**にタッチします。

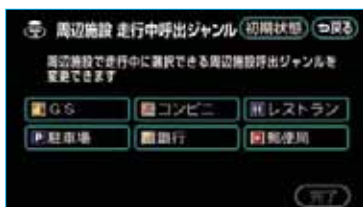
- 2 **その他**にタッチします。



- 3 周辺施設 走行中呼出ジャンルの**変更する**にタッチします。



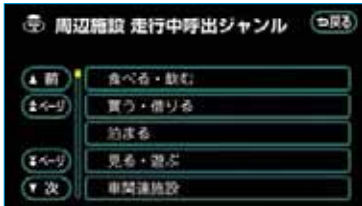
- 4 変更したい施設のジャンルにタッチします。



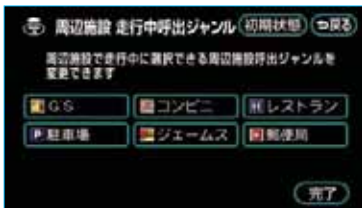
知識

初期状態にタッチすると、すべての周辺施設走行中呼出ジャンルの項目が初期設定の状態にもどります。

- 5 走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンルにタッチし、次にさらに詳細な施設のジャンルにタッチします。



- 6 **完了** にタッチします。



ビジュアルシティマップ表示

道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させ、地図記号を立体的に表示させることができます。



- ・地図記号・表示については、(☞146) をご覧ください。

ビジュアルシティマップ表示をするか、しないか設定することができます。(☞139)

立体ランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。

立体ランドマーク表示



立体ランドマークを表示するか、表示しないか設定することができます。(☞139)

知識

- ・地図データに情報のない施設は、表示されません。
- ・1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面、リアル市街図を除く)

立体ランドマークの内容の表示

- 1 立体ランドマークにタッチします。立体ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。



- ・情報付き施設が検索されたときの操作については、「ナビブラウザ画面の操作」(☞347) をご覧ください。

道路形状警告

踏切・合流道路・急カーブ・レーン数減少※の道路形状警告地点に近づくと、地図上に警告マークが表示されます。さらに道路形状警告地点に近づくと地図右上にも警告マークが表示され音声案内されます。

※ 都市高速道路走行中のみ案内されません。



形状	警告マーク	
踏切		
合流道路		
急カーブ		
レーン	レーン数減少	
	右折・左折専用	なし

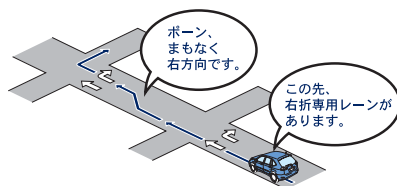
道路形状警告をするか、しないか設定することができます。(☎140)

〔右折・左折専用レーン案内の例〕

直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先、右折（左折）専用レーンがあります。」と音声案内されます。

目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。

（この場合は「ポーン、まもなく右方向（左方向）です。」と音声案内されます。）



知識

- ・ 地図データに情報のない地点では、道路形状警告は行われません。
- ・ 以下のようなときは、道路形状警告が行われない場合があります。
 - ・ 目的地案内開始直後
 - ・ 再探索直後
 - ・ 目的地周辺
- また、現在地から道路形状警告地点までの距離が短い、道路形状警告地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、警告が行われない場合があります。
- ・ 道路形状警告は、遅れたり早くなる場合があります。
- ・ 次の道路形状警告マークが表示されている地点が近いときは、続けて道路形状警告が行われます。

交通事故多発区間警告

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

- ・ 一般道路上では交通事故が多発している地点に、警告マークを表示します。
- ・ 高速道路上では交通事故が多発している地点に近づくと、地図右上に警告マークを表示し、音声案内します。

一般道路上の警告



高速道路上の警告



内容	警告マーク
一般道路上	
高速道路上	

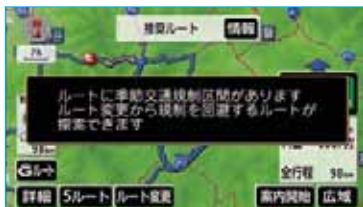
交通事故多発区間警告をするか、しないか設定することができます。(☞140)

知識

1/5千図～1/8万図の地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)

季節規制区間の表示

長期間に渡り規制される区間(冬期通行止めになる道路など)を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートがで表示されます。また、このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



季節規制区間メッセージを表示するか、表示しないか設定することができます。(☞142)

季節規制区間を迂回するルートを探りたいときは、「季節規制区間の迂回ルートの探索」(☞122)をご覧ください。

知識

地図データに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。

走行軌跡の表示

走行した道路を約1000km分保存し、軌跡を表示することができます。



走行軌跡

- ・保存できる距離を越えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。

知識

- ・1/2500図～1/512万図で表示させることができます。
- ・リアル市街図(➡57)、または高速路線マップ(➡71)を表示させているときは、走行軌跡を表示することはできません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更**にタッチします。

2 **走行軌跡表示**にタッチします。

**走行軌跡の消去**

1 「走行軌跡の表示」(➡66) 2で表示された画面で、**走行軌跡解除**にタッチします。



2 **はい**にタッチします。



**知識**

- ・**いいえ**にタッチすると、地図上から走行軌跡は消去されますが、保存してある走行軌跡の情報は消去されません。再度、表示させたいときは、「走行軌跡の表示」(➡66)をご覧ください。
- ・走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

シーズンレジャーランド マークの表示

シーズンレジャーランドマーク（桜の名所や紅葉の名所）を時期に合わせて表示させることができます。



内容	マーク
桜の名所	
紅葉の名所	

シーズンレジャーランドマークを表示するか、表示しないか設定することができます。(☎139)

知識

- ・ 地図データに情報のない名所は、表示されません。
- ・ 1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面、リアル市街図を除く)
- ・ マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

県境案内表示

都道府県境を通過したとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させ、音声で案内させることができます。



県境案内表示

県境案内をするか、しないか設定することができます。(☎140)

知識

県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

画面切り替え時の動画表現

画面の切り替わるタッチスイッチにタッチしたときや、**現在地**などを押したとき、アニメーションのように表現されて画面が表示されるようにすることができます。

画面切り替え時の動画表現をするか、しないか設定することができます。(☎142)

知識

動画表現させることのできない画面もあります。

I 地図の操作

高速道路・都市高速道路表示

ハイウェイモード

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

知識

- ・目的地案内中は、都市高速にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。
- ・左画面は、高速路線マップ自動表示を**する**に設定しているときに高速路線マップ（☉71）が表示されます。（高速路線マップ自動表示を**しない**に設定しているときは、通常の地図が表示されたまま切り替わりません。）
- ・▲・▼、または施設名称（IC・SA・PA）にタッチすると、選ばれる施設が切り替わります。
 - ・施設を選んだとき、**現区間**にタッチすると、現在地から最寄りの施設が選ばれます。



1 道路名称表示

最寄り、または選んだ施設の道路の名称が表示されます。

2 施設名称表示

施設の名称が表示されます。（目的地案内をさせていないときは、最大10カ所まで）

3 距離表示

現在地からの距離が表示されます。

4 通過予想時刻表示

選んだ施設への通過予想時刻が表示されます。

5 VICS記号・表示（☉166）

VICS情報が受信されたとき表示されます。

知識





VICS情報の表示（☉154）で、**一般道のみ**に設定しているときも、ハイウェイモードではVICS情報が表示されます。**現表示**に設定しているときは、VICS情報は表示されません。

6 設備マーク表示

選んだ施設（SA・PAのみ）にある設備が、ガソリンスタンド※を除き最大6つまで表示されます。（ガソリンスタンドは先頭に表示されます。）

- ・6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークもあります。

記号	内容
—※	レストラン
—※	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAXサービス
	ショッピングコーナー
	休憩所

記号	内容
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマートIC (ETC専用インターチェンジ)

※ ガソリンスタンド・レストラン・ドラッグストアは、固有のロゴマークが表示されます。

知識

- ・ 反対車線の情報は表示されません。
- ・ 通過予想時刻は設定した平均車速 (➡104) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ・ SA・PAにはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- ・ 目的地案内中するとき、出口IC、または分岐するJCTの手前では、高速分岐案内画面 (➡72) が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。(高速分岐モード図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。) JCTのときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモードの解除

- 1 **案内図替** にタッチします。
 - ・ 再度、ハイウェイモードを表示させたいときは、**案内図替** にタッチします。
- 2 目的地案内中で、分岐点 (出口IC、JCT) が近いとき、または目的地案内中は、切り替える画面を選択する画面が表示されます。

地図 にタッチすると左画面に表示されている地図が1画面で表示されます。

分岐図 にタッチすると高速分岐案内画面 (➡72) に切り替わります。

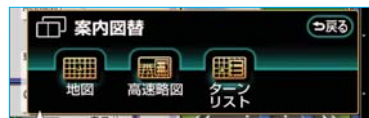
ターンリスト にタッチするとターンリスト図 (➡103) に切り替わります。



知識

分岐図 は目的地案内中で分岐点 (出口IC、JCT) が近いとき、**ターンリスト** は目的地案内中に表示されます。

- ・ 再度、ハイウェイモードを表示させるにはこの画面で、**高速略図** にタッチします。



高速路線マップ

高速道路にはいると、左画面に高速路線マップを表示させることができます。

一般道路を走行中でも、高速路線マップを表示することができます。

高速道路走行中



一般道路走行中



高速路線マップの自動表示をするか、しないか設定することができます。(140)

知識

- ・高速路線マップを表示させているときは、常にノースアップ表示されるため、3D表示(56)に切り替えることはできません。
- ・目的地案内中のとき、出口ICまたは分岐するJCTの手前では、地図の右側に高速分岐案内画面(72)が表示されます。(高速分岐モード図自動表示を「しない」に設定しているときは表示されません。)JCTのときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にもとの画面に復帰します。
- ・高速路線マップ自動表示が「しない」に設定されていても、「表示変更」から高速路線マップを表示することができます。

- ・高速路線マップでは、画面に表示されている道路のみのルートが表示されます。(一度高速道路から出て再度、高速道路に入るルートが探索された場合は、ルートが途切れて表示されます。)

高速路線マップの表示・解除

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更**にタッチします。
- 2 **地図表示**にタッチします。



- 3 高速道路走行中のときは、**高速路線マップ表示**にタッチします。

高速道路走行中



- ・高速路線マップを1画面で表示したいときは、以下の操作を行ってください。
 - ・**案内図替**にタッチします。
 - ・目的地案内中は、**案内図替**にタッチし、次に表示された画面で**地図**にタッチします。
- ・解除するときは、再度この画面で、**高速路線マップ解除**にタッチします。

一般道路走行中のときは、**高速路線マップ**にタッチします。

一般道路走行中



- 解除するときは高速路線マップ画面で、**戻る**にタッチします。また、**現在地**を押しても解除することができます。

高速路線マップの縮尺の切り替え

表示範囲を広くするときは**広域**、狭くするときは**詳細**にタッチします。



スケールバー

- 4段階に切り替えることができます。
- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- 広域**、または**詳細**にタッチしたあとは、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。

高速分岐案内

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあり、高速道路を走行しているとき、分岐点(出口IC・JCT)が近づくと、高速分岐案内画面を表示させることができます。

高速分岐案内の自動表示をするか、しないか設定することができます。(P.139)



1 分岐点名称表示

ICの出口名称、またはJCTの方面名称が表示されます。

2 残距離表示

分岐点までの距離が表示されます。(分岐点に近づくとともに**■**が短くなります。)

知識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 以下のようなときは、高速分岐案内が行われなかったりすることがあります。
 - 目的地案内開始直後
 - 目的地周辺
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。

- ・次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。
- ・高速分岐模式図自動表示が「しない」に設定されていても、「案内図替」から高速分岐案内画面を表示することができます。

高速分岐案内画面の解除

「拡大解除」にタッチします。

- ・再度、高速分岐案内画面を表示させるには、「現在地」を押します。

また、「案内図替」にタッチして画面を切り替えることができます。

1 「案内図替」にタッチします。

2 「地図」にタッチすると左画面に表示されている地図が1画面で表示されます。

「高速略図」にタッチするとハイウェイモード（☞69）に切り替わります。

「ターンリスト」にタッチするとターンリスト図（☞103）に切り替わります。



- ・再度、高速分岐案内画面を表示させるには、この画面で、「分岐図」にタッチします。



また、「現在地」を押しても表示させることができます。

都市高速マップ

目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、都市高速にはいると、都市高速マップを表示させることができます。



都市高速マップの自動表示をするか、しないか設定することができます。（☞140）

知識

- ・1/2万図～1/16万図の地図で表示させることができます。
- ・PAにはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。
- ・2画面表示（☞55）にさせているときは、左画面に表示されます。
- ・都市高マップ自動表示が「しない」に設定されていても、「表示変更」から都市高速マップを表示することができます。
- ・高速路線マップ（☞71）と都市高マップの自動表示を「する」に設定しているときは、高速路線マップが優先されて表示されます。

都市高速マップの表示・解除

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更**にタッチします。
- 2 **地図表示**にタッチします。



- 3 **都市高マップ表示**にタッチします。



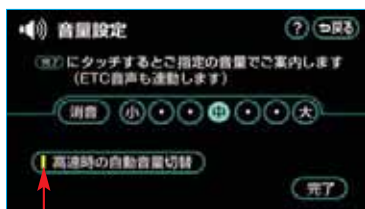
- 解除するときは、再度この画面で、**都市高マップ解除**にタッチします。

I 地図の操作

音声の設定

音量設定

- 1 メニュー画面 (☞48) で、**音量設定** にタッチします。
- 2 **小**・**中**・**大**のいずれかにタッチします。



作動表示灯

- ・ **消音** にタッチすると、音声OFFになります。
音声OFFのとき、いずれかの音量のタッチスイッチにタッチすると、音声ONになります。
- 3 **完了** にタッチします。

高速時の自動音量切り替え

車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。(車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。)

- 1 「音量設定」 (☞75) 2で表示された画面で、**高速時の自動音量切替** にタッチします。
 - ・ 自動で1段階上がる設定にしているときは、作動表示灯が点灯します。
- 2 **完了** にタッチします。

操作説明音声

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

操作説明音声を発声するか、発声しないか設定することができます。
(☞141)

ハートフル音声

通常の目的地案内中の音声案内・操作説明音声とは、異なった音声を出力させることができます。

〔ハートフル音声の例〕

- 自宅を目的地にして、目的地に到着したとき
「お疲れさまでした。」
- ナビゲーション画面が表示されるとき
「今日は○月○日、○曜日です。」

ハートフル音声を発声するか、発声しないか設定することができます。
(☞141)

知識

上記の〔ハートフル音声の例〕は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されたり、出力されないことがあります。

I 地図の操作

地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。

・呼び出し方法の特徴については、表(➡77)をご覧ください。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目の該当ページをご覧ください。

目的地の設定のとき (➡91)



目的地の追加のとき (➡114)



メモリ地点の登録のとき (➡124)



迂回メモリ地点の登録のとき (➡132)



販売店の設定のとき (➡344)



項目 (タッチスイッチ)	機能	ページ
名称	施設の名称を入力することで、その施設がある地点の地図を表示させることができます。 また、地名を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。	78
施設	さまざまなジャンルから施設を選ぶことで、その施設がある地点の地図を表示させることができます。	82
住所	地名を選び、番地を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。	83
電話番号	電話番号を入力することで、その電話番号の施設がある地点の地図を表示させることができます。 また、その電話番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。	84
郵便番号	郵便番号を入力することで、その郵便番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。	85
ジャンル	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設がある地点の地図を表示させることができます。	85
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示させることができます。(メモリ地点が登録されているときのみ。 ●124)	—
履歴	目的地履歴（過去に設定された目的地）にタッチすると、その地点の地図を表示させることができます。(目的地履歴が登録されているときのみ。●123) また、前回目的地案内を行ったときの出発した地点の地図を表示させることができます。(一度目的地案内を行わせたときのみ。)	86
マップコード	マップコードを入力することで、そのマップコードが使用されている地域の地図を表示させることができます。	87
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示させることができます。	—
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示させることができます。	—
自宅に帰る	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。(それぞれの地点が登録されているときのみ。●124)	—
特別メモリに行く 1 / 2 / 3 / 4 / 5		—
自宅周辺	登録されている地点の地図を表示させることができます。(それぞれの地点が登録されているときのみ。●124)	—
特別メモリ周辺 1 / 2 / 3 / 4 / 5		—
Gで設定	G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。(●621)	—

名称で地図を呼び出す

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面(➡80)に表示された件数が多い場合は、エリア(➡80)・ジャンル(➡81)を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知識

入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称読み入力

ひらがな入力

- 1 名称を1文字ずつタッチして入力します。



- ・間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- ・検索先の候補がない文字のタッチスイッチは灰色になり、タッチしても入力できません。
- ・1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

・漢字・カタカナ・英数字・記号で入力したいときは、**漢字入力** にタッチします。

・入力方法については、「名称文字入力」(➡78)をご覧ください。

- 2 **完了** にタッチします。

入力した文字から検索された施設名称(または地名)の全国リスト画面が表示されます。(➡80)

知識

入力することができる文字数は、最大35文字までです。

名称文字入力

名称読み入力に比べ、検索する施設名称(または地名)の件数を絞り込むことができます。

- ・「ひらがな入力」(➡78) 1で表示された画面で、**漢字入力** にタッチします。
- ・それぞれの入力画面で、**読み入力** にタッチすると入力していた文字は消去され、「ひらがな入力」1の画面にもどります。
- ・間違えて入力したときは、**修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

■ひらがな・漢字入力

- 1 **かな** にタッチし、名称を1文字ずつタッチして入力します。
- 2 **変換** にタッチします。



- ・入力したままの状態での確定したいときは、**無変換** にタッチします。

- 3 **変換** にタッチしたときは、次に表示された画面（変換する熟語リスト）で、入力する熟語にタッチします。



- ・変換する文字の範囲を修正するときは、**◀**・**▶** にタッチして、入力範囲を変更します。



- ・**全確定** にタッチすると、表示されている状態で確定されます。

- 4 2の画面が表示されますので、**完了** にタッチします。

入力した文字から検索された施設名称（または地名）の全国リスト画面が表示されます。(➡80)

知識

- ・入力制限文字数を越えて入力しようとすると、メッセージが表示され、入力できません。
 - ・未確定状態で入力可能な文字数は最大20文字です。最大入力文字数を越えると、メッセージが表示され、入力ができなくなります。この場合は、**完了** または **無変換** にタッチして、文字を確定するか、**変換** にタッチして文字列を変換してください。
- なお、確定しても入力制限文字数を越える場合は、越えた文字は削除されます。

■カタカナ、英数字・記号入力

- 1 **カナ**、または **英数字** にタッチし入力画面を切り替えます。
- 2 名称を1文字ずつタッチして入力します。

カタカナ入力時



英数字・記号入力時



- 3 **完了** にタッチします。
 入力した文字から検索された施設名称（または地名）の全国リスト画面が表示されます。(☞80)

全国リスト画面

- 1 表示させる施設名称（または地名）にタッチすると、地図が表示されます。



- ・ 同じ施設名称または、施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- ・ **エリア変更** にタッチしエリアを指定する (☞80)、または **ジャンル変更** にタッチしジャンルを指定する (☞81) ことにより、リストに表示されている施設名称（または地名）を絞り込むことができます。
- ・ **読み修正** にタッチすると、「ひらがな入力」(☞78) 1、**文字修正** にタッチすると、「ひらがな・漢字入力」(☞79) 1の画面が表示され、施設名称（または地名）を修正することができます。

- 2 まとめて表示されたリストにタッチしたときは、次に表示された画面で、施設名称にタッチすると、地図が表示されます。(☞88)



知識

施設名称のリストは、50音順と、①から近い施設（または地点）の順の2種類の並べ方をさせることができます。

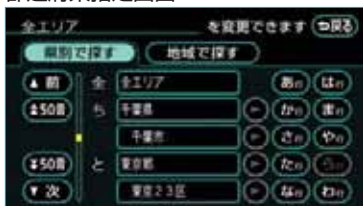
- ・ **名称順** にタッチすると、50音順に並びかわります。
- ・ **距離順** にタッチすると、①から近い施設（または地名）の順に並びかわります。
 検索された施設名称（または地名）の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。

■ エリア別検索

エリアを指定することにより、施設名称（または地名）を絞り込むことができます。

- 1 「全国リスト画面」(☞80) 1で表示された画面で、**エリア変更** にタッチします。
- 2 都道府県名にタッチします。

都道府県指定画面



- ・ **全エリア** にタッチすると、リスト画面にもどります。
- ・ 都道府県名がわからないときなどは、**地域で探す** にタッチします。

3 市区町村名にタッチします。



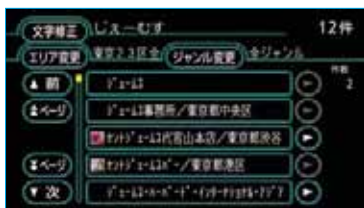
- ・ **〇〇全域** にタッチすると、指定した都道府県別リスト画面が表示されます。
- ・ **地域で探す** にタッチしたときは、地域名にタッチします。

地域指定画面



- ・ **県別で探す** にタッチすると、都道府県指定画面にもどります。

4 施設名称（または地名）にタッチすると、地図が表示されます。(88)



- ・ **ジャンル変更** にタッチし、ジャンルを指定することにより、さらに施設名称（または地名）を絞り込むことができます。(81)

施設のジャンル別検索

ジャンルを指定することにより、施設名称（または地名）を絞り込むことができます。

- 1 「全国リスト画面」(80) 1で表示された画面で、**ジャンル変更** にタッチします。
- 2 施設のジャンルにタッチし、次にさらに詳細な施設のジャンルにタッチします。



- ・ **全ジャンル** にタッチすると、リスト画面にもどります。
- ・ 地名を入力したときは、**その他** - **住所** の順にタッチすると、地名のリストが表示されます。

3 施設名称（または地名）にタッチすると、地図が表示されます。(88)



- ・ **エリア変更** にタッチし、エリアを指定することにより、さらに施設名称（または地名）を絞り込むことができます。（☎80）

知識

施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

施設で地図を呼び出す

以下の施設のジャンルから地図を呼び出すことができます。

- ・ ジャンルは、地図データの更新により変更されることがあります。

項目	ジャンル
店	デパート
	ショッピングモール
	アウトレットモール
車	レクサス販売店
	トヨタ・ダイハツ販売店
	トヨタレンタリース
	ジェームス
宿泊	ホテル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
	マリーナ
	競技場
	公営娯楽

項目	ジャンル
公共	役所
	警察署
	公園
医療	病院
交通	駅
	空港
	港
	高速IC・SA・PA
	有料IC
	道の駅
	交差点
文化	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
その他	ホール
	国際展示場
	式場
	トヨタホーム
	ハートフルプラザ

ゴルフ場・駅・ホテル・役所・空港・式場・病院・販売店（トヨタ・ダイハツ販売店）以外の項目は、**その他** にタッチしたあと選びます。

知識

- ・ トヨタ・ダイハツ販売店、トヨタレンタリースは、都道府県別のリストのあとに、販売会社別のリストがあります。
- ・ 高速IC・SA・PAは、路線別のリストがあります。
- ・ 高速IC・SA・PA以外は、都道府県別のリストがあります。
- ・ 駅、有料ICは、都道府県別のリストのあとに、路線別のリストがあります。
- ・ 交差点は、都道府県別のリストのあとに、市区町村別のリストがあります。

1 施設のジャンルにタッチします。



- ・ **その他** にタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外の施設のジャンルも表示させることができます。

2 **その他** にタッチしたときは、次に表示された画面で、施設のジャンルにタッチします。



3 都道府県名（路線名）にタッチします。



- ・ さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。

- ・ 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。

このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。

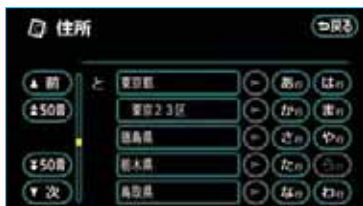
全国の〇〇 にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。

4 施設名称にタッチすると、地図が表示されます。(☎88)



住所で地図を呼び出す

1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、地名にタッチすると、地図が表示されます。



- ・地名を選んだあと、詳細がわからないときは**○○主要部**にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。
- ・丁目にタッチしたあと、**番地指定**にタッチすると、番地・号数を入力することができます。



- 2 番地指定**にタッチしたときは、次に表示された画面で、数字、または一を1つずつタッチして入力します。



- ・間違えたときは**修正**にタッチすると、1つずつ消去されます。

- 3 完了**にタッチします。入力した番地から検索された地図が表示されます。(☞88)
 - ・入力した番地に
 - ・該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
 - ・該当する住所がないときは、その丁目(字)の広域図が表示されます。

電話番号で地図を呼び出す

- 1 電話番号を1番号ずつタッチして入力します。



- ・市外局番から入力します。
 - ・間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。
- 2 完了**にタッチします。

入力した電話番号から検索された地図が表示されます。(☞88)

- ・入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- ・入力した番号に該当する施設がないとき、または入力した番号が個人住宅などのときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

- 3** 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ画面が表示されます。施設名称にタッチします。



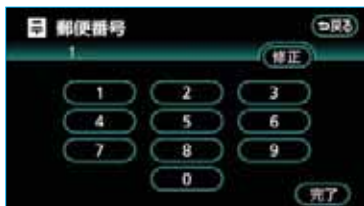
入力した電話番号から検索された地図が表示されます。(☞88)

知識

- ・同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
- ・施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- ・施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- ・地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- ・収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
- ・収録されていない電話番号を入力して表示させ目的地設定した地図の地点は、最大100カ所まで記憶されます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

郵便番号で地図を呼び出す

- 1 郵便番号を1番号ずつタッチして入力します。



- ・7桁郵便番号を入力します。
 - ・間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。
- 2 **完了** にタッチします。
入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。(☎88)

ジャンルで地図を呼び出す

現在地周辺、目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

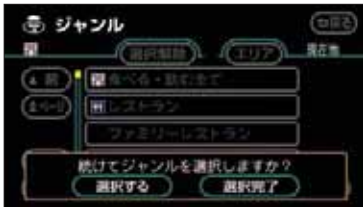
- 1 施設のジャンルにタッチし、次にさらに詳細な施設のジャンルにタッチします。



- ・5つまで選択することができます。
- ・間違えたときは **選択解除** にタッチする、またはすでに選んだ施設のジャンルにタッチすると解除されます。

2 **完了** にタッチします。

3 **選択完了** にタッチします。



・続けて施設のジャンルを選択したいときは、**選択する** にタッチします。

4 施設名称にタッチすると、地図が表示されます。(☞88)

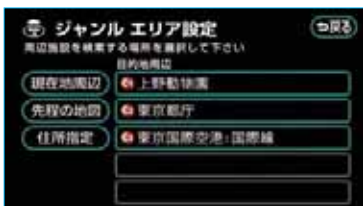


■ エリア別検索

施設を検索するエリアを変更することができます。

1 「ジャンルで地図を呼び出す」(☞85) 1で表示された画面で、**エリア** にタッチします。

2 周辺施設を表示させたい地域にタッチします。



・ **住所指定** にタッチすると、住所から周辺施設を表示させたい地域を選択することができます。

・ 選択方法については、「住所で地図を呼び出す」(☞83) 1～3をご覧ください。

3 **セット** にタッチします。



履歴で地図を呼び出す

過去にルート探索した(案内させた)ときの目的地名称にタッチします。



選択した地点の地図が表示されます。(☞88)

・ **前回出発地** にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

知識

自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

マップコードで地図を呼び出す

マップコード※とは、特定の位置の位置データをコード化し、1～13桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

※ 「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。

- 1 マップコードを1番号ずつタッチして入力します。



- ・間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

- 2 **完了** にタッチします。
入力したマップコードから検索された地図が表示されます。
(☞88)

知識

- ・マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
<http://www.e-mapcode.com>
- ・マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、位置の名称の下に表示されます。
 - ・メモリ地点 ……………☞124
 - ・迂回メモリ地点 ……………☞132

I 地図の操作

呼び出した地図の操作

ピンポイント検索

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

ピンポイント検索されたとき



ピンポイント検索されなかったとき



知識

検索された施設に、詳細な位置の情報があるときは、検索された施設の地点に 📍 が表示されます。

位置の変更

↑ にタッチして、地図を動かします。

施設の内容の表示

情報 にタッチします。

- ・情報付き施設が検索されたときの操作については、「ナビブラウザ画面の操作」(☎347) をご覧ください。

知識

施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場の検索

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

知識

- ・地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- ・施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- ・検索される駐車場は、設定した車両情報 (☎106) により異なります。また、車両寸法が入力されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

1 **提携P** にタッチします。



知識

提携P にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。

2 駐車場名称にタッチすると、駐車場の内容が表示されます。



- ・駐車場名称の右にある **地図** にタッチすると、地図が表示されます。
- ・専用駐車場は **P**、提携駐車場は **P** で表示されます。

住所の検索

■住所一覧検索

以下のときに、検索させることができます。

- ・「名称で地図を呼び出す」のリスト画面で、地名にタッチしたとき
- ・「郵便番号で地図を呼び出す」とき
- ・「電話番号で地図を呼び出す」で、該当する施設がなかったとき

1 「住所一覧」にタッチします。



2 地名にタッチすると、地図が表示されます。



- ・詳細がわからないときは、**○○主要部**にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

■周辺住所検索

以下のときに、検索させることができます。

- ・「住所一覧検索」(☉89)で、該当する住所がなかったとき
- ・「住所で地図を呼び出す」で、該当する住所がなかったとき

1 「周辺住所」にタッチします。



2 番地にタッチすると、地図が表示されます。



Ⅱ 目的地案内

Ⅱ 目的地案内では、目的地の設定のしかた、目的地への案内のしかた、ルートの変更のしかたについて説明しています。

まずは、

① 目的地を設定します。

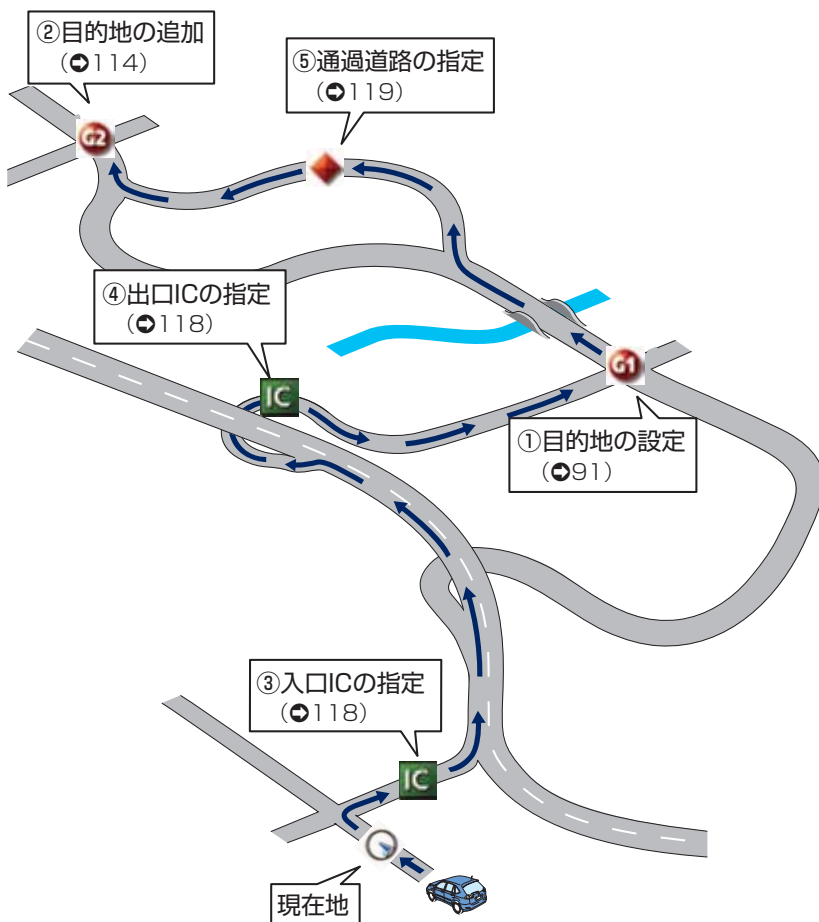
目的地をもう1カ所追加したいときは、

② 目的地の追加をご覧ください。

希望のルートでなかったときは、

③ 入口ICの指定・④ 出口ICの指定・⑤ 通過道路の指定をご覧ください。

ルート変更は、他にも方法があります。(☎114)



II 目的地案内

目的地の設定・ルート探索

目的地の設定

知識

- ・1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- ・目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大100カ所まで) 100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。(➡123)

- 1 **目的地設定**を押します。
- 2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。(➡76、88)



- 3 **目的地セット**にタッチします。



⊙の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。(➡92)

- ・設定した目的地を消去するときは、「目的地の消去」(➡117)をご覧ください。

- ・すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地**にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。



- ・**追加目的地**にタッチすると、目的地が追加されます。以降の設定方法については、「目的地の追加」(➡114) 4をご覧ください。
- ・高速道路などの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。**設定する**、または**他の道路**にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ワンタッチ設定

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

- 1 地図上にタッチします。
- 2 **目的地セット**にタッチします。



- 3 ↑にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かします。



- 4 **目的地セッ**にタッチします。
↑の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。(92)

- すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地**にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。



- 追加目的地**にタッチすると、目的地が追加されます。

知識

ワンタッチ設定した目的地は、一番初めの目的地になります。

- 高速道路などの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。**設定する**、または**他の道路**にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ルート探索

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。

知識

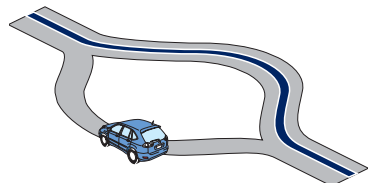
- ルート探索は、原則として幅が5.5m以上の道路のみを対象にしています。
- 高速道路や有料道路のIC・SA・PAなどでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索(112)を行ってください。

ルート学習

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内させることができます。


目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。

〔ルート学習の例〕



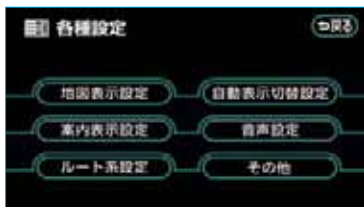
ルート学習をするか、しないか設定することができます。(➡142)

知識

- ・ルート学習する区間に、一部でも幅5.5m未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。(自宅登録時の自宅周辺除く)
- ・学習した道が使われない場合もあります。
- ・自転車位置マークが実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。(高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。)
- ・ルート学習は、ルート探索時の5ルート表示(➡97)にも反映されるため、**距離優先**を選択しても短いルートでないとき、または**一般優先**を選択しても有料道路を利用するルートが探索されるなど、いつも通る道で案内されます。
- ・地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

■ルート学習結果の消去

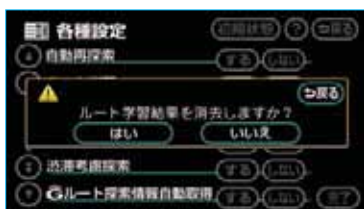
- 1 メニュー画面(➡48)で、**各種設定**にタッチします。
- 2 **ルート系設定**にタッチします。



- 3 ルート学習結果の消去の**消去する**にタッチします。



- 4 **はい**にタッチします。



全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- ・全ルート図が表示されたあと、**現在地**を押したとき、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内が開始されます。(➡98)



■表示について

表示はすべて最終の目的地までのものです。


表示	機能
1 IC名称表示	有料道路を通るときは、一番最初に一般道路から有料道路に入るICの名称が下に、一番最後に有料道路から一般道路に出るICの名称が上に表示されます。 また、IC名称表示にタッチすると、表示されている出入口ICを指定することができます。(☎118)
2 有料道路距離表示	有料道路を通るときは、目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。
3 料金案内	有料道路を通るときは、目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます。 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示させたときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金も表示されます。 (有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。)
4 距離表示	目的地までの距離が表示されます。
5 ICマーク	有料道路を通るときは、一番最初に一般道路から有料道路に入るICと、一番最後に有料道路から一般道路に出るICの位置に表示されます。
6 到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻が表示されます。(☎104) ・目的地案内中でルートからはずれたときは、目的地方向マークが表示されます。 目的地が2カ所以上設定されているときは、到着予想時刻表示にタッチすると、各目的地までの到着予想時刻に切り替えることができます。詳しくは、「残距離表示を切り替えるには」(☎110)をご覧ください。
7 残距離表示	表示されているルートの自転車位置から目的地までの距離が表示されます。 ・目的地案内中でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。 目的地が2カ所以上設定されているときは、残距離表示にタッチすると、各目的地までの残距離に切り替えることができます。(☎110)

■タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、以下のことができます。

スイッチ	機能
1 5ルート(☞97)	別のルートを表示させ、選ぶことができます。目的地案内開始後には表示されません。
2 ルート変更(☞114)	ルート変更画面を表示させることができます。
3 案内開始【目的地案内中は、案内に戻る】(☞98)	目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。目的地案内中は、現在地画面にもどります。
4 情報(☞96)	案内道路情報を表示させることができます。
5 Gルート・元ルート(☞612)	G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。







知識

- ・探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- ・料金は設定した車両情報(☞106)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・到着予想時刻は設定した平均車速(☞104)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ・交通規制(常時進入禁止、時間による進入禁止など)区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所にはが表示されることがあります。
- ・地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
- ・目的地案内開始後も全ルート図を表示させることができます。(☞110)

■ ルート表示について



ルートの表示色は、以下の4種類あります。

- ・ 青色 ()
目的地が一つするとき、または複数設定されているときは現区間（次の目的地まで）の表示
- ・ 白色 ()
目的地が複数設定されているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
- ・ 水色 ()
幅5.5m未満の道路表示 ( 96)
- ・ 橙色 ()
季節規制区間表示 ( 66)


・ 幅5.5m未満の道路表示
現在地周辺・目的地周辺では、幅5.5m未満の道路もルートが探索されます。



知識
幅5.5m未満の道路では、音声案内と画面表示（交差点案内など）による目的地案内は行われません。
また、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。

■ ルート情報（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。




全ルート図表示画面 ( 93) で、**情報** にタッチします。

- ・ 入口IC・出口IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートが分割されて表示されます。



- ・ 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
- ・ **地図** にタッチすると、それぞれの地点の地図が表示されます。

知識

- ・ 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に  が表示されます。
- ・ 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- ・ 料金は設定した車両情報 ( 106) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・ 通過予想時刻は設定した平均車速 ( 104) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

5ルート表示

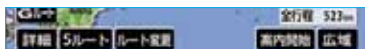
5つのルートから希望のルートを選ぶことができます。

知識

以下のときは、5ルートを表示させることはできません。

- ・目的地が2カ所以上設定されているとき
- ・通過する地点（IC・通過道路）が指定されているとき
- ・目的地案内開始後

- 1 全ルート図表示画面（☞93）で、**5ルート** にタッチします。



- ・5つのルートが5色に色分けされて表示されます。

- 2 ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。



タッチスイッチ	内容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。

タッチスイッチ	内容
別ルート	上記の4つのルートとは別のルートで案内できます。

5ルートの詳細情報

5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間が確認できます。

推奨	有料優先	一般優先	距離優先	別ルート
560km	560km	548km	485km	564km
504km	504km	0km	171km	508km
10750円	10750円	0円	4650円	11100円
8時間15分	8時間15分	18時間17分	12時間51分	8時間18分

- ・ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。

「5ルート表示」（☞97）2で表示された画面で、**全行程一覧** にタッチします。

知識

- ・料金は設定した車両情報（☞106）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・所要時間は設定した平均車速（☞104）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

Ⅱ 目的地案内

目的地案内の開始

目的地案内の開始

全ルート図表示画面 (☞93) で、**案内開始** にタッチすると、目的地案内が開始されます。



- ・全ルート図が表示されたあと、**現在地** を押したとき、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内が開始されます。

デモンストレーション (デモ)

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモを見ることができます。



- 1 全ルート図表示画面 (☞93) で、**案内開始** に約3秒以上タッチし続けます。
- 2 デモ中に、**現在地** (または **メニュー**・**目的地設定**) を押すと、デモが終了し、現在地画面になります。
 - ・デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

知識

- ・ルート探索終了後、目的地案内が開始されたあとは、デモを見ることはできません。
- ・オンルートスクロールを使っても、探索されたルートの確認ができます。(☞108)

目的地案内の中止

メニュー画面 (☞48) で、**案内中止** にタッチします。

- ・目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
 - ・消去したいときは、「目的地の消去」(☞117) をご覧ください。
- ・中止した目的地案内を再開させるときは、再度メニュー画面で、**案内再開** にタッチします。

II 目的地案内

目的地への案内

音声案内

以下のようなときに、音声案内が出力されます。

〔目的地案内中の音声案内の例〕

■分岐交差点手前

700m手前

「ポーンおよそ700m先、〇〇を右方向です。」

300m手前

「ポーンおよそ300m先、〇〇を右方向です。」

100m手前

「ポーンまもなく、右方向です。」

交差点直前

「ポーンポーン。」

■有料道路への進入時

「ポーンまもなく右方向です。その先、高速道路です。」

「ポーンこの先、料金所です。」

〇〇（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

〔目的地に到着したときの音声案内の例〕

■目的地の手前

「ポーン目的地周辺です。この先注意して走行してください。」



ポーンまもなく、
右方向です。

音声案内はあくまでも参考としてください。

〔現在地〕を押すと、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が出力されます。

- ・自動音声案内をOFFにしても出力されます。

自動音声案内をするか、しないか設定することができます。(☎141)

知識

- ・上記の〔〇〇〇音声案内の例〕は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- ・自車位置が正確に特定できないときに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- ・音声案内の音量は調節することができます。(☎75)
- ・目的地直前のルートの表示色(☎96)が、水色(幅5.5m未満の道路)のときは、自車位置マーク📍が水色のルート上になる手前で、目的地に到着したときの音声案内が出力されます。

他モードでの案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

他モードに切り替えたときに音声案内をするか、しないか設定することができます。(☎141)

知識

音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続されて行われています。

交差点案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくくと、レーンリスト図 (☛100) または交差点拡大図 (☛101) に切り替わります。また、ターンリスト図 (☛103) を表示させることもできます。

レーン (車線) リスト図表示

分岐する交差点の手前 (約700m以内) では、レーンリスト図 (走行する交差点の名称とレーン表示) を最大4つまで表示させることができます。



レーンリスト図の自動表示をするか、しないか設定することができます。(☛139)

知識

- ・レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では、交差点拡大図 (☛101) が自動的に表示されます。(交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。)
- ・レーンリスト自動表示が **しない** に設定されていても、**案内図替** からレーンリスト図を表示することができます。

レーンリスト図表示の解除

- 1 **案内図替** にタッチします。
- 2 **地図** にタッチすると、左画面に表示されている地図が1画面で表示されます。
拡大図 にタッチすると交差点拡大図 (☛101) に切り替わります。
ターンリスト にタッチするとターンリスト図 (☛103) に切り替わります。



知識

拡大図 は分岐する交差点 (300m以内) に近づくと表示されます。

- ・再度、レーンリスト図を表示させるにはこの画面で、**レーンリスト** にタッチします。



■ 交差点拡大図表示

交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点拡大図を表示させることができます。

交差点拡大図の自動表示をするか、しないか設定することができます。（☎139）

分岐しない交差点



2

1

分岐する交差点（交差点拡大図）



2

3

1

1

4

1 レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。

- ・分岐する交差点では、次に通過・分岐する交差点の車線も表示されます。
- ・走行を推奨する車線が青色で表示されます。

2 交差点名称表示

通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

3 残距離表示

交差点までの距離が表示されます。（交差点に近づくとともに ■ が短くなります。）

4 案内ポイント

通過・分岐する交差点に表示されません。

知識

- ・地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- ・レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- ・以下のようなときは、交差点案内が行われなかったりすることがあります。
 - ・目的地案内開始直後
 - ・目的地周辺
- ・交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- ・次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- ・交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- ・交差点拡大図自動表示が「しない」に設定されていても、「案内図替」から交差点拡大図を表示することができます。

■ 交差点拡大図表示の解除

拡大解除 にタッチします。

- ・再度、交差点拡大図を表示させるには、**現在地** を押します。

また、**案内図替** にタッチして画面を切り替えることができます。

1 **案内図替** にタッチします。

2 **地図** にタッチすると、左画面に表示されている地図が1画面で表示されます。

レーンリスト にタッチするとレーンリスト図（☎100）に切り替わります。

ターンリストにタッチするとターンリスト図(☉103)に切り替わります。



再度、交差点拡大図を表示させるには、この画面で、**拡大図**にタッチします。



また、**現在地**を押しても表示させることができます。

3D交差点拡大図表示

交差点拡大図を立体的(3D)に表示させることができます。



交差点拡大図を3D表示するか、3D表示しないか設定することができます。(☉140)

立体的な拡大図表示

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図を表示する場合があります。立体的な拡大図は、地図データに情報のある地点(都市高速IC入口、立体交差点、リアル交差点※、側道案内)で表示します。

※ 都市部の交差点で分岐がわかりづらい交差点で表示されます。

都市高速IC入口



立体交差点



リアル交差点



側道案内



■ ターンリスト図表示

分岐する交差点・IC・JCTなどの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。

ターンリスト図の自動表示をするか、しないか設定することができます。
(☎139)



1 案内ポイント

分岐する交差点・IC・JCT名称が表示されます。

現在地から次に分岐する交差点・IC・JCTまでは、現在走行中の路線名が表示されます。

2 距離表示

案内ポイントの区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。

3 案内方向

案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

知識

・一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約700m手前では、レーンリスト図(☎100)・交差点の約300m手前では、交差点拡大図(☎101)が自動的に表示されます。(レーンリスト自動表示・交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。)

- ・地図データに情報のない交差点・IC・JCT名称、路線名、路線番号は表示されません。
- ・ターンリスト自動表示が「しない」に設定されていても、「案内図替」からターンリスト図を表示することができます。

■ ターンリスト図表示の解除

・一般道路走行中

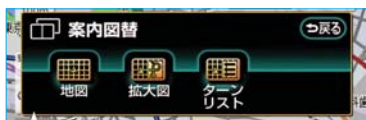
- 1 **案内図替**にタッチします。
 - ・再度、ターンリスト図を表示させたいときは、「案内図替」にタッチします。
- 2 分岐する交差点に近いときは、切り替える画面を選択する画面が表示されます。
 - ・**地図**にタッチすると、左画面に表示されている地図が1画面で表示されます。
 - ・**拡大図**にタッチすると交差点拡大図(☎101)に切り替わります。
 - ・**レーンリスト**にタッチするとレーンリスト図(☎100)に切り替わります。



知識

レーンリストは分岐する交差点(700m以内)、**拡大図**は分岐する交差点(300m以内)に近づく则表示されます。

- 再度、ターンリスト図を表示させたいときは、この画面で、**ターンリスト** にタッチします。



- 高速道路走行中

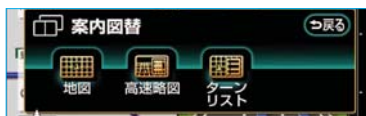
- 案内図替** にタッチします。
- 地図** にタッチすると左画面に表示されている地図が1画面で表示されます。
分岐図 にタッチすると高速分岐案内画面 (➡72) に切り替わります。
高速略図 にタッチするとハイウェイモード (➡69) に切り替わります。



知識

分岐図 は分岐点 (出口IC・JCT) が近いうちに表示されます。

- 再度、ターンリスト図を表示させたいときは、この画面で、**ターンリスト** にタッチします。



到着予想時刻の表示

全ルート図表示画面と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、地図左下に到着予想時刻を表示させることができます。



到着予想時刻表示

知識

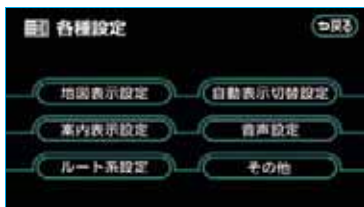
- 到着予想時刻は設定した平均車速 (➡104) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク (➡1) になります。

平均車速の設定

以下の画面を表示したときの、時刻・時間を計算する基準である平均車速を設定することができます。

- 現在地画面の到着予想時刻
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻 ……………➡93
- ハイウェイモードの通過予想時刻 ……………➡69
- ルート情報の通過予想時刻 ……➡96
- 全行程一覧表の所要時間 ……➡97

- 1 メニュー画面 (☉48) で、**各種設定** にタッチします。
- 2 **案内表示設定** にタッチします。



- 3 到着予想時刻表示の **変更する** にタッチします。



- 4 それぞれの道路の設定速度を入力します。



作動表示灯

- ・速度を上げるときは▶、下げるときは◀にタッチします。(タッチするたびに、5km/hずつ変更されます。)

- 5 **完了** にタッチします。

知識

- ・最高速度 (高速道路120km/h・有料道路80km/h・一般道路60km/h) にすると▶、最低速度 (5km/h) にすると◀が灰色になり、タッチしても操作できません。
- ・**初期状態** にタッチすると、初期設定の状態 (高速道路80km/h・有料道路60km/h・一般道路30km/h) にもどります。
- ・**VICS情報考慮** にタッチすると、VICS情報をもとに到着予想時刻を表示させることができます。VICS情報を考慮した到着予想時刻が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。また、Gルート探索 (☉612) で利用する、広域の渋滞予測情報をG-BOOKセンターから取得した場合も到着予想時刻に反映されます。

料金案内

料金案内は、料金所手前またはETCゲート通過時のどちらかで実施されます。

- ・ナビ連動タイプETCシステムが利用できないとき
料金所手前で支払予定料金の案内をします。
- ・ナビ連動タイプETCシステムが利用できるとき
ETCゲート通過時に支払った料金の案内をします。

料金案内



■料金所手前での料金案内

目的地案内中の現在地画面で料金所に近づくと、地図データ情報を利用して、支払予定料金の表示と音声案内をします。

この地図データ情報を利用した料金案内は、次の場合に実施されます。

- ・ ETCシステムを装着していないとき
- ・ ナビ連動しないETCシステムを装着しているとき
- ・ ナビ連動タイプETCシステムを装着しているも、ETCカードを挿入していないとき

料金案内をするか、しないか設定することができます。(☎140)

知識

- ・ 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- ・ 料金は設定した車両情報 (☎106) のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・ 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行なわれると、実際と異なる料金を案内されることがあります。
- ・ 出発した地点がわからないとき (有料道路内で再探索をしたときなど)、または有料道路内に目的地を設定したときなどは、「料金不明」と表示されます。

■ETCゲート通過時の料金案内

ナビ連動タイプETCシステムを装着し、有効期限内のETCカードを挿入している場合は、ETC情報を利用したETC割込情報により、支払った料金がETCゲート通過時に案内されます。(☎407)

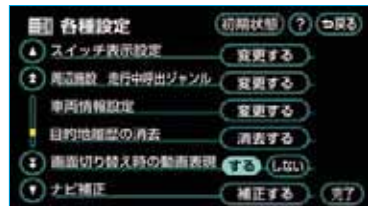
車両情報の設定

以下の画面を表示したときの、料金の計算、および提携駐車場 (☎88) を検索させるときの基準である車両情報を設定することができます。

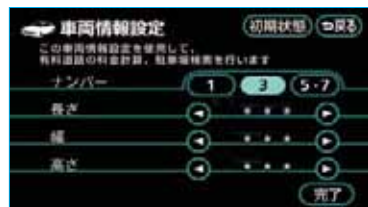
- ・ 現在地画面の料金案内 ……☎105
- ・ 全ルート図表示画面の料金案内 ……☎93
- ・ ルート情報の料金案内 ……☎96
- ・ 全行程一覧表の料金案内 ……☎97

1 「平均車速の設定」(☎104) 2で表示された画面で、**その他** にタッチします。

2 車両情報設定の**変更する** にタッチします。



3 お客様の車のナンバープレートの分類番号 (**1**・**3**・**5・7**) にタッチします。



4 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。

- ・寸法を大きくするときには▶、小さくするときには◀にタッチします。（タッチするたびに、10cmまたは5cmずつ変更されます。）

5 **完了** にタッチします。

知識

- ・目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- ・車両寸法については、車検証をご覧ください。
- ・最大寸法（長さ600cm以上・幅250cm以上・高さ300cm以上）にすると▶、最小寸法（長さ450cm以下・幅160cm以下・高さ150cm以下）にすると◀が灰色になり、タッチしても操作できません。
- ・**初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（寸法が入力されていない状態）にもどります。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は **---**（破線）で表示されます。



- ・フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- ・フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

II 目的地案内

案内中の操作

オンルートスクロール

出発した地点、または目的地まで、ルートにそって地図を自動で移動させることができます。

- ・ルート沿いの施設やVICS情報を確認することができます。

知識

以下のときは、オンルートスクロールをさせることはできません。

- ・表示させていた地図にルートが表示されていないとき
- ・高速路線マップ（➡71）を表示しているとき

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。
- 2 **オンルートスクロール** にタッチします。



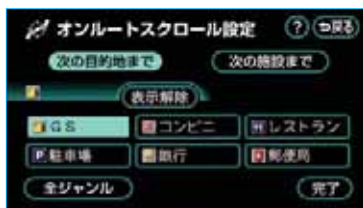
- 3 スクロールの項目（▶G・◀G・▶G・◀G）にタッチします。



- ・設定されているスクロールの条件により、スクロールのされ方が異なります。（➡108）

- ・スクロールの条件（次の目的地まで／次の施設まで）、または施設を変更するときは、**設定** にタッチします。

- 4 **設定** にタッチしたときは、次に表示された画面で、スクロールの条件・施設を選びます。（➡108、109）



- 5 **完了** にタッチします。
 - ・3の画面にもどりますので、スクロールの項目を選びます。

条件の選択

次の目的地まで、または**次の施設まで** にタッチします。

■ 次の目的地まで

- ▶G …次の目的地まで、地図が移動されます。
- ◀G …出発した地点まで、地図が移動されます。
- ▶G …目的地の地図が表示されます。
- ◀G …出発した地点の地図が表示されます。

知識

目的地が2カ所以上設定されているときは、上記の地点が

- ・目的地 ……次の目的地
- ・出発した地点…前の目的地になります。

■ 次の施設まで

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

▶…目的地方向で、最寄りの施設まで地図が移動されます。

◀…出発した地点の方向で、最寄りの施設まで地図が移動されます。

▶…目的地方向で、最寄りの施設の地図が表示されます。

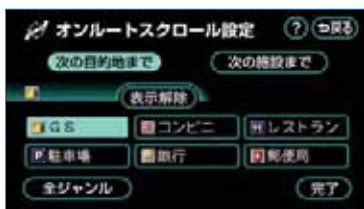
◀…出発した地点の方向で、最寄りの施設の地図が表示されます。

知識

1/8万図より広域の地図を表示させていたときは、**次の施設まで**のスクロールをさせることはできません。

施設の選択

1 施設にタッチします。

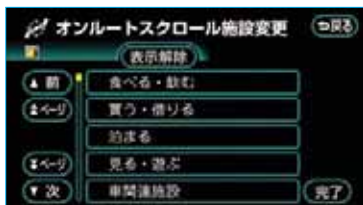


- ・5つまで選択することができます。
- ・**全ジャンル**にタッチすると、3の画面が表示され、タッチスイッチに表示されている以外の施設の記号も表示させることができます。
- ・間違えたときは**表示解除**にタッチする、またはすでに表示されている施設のジャンルにタッチすると解除されます。

2 **完了**にタッチします。

「オンルートスクロール」(☉108) 3の画面が表示されますので、スクロール項目を選びます。

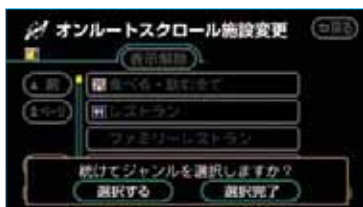
3 **全ジャンル**にタッチしたときは、次に表示された画面で、施設のジャンルにタッチし、次にさらに詳細な施設のジャンルにタッチします。



- ・5つまで選択することができます。
- ・間違えたときは**表示解除**にタッチする、またはすでに表示されている施設のジャンルにタッチすると解除されます。

4 **完了**にタッチします。

5 **選択完了**にタッチします。



- 「オンルートスクロール」(☉108) 3の画面が表示されますので、スクロール項目を選びます。
- ・複数選択するときは、**選択する**にタッチします。

知識

オンルートスクロールでの施設の選択と、通常の地図画面での施設表示(☉61)は別の設定のため、オンルートスクロールで施設を変更しても、通常の地図画面の施設は変更されません。

スクロール画面

- ・ **||** にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
- ・ **▶◀** (または **5◀◀**) にタッチすると、移動が早送りされます。



全ルート図を表示させるには

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。
- 2 **全ルート** にタッチします。



- ・ 全ルート図表示画面の詳しい内容については、「全ルート図表示」(☎93) をご覧ください。

全ルート図表示縮尺切り替え

目的地が設定されているときに、現在地から目的地までの全ルートを表示し、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

- 1 **広域**、または **詳細** にタッチします。

- 2 **📍** にタッチします。



知識

- ・ 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。
- ・ 走行中は安全のため、スイッチにタッチして全ルート図表示縮尺に切り替えることはできません。

残距離表示を切り替えるには

目的地が2カ所以上設定されているとき、切り替えることができます。

- 1 残距離表示にタッチします。



残距離表示

- ・ 目的地が2カ所のときは、タッチするごとに各目的地までの残距離表示に切り替わります。

- 2 表示させたい目的地までの残距離表示にタッチします。



- ・到着予想時刻を表示させているときは、到着予想時刻も目的地にあわせて切り替わります。

知識

状況により目的地までの距離の数値が異なります。

- ・現在地がルート上にあるとき
……表示されているルートを通っての距離
- ・ルートからはずれたとき
……直線距離

Ⅱ 目的地案内

ルートの再探索・変更

探索されたルートを変更するとき、または現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときに、ルートを再度探索させることができます。

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索*させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

* 現在地と次の目的地の間にIC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているIC・通過道路の間で、ルートが探索されます。

自動再探索をするか、しないか設定することができます。(☎142)

知識

自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をさせることができます。

再探索されるルートは、8つの項目（探索条件）を選ぶことにより異なります。

- 1 現在地画面で、**再探索** にタッチします。
- 2 再探索させる項目にタッチすると、ルート探索が開始されます。



- ・ **ルート変更** にタッチしたときは、ルート変更画面が表示されます。(☎114)

知識

- ・ **次の消去** にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して、再探索をさせることができます。
- ・ **次の解除** にタッチすると現在地の次の通過道路、**IC指定解除** にタッチするとICの指定を解除して、再探索をさせることができます。
- ・ **Gルート探索**・**取得中止**は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。詳しくは、「再探索でGルート探索する」(☎613)をご覧ください。

項目 (タッチスイッチ)	機能
推奨	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、一般的なルートが探索されます。
有料優先	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。
一般優先	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、一般道路を優先してルートが探索されます。
距離優先	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、距離の短いルートが探索されます。
別ルート	現在地から次の目的地 ^{※3} の間で、選ばれているルートとは別のルートが探索されます。
周辺迂回 ^{※1}	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索します。(探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。) ・目的地案内開始前にはできません。
有料道路から探索／ 一般道から探索 ^{※2}	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートが探索されます。 ・目的地案内開始前にはできません。
Gルート探索／ 取得中止	G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。(☎613)

※1 ルートからはずれたときは、表示されません。

※2 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※3 現在地と次の目的地の間にIC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているIC・通過道路の間で、ルートが探索されます。

知識

- ・「〇〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**有料優先**にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般優先**にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- ・道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ・ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地 (IC・通過道路) に向かうルートが再探索されます。

ルート変更

再探索画面 (☛112)、または全ルート図表示画面 (☛93) で、**ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面が表示されます。



ルート変更画面では、以下のことができます。

- ・探索条件の変更☛114
- ・出入口ICの指定・解除☛118
- ・目的地の追加☛114
- ・目的地の並び替え☛116
- ・目的地の消去☛117
- ・通過道路の指定☛119
- ・通過道路の修正☛120
- ・通過道路指定の解除☛121
- ・季節規制区間の迂回ルート探索☛122

探索条件の変更

目的地または通過道路が設定されているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

- 1 ルート変更画面 (☛114) で、**探索条件変更** にタッチします。

- 2 それぞれの区間の探索条件 (ルート名称) にタッチします。



知識

- ・探索条件の特徴については、「ルートの再探索」(☛112) をご覧ください。
- ・最初の目的地までの区間のみ **別ルート** が表示されます。

- 3 **探索開始** にタッチすると、ルート探索が開始されます。

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

- ・5カ所まで設定することができます。
- ・すでに5カ所設定されているときは、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください。目的地を消去するときは、「目的地の消去」(☛117) をご覧ください。

以下のようなときに、追加して目的地を設定します。

- ・設定した目的地と現在地の間で、通過目的地を設定するとき
- ・設定した目的地を通過目的地に変更し、新しく目的地を設定するとき

知識

- ・1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- ・目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大100カ所まで) 100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。(➡123)
- ・すでにIC・通過道路(➡118、119)が指定されているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

下記の1～3までの操作は、**目的地設定**を押して(目的地の設定と同じ方法で)、追加することもできます。(➡91)

- 1 ルート変更画面(➡114)で、目的地・通過目的地の**追加**にタッチします。

知識

1カ所のみ目的地が設定されているときは、**並び替え**が灰色になり、タッチしても操作できません。

- 2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。(➡76、88)



- 3 **目的地セット**にタッチします。



📍の位置に目的地がG記号で表示されます。

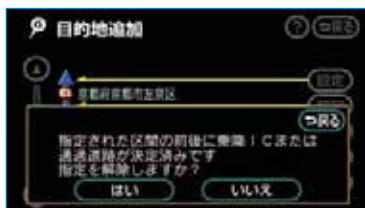
- ・高速道路などの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。**設定する**、または**他の道路**にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



- 4 目的地を設定する区間の**設定**にタッチします。



- ・ IC・通過道路が指定されているときは、次に表示された画面で **はい** にタッチします。



- IC・通過道路指定は解除されます。
- ・ **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。

- 5 ルート変更画面にもどったときは、 **探索開始** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



- ・ さらに追加して目的地を設定するときは、 **追加** にタッチすると、2の画面が表示されます。

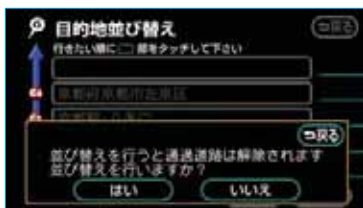
目的地の並び替え

知識

IC・通過道路 (➡118、119) が指定されているときは、目的地を並び替えると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

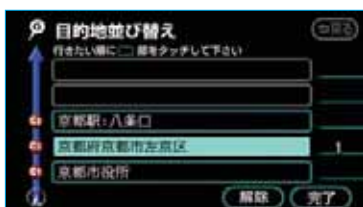
- 1 ルート変更画面 (➡114) で、目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチします。

- ・ IC・通過道路が指定されているときは、次に表示された画面で **はい** にタッチします。



- IC・通過道路指定は解除されます。
- ・ **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。

- 2 現在地の次に行く目的地から順に、目的地名称にタッチします。



- ・ タッチした目的地名称の右側に、新しい順番が表示されます。
- ・ 間違えたときは **解除** にタッチすると、選ばれていた順番が1つずつ解除されます。
- ・ すでに選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。

- 3 **完了** にタッチします。
- ・ 最終目的地の1つ手前の目的地を選択すると、 **完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に最終目的地が決定され、4の画面が表示されます。

- ・すべての目的地名称にタッチしないで、**完了**にタッチしたときは、タッチした目的地名称のみが手前になった順番になります。

- 4 **探索開始**にタッチすると、ルート探索が開始されます。



目的地の消去

知識

すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。

- 1 ルート変更画面 (☞114) で、目的地・通過目的地の**消去**にタッチします。

- ・1カ所のみ設定されていたときは、3の画面が表示されます。

- 2 目的地名称にタッチします。



- ・すべての目的地を消去するときは、**全消去**にタッチします。

- 3 **はい**にタッチします。



- ・すべての目的地を消去したとき、または1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面が表示されます。

- 4 ルート変更画面にもどったときは、**探索開始**にタッチすると、ルート探索が開始されます。



また、以下の2通りの方法で目的地を消去することもできます。

目的地設定画面からの消去方法

- 1 **目的地設定**を押します。
- 2 **目的地消去**にタッチします。



- ・「目的地の消去」(☞117) 2の画面が表示されます。
- ・1カ所のみ設定されていたときは、「目的地の消去」(☞117) 3の画面が表示されます。

■地図画面からの消去方法

- 1 地図上の、消去したい目的地にタッチします。
- 2 **情報** にタッチします。



- 3 **消去** にタッチします。



- ・「目的地の消去」(☎117) 3の画面が表示されます。

■出入口ICの指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口IC(インターチェンジ)・入口ICを1カ所ずつ指定することができます。

- 1 全ルート図表示画面(☎93)、またはルート変更画面(☎114)で、変更するIC名称表示にタッチします。

- 2 IC指定画面の左画面で、指定したいIC付近に地図を動かします。右画面で▲・▼・**次路線**にタッチして、ICを切り替えることもできます。



- ・**次路線**はJCTがあり分岐するときのみ表示されます。
- ・地図にタッチせず、右画面で▲・▼・**次路線**にタッチしてICを切り替えたときは、指定したいIC名称にタッチします。
- ・スマートIC(ETC専用インターチェンジ)を選択することもできます。このとき、ETC車載機の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

- 3 **探索開始** にタッチします。

- ・指定したICに出口(または入口)が2カ所以上あるときは次に表示された画面で、**セット** にタッチします。



- ・希望の出口(または入口)ではないときは、**次候補** にタッチして、出口(または入口)を選びます。

- 4 ルート変更画面にもどったときは、**探索開始** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



IC指定の解除

「出入口ICの指定」(☞118) 2で表示された画面で、**出口解除** (または**入口解除**) にタッチします。



通過道路の指定

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

- ・2カ所まで指定することができます。
- ・すでに通過道路が2カ所指定されているときは、通過道路指定を解除してから指定しなおしてください。(☞121)

知識

ICが指定されているとき(☞118)、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

- 1 ルート変更画面(☞114)で、通過点(通過道路指定)の**指定**にタッチします。

知識

通過道路が指定されていないときは、**修正**・**解除**が灰色になり、タッチしても操作できません。

- 2 通過道路を指定する位置に地図を動かします。



- 3 **通過道路セット** にタッチします。

知識

1/8万図より広域な地図を表示させていたときは、1/8万図に切り替わります。

4 **セット** にタッチします。



通過道路が **◆** 記号で指定されます。
・希望の通過道路でないときは、**次候補** にタッチして、通過道路を選びます。

知識

表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

5 目的地が2カ所以上設定されているとき、またはIC・通過道路が指定されているときは、次に表示された画面で、通過道路を指定する区間の**設定** にタッチします。



6 ルート変更画面にもどったときは、**探索開始** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



■ワンタッチ指定

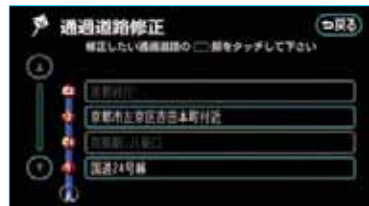
- 1 全ルート図表示画面 (☉93) で、地図上にタッチし、通過道路を指定する位置に地図を動かします。
- 2 **通過道路指定** にタッチします。



・以降の設定方法については、「通過道路の指定」(☉119) 4~5をご覧ください。

■通過道路の修正

- 1 ルート変更画面 (☉114) で、通過点 (通過道路指定) の**修正** にタッチします。
・1カ所のみ指定されていたときは、3の画面が表示されます。
- 2 道路名称にタッチします。



- 3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。




- ・道路の種類を変更するだけのときは、地図を動かす必要はありません。

- 4 **通過道路セット** にタッチします。

- 5 **セット** にタッチします。



- 通過道路が  記号で指定されます。
- ・希望の通過道路でないときは **次候補** にタッチして、通過道路を選びます。

知識

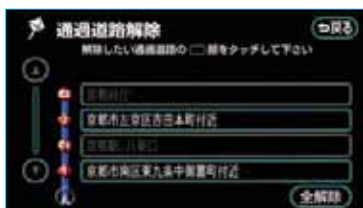
表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

- 6 **探索開始** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



通過道路指定の解除

- 1 ルート変更画面 (114) で、通過点 (通過道路指定) の **解除** にタッチします。
 - ・1カ所のみ指定されていたときは、3の画面が表示されます。
- 2 道路名称にタッチします。



- ・すべての通過道路指定を解除するときは、**全解除** にタッチします。

- 3 **はい** にタッチします。



- 4 **探索開始** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



季節規制区間の迂回ルートの探索

ルート変更画面 (☎114) で、**季節規制回避** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



- 再度、季節規制区間を通るルートを探させるときは、この画面で、**季節規制通過** にタッチします。

知識

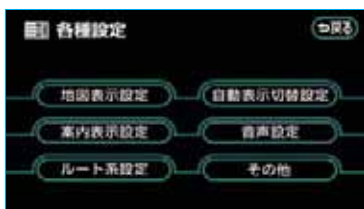
- 季節規制回避** (または **季節規制通過**) は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき (規制区間に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど) は、**季節規制回避** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

II 目的地案内

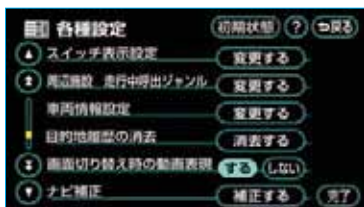
目的地履歴の消去

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大100カ所まで) 100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

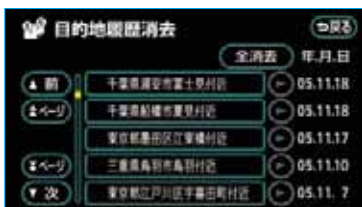
- 1 メニュー画面 (➡48) で、**各種設定** にタッチします。
- 2 **その他** にタッチします。



- 3 目的地履歴の消去の **消去する** にタッチします。



- 4 地点名称にタッチします。



- ・すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。

- 5 **はい** にタッチします。



Ⅲ地点の登録

メモリ地点の登録

メモリ地点（目印にする場所）は、地図に500カ所〔メモリ地点400カ所（自宅1カ所・特別メモリ地点5カ所含む）・Gメモリ地点（➡614）100カ所〕まで登録することができます。（すでに500カ所登録されているときは、不要なメモリ地点を消去してから登録してください。）

メモリ地点を登録しておくと、

- ・地図に記号で表示されます。
- ・近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- ・目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。（➡76）

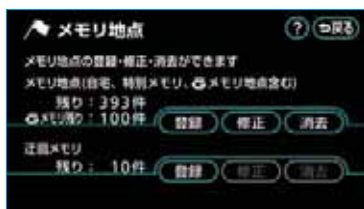
さらに、自宅、または特別メモリ地点に登録しておけば、地図を呼び出すときに、ほかのメモリ地点と異なり、1回の操作で呼び出すことができます。また、目的地の設定のときは、目的地設定画面から1回の操作でルート探索を開始させることができます。（➡76）

知識

- ・1/8万図より詳細な地図で登録することができます。（現在地画面のワンタッチ登録を除く）
- ・登録したメモリ地点は、住所とマップコードが表示されます。
- ・登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

メモリ地点の登録

- 1 メニュー画面（➡48）で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 メモリ地点（自宅、特別メモリ、Gメモリ地点含む）の**登録** にタッチします。



知識

メモリ地点（自宅、特別メモリ、Gメモリ地点含む）が登録されていないときは、**修正**・**消去** が灰色になり、タッチしても操作できません。

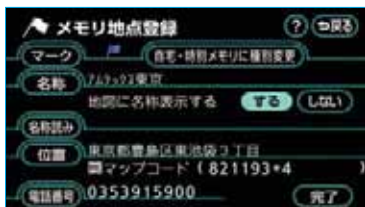
- 3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。（➡76、➡88）



- 4 **セット** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。



・自宅・特別メモリ地点に登録したいときは、

自宅・特別メモリに種別変更 にタッチします。

以降の操作方法については、「自宅・特別メモリ地点に登録」(☎130) をご覧ください。

ワンタッチ登録

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

- 1 地図上にタッチし、メモリ地点を登録する位置に地図を動かします。
 - ・現在地に登録するときは、地図を動かす必要はありません。

2 **地点登録** にタッチします。



📍 (または📍) の位置にメモリ地点が📍で表示されます。

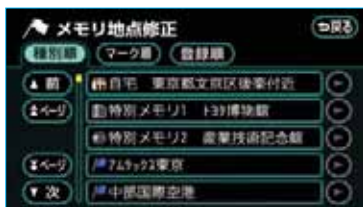
知識

高速道路走行中、現在地に登録したときは、方向付きメモリ📍で表示されます。

メモリ地点の修正・入力

- 1 「メモリ地点の登録」(☎124) 2 で表示された画面で、メモリ地点(自宅、特別メモリ、Gメモリ地点含む)の**修正**にタッチします。

2 メモリ地点名称にタッチします。



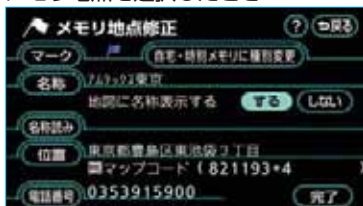
知識

メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

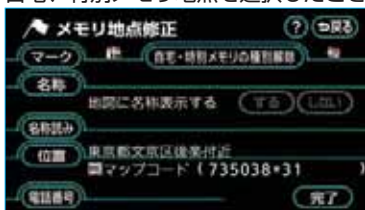
- ・ **種別順** にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並びかわります。
- ・ **マーク順** にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。
- ・ **登録順** にタッチすると、メモリ地点の登録順に並びかわります。

3 修正、入力する項目にタッチします。

メモリ地点を選択したとき



自宅、特別メモリ地点を選択したとき



- 修正、入力方法については以降のページをご覧ください。
- ・自宅・特別メモリに種別変更
..... ➡130
- ・自宅・特別メモリの種別解除
..... ➡131
- ・マーク ➡126
- ・名称 ➡127
- ・地図上の名称表示 ➡129
- ・名称読み ➡129
- ・位置 ➡129
- ・電話番号 ➡130

4 **完了** にタッチします。

また、以下の方法でメモリ地点を修正することもできます。

■地図画面からの修正方法

1 地図上の、修正したいメモリ地点にタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **修正** にタッチします。



- ・「メモリ地点の修正・入力」
(➡125) 3の画面が表示されます。

メモリ地点の記号変更

1 「メモリ地点の修正・入力」

(➡125) 3で表示された画面で、**マーク** にタッチします。

2 **マーク1**・**マーク2**・**マーク3**・**音声付き** にタッチして、希望のマークを選びます。



- ・「マーク3」の**マーク無し** にタッチすると、登録したメモリ地点のマークは地図に表示されません。

マーク3

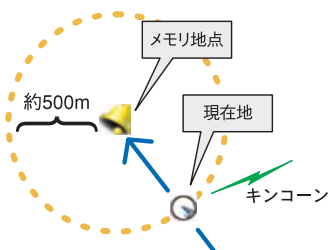


- ・「音声付き」の記号を選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

音声付き

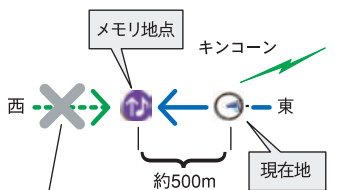


- ・ **音確認** にタッチすると、メモリ地点に近づいたときに鳴る音が確認できます。



- ・ 「音声付き」の **方向付きメモリ** にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。

例えば、東西に走る道路では、東側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、西側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。



この方向から近づいたときは音が鳴りません

- 3 **方向付きメモリ** にタッチしたときは、次に表示された画面で、方向を設定します。



- ・ 方向を反時計まわりに動かすときは **↓**、時計まわりに動かすときは **↑** にタッチします。

- 4 **セット** にタッチします。

メモリ地点の名称入力

「メモリ地点の修正・入力」(☉125) 3で表示された画面で、**名称** にタッチします。

以下の4種類の入力方法があります。すでに名称が表示されているとき、または間違えて入力したときは、**修正** にタッチして名称を消去します。

知識

入力することができる文字数は、最大35文字（半角のみ）のときは70文字）までです。

ひらがな・漢字入力

- 1 **かな** にタッチし、名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 2 **変換** にタッチします。



- ・入力したままの状態（ひらがな）で確定したいときは、**無変換** にタッチします。

3 **変換** にタッチしたときは、次に表示された画面（変換する熟語リスト）で、入力する熟語にタッチします。



- ・変換する文字の範囲を修正するときは、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更します。



- ・**全確定** にタッチすると、表示されている状態で確定されます。

4 2の画面が表示されますので、**完了** にタッチします。

知識

- ・未確定状態で入力可能な文字は最大20文字です。最大入力文字数を越えると、メッセージが表示され、入力ができなくなります。この場合は、**完了** または **無変換** にタッチして、文字を確定するか、**変換** にタッチして文字列を変換してください。
- ・なお、確定しても入力制限文字数を越えている場合は、越えた文字は削除されます。

- ・入力制限文字数を越えて入力しようとすると、メッセージが表示され、入力できません。

■カタカナ・英数字・数記号入力

1 **カナ**・**英数字**・**数記号** のいずれかにタッチし、入力画面を切り替えます。

2 名称を1文字ずつタッチして入力します。

カタカナ入力時



英数字入力時



数記号入力時



- ・**半角**（または**全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えることができます。

- ・英数字入力時は、**大文字**（または**小文字**）にタッチして、入力する文字の書体を切り替えることができます。

3 **完了** にタッチします。

メモリ地点の名称表示

地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。

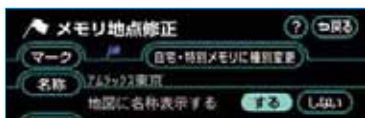


知識

1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。

メモリ地点の名称を表示するか、表示しないか選ぶことができます。

「メモリ地点の修正・入力」(☉125) 3で表示された画面で、地図に名称表示するの右側にある**する**、または**しない**にタッチします。



メモリ地点の名称読み入力

知識

- ・メモリ地点に名称読みを入力しておくと、そのメモリ地点は、音声操作で地図を呼び出すことができます。(☉304)

- ・入力することができる文字数は、最大24文字までです。

- 1 「メモリ地点の修正・入力」(☉125) 3で表示された画面で、**名称読み**にタッチします。
- 2 名称を1文字ずつタッチして入力します。



- ・間違えたときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

3 **完了** にタッチします。

メモリ地点の位置修正

- 1 「メモリ地点の修正・入力」(☉125) 3で表示された画面で、**位置**にタッチすると、地図が表示されます。
- 2 **↑**にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。



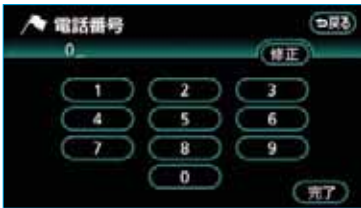
- 3 **セット** にタッチします。
 - ・位置を修正すると、表示されている位置の住所とマップコードも修正されます。

メモリ地点の電話番号入力

知識

- ・メモリ地点に電話番号を入力しておく、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。(☎84)
- ・入力することができる桁数は、最大11桁までです。

- 1 「メモリ地点の修正・入力」(☎125) 3で表示された画面で、**電話番号**にタッチします。
- 2 電話番号を1番号ずつタッチして入力します。



- ・市外局番から入力します。
- ・間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。

- 3 **完了**にタッチします。

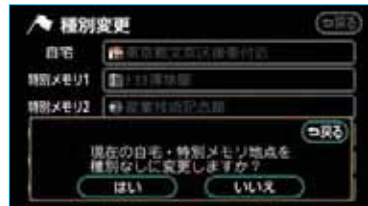
自宅・特別メモリ地点に登録

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

- 1 「メモリ地点の修正・入力」(☎125) 3で表示された画面で、**自宅・特別メモリに種別変更**にタッチします。
- 2 自宅、または特別メモリ1~5のいずれかにタッチします。



- 3 すでに自宅、または特別メモリ地点が登録されているときは、次に表示された画面で、**はい**にタッチします。



登録されていた地点は、メモリ地点になります。

- ・**いいえ**にタッチすると、もとの画面にもどります。

■自宅、特別メモリ地点の解除

自宅、または特別メモリ地点に登録されている地点をメモリ地点に変更することができます。

1 「メモリ地点の修正・入力」(☉125) 3で表示された画面で、**自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。

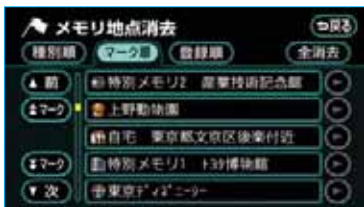
2 **はい** にタッチします。



メモリ地点の消去

1 「メモリ地点の登録」(☉124) 2で表示された画面で、メモリ地点(自宅、特別メモリ、Gメモリ地点含む)の**消去**にタッチします。

2 地点名称にタッチします。



・すべてのメモリ地点(自宅、特別メモリ、Gメモリ地点含む)を消去するときは**全消去**にタッチします。

3 **はい** にタッチします。



また、以下の方法でメモリ地点を消去することもできます。

■地図画面からの消去方法

1 地図上の、消去したいメモリ地点にタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **消去** にタッチします。



・「メモリ地点の消去」(☉131) 3の画面が表示されます。

Ⅲ地点の登録

迂回メモリ地点の登録

迂回メモリ地点を登録しておく、ルートを探させるとき、登録した地点（エリア）を迂回するルートを探させることができます。

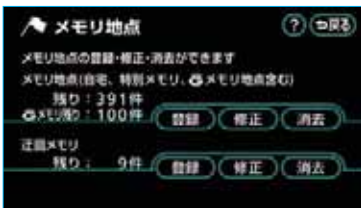
工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。迂回メモリ地点は、地図に10力所まで登録することができます。（10力所登録されているときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。）

知識

- ・1/8万図より詳細な地図で登録することができます。
- ・登録した迂回メモリ地点は、住所とマップコードが表示されます。
- ・迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- ・登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。

迂回メモリ地点の登録

- 1 メニュー画面 (☉48) で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 迂回メモリの**登録**にタッチします。



知識

迂回メモリ地点が登録されていないときは、**修正**・**消去** が灰色になり、タッチしても操作できません。

- 3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。(☉76、88)



- 4 **セット** にタッチします。



- 5 迂回させる範囲を広くするときは▲、狭くするときは▼にタッチします。



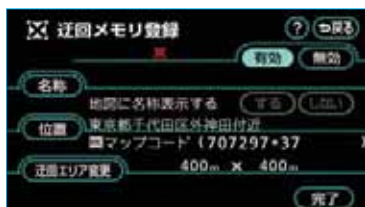
- ・▲・▼の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

知識

- ・最大範囲にすると▲、最少範囲（迂回地点 \times ）にすると▼が灰色になり、タッチしても操作できません。
- ・高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。迂回させたいときは、迂回地点 \times を道路上に設定してください。

6 **セット** にタッチします。

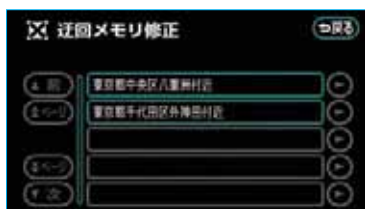
7 **完了** にタッチします。



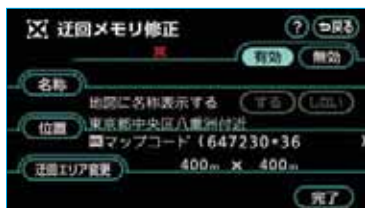
迂回メモリ地点の修正・入力

1 「迂回メモリ地点の登録」(☛132) 2で表示された画面で、迂回メモリの**修正**にタッチします。

2 地点名称にタッチします。



3 修正、入力する項目にタッチします。



・修正、入力方法については以降のページをご覧ください。

- ・名称☛127
- ・地図上の名称表示☛129
- ・位置☛129

・迂回させる範囲を変更するときは、**迂回エリア変更**にタッチすると、「迂回メモリ地点の登録」(☛132) 5の画面が表示されます。

・**無効**にタッチすると、迂回メモリ地点に登録してあっても、迂回するルートは探索されなくなります。

・**有効**にタッチすると、迂回するルートを探させることができます。

4 **完了** にタッチします。

知識

迂回メモリ地点は専用の記号で表示され、記号を変更することはできません。

迂回メモリ地点の消去

1 「迂回メモリ地点の登録」(☛132) 2で表示された画面で、迂回メモリの**消去**にタッチします。

2 地点名称にタッチします。



・すべての迂回メモリ地点を消去するときは、**全消去**にタッチします。

3 **はい** にタッチします。



IV ナビを使いこなすために

補正が必要なとき

地図の自転車位置マーク④がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

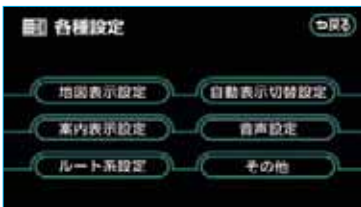
知識

1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

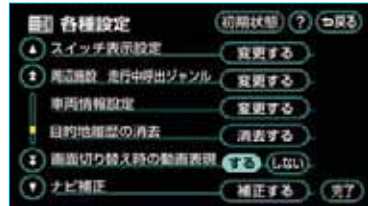
現在地の修正

実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク④が表示されている(自転車位置マーク④がずれている)とき、自転車位置マーク④の位置と向いている方向を修正することができます。

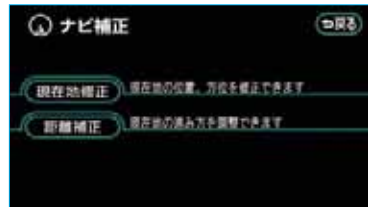
- 1 メニュー画面(➡48)で、**各種設定**にタッチします。
- 2 **その他**にタッチします。



- 3 ナビ補正の**補正する**にタッチします。



- 4 **現在地修正**にタッチします。



- 5 上↑にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。



- 6 **セット**にタッチします。

- 7 方向を反時計まわりに動かすときは下↓、時計まわりに動かすときは右→にタッチします。



- 8 **セット**にタッチします。

距離の補正

走行中、地図の自転車位置マーク④の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自転車位置マーク④の進み方を修正することができます。

知識

- ・新車時は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。
- ・自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自転車位置マーク④の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- ・自動補正モード中は、補正をすることはできません。

1 「現在地の修正」(☉134) 4で表示された画面で、**距離補正**にタッチします。

2 補正を行います。



初期設定の状態

- ・自転車位置マーク④の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは **▶** (進める)、早く進むときは **◀** (遅らせる) にタッチします。

知識

- ・最も進めると **▶**、最も遅らせると **◀** が灰色になり、タッチしても操作できません。
- ・**初期状態** にタッチすると、初期設定に状態にもどります。

3 **完了** にタッチします。

自動補正

タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。

「距離の補正」(☉135) 2で表示された画面で、**自動補正** にタッチします。

- ・自動補正モード中はタッチスイッチの色が灰色になります。
- ・GPS情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチの色がもとにもどります。

IV ナビを使いこなすために

ナビの設定を記憶したいとき

各種ナビ設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。

記憶されている中から、ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

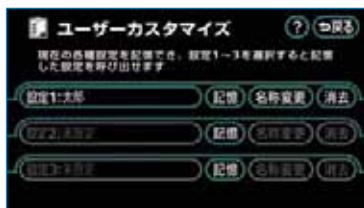
記憶することのできる設定項目

項目	ページ
地図向きの設定	53
地図表示モードの設定	55、56
地図表示縮尺の設定	52
2画面時の右画面の設定	55
音量設定	75
メンテナンス自動通知の設定	343
メニュー画面の各種設定項目の設定※	48、49
VICS地図表示の設定	154
VICS道路表示内容の設定	154
VICS割込み設定	158
ETCの設定	408

※車両情報設定は記憶することができません。

各種ナビ設定の記憶

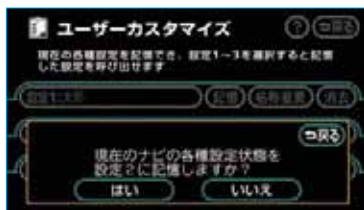
- 1 各種ナビ設定を記憶したい状態に設定します。
 - ・現在の設定をそのまま記憶するときは、変更する必要はありません。
- 2 メニュー画面 (●48) で、**ユーザーカスタマイズ** にタッチします。
- 3 設定1～3の右側にある **記憶** にタッチします。



知識

各種ナビ設定が記憶されていないときは、**名称変更**、**消去** が灰色になり、タッチしても操作できません。

- 4 **はい** にタッチします。



- ・ **いいえ** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- ・ 3ですでに記憶されている設定を選んだときは、**はい** にタッチすると上書きされます。

- 5 新規で記憶するときは、次に表示された名称変更画面で、名称を入力します。(●127)

記憶の呼び出し

「各種ナビ設定の記憶」(☉136) 3で表示された画面で、設定1～3のいずれかにタッチします。

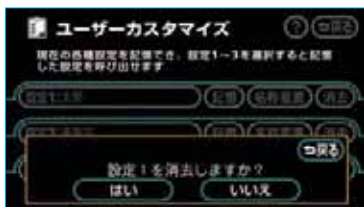
- ・タッチしたタッチスイッチに記憶されている各種ナビ設定の状態に設定を変更します。

名称の変更

- 1 「各種ナビ設定の記憶」(☉136) 3で表示された画面で、設定1～3の右側にある**名称変更**にタッチします。
- 2 名称変更画面で、修正、入力します。(☉127)

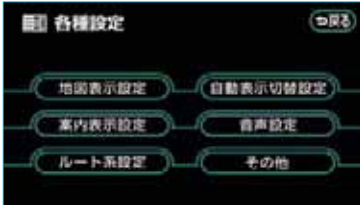
各種ナビ設定の記憶の消去

- 1 「各種ナビ設定の記憶」(☉136) 3で表示された画面で、設定1～3の右側にある**消去**にタッチします。
- 2 **はい**にタッチします。



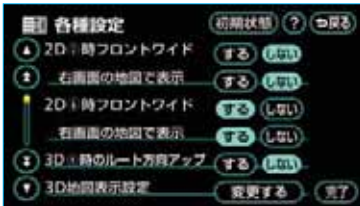
IV ナビを使いこなすために

各種設定機能一覧



1 メニュー画面 (➡48) で、**各種設定** にタッチします。

2 設定したい項目にタッチします。



・ナビのいろいろな機能の設定をすることができます。

詳しくは、以下の表をご覧ください。

(設定値の太字は、初期状態で選択されている設定です。)

知識

初期状態 にタッチすると、すべてのナビ設定の項目が初期設定の状態にもどります。

3 **完了** にタッチします。

地図表示設定

項目名	設定値	ページ
フロントワイド表示 (ノースアップ時)	「する」 : 進行方向の地図が広く表示されます。 「しない」 : 地図の中心に自転車位置マーク📍が表示されます。	54
右画面の地図で表示 (ノースアップ時)	「する」 : 進行方向の地図が広く表示されます。 「しない」 : 地図の中心に自転車位置マーク📍が表示されます。	54
フロントワイド表示 (ヘディングアップ時)	「する」 : 進行方向の地図が広く表示されます。 「しない」 : 地図の中心に自転車位置マーク📍が表示されます。	54
右画面の地図で表示 (ヘディングアップ時)	「する」 : 進行方向の地図が広く表示されます。 「しない」 : 地図の中心に自転車位置マーク📍が表示されます。	54
3D時のルート方向アップ	「する」 : ルートが表示されている方向の地図が広く表示されます。 「しない」 : 自転車位置マーク📍の向きが画面上向きになるように表示されます。	58
3D地図表示設定	「変更する」 : 3D表示にしたときの視点を変更します。	56

項目名	設定値	ページ
昼の地図色	昼画の地図表示色を変更します。 「ノーマル」「フレッシュ」「クール」「シック」「ウォーム」	58
夜の地図色	夜画の地図表示色を変更します。 「ノーマル」「フレッシュ」「クール」「シック」「ウォーム」	58
ビジュアルシティマップ表示	「する」：ビジュアルシティマップ表示されます。 「しない」：ビジュアルシティマップ表示されません。	64
地図の文字サイズ変更	地図上に表示される地名などの文字サイズを変更できます。 「大」「中」「小」	54
立体ランドマーク表示	「する」：立体ランドマークが表示されます。 「しない」：立体ランドマークは表示されません。	64
シーズンレジャーランドマーク表示	「する」：シーズンレジャーランドマークが表示されます。 「しない」：シーズンレジャーランドマークは表示されません。	68
地図スクロール時の地名表示	「する」：地名などが表示されます。 「しない」：地名などは表示されません。	52

自動表示切替設定

項目名	設定値	ページ
交差点拡大図自動表示	「する」：交差点拡大図が自動的に表示されます。 「しない」：交差点拡大図は自動的に表示されません。	101
高速分岐模式図自動表示	「する」：高速分岐案内が自動的に表示されます。 「しない」：高速分岐案内は自動的に表示されません。	72
レーンリスト自動表示	「する」：レーンリスト図が自動的に表示されます。 「しない」：レーンリスト図は自動的に表示されません。	100
ターンリスト自動表示	「する」：ターンリスト図が自動的に表示されます。 「しない」：ターンリスト図は自動的に表示されません。	103

項目名	設定値	ページ
都市高マップ自動表示	「する」 : 都市高速マップが自動的に表示されます。 「しない」 : 都市高速マップは自動的に表示されません。	73
高速路線マップ自動表示	「する」 : 高速路線マップが自動的に表示されます。 「しない」 : 高速路線マップは自動的に表示されません。	71
駐車場マップ自動表示	「する」 : 駐車場マップが自動的に表示されます。 「しない」 : 駐車場マップは自動的に表示されません。	60

案内表示設定

項目名	設定値	ページ
縮尺切替メッセージ表示	「する」 : 縮尺切替メッセージが表示されます。 「しない」 : 縮尺切替メッセージは表示されません。	52
踏切警告	「する」 : 踏切警告が行われます。 「しない」 : 踏切警告は行われません。	65
合流警告	「する」 : 合流警告が行われます。 「しない」 : 合流警告は行われません。	65
カーブ警告	「する」 : カーブ警告が行われます。 「しない」 : カーブ警告は行われません。	65
交通事故多発区間警告	「する」 : 交通事故多発区間警告が行われます。 「しない」 : 交通事故多発区間警告は行われません。	65
レーン警告	「する」 : レーン警告が行われます。 「しない」 : レーン警告は行われません。	65
料金案内	「する」 : 料金案内されます。 「しない」 : 料金案内されません。	105
県境案内	「する」 : 県境案内されます。 「しない」 : 県境案内されません。	68
3D交差点拡大図	「する」 : 交差点拡大図が立体的（3D）に表示されます。 「しない」 : 交差点拡大図は立体的（3D）に表示されません。	102

項目名	設定値	ページ
到着予想時刻表示	「変更する」：所要時間を計算する基準である平均車速を変更します。	104
G情報マーク連動サービス	「する」：サービスが利用できます。 「しない」：サービスは利用できません。	620

音声設定

項目名	設定値	ページ
VICS渋滞・規制音声自動発声	「する」：VICS情報が音声案内されます。 「しない」：VICS情報は音声案内されません。	157
自動音声案内	「する」：音声で案内されます。 「しない」：音声で案内されません。	99
他モード時の案内	「する」：ナビゲーション以外の画面でも、音声による目的地案内をします。 「しない」：他モードに切り替えたとき、音声案内されません。	99
操作説明音声	「する」：操作説明音声が出力されます。 「しない」：操作説明音声は出力されません。	75
ハートフル音声	「する」：ハートフル音声が出力されます。 「しない」：ハートフル音声は出力されません。	75
音声認識モード切替	「標準」：使用できるコマンドがよく使うコマンドに限定されます。 「拡張」：すべてのコマンドが使用できます。	296
音声認識ガイド音声	「する」：音声認識ガイドが出力されます。 「しない」：音声認識ガイドは出力されません。	296

ルート系設定

項目名	設定値	ページ
自動再探索	「する」：自動的に再探索されます。 「しない」：自動的に再探索されません。	112
ルート学習	「する」：ルート学習されます。 「しない」：ルート学習されません。	92
ルート学習結果の消去	「消去する」：ルート学習していたルートが消去されます。	93
季節規制メッセージ表示	「する」：メッセージが表示されます。 「しない」：メッセージは表示されません。	66
渋滞考慮探索	「する」：渋滞・規制情報が考慮されたルートが探索されます。 「しない」：渋滞・規制情報が考慮されたルートは探索されません。	160
Gルート探索情報自動取得	「する」：Gルート探索情報が自動取得されます。 「しない」：Gルート探索情報は自動取得されません。	613

その他

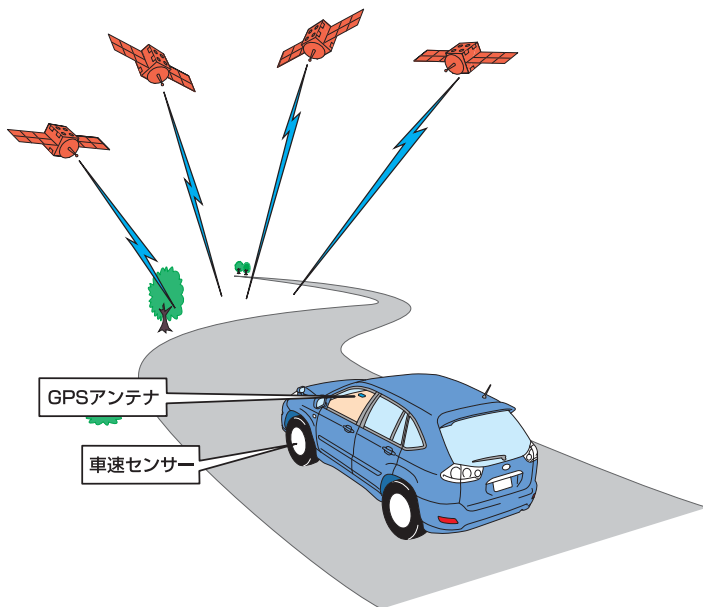
項目名	設定値	ページ
スイッチ表示設定	「変更する」：◀Off にタッチしたときに表示させたいタッチスイッチが変更できます。	51
周辺施設 走行中呼出ジャンル	「変更する」：走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルが変更できます。	63
車両情報設定	「変更する」：料金の計算、および提携駐車場を検索させるときの基準である車両情報が変更できます。	106
目的地履歴の消去	「消去する」：目的地履歴を消去できます。	123
画面切り替え時の動画表現	「する」：アニメーションのように表現されて画面が表示されます。 「しない」：画面切替時のアニメーション表現をしません。	68
ナビ補正	「補正する」：現在地の修正、距離の補正をすることができます。	134、 135

IV ナビを使いこなすために

GPSについて

GPS (Global Positioning System : 汎地球測位システム) は、米国が開発・運用しているシステムで、通常4個以上、場合により3個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置 (緯度・経度など) を知ることができるものです。

このシステムは、GPS情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。



GPS情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS情報を利用できないことがあります。

- ・ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- ・GPSアンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- ・人工衛星が電波を出していないとき (米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。)
- ・デジタル式携帯電話 (1.5GHz) をGPSアンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っています。人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすることはできません。

IV ナビを使いこなすために

地図について

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。*

なお、このGPSボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

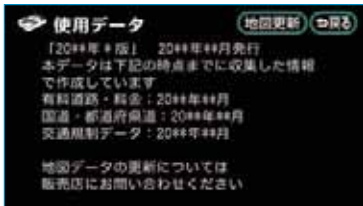
* 最新の地図データに更新されるかは、トヨタ販売店にご相談ください。
ただし地図データの更新版の発行は、予告なく終了することがあります。

知識

- ・ 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- ・ 幅が3m未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの情報を見るには

ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報を見ることができます。



※画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類等によって表示内容が異なります。

メニュー画面(➡48)で、**使用データ**にタッチします。

地図更新は地図データ更新時に使用します。

- ・ 地図データの更新については、トヨタ販売店にご相談ください。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土交通省 国土地理院発行の2.5万分の1地形図、および5万分の1地勢図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省 国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人 日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

©財団法人 日本デジタル道路地図協会

©株式会社 ゼンリン & 株式会社 トヨタマップマスター & 株式会社 昭文社

交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株)トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等に当たってください。

交通事故多発区間警告について

地図データに収録されている事故多発区間警告データは、警察庁及び国土交通省のデータをもとに作成してあります。

渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について

道路交通センサスと株式会社 昭文社提供データを基にして作成したデータを使用しています。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される100mの____の長さが約100mであり、表示されている地図が1/1万縮尺であることを示しています。



地図の縮尺の切り替えについては、「地図縮尺の切り替え」(☞52)をご覧ください。

スケール表示	縮尺
<u>25m</u>	1/2500
<u>50m</u>	1/5千
<u>100m</u>	1/1万
<u>200m</u>	1/2万
<u>400m</u>	1/4万
<u>800m</u>	1/8万
<u>1.6k</u>	1/16万
<u>3k</u>	1/32万
<u>7k</u>	1/64万
<u>13k</u>	1/128万
<u>26k</u>	1/256万
<u>50k</u>	1/512万
<u>100k</u>	1/1024万
<u>200k</u>	1/2048万

知識

1/2500図は市街図表示(☞59)に切り替えたとき、表示させることができます。

地図記号・表示について

表示	内容
	高速道路 (都市高速道路・有料道路を含む)
	国道
	主要道
	都道府県道
	その他の道路(幅5.5m以上)
	その他の道路(幅3.0m以上)
	トンネル、または整備計画区間 (各道路で表示色は異なります。)
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

・VICS情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色は異なります。(☞166)

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署

記号	内容
	郵便局
	IC (インターチェンジ)
	SA (サービスエリア)
	PA (パーキングエリア)
	スマートIC (ETC専用インターチェンジ)
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡

記号	内容
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリナー・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り [※]
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ダイハツ販売会社
	ネット店
	トヨタL&F

- ・表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して1つのマークで表示されることがあります。
 - ・右側の表示・記号は、ビジュアルシティマップ表示にしたときのものです。(☉64)
- ※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。
- ・地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成してあります。

IV ナビを使いこなすために

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは


メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、 自宅に戻る または 自宅周辺 にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。(➡124)
特別メモリ地点が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 1 ～ 5 または特別メモリに行く 1 ～ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。(➡124)
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8万図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(現在地画面のワンタッチメモリ地点登録のときを除く)	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(1/8万図以下)で行ってください。

メッセージ	原因	処置
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。(☎124)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400カ所・Gメモリ地点100カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。(☎131)

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症 状	考えられること	処 置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。(➡50)
自転車位置マーク  が表示されない。		
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPSアンテナ上部 (➡32) に物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(➡98)
	案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか。	音量を大きくしてください。(➡75)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
エンジン スイッチを“ON”にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。

症 状	考えられること	処 置
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。(☎28)
実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク📍が表示されている。(自転車位置マーク📍がずれている。)	人工衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自転車位置マーク📍がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自転車位置マーク📍がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(☎134)
リストの中に目的の名称がない	リストをページごと、または50音ごとに飛ばして動かしていませんか。	1項目ずつ動かしてください。(☎23)

精度について

以下のようなときは、故障ではありません。

知識

このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。

タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(▶135)

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク📍が表示されている（自車位置マーク📍がずれている）ことがあります。

- ・角度の小さなY字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マーク📍が表示されることがあります。
- ・隣の道路に自車位置マーク📍が表示されることがあります。
- ・市街図を表示させているとき、自車位置マーク📍やルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- ・市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マーク📍が表示されることがあります。
- ・フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マーク📍が移動前の位置になっていることがあります。
- ・自車位置マーク📍を手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- ・バッテリーターミナルを脱着したあと
- ・らせん状の道路を走行しているとき
- ・勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- ・地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- ・渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- ・砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- ・タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- ・指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- ・タイヤの空気圧が4輪とも指定の空気圧でないとき
- ・摩耗したタイヤに交換したとき（2シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ・ビルの近くを走行したとき
- ・ルーフキャリアを取りつけたとき
- ・高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- ・直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- ・交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- ・案内が行われない交差点があります。
- ・Uターン禁止の場所で、Uターンするルート of 案内が行われることがあります。
- ・実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路など）の案内が行われることがあります。
- ・目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ・ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- ・再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- ・高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- ・再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- ・通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へもどるルートが表示されることがあります。
- ・再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ・ルートが探索されないことがあります。

表示させたいVICS情報の決定

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更**にタッチします。
- 2 **VICS**にタッチします。



- 3 **表示設定**にタッチします。



- 4 表示させたいVICS情報の項目にタッチします。



作動表示灯

タッチスイッチ	内容
渋滞・混雑	渋滞・混雑している道路の表示
空き道	空いている道路の表示

タッチスイッチ	内容
規制情報	事象・規制のある道路の表示
駐車場	駐車場情報の表示

・作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

- 5 **完了**にタッチします。

地図にVICS情報が表示されないときは、「VICS情報の表示」(☉154)をご覧ください。

VICS情報の表示

地図にVICS情報 (VICS記号・表示) を表示させることができます。(☉166)

通常の地図



ハイウェイモード



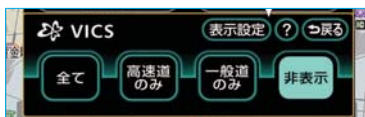
高速路線マップ



知識

- ・1/16万図より詳細な地図で表示させることができますが、VICS記号によっては、1/16万図では表示されない記号もあります。
- ・VICS情報の表示で、**一般道のみ**に設定しているときも、ハイウェイモード(➡69)ではVICS情報が表示されません。**非表示**に設定しているときは、VICS情報は表示されません。
- ・駐車場マップ(➡60)を表示させているときは、VICS情報を表示させることはできません。

- 1 「表示させたいVICS情報の決定」(➡154)3で表示された画面で、VICS情報を表示させたい道路を選択します。



タッチスイッチ	内容
全て	高速道路・一般道路 両方
高速道のみ	高速道路のみ
一般道のみ	一般道路のみ

- 2 選択した道路のVICS情報が表示されます。



タイムスタンプ

- ・VICS情報が表示されたときは、タイムスタンプが表示されます。

■VICS情報の消去

「VICS情報の表示」(➡154)1で表示された画面で、**非表示**にタッチします。

- ・タイムスタンプも表示されなくなります。

■タイムスタンプについて

- ・タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を示しています。(VICS情報が受信された時刻ではありません。)
- ・タイムスタンプは、VICS情報が継続して受信されないと、約30分後に自動的に消去され「--:--」の表示になります。
- ・VICS情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が「--:--」になります。
- ・目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上(約10km以内)にVICS情報があると色が変わります。
 - ・赤色(8:00) …渋滞情報があります。
 - ・橙色(8:00) …混雑情報があります。
 - ・黄色(8:00) …交通規制情報があります。
- ・VICS情報が受信されていないときは、VICSの文字が灰色になります。
- ・タイムスタンプが黒色になるとき、タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制音声案内を出力させることができます。(➡157)

VICS記号の内容の表示

規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチします。



知識

VICS記号によっては、内容が表示されないVICS記号もあります。

渋滞・規制音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）のVICS情報の案内が音声で出力されるようにすることができます。

以下のようなときに、音声案内が出力されます。

〔音声案内の例〕

■VICS表示がある地点

「おおよそ1km先、渋滞があります。」

■VICS記号のある地点

「おおよそ5km先、電気工事のため、車線規制中です。」

音声案内はあくまでも参考としてください。

渋滞・規制音声自動発声を出力するか、出力しないか設定することができます。（☎141）

知識

- ・上記の〔音声案内の例〕は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- ・自転車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内の再出力

一度出力された渋滞・規制音声案内を再度出力させることができます。

地図を表示させているときに、タイムスタンプにタッチします。



タイムスタンプ

- ・一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが黒色（タッチスイッチ）になり操作することができます。

知識

VICS渋滞・規制音声自動発声が**しない**に設定されていても、タイムスタンプが黒色になっていれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS図形情報・文字情報の表示

- 1 メニュー画面（☎48）で、**VICS** にタッチします。
- 2 **FM図形**、または**FM文字**にタッチします。

VICS画面

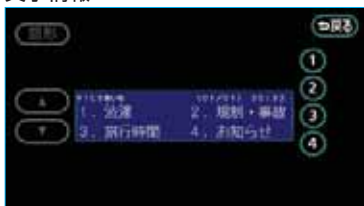


3 情報の番号 (1・2・3...) にタッチします。

図形情報



文字情報



- ・ **文字** (または **図形**) にタッチすると、文字情報 (または図形情報) に切り替えることができます。

4 ▲・▼、または **自動送り** にタッチします。

図形情報



文字情報



前回情報を表示させたときに自動送りを選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。

- ・ ▲・▼ にタッチすると、情報のページを1ページずつ送ることができます。
- ・ **自動送り** にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。走行中は自動送りできません。
- ・ 情報の自動送りを中止するときは、**停止** にタッチします。また、自動送り中に ▲・▼ にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- ・ **文字** (または **図形**) にタッチすると、文字情報 (または図形情報) に切り替えることができます。
- ・ **目次** にタッチすると、3の画面が表示されます。

割り込み情報 (ビーコン即時案内) の表示

ビーコンユニットを装着したとき

ビーコンからのVICS情報が受信されたとき、VICS文字情報 (または図形情報) を自動的に表示させることができます。



- ・▼・▲にタッチして、割り込み情報を切り替えます。
- ・文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**図形**（図形情報を表示させているときは**文字**）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- ・**表示消**にタッチする、または約15秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。表示時間は調整することができます。（☞159）

知識

表示させている画面により、割り込み情報が表示されないことがあります。

割り込み情報の表示のON・OFF

割り込み情報を表示するか、表示しないか選ぶことができます。

- 1 VICS画面(☞157)で、**割込設定**にタッチします。
- 2 割り込み情報の項目の**する**、または**しない**にタッチします。



- 3 **完了**にタッチします。

以下の設定を変更することができます。

注意警戒情報

注意警戒情報の表示

ビーコン文字情報

文字情報の表示

ビーコン図形情報

図形情報の表示

知識

割り込み情報が**しない**に設定されていても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

割り込み情報の表示時間調整

割り込み情報が表示されてから、もとの画面にもどるまでの時間を調整することができます。

- 1 「割り込み情報の表示のON・OFF」(☞159)2で表示された画面で、自動割込みの表示時間の**+**、または**-**にタッチして調整します。
 - ・表示時間を長くするときは**+**、短くするときは**-**にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます。）

- 2 **完了**にタッチします。

知識

最長（30秒）にすると**+**、最短（5秒）にすると**-**が灰色になり、タッチしても操作できません。

割り込み情報の呼び出し

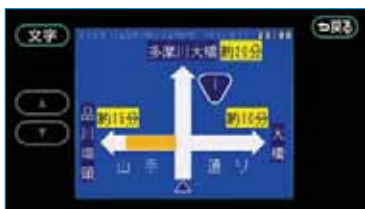
割り込み情報の表示を**しない**に設定しているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

- 1 VICS画面(☉157)で、**割り込み情報**にタッチします。

知識

提供時刻より約30分以上経過した割り込み情報は、表示させることができません。

- 2 ▼・▲にタッチして、割り込み情報を切り替えます。



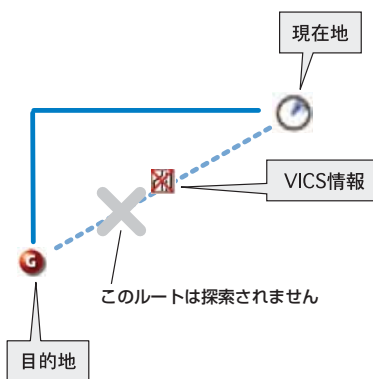
- ・文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**図形**（図形情報を表示させているときは**文字**）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。

渋滞考慮探索

①ビーコンユニットを装着したとき
ビーコンからのVICS情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探させることができます。

②G-BOOKオンラインサービスを利用しているとき

広域の渋滞予測情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探させることができます。(☉612)



①および、②のとき渋滞考慮探索をするか、しないか設定することができます。(☉142)

知識

現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

放送局の選択

VICS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

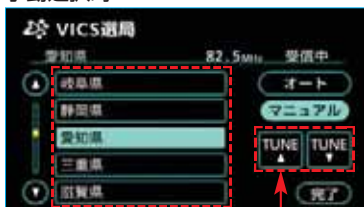
VICS画面(☞157)で、**VICS選局**にタッチします。

・表示される画面は、前回選択していたモード(自動選択、または手動選択)により異なります。

自動選択時



手動選択時



エリア選択

周波数選択

・通常は、**オート**(自動選択)にしておいてください。「オート」で受信されないときのみ、**マニュアル**(手動選択)で放送局(または放送エリア)を選択してください。

知識

新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

自動選択

現在地がある都道府県の、VICS提供FM放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に放送局が切り替わります。

「放送局の選択」(☞161)で表示された手動選択時の画面で、**オート**にタッチします。

手動選択

■エリア選択

選んだ都道府県のVICS提供FM放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

■周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

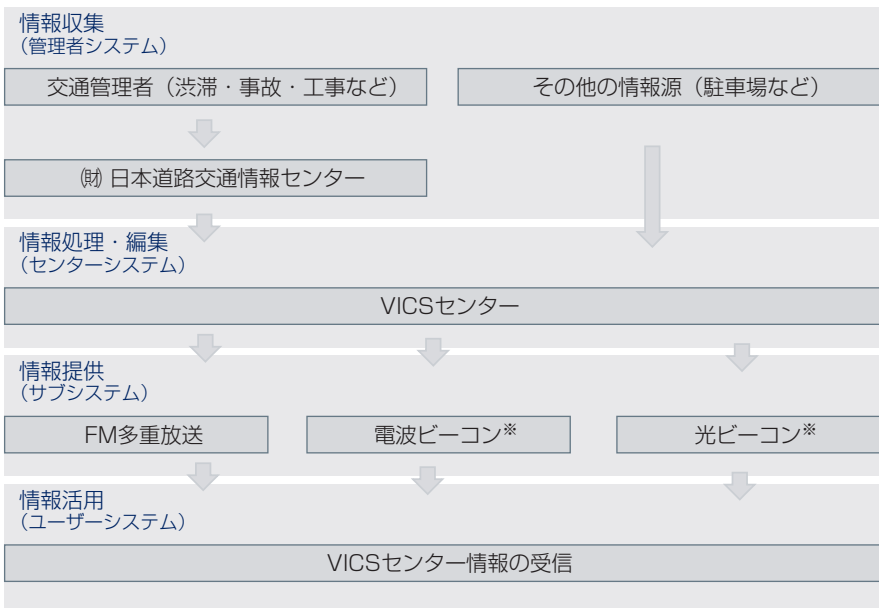
- 1 「放送局の選択」(☞161)で表示された自動選択時の画面で、**マニュアル**にタッチします。
- 2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。
周波数選択時は、**TUNE ▲**・**TUNE ▼**にタッチして、放送局の周波数を選びます。
・放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。
- 3 **完了**にタッチします。

VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICSサービスの仕組み

VICSは大きく分けて「情報収集」、「情報処理・編集」、「情報提供」、「情報活用」の4つのブロックから成り立っています。



VICSリンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会・財団法人 日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された  のロゴマークは財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

※ 電波ビーコン・光ビーコンは、販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したときのみ受信することができます。

VICSについて

VICSのメディア

VICSは、FM多重放送・電波ビーコン※・光ビーコン※の3つのメディアを受信することができます。

・3つのメディアはそれぞれ特長が異なります。

※ 電波ビーコン・光ビーコンは、販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したときのみ受信することができます。

■FM多重放送

FM多重放送は、VICS提供FM放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両にVICS情報の提供が行われます。

■電波ビーコン

電波ビーコンは、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両にVICS情報の提供が行われます。

■光ビーコン

光ビーコンは、おもに一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両にVICS情報の提供が行われます。

VICSの運用時間

24時間運用されています。

ただし、FM多重放送は、第1、第3月曜日のAM1：00～5：00の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- ・休止時間については、VICS FM多重放送の「お知らせ」で案内します。
- ・VICSの運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM多重放送を受信できないとき

このHDDナビゲーションシステムは、VICS FM多重放送以外のFM多重放送をご覧になっているとき、VICS FM多重放送の情報を受信できません。

知識

VICS FM多重放送を受信できない状態から、VICS情報を表示できる地図画面、VICS図形情報、VICS文字情報を表示させようとした場合、VICS情報が表示されない、または地図画面上のVICSタイムスタンプが更新されない状態になります。

知っておいていただきたいこと

- ・提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください。(提供されるVICS情報は、最新ではないことがあります。)
- ・電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがあります。新しい信号が正しく受信できれば正しい表示に更新されます。
- ・VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- ・VICS情報が発信されている地域により、情報の内容は異なります。
- ・VICSによる交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

FM多重放送特有の事項

- ・FM多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- ・以下のようなときは、VICS情報が受信されないことがあります。
 - ・トンネルの中にいるとき
 - ・高層ビルの谷間にいるとき
 - ・高架道路の下にいるとき
 - ・盆地にいるとき
 - ・大型車とすれちがったとき

電波ビーコン特有の事項

- ・電波ビーコンは、直線的にしか電波が届きません。
- ・以下のようなときは、VICS情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
 - ・電波ビーコンを発信する路側に街路樹が茂っているとき
 - ・トンネルの中にいるとき
 - ・高架道路の下にいるとき
 - ・大型車と並んで走行しているとき
 - ・アンテナ付近に障害物があるとき
 - ・高速道路の下的一般道路を走行しているとき、高速道路の電波ビーコンが受信されることがあります。

光ビーコン特有の事項

以下のようなときは、VICS情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。

- ・太陽と重なったとき
- ・雪が積もっているときやフロントガラスがよごれているとき
- ・アンテナ付近に障害物があるとき

VICSの用語

より有効にVICSを利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■緊急情報

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■交通情報関連の用語

- (1) 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- (2) 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

■駐車場・SA・PA関連の用語

- (1) 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- (2) 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- (3) 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- (4) 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- (5) 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICSの問い合わせ先

■以下の内容は、トヨタ販売店にご相談ください。

- ・ VICS車載機の調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- ・ VICS情報の表示に関するもの
- ・ VICSのサービスエリアに関するもの
- ・ その他上記に類するもの

■以下の内容は、VICSセンターにご相談ください。

- ・ VICS文字情報・VICS図形情報に関するもの
- ・ VICSの概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの

VICSセンター

- ・ 電話番号（受け付け時間…9：30～17：45、土曜・日曜・祝日を除く）
0570-00-8831（全国共通）（PHSを除く）
03-3592-2033（東京）（PHS専用）
06-6209-2033（大阪）（PHS専用）
- ・ FAX番号（受け付け時間…24時間）
03-3592-5494

VICS記号・表示について

表示	道路の種類
	VICS対象道
	VICS非対象道
 ※	通行止めの区間
	渋滞している道路
	混雑している道路
	すいている道路

※夜画のときは白色で表示されます。

記号	駐車場・SA・PA情報
	駐車場（空車）
	駐車場（混雑）
	駐車場（満車）
	駐車場（不明）
	駐車場（閉鎖）
	SA・PA（空車）
	SA・PA（混雑）
	SA・PA（満車）
	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災

記号	規制情報
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

・表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数のVICS情報が代表して1つの記号で表示されることがあります。



MEMO

オーディオ&ビジュアル

はじめに 174

使用できるディスクについて	174
プレーヤーについて	176
文字情報の表示について	177
MP3/WMAについて	178

I 基本操作 181

電源を入れる	182
音量を調整する	182
音を消す	182
操作画面を表示する	182
音の調整をする	183

II ラジオ 185

■ ラジオの操作		
	ラジオを聞く	186
	放送局を選ぶ	186
	放送局を記憶する	187
	自動で放送局を記憶する	187
	交通情報を受信する	188
	局名スイッチについて	188

III CDプレーヤー★ 189

■ CDの出し入れ	セットするには	189
	取り出すには	189
■ 音楽CDの操作		
	CDを聞く	190
	聞きたい曲を選ぶ	191
	早送り、早戻しする	191
	同じ曲を繰り返し聞く	191
	曲の順番をランダムに聞く	192
	曲を探す	192
	トラックリストを表示する	192
	オーディオ表示部の表示を切り替える	193

■ MP3/WMAディスクの操作	MP3/WMAディスクを聞く	194
	聞きたいフォルダを選ぶ	195
	聞きたい曲（ファイル）を選ぶ	195
	早送り、早戻しする	196
	同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く	196
	同じフォルダを繰り返し聞く	196
	再生中のフォルダの中から ランダムに聞く	196
	ディスクに保存されている全フォルダの 中からランダムに聞く	197
	フォルダの中から曲（ファイル）を探す	197
	フォルダを探す	197
	フォルダリストを表示する	198
	ファイルリストを表示する	198
	楽曲情報を表示する	199
	オーディオ表示部の表示を切り替える	199

IV MDプレーヤー 200

■ MDの出し入れ	セットするには	200
	取り出すには	200
■ MDの操作	MDを聞く	202
	聞きたいグループを選ぶ	202
	聞きたい曲を選ぶ	203
	早送り、早戻しする	203
	同じ曲を繰り返し聞く	204
	同じグループを繰り返し聞く	204
	曲の順番をランダムに聞く	204
	MDに保存されている全グループの 中からランダムに聞く	204
	曲を探す	205
	グループを探す	205
	グループリストを表示する	205
	トラックリストを表示する	206
	オーディオ表示部の表示を切り替える	207

■ ディスクの出し入れ	セットするには	208	
	取り出すには	209	
■ ディスクの切り替え方	ディスクを切り替える	210	
■ 音楽CDの操作	CDを聞く	211	
	聞きたい曲を選ぶ	212	
	早送り、早戻しする	212	
	同じ曲を繰り返し聞く	212	
	同じディスクを繰り返し聞く	213	
	曲の順番をランダムに聞く	213	
	チェンジャー内の全音楽CDの中からランダムに聞く	213	
	曲を探す	213	
	音楽CDを探す	214	
	トラックリストを表示する	214	
	オーディオ表示部の表示を切り替える	214	
	■ MP3/WMAディスクの操作	MP3/WMAディスクを聞く	215
		聞きたいフォルダを選ぶ	216
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ		216	
早送り、早戻しする		217	
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く		217	
同じフォルダを繰り返し聞く		217	
再生中のフォルダの中からランダムに聞く		217	
ディスクに保存されている全フォルダの中からランダムに聞く		218	
フォルダの中から曲（ファイル）を探す		218	
フォルダを探す		218	
フォルダリストを表示する		219	
ファイルリストを表示する		219	
楽曲情報を表示する		220	
オーディオ表示部の表示を切り替える		220	
■ DVDビデオ・DVDオーディオの操作		DVDビデオ・DVDオーディオを再生する	223
	映像を一時停止する	224	
	映像を止める	224	
	早送り、早戻しする	224	
	スロー再生する	224	
	静止画を切り替える	224	
	同じトラックを繰り返し再生する	224	
	トラックの順番をランダムに再生する	224	
	トラックを探す	225	

	見たい、聞きたい場所を選ぶ	225
	メニュー画面を操作する	226
	メニュー番号を選ぶ	227
	音声を切り替える	227
	字幕を切り替える	228
	アングルを切り替える	228
	ディスクに指定された位置まで 戻って見る	229
	プレーヤーの設定をする	229
<hr/>		
■ ビデオCDの操作	ビデオCDを再生する	234
	映像を一時停止する	235
	早送り、早戻しする	235
	スロー再生する	235
	見たい場所を選ぶ	235
	メニュー画面を表示する	236
	メニュー番号を選ぶ	236
	音声モードを切り替える	236
<hr/>		
■ 知っておいていただきたいこと	ディスク再生中の操作について	237
	DVDビデオ・DVDオーディオについて	238

VI サウンドライブラリ 242

■ お使いになる前に	サウンドライブラリの概要	242
	サウンドライブラリの構成について	242
	データベースについて	244
	操作の流れについて	246
<hr/>		
■ サウンドライブラリに 録音する	録音についての注意	247
	録音設定を変更する	247
	CDを録音する	248
	CDの中から好みの曲を録音する	248
<hr/>		
■ サウンドライブラリの操作	サウンドライブラリを聞く	251
	聞きたいプレイリストを選ぶ	251
	聞きたい曲（トラック）を選ぶ	252
	早送り、早戻しする	253
	同じ曲（トラック）を繰り返し聞く	253
	同じプレイリストを繰り返し聞く	253
	再生中のプレイリストの中から ランダムに聞く	253
	現在のプレイモードの中から ランダムに聞く	253
	再生中のプレイリストの中から 曲（トラック）を探す	254

現在のプレイモードの中から プレイリストを探す	254
プレイリストを表示する	254
トラックリストを表示する	255
曲（トラック）の情報を表示する	255

■ サウンドライブラリの編集	プレイリストを作成する	257
	プレイリストの名称を編集する	258
	プレイリストの再生順番を変更する	259
	プレイリストを消去する	259
	プレイリストに曲（トラック）を 追加する	260
	再生中の曲（トラック）を プレイリストに登録する	262
	曲（トラック）の情報を編集する	262
	曲（トラック）の再生順番を変更する	265
	曲（トラック）を消去する	266
	タイトル情報を再取得する	267

VII VTR 268

■ VTRの操作	VTRを見る	268
-----------------	--------	-----

VIII ステアリングオーディオスイッチ 269

■ ステアリングスイッチでの 操作	ステアリングオーディオスイッチ	269
	電源を入れる	269
	音量を調整する	269
	モードを切り替える	269
	ラジオの操作	269
	CDプレーヤーの操作	270
	MDプレーヤーの操作	270
	DVDチェンジャーの操作	270
	サウンドライブラリの操作	270



MEMO

使用できるディスクについて

CD、DVDについて

下のマークのついたディスクが使用できます。

DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDはDVDチェンジャー装着車のみ使用できます。

音楽CD



- ・コピーコントロールCDなどの正式なCD規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- ・CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWは再生できません。

DVDビデオ



DVDオーディオ



ビデオCD

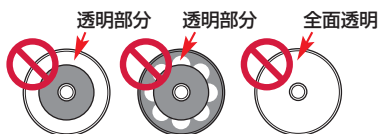


- ・ディスクには指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
- ・ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ・ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押ししたり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ・ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出した状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ・ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ・直径12cm、または8cmの円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



⚠ 注意

- ・DualDiscには対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- ・記録部分に透明、または半透明部分があるディスクは、正常に入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



- ・レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・セロハンテープ、シール、CD-R用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



- ・変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

MDについて

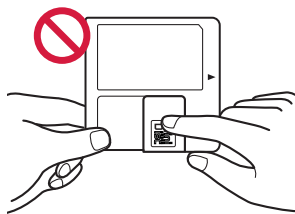
下のマークのついた音楽用MDのみ使用できます。



- ・データ用MD、Hi-MDなどは使用できません。
- ・MDLPの再生に対応していますので、長時間録音されたMDも再生することができます。また、グループ機能にも対応しています。

⚠ 注意

- ・ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるMDを使用しないでください。MDを取り出せなくなるおそれがあります。
- ・MDは、直射日光を避けて保管してください。MDがひずみ、使用できなくなるおそれがあります。
- ・シャッターを無理にあげないでください。MDがこわれるおそれがあります。



知識

LP4ステレオ録音した音を再生した場合、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的なノイズが聞こえることがあります。

プレーヤーについて

- ・プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。
また、オーディオ表示部にも次の表示でプレーヤーの状態をお知らせします。
- ・ディスクが汚れているなどで読み取りができないとき
【ERROR 1】
- ・プレーヤーに異常があるとき
【ERROR 3】
【ERROR 4】
- ・プレーヤーの温度異常を検出したとき
【WAIT】
しばらくしてプレーヤーの温度が常温に復帰すると表示が消えて使用可能になります。
- ・寒いときや雨降りのおときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面およびオーディオ表示部で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

また、これらの文字情報は各種画面とオーディオ表示部とで内容が異なる場合があります。

MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。

MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

■対応規格

MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)

■対応サンプリング周波数

MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)

■対応ビットレート

MPEG1 LAYER3 : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)

MPEG2 LSF LAYER3 : 64、80、96、112、128、144、160 (kbps)

※VBRに対応しています。

■対応チャンネルモード

ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

■対応規格

WMA Ver.7、8、9

■対応サンプリング周波数

32、44.1、48 (kHz)

■対応ビットレート

Ver.7、8 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)

Ver.9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)

※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3のID3タグに対応しています。(文字数はID3 Ver.1.0、1.1に準拠します。)

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-ROMおよびCD-R、CD-RWです。なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いいため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

- ・ディスクフォーマット : CD-ROM Mode1
: CD-ROM XA Mode2 Form1
- ・ファイルフォーマット : ISO9660レベル1、レベル2 (joliet、Romeo)

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- ・最大ディレクトリ階層 : 8階層
- ・最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 全角16文字。半角のみのときは32文字。
- ・最大フォルダ数 : 192 (ルート含む)
- ・ディスク内最大ファイル数 : 255

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子".mp3"/".wma"がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、".mp3"/".wma"の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMAファイルを追記したCD-RおよびCD-RWの再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データとMP3、またはWMA形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

注意

MP3/WMA以外のファイルに".mp3"/".wma"の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに".mp3"/".wma"の拡張子をつけないでください。

知識

- ・安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- ・CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ・MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。
- ・ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- ・Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。


I 基本操作

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき使用できます。

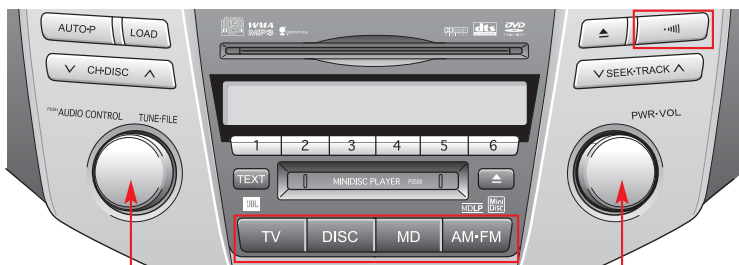
オーディオ操作画面※



※

※画面は、DVDチェンジャー装着車のものです。CDプレーヤー装着車では、ASL表示（）は表示されません。
本書では、おもにDVDチェンジャー装着車の操作画面を使用して説明しています。

DVDチェンジャー、MDプレーヤー装着車



AUDIO CONTROLツマミ


パワースイッチ/
音量調整ツマミ

CD、MDプレーヤー装着車



AUDIO CONTROLツマミ

パワースイッチ/
音量調整ツマミ

 各オーディオモードスイッチ

電源を入れる

パワースイッチまたは各オーディオモードのスイッチを押します。

- ・パワースイッチを押すごとに、電源がONとOFFに切り替わります。

知識

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

音量を調整する

音量調整ツマミを右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。

- ・音量を調整すると、音量のレベルが画面、オーディオ表示部に表示されます。



注意

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

音を消す

CDプレーヤー装着車

[MUTE]を押すと、一時的に音を消すことができます。

- ・表示部に「MUTE」の表示が出ます。
- ・もう一度スイッチを押すと解除されます。

操作画面を表示する

オーディオの操作は、おもに操作画面を表示させて行います。

[オーディオ]を押します。

選択されているモードの操作画面が表示されます。

知識

操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、「継続表示しない（自動的にもとの画面にもどる）」、または「継続表示する（操作画面の表示を継続する）」の切り替えをすることができます。

(➡26)

音の調整をする

音質、音量バランスの調整、音量補正(ASL)の設定をすることができます。

知識

ASLはAutomatic Sound Levelizerの略です。車速に応じて音質や音量を自動的に補正し、走行時でも停車時と同様な音質・音量感で音楽を聞くことができます。

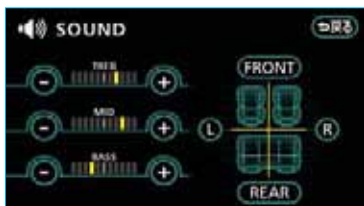
画面で音質・音量バランスの調整をする

操作画面で、**SOUND** にタッチします。

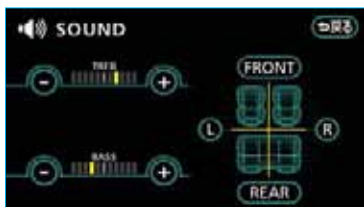
- ・サウンド調整画面が表示されます。

サウンド調整画面

DVDチェンジャー装着車



CDプレーヤー装着車



音質を調整する

TREB(高音)、MID (中音)※、BASS(低音)のそれぞれで、強調するときは**+**、弱めるときは**-**にタッチします。

※DVDチェンジャー装着車のみ調整することができます。

音量バランスを調整する

前側音量を強調するときは**FRONT**、うしろ側音量を強調するときは**REAR**、右側音量を強調するときは**R**、左側音量を強調するときは**L**にタッチします。

画面で音量補正(ASL)の設定をする

DVDチェンジャー装着車

操作画面で、**ASL** にタッチします。

- ・タッチすることにより、ONとOFFが切り替わります。
- ・ONのときはスイッチが明るくなります。
- ・OFFのときは補正されません。

CDプレーヤー装着車

1 操作画面で、**ASL** にタッチします。

- ・ASL設定画面が表示されます。

2 **HIGH**、**MID**、**LOW**または**OFF**にタッチします。



- ・HIGH、MID、LOWの順に補正量が小さくなります。
- ・OFFのときは補正されません。

AUDIO CONTROLツマミで音を調整する

- 1 ツマミを押し調整したいモードを選択します。ツマミを押すごとに、FAD・BAS・MID※・TRE・BAL・ASLの順にモードが切り替わります。
・選択されているモードが表示部に表示されます。

※DVDチェンジャー装着車のみ調整することができます。

- 2 ツマミをまわして調整します。
・調整レベルがモード表示の右側に表示されます。

DVDチェンジャー装着車

調整モード	モード表示	調整レベル範囲	左へまわす	右へまわす
前後音量バランス	FAD	R7~F7	後側大	前側大
低音	BAS	-5~5	弱	強
中音	MID	-5~5		
高音	TRE	-5~5		
左右音量バランス	BAL	L7~R7	左側大	右側大
音量補正	ASL	OFF・ON	OFF	ON

CDプレーヤー装着車

調整モード	モード表示	調整レベル範囲	左へまわす	右へまわす
前後音量バランス	FAD	R7~F7	後側大	前側大
低音	BAS	-5~5	弱	強
高音	TRE	-5~5		
左右音量バランス	BAL	L7~R7	左側大	右側大
音量補正	ASL	OFF	右へまわす OFF ← LOW → MID → HIGH 左へまわす	
		LOW		
		MID		
		HIGH		

II ラジオ

ラジオの操作

ラジオを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、ラジオ操作画面が表示されます。

- ・オーディオ本体のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



DVDチェンジャー、MDプレーヤー装着車



CD、MDプレーヤー装着車



ラジオを聞く

AM・FM を押し、ラジオモードに切り替えます。

- ・ラジオを聞いているときに、スイッチを押すと、AM放送・FM放送の切り替えをすることができます。

知識

- ・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
- ・放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

放送局を選ぶ

プリセットスイッチに記憶されている放送局から選ぶ

■プリセットスイッチで選ぶ

放送局が記憶されている操作画面のプリセットスイッチにタッチする、またはオーディオ部のプリセットスイッチを押します。

■CHスイッチで選ぶ

放送局が記憶されているプリセットスイッチの番号を大きい方へ選択するときは \curvearrowright 側、小さい方へ選択するときは \curvearrowleft 側を押します。

プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局を変更したいときは、「放送局を記憶する」をご覧ください。(▶187)

手動で選ぶ

周波数を高い方へ選択するときはTUNEツマミを右側、低い方へ選択するときは左側にまわします。

自動で選ぶ

周波数を高い方へ選択するときはSEEKスイッチの \curvearrowright 側、低い方へ選択するときは \curvearrowleft 側を押します。

- ・受信感が良く、現在画面または表示部に表示されている周波数に一番近い周波数を自動で選択します。
- ・途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。

知識

地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局の周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチでその周波数を選択することができます。

- 1 TUNEツマミまたはSEEKスイッチで記憶させたい周波数を選択します。
- 2 記憶させたい操作画面のプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続ける、またはオーディオ部のプリセットスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。
 - ・記憶された周波数が操作画面のスイッチに表示されます。

知識

- ・自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局の周波数を記憶させておくとう便利です。
- ・AM・FM各6局まで周波数を記憶させることができます。
- ・バッテリー交換やヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断られたときには、記憶されていた周波数はすべて消去されます。

自動で放送局を記憶する

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

AUTO.P に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または**AUTO.P**を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・画面および表示部に「AUTO.P」の表示が出ます。
- ・記憶された周波数が操作画面のスイッチに表示されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押して、すぐ手を離すと解除されます。

AUTO.Pスイッチで記憶させた周波数を変更するには

- 1 TUNEツマミまたはSEEKスイッチで記憶させたい周波数を選択します。
- 2 変更したい周波数が記憶されている操作画面のプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続ける、またはオーディオ部のプリセットスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。
 - ・記憶された周波数が操作画面のスイッチに表示されます。

知識

- ・旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。
- ・周波数の記憶操作が終了すると、“ピッピッ”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。

- ・ **AUTO.P** にタッチするまたは **AUTO.P** を押すたびに、新たに周波数を記憶しなおします。
- ・ 自動で周波数を記憶させても、スイッチを操作する前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させた周波数は消去されません。
- ・ 受信感度の良い周波数を低い順に6局まで自動的に記憶します。受信周波数が6局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- ・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- ・ 同じ放送局からの受信でも、TUNEツマミまたはSEEKスイッチで選択し記憶させた周波数と自動で記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- ・ 周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なる場合があります。

交通情報を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送局を受信することができます。

[…]] を押します。

- ・ もう一度スイッチを押すと解除されます。

■記憶されている周波数を変更するには

- 1 **[AM・FM]** を押して、AMを選択します。
- 2 TUNEツマミまたはSEEKスイッチで記憶させたい周波数を選択します。
- 3 **[…]]** を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

知識

- ・ 新車時には1620kHzにセットしてあります。
- ・ **[…]]** を押して、交通情報を受信しているときは、TUNEツマミ・SEEKスイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。
- ・ バッテリー交換やヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断られたときには、1620kHzになります。

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数を使用している複数の放送局の放送地域が重なり合っている地域では、お聞きになっている放送局と表示されている放送局名が異なる場合があります。そのような地域では、操作画面に **局名** が表示されます。

局名 にタッチして、お聞きになっている放送局の放送局名を選択します。

- ・ 最大で3つの放送局名から選択することができます。

Ⅲ CDプレーヤー★

CDの出し入れ




セットするには

ラベル面を上にして、挿入口に挿入します。

- ・途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、再生を開始します。

取り出すには

を押します。

注意

- ・8cmCDを挿入するときは、アダプターを使用せずに、そのままCDを挿入してください。アダプターを使用するとCDを取り出せなくなるおそれがあります。
- ・CDを挿入するときは、2枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

Ⅲ CDプレーヤー★

音楽CDの操作

CDを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、CD操作画面が表示されます。

- ・オーディオ本体のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



CDを聞く

■CDが挿入されていないとき
CDを挿入します。(☞189)

■CDが挿入されているとき
DISCを押し、CDモードに切り替えます。

- ・CD以外のモードが再生されたときは、CDモードに切り替わるまでスイッチを押します。

知識

- ・本機のサウンドライブラリは、録音モードの初期設定がAUTOに設定されているため、CDを挿入し再生が始まると、自動でサウンドライブラリへ録音を開始します。(☞247)

希望の曲を選んで録音する場合は、「セレクトモード」に切り替えます。

(☞247)

なお、録音した曲は後で削除することができます。(☞259、266)

- ・曲名、アーティスト名などの情報が本機のデータベースにある場合、録音された曲に付与されます。これらの情報は、変更または再取得することができます。(☞262、267)
- ・再生しているCDにタイトル情報が収録されていなくても、本機のデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
(該当する情報がない場合は、タイトルは表示されません。)
- ・ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたい曲を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは へ 側、前にあるときは へ 側を押します。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

トラックリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

トラックリスト画面



- ・トラックリスト画面については「トラックリストを表示する」をご覧ください。(P192)

早送り、早戻しする

早送りするときはTRACKスイッチの へ 側、早戻しするときは へ 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・スイッチを押している間、早送り・早戻しされます。希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- ・早送りする場合、最後の曲の終わりになったら、最初の曲にもどり作動を続けます。
- ・早戻しする場合、最初の曲の始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲を繰り返し聞く

RPT にタッチするまたは **2** (RPTスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **REP** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

RAND にタッチするまたは **1** (RANDスイッチ)を押します。

- ・ 操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RAND** が表示されます。
- ・ 解除するまでCDの中からランダム(無作為)に曲が選択され再生されます。
- ・ もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

曲を探す

SCAN にタッチします。

- ・ スwitchの作動表示灯が点灯します。
- ・ 全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。
- ・ 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

トラックリストを表示する

曲リストを表示することができます。

- ・ 走行中はリスト画面を表示することはできません。

TRACK LIST にタッチします。

- ・ トラックリスト画面が表示されます。

トラックリスト画面



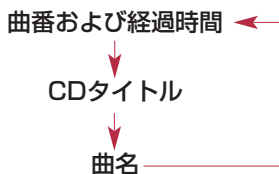
- ・ 曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・ 曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。

オーディオ表示部の表示を切り替える

CDテキスト対応のCDを再生しているときは、表示部にCDタイトルや曲名を表示することができます。

TEXT を押します。

- ・スイッチを押すごとに表示が切り替わります。



知識

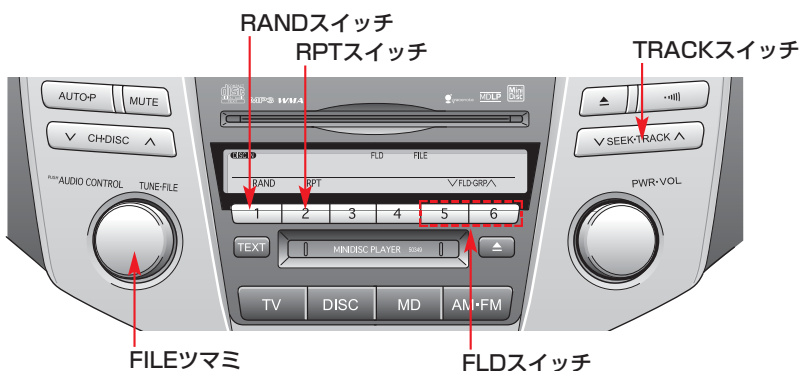
- ・表示部にタイトルや曲名がすべて表示できないときは、TEXTスイッチを1秒以上押し続けるとタイトルや曲名の続きを表示することができます。(もう一度TEXTスイッチを1秒以上押し続けるまたは6秒以上操作しないともとの表示に戻ります。タイトルや曲名の続きを表示したときにさらに表示できないタイトルや曲名はそれ以降の文字は表示できません。)
- ・高速録音中(248)にTEXTスイッチを押すと「REC FAST」と表示された後、元の表示に戻ります。

Ⅲ CDプレーヤー★

MP3/WMAディスクの操作

MP3/WMAディスクを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、MP3/WMA操作画面が表示されます。

- ・オーディオ本体のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



MP3/WMAディスクを聞く

■ディスクが挿入されていないとき
ディスクを挿入します。(▶189)

■ディスクが挿入されているとき
DISC を押し、MP3/WMAモード
に切り替えます。

- ・MP3/WMA以外のモードが再生されたときは、MP3/WMAモードに切り替わるまでスイッチを押します。

知識

ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたいフォルダを選ぶ

FLDスイッチで選ぶ

聞きたいフォルダがうしろにあるときは **6**、前にあるときは **5** を押します。

操作画面で選ぶ

聞きたいフォルダがうしろにあるときは FOLDER の **▲**、前にあるときは **▼** にタッチします。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたいフォルダを選択して再生することができます。

・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

フォルダリスト画面で聞きたいフォルダにタッチします。

フォルダリスト画面



・フォルダリスト画面については、「フォルダリストを表示する」をご覧ください。(▶198)

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは **←** 側、前にあるときは **→** 側を押します。

FILEツマミで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは右側、前にあるときは左側にまわします。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

ファイルリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

ファイルリスト画面



・ファイルリスト画面については、「ファイルリストを表示する」をご覧ください。(▶198)

早送り、早戻しする

早送りするときはTRACKスイッチのへ側、早戻しするときはゝ側を“ピツ”と音がするまで押し続けます。

- ・スイッチを押している間、早送り・早戻しされます。希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- ・早送りする場合、ディスクの最後の曲の終わりになったら、最初の曲にもどり作動を続けます。
- ・早戻しする場合、ディスクの最初の曲の始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

RPT にタッチするまたは **2** (RPTスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RPT** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

同じフォルダを繰り返し聞く

RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **2** (RPTスイッチ)を“ピツ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RPT** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択しているフォルダが繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。


再生中のフォルダの中からランダムに聞く

RAND にタッチするまたは **1** (RANDスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RAND** が表示されます。
- ・解除するまで選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

ディスクに保存されている全フォルダの中からランダムに聞く

RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **1** (RANDスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に  **RAND** が表示されます。
- ・解除するまで全フォルダの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

フォルダの中から曲（ファイル）を探す

SCAN にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・選択しているフォルダの全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。
- ・全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダを探す

SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全フォルダの一つめの曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望のフォルダになったら、もう一度スイッチにタッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
- ・全フォルダの一つめの曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダリストを表示する

フォルダリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

FOLDER LIST にタッチします。

- ・フォルダリスト画面が表示されます。

フォルダリスト画面



- ・フォルダが7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・フォルダにタッチすると、そのフォルダの最初の曲の再生を始めます。
- ・**FILE** にタッチすると、ファイルリスト画面が表示されます。

ファイルリストを表示する

再生しているフォルダのファイルリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

フォルダリスト画面で、**FILE** にタッチします。

- ・ファイルリスト画面が表示されます。

ファイルリスト画面



- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。
- ・**FOLDER** にタッチすると、フォルダリスト画面が表示されます。

楽曲情報を表示する

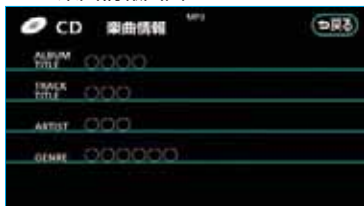
再生している曲の情報を表示することができます。

- ・走行中は楽曲情報を表示することはできません。

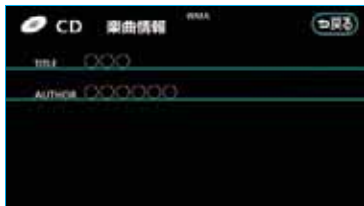
フォルダリスト画面またはファイルリスト画面で、**曲情報** にタッチします。

- ・楽曲情報画面が表示されます。

MP3楽曲情報画面



WMA楽曲情報画面



オーディオ表示部の表示を切り替える

表示部の表示を切り替えることができます。

TEXT を押します。

- ・スイッチを押すごとに表示が切り替わります。

フォルダ番号、ファイル番号
および経過時間

↓
フォルダ名

↓
ファイル名

↓
ディスクタイトル※

↓
トラックタイトル

↓
アーティスト名

※MP3のみ表示されます。

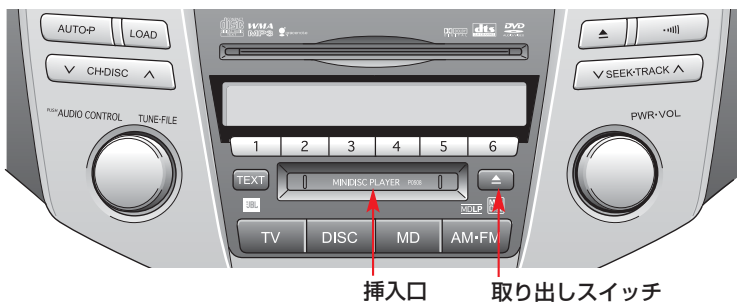
知識

- ・タイトル情報がない場合は、**「NO TITLE」** と表示されます。
- ・表示部にタイトルや曲名がすべて表示できないときは、TEXTスイッチを1秒以上押し続けるとタイトルや曲名の続きを表示することができます。(もう一度TEXTスイッチを1秒以上押し続けるまたは6秒以上操作しないともとの表示に戻ります。タイトルや曲名の続きを表示したときにさらに表示できないタイトルや曲名はそれ以降の文字は表示できません。)

IV MDプレーヤー

MDの出し入れ

DVDチェンジャー、MDプレーヤー装着車




CD、MDプレーヤー装着車



セットするには

- 1 ラベル面を上にして、MDに表示されている矢印の方向に挿入口に軽く止まる位置まで差し込みます。
- 2 MDの中央部を静かに押します。
・途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、再生を開始します。

取り出すには

 を押します。

注意

無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。MDが自動的に挿入されないときは、いったんMDを取り出し、MDが軽く止まる位置まで差し込まれていることを確認してから、再度、MDの中央部を静かに押してください。

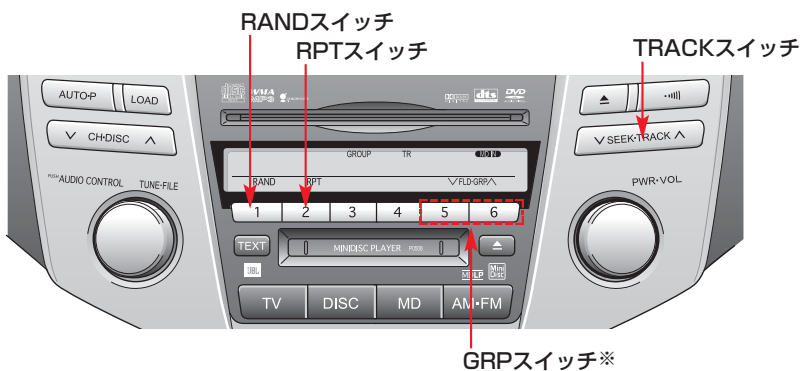
IV MDプレーヤー

MDの操作

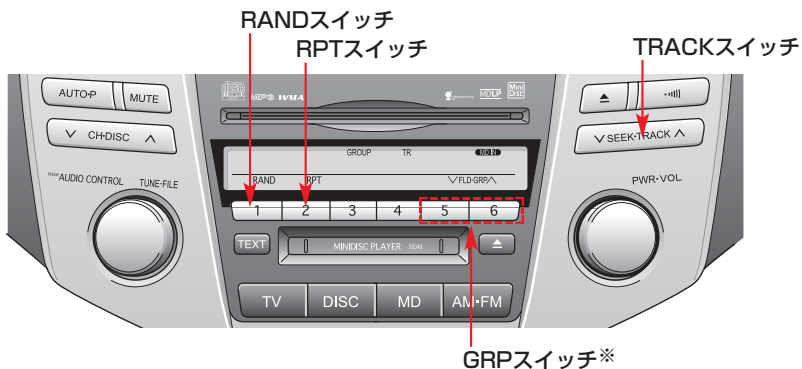
MDを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、MD操作画面が表示されます。
・オーディオ本体のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



DVDチェンジャー、MDプレーヤー装着車



CD、MDプレーヤー装着車



※グループ録音されているMDを再生しているときに操作することができます。

■グループ録音されているMDを再生しているときの操作画面

グループ録音されているMDを再生しているときは、専用の操作画面が表示されます。



■MDを聞く

■MDが挿入されていないとき
MDを挿入します。(☎200)

■MDが挿入されているとき
[MD]を押し、MDモードに切り替えます。

■聞きたいグループを選ぶ

グループ録音されているMDを再生しているときは、聞きたいグループを選択することができます。

■GRPスイッチで選ぶ

聞きたいグループがうしろにあるときは[6]、前にあるときは[5]を押します。

■操作画面で選ぶ

聞きたいグループがうしろにあるときはGROUP LISTの▲、前にあるときは▼にタッチします。

■リスト画面で選ぶ

リストから聞きたいグループを選択して再生することができます。
・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

グループリスト画面で聞きたいグループにタッチします。

グループリスト画面



・グループリスト画面については、「グループリストを表示する」をご覧ください。(☎205)

聞きたい曲を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を押します。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

トラックリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

トラックリスト画面

(グループ録音されていないMD再生時)



(グループ録音されているMD再生時)



- ・トラックリスト画面については、「トラックリストを表示する」をご覧ください。(➡206)

早送り、早戻しする

早送りするときはTRACKスイッチの \curvearrowright 側、早戻しするときは \curvearrowleft 側を“ピツ”と音がするまで押し続けます。

- ・スイッチを押している間、早送り・早戻しされます。希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- ・早送りする場合、最後の曲の終わりになったら、最初の曲にもどり作動を続けます。
- ・早戻しする場合、最初の曲の始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲を繰り返し聞く

RPT にタッチするまたは **2** (RPTスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RPT** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

同じグループを繰り返し聞く

グループ録音されているMDを再生しているときは、選択しているグループを繰り返し再生することができます。

RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **2** (RPTスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RPT** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択しているグループが繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

RAND にタッチするまたは **1** (RANDスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RAND** が表示されます。
- ・解除するまでMDの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
グループ録音されているMDを再生しているときは、選択しているグループの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

MDに保存されている全グループの中からランダムに聞く

グループ録音されているMDを再生しているときは、MDに保存されている全曲の中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **1** (RANDスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RAND** が表示されます。
- ・解除するまで全曲の中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

曲を探す

SCAN にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。

グループ録音されているMDを再生しているときは、選択しているグループの全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。

- ・全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

グループを探す

グループ録音されているMDを再生しているときは、MDに保存されている全グループの一つめの曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全グループの一つめの曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。

希望のグループになったら、もう一度スイッチにタッチすると、そのグループの再生を続けます。

- ・全グループの一つめの曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

グループリストを表示する

グループ録音されているMDを再生しているときは、グループリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

GROUP LIST にタッチします。

- ・グループリスト画面が表示されます。

グループリスト画面



- ・グループが7つ以上のときは▲、▼にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・グループにタッチすると、そのグループの初めの曲の再生を始めます。
- ・**TRACK** にタッチすると、トラックリスト画面が表示されます。

トラックリストを表示する

グループ録音されていないMDを再生しているとき

MDの曲リストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

TRACK LIST にタッチします。

- ・トラックリスト画面が表示されます。

トラックリスト画面



- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。

グループ録音されているMDを再生しているとき

再生しているグループの曲リストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

グループリスト画面で、**TRACK** にタッチします。

- ・トラックリスト画面が表示されます。

トラックリスト画面



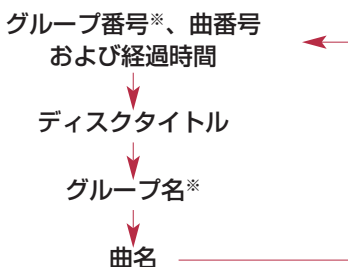
- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。
- ・**GROUP** にタッチすると、グループリスト画面が表示されます。

オーディオ表示部の表示を切り替える

表示部の表示を切り替えることができます。

TEXT を押します。

- ・スイッチを押すごとに表示が切り替わります。



※グループ録音されているMDを再生しているときのみ表示されます。

知識

- ・タイトル情報がない場合は、**「NO TITLE」** と表示されます。
- ・無録音ディスクが挿入されているときは、**「BLANK DISC」** と表示されます。
- ・表示部にタイトルや曲名がすべて表示できないときは、TEXTスイッチを1秒以上押し続けるとタイトルや曲名の続きを表示することができます。(もう一度TEXTスイッチを1秒以上押し続けるまたは6秒以上操作しないともとの表示に戻ります。タイトルや曲名の続きを表示したときにさらに表示できないタイトルや曲名はそれ以降の文字は表示できません。)

V DVDチェンジャー★

ディスクの出し入れ



セットするには

■一枚だけ挿入するとき (単独挿入モード)

- 1 **LOAD** を押し、すぐ手を離します。
 - ・表示部に「WAIT」が点滅表示され、インジケーターがオレンジ色に点滅します。
- 2 表示部が「LOAD」の点滅表示にかわり、インジケーターが緑色に点灯しているのを確認してから、ラベル面を上にして挿入します。
 - ・途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、再生を開始します。
 - ・約15秒以内にディスクを挿入しないと表示部の「LOAD」の表示とインジケーターが消灯し、挿入できなくなります。

■数枚連続して挿入するとき (連続挿入モード)

- 1 **LOAD** を“ピッ”と音がするまで押し続けます。
 - ・表示部に「WAIT」が点滅表示され、インジケーターがオレンジ色に点滅します。
- 2 表示部が「LOAD」の点滅表示にかわり、インジケーターが緑色に点灯しているのを確認してから、ラベル面を上にして挿入します。
 - ・途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。
 - ・ディスクを挿入すると、表示部に「WAIT」が点滅表示され、インジケーターがオレンジ色に点滅します。

- 3 次のディスクを挿入するときは、再び表示部が「LOAD」の点滅表示にかわり、インジケータが緑色に点灯しているのを確認してから挿入します。

操作の途中で、**LOAD**を押してすぐ手を離すか、約15秒以内にディスクを挿入しなかったときは、最後に挿入したディスクが再生されます。また、ディスクが6枚挿入されると、自動的に最後に挿入したディスクが再生されます。

注意

- ・ディスクを挿入するときは、必ず表示部に「LOAD」が点滅表示され、インジケータが緑色に点灯しているのを確認してから挿入してください。**LOAD**を押さずに挿入したり、表示部に「WAIT」が点滅表示され、インジケータがオレンジ色に点滅しているときに、ディスクを挿入すると、機器の故障の原因となるおそれがあります。
- ・DVDチェンジャーは、12cmディスク専用です。8cmディスクを使用するときは、「**トヨタ純正8cmディスクアダプター**」が必要です。トヨタ純正品以外の8cmディスクアダプターを使用すると、DVDチェンジャーの故障の原因になります。
トヨタ純正8cmディスクアダプターについては、トヨタ販売店にご相談ください。
- ・CDを挿入するときは、2枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

取り出すには

- 選択中のディスクを取り出すとき
(単独取り出しモード)

▲を押します。

- すべてのディスクを取り出すとき
(連続取り出しモード)

1 **▲**を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- 2 排出されたディスクを取り出すと、次のディスクが排出されます。
- ・ディスクが排出されたあと、約15秒以内に取出さないと、連続取り出しモードが解除されます。

知識

ディスクを取り出しているときに、

- ・ **DISC**を押すと、ディスクをいったん排出したあと、再度引き込み、そのディスクが再生されます。
- ・ セットされているディスクが5枚以下(排出中のディスクを含む)のときは、**LOAD**を押すと、排出中のディスクを再度引き込み、単独挿入モード(208)になります。

V DVDチェンジャー★

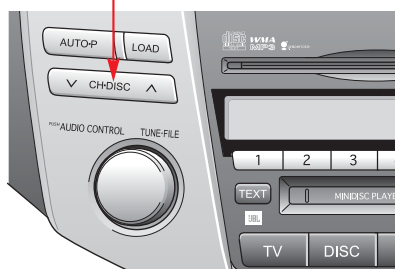
ディスクの切り替え方

ディスクを切り替える

DISCスイッチで切り替える

聞きたいディスクがうしろにあるときは \wedge 側、前にあるときは \vee 側を押します。

DISCスイッチ



操作画面で切り替える

- 1 ディスクを再生しているときに、**オーディオ**を押します。
- 2 再生したいディスクにタッチします。



知識

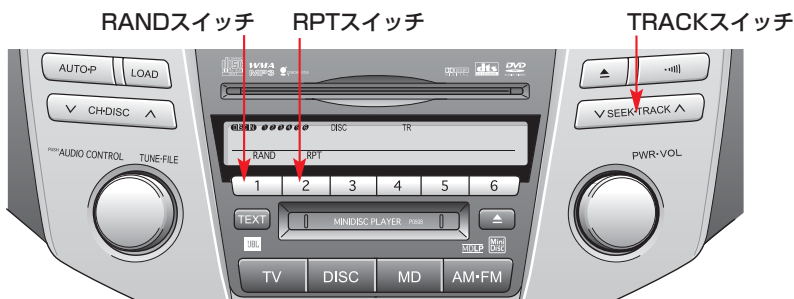
ディスクを切り替えるときに、ディスクの種類を判別するために、切り替えに時間がかかることがあります。

V DVDチェンジャー★

音楽CDの操作

CDを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、CD操作画面が表示されます。

- ・オーディオ本体のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



CDを聞く

■CDが挿入されていないとき
CDを挿入します。(➡208)

■CDが挿入されているとき
DISCを押し、DVDチェンジャーモードに切り替えます。

- ・チェンジャー内の希望のCD以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。(➡210)
- ・DVDチェンジャー以外のモードが再生されたときは、DVDチェンジャーモードに切り替わるまでスイッチを押します。

知識

- ・本機のサウンドライブラリは、録音モードの初期設定がAUTOに設定されているため、CDの再生が始まると、自動でサウンドライブラリへ録音を開始します。(➡247)
希望の曲を選んで録音する場合は、「セレクトモード」に切り替えます。(➡247)
なお、録音した曲は後で削除することができます。(➡259、266)
- ・曲名、アーティスト名などの情報が本機のデータベースにある場合、録音された曲に付与されます。これらの情報は、変更または再取得することができます。(➡262、267)

- ・再生しているCDにタイトル情報が収録されていなくても、本機のデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
(該当する情報がない場合は、タイトルは表示されません。)
- ・ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたい曲を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を押します。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

トラックリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

トラックリスト画面



- ・トラックリスト画面については「トラックリストを表示する」をご覧ください。(P214)

早送り、早戻しする

早送りするときはTRACKスイッチの \curvearrowright 側、早戻しするときは \curvearrowleft 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・スイッチを押している間、早送り・早戻しされます。希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- ・早送りする場合、最後の曲の終わりになったら、最初の曲にもどり作動を続けます。
- ・早戻しする場合、最初の曲の始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲を繰り返し聞く

RPT にタッチするまたは **2** (RPTスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に「RPT」が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

同じディスクを繰り返し聞く

RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **[2]** (RPTスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **[RPT]** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択しているディスクが繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

RAND にタッチするまたは **[1]** (RANDスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **[RAND]** が表示されます。
- ・解除するまでCDの中からランダム(無作為)に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

チェンジャー内の全音楽CDの中からランダムに聞く

RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **[1]** (RANDスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **[RAND]** が表示されます。
- ・解除するまでチェンジャー内の全音楽CDの中からランダム(無作為)に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

曲を探す

SCAN にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。
- ・全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

音楽CDを探す

SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・チェンジャー内の全音楽CDの一曲目の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望のCDになったら、もう一度スイッチにタッチすると、そのCDの再生を続けます。
- ・全音楽CDの再生が終わったら、自動的に解除されます。

トラックリストを表示する

曲リストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

TRACK LIST にタッチします。

- ・トラックリスト画面が表示されます。

トラックリスト画面



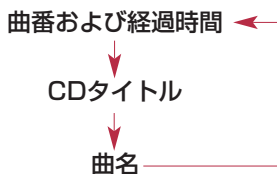
- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。

オーディオ表示部の表示を切り替える

CDテキスト対応のCDを再生しているときは、表示部にCDタイトルや曲名を表示することができます。

TEXT を押します。

- ・スイッチを押すごとに表示が切り替わります。



知識

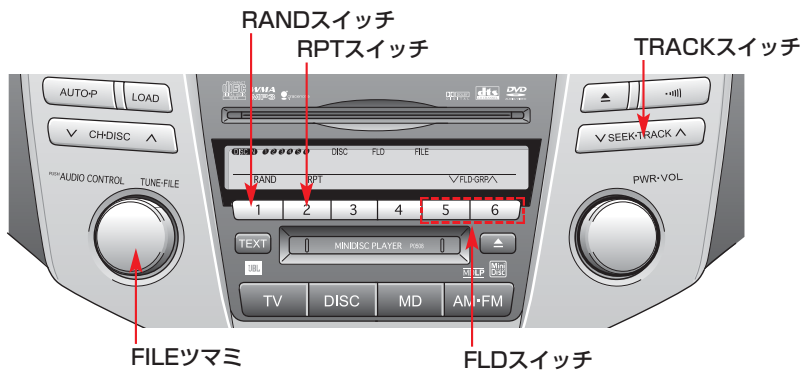
- ・表示部にタイトルや曲名がすべて表示できないときは、TEXTスイッチを1秒以上押し続けるとタイトルや曲名の続きを表示することができます。(もう一度TEXTスイッチを1秒以上押し続けるまたは6秒以上操作しないともとの表示に戻ります。タイトルや曲名の続きを表示したときにさらに表示できないタイトルや曲名はそれ以降の文字は表示できません。)
- ・高速録音中(248)にTEXTスイッチを押すと「REC FAST」と表示された後、元の表示に戻ります。

V DVDチェンジャー★

MP3/WMAディスクの操作

MP3/WMAディスクを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、MP3/WMA操作画面が表示されます。

- ・オーディオ本体のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



MP3/WMAディスクを聞く

■ディスクが挿入されていないとき
ディスクを挿入します。(☎208)

■ディスクが挿入されているとき
DISC を押し、DVDチェンジャーモードに切り替えます。

- ・チェンジャー内の希望のディスク以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。(☎210)
- ・DVDチェンジャー以外のモードが再生されたときは、DVDチェンジャーモードに切り替わるまでスイッチを押します。

知識

ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたいフォルダを選ぶ

FLDスイッチで選ぶ

聞きたいフォルダがうしろにあるときは **6**、前にあるときは **5** を押します。

操作画面で選ぶ

聞きたいフォルダがうしろにあるときは FOLDER の **▲**、前にあるときは **▼** にタッチします。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたいフォルダを選択して再生することができます。

・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

フォルダリスト画面で聞きたいフォルダにタッチします。

フォルダリスト画面



・フォルダリスト画面については、「フォルダリストを表示する」をご覧ください。(P219)

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは **←** 側、前にあるときは **→** 側を押します。

FILEツマミで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは右側、前にあるときは左側にまわします。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

ファイルリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

ファイルリスト画面



・ファイルリスト画面については、「ファイルリストを表示する」をご覧ください。(P219)

早送り、早戻しする

早送りするときはTRACKスイッチの \curvearrowright 側、早戻しするときは \curvearrowleft 側を“ピツ”と音がするまで押し続けます。

- ・スイッチを押している間、早送り・早戻しされます。希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

- ・早送りする場合、ディスクの最後の曲の終わりになったら、最初の曲にもどり作動を続けます。
- ・早戻しする場合、ディスクの最初の曲の始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲（ファイル）を 繰り返し聞く

RPT にタッチするまたは **2** (RPTスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RPT** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

同じフォルダを繰り返し 聞く

RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **2** (RPTスイッチ)を“ピツ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RPT** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択しているフォルダが繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。


再生中のフォルダの中から ランダムに聞く

RAND にタッチするまたは **1** (RANDスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **RAND** が表示されます。
- ・解除するまで選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

ディスクに保存されている 全フォルダの中からランダムに聞く

RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **1** (RANDスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に  RAND が表示されます。
- ・解除するまで全フォルダの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

フォルダの中から曲 (ファイル) を探す

SCAN にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・選択しているフォルダの全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。
- ・全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダを探す

SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続けます。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全フォルダの一つめの曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望のフォルダになったら、もう一度スイッチにタッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
- ・全フォルダの一つめの曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダリストを表示する

フォルダリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

FOLDER LIST にタッチします。

- ・フォルダリスト画面が表示されます。

フォルダリスト画面



- ・フォルダが7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・フォルダにタッチすると、そのフォルダの最初の曲の再生を始めます。
- ・**FILE** にタッチすると、ファイルリスト画面が表示されます。

ファイルリストを表示する

再生しているフォルダのファイルリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

フォルダリスト画面で、**FILE** にタッチします。

- ・ファイルリスト画面が表示されます。

ファイルリスト画面



- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。
- ・**FOLDER** にタッチすると、フォルダリスト画面が表示されます。

楽曲情報を表示する

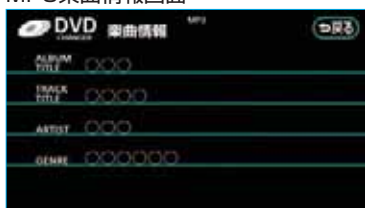
再生している曲の情報を表示することができます。

- ・走行中は楽曲情報を表示することはできません。

フォルダリスト画面またはファイルリスト画面で、**曲情報**にタッチします。

- ・楽曲情報画面が表示されます。

MP3楽曲情報画面



WMA楽曲情報画面



オーディオ表示部の表示を切り替える

表示部の表示を切り替えることができます。

TEXTを押します。

- ・スイッチを押すごとに表示が切り替わります。

フォルダ番号、ファイル番号
および経過時間

↓
フォルダ名

↓
ファイル名

↓
ディスクタイトル※

↓
トラックタイトル

↓
アーティスト名

※MP3のみ表示されます。

知識

- ・タイトル情報がない場合は、**[NO TITLE]**と表示されます。
- ・表示部にタイトルや曲名がすべて表示できないときは、TEXTスイッチを1秒以上押し続けるとタイトルや曲名の続きを表示することができます。(もう一度TEXTスイッチを1秒以上押し続けるまたは6秒以上操作しないともとの表示に戻ります。タイトルや曲名の続きを表示したときにさらに表示できないタイトルや曲名はそれ以降の文字は表示できません。)

V DVDチェンジャー★

DVDビデオ・DVDオーディオの操作

エンジン スイッチが“ACC”または“ON”のときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみディスクの映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

・ディスクの映像が表示されないときは、**[DISC]** を押し、DVDチェンジャーモードに切り替えます。(☎223)

DVDビデオ・DVDオーディオを操作する画面には、操作画面とオンスクリーン画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

・オーディオ本体のスイッチは、操作画面やオンスクリーン画面が表示されていないときでも操作することができます。

■操作画面

ディスクを再生させているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、**[オーディオ]** を押しと表示されます。

映像 にタッチすると、再生させていた映像に戻ります。

WIDE MODE にタッチすると、画面モードを切り替えることができます。(☎30)



※1



※1 RPT、RAND、SCANはDVDオーディオ再生時のみ表示されます。

※2 DVDオーディオを再生しているときに操作することができます。

■ オンスクリーン画面

ディスクの映像をご覧になっているときに、画面にタッチすると表示されます。

- ・ オンスクリーン画面には2つの画面があります。

次ページ または **前ページ** にタッチして、2つの画面を切り替えます。

DVDビデオ再生時



DVDオーディオ再生時



- ・ スイッチにタッチしたとき、画面に⊘が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。
- ・ スイッチを消すときは、**ボタン消**にタッチします。

DVDビデオ・DVDオーディオを再生する

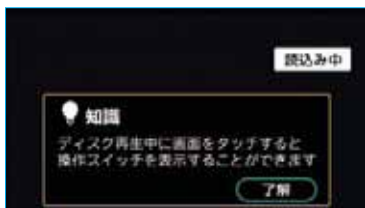
■ディスクが挿入されていないとき
ディスクを挿入します。(☎208)

■ディスクが挿入されているとき
[DISC] を押し、DVDチェンジャーモードに切り替えます。

- ・チェンジャー内の希望のディスク以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。(☎210)
- ・DVDチェンジャー以外のモードが再生されたときは、DVDチェンジャーモードに切り替わるまでスイッチを押します。

ディスクを挿入するまたはディスクが挿入されているときにDVDビデオ・DVDオーディオを選択すると、ディスク読み込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

「知識」が表示されたときは[了解]にタッチすると、画面上の「知識」の表示が消去されます。



警告

DVDビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンやDVDビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎる場合がありますので、注意してください。音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- ・ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
- ・ディスクによっては読み込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
- ・読み込み中の画面に「知識」が表示されるのは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてから最初に映像を表示したときのみです。一度、[了解]にタッチすると、2回目以降は表示されません。また、その後、エンジンスイッチを“LOCK”にしてから、“ACC”または“ON”にして、最初に映像を表示したときには再び「知識」が表示されます。
- ・メニュー項目の画面など音声が入録されていない場合があります。そのような場面では、音声が入録されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生・ページ送りなどの操作を行ってください。
- ・DVDオーディオには映像が入録されていない場合があります。その場合は青色画面が表示されます。

映像を一時停止する

オンスクリーン画面で、**⏸** にタッチします。

- ・もう一度 **⏸** にタッチするまたは **▶** にタッチすると通常再生されます。

映像を止める

オンスクリーン画面で、**■** にタッチします。

- ・ **▶** にタッチすると通常再生されます。

早送り、早戻しする

オンスクリーン画面で操作する

早送りするときは **⏩**、早戻しするときは **⏪** にタッチします。
希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

TRACKスイッチで操作する

早送りするときは **←** 側、早戻しするときは **→** 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。
希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

スロー再生する

1 オンスクリーン画面で、**⏸** にタッチします。

2 **⏩** にタッチします。

- ・スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

静止画を切り替える

DVDオーディオのみ

オンスクリーン画面で、**ページ送り** または **ページ戻し** にタッチします。

同じトラックを 繰り返し再生する

DVDオーディオのみ

RPT にタッチするまたは **2** (RPTスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **┌ RPT** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択しているトラックが繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

トラックの順番をランダム に再生する

DVDオーディオのみ

RAND にタッチするまたは **1** (RANDスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **┌ RAND** が表示されます。
- ・解除するまでディスクの中からランダム（無作為）にトラックが選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

トラックを探す

DVDオーディオのみ

操作画面で、**SCAN** にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・全トラックの始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。希望のトラックになったら、もう一度スイッチにタッチすると、そのトラックの再生を続けます。
- ・全トラックの再生が終わったら、自動的に解除されます。

見たい、聞きたい場所を選ぶ

タイトル／グループから選ぶ

- 1 オンスクリーン画面で、**サーチ** にタッチします。
- 2 タイトル／グループ番号を入力します。

DVDビデオ再生時



DVDオーディオ再生時



- ・間違えたときは**修正** にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

3 **完了** にタッチします。

- ・**OFF** にタッチすると、サーチ画面を一時的に消すことができます。
- ・**OFF** にタッチした後、再びサーチ画面を表示するには**ON** にタッチします。



■ ボーナスクープを再生する

DVDオーディオのみ

挿入しているディスクにボーナスグループがある場合、キー番号を入力するとボーナスグループを再生することができます。

- ・ボーナスグループやキー番号についてはディスクに付属の取扱書などをご覧ください。

- 1 ボーナスクープのグループ番号を選択して、**完了** にタッチします。
- 2 キー番号を入力します。



- ・間違えたときは **修正** にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

3 **完了** にタッチします。

■ **チャプター／トラックから選ぶ**

チャプター番号、トラック番号を大きい方へ選択するときは、TRACKスイッチのへ側、小さい方へ選択するときは、へ側を押して、チャプター番号、トラック番号を選択します。

- ・チャプター番号、トラック番号が画面に表示されますので、希望のチャプター番号、トラック番号を選びます。

■ **メニュー画面を操作する**

ディスク独自のメニュー項目を操作することができます。

1 オンスクリーン画面で、**メニュー** または **トップメニュー** にタッチします。

- ・メニュー画面を表示しているときに、操作スイッチが表示されていないときは **表示** にタッチします。

メニュー表示の画面例



2 **▼**・**▲**・**◀**・**▶** にタッチして、メニュー項目を選択します。

3 **決定** にタッチします。

選択したメニュー項目が再生されます。

- ・表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに付属の取扱書をご覧ください。(画面は一例です。)

- ・ **移動** にタッチすると、タッチスイッチが表示されている場所を画面の上側や下側に変更することができます。

- ・ **OFF** にタッチすると、スイッチを一時的に消すことができます。

- ・ **OFF** にタッチした後、再びスイッチを表示するには **ON** にタッチします。



【知識】

ディスクによっては **決定** にタッチしてもスイッチが消えないものもあります。その場合、**戻る** にタッチし、オンスクリーン画面 (222) で **ボタン消** にタッチして消します。

メニュー番号を選ぶ

DVDオーディオのみ

- 1 オンスクリーン画面で、**番号** にタッチします。
- 2 メニュー番号を入力します。



- ・間違えたときは **修正** にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

- 3 **完了** にタッチします。
 - ・ **OFF** にタッチすると、スイッチを一時的に消すことができます。
 - ・ **OFF** にタッチした後、再びスイッチを表示するには **ON** にタッチします。



知識

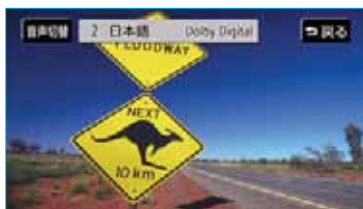
ディスクにより、操作できなかったり、異なる作動がされることがあります。

音声を切り替える

音声が複数収録されているディスクの場合、音声を切り替えることができます。

- 1 オンスクリーン画面で、**音声** にタッチします。
- 2 **音声切替** にタッチします。
 - ・ タッチするごとに、音声言語／音声フォーマットが切り替わります。

DVDビデオ再生時



DVDオーディオ再生時



字幕を切り替える

字幕が複数収録されているディスクの場合、字幕を切り替えることができます。

1 オンスクリーン画面で、**字幕** にタッチします。

2 **字幕切替** にタッチします。

- ・タッチすることにより、字幕言語が切り替わります。
- ・**字幕消** にタッチすると、字幕を表示させないようにすることができます。再び字幕を表示するにはもう一度スイッチにタッチします。



アングルを切り替える

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、カメラアングルを切り替えることができます。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマークが表示されます。(P.230)

1 オンスクリーン画面で、**アングル** にタッチします。

2 **アングル** にタッチします。

- ・タッチすることにより、アングルが切り替わります。



ディスクに指定された位置まで戻って見る

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

オンスクリーン画面で、**リターン**にタッチします。

プレーヤーの設定をする

あらかじめお好みの設定にしておけば、ディスクを再生するたびに設定する必要がありません。

以下の項目の設定をすることができます。

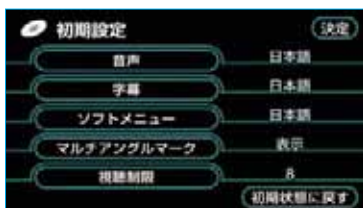
- ・音声言語の設定
- ・字幕言語の設定
- ・ソフトメニュー言語の設定
- ・マルチアングルマーク表示の設定
- ・視聴制限レベルの設定

初期設定画面を表示する

オンスクリーン画面で、**設定**にタッチします。

- ・設定が終了したら**決定**にタッチします。

初期設定画面



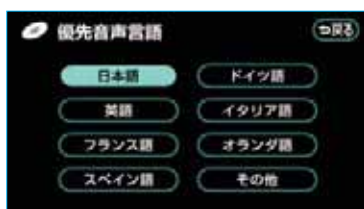
知識

初期状態に戻すにタッチすると、視聴制限を除いた項目が初期の状態にもどります。

音声言語を設定する

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます。

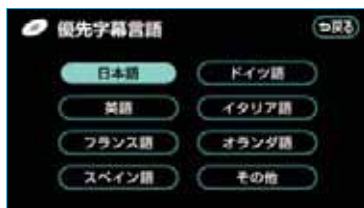
- 1 初期設定画面で、**音声**にタッチします。
- 2 出力させる音声言語のタッチスイッチにタッチします。
 - ・**その他**にタッチしたときは、「言語コードの入力」をご覧ください。(➡231)



字幕言語を設定する

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます。

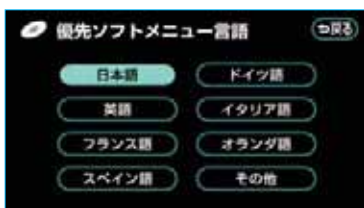
- 1 初期設定画面で、**字幕**にタッチします。
- 2 表示させる字幕言語のタッチスイッチにタッチします。
 - ・**その他**にタッチしたときは、「言語コードの入力」をご覧ください。(➡231)



ソフトメニュー言語を設定する

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定することができます。

- 1 初期設定画面で、**ソフトメニュー** にタッチします。
- 2 表示させるソフトメニュー言語のタッチスイッチにタッチします。
・ **その他** にタッチしたときは「言語コードの入力」をご覧ください。(➡231)



マルチアングルマーク表示の設定をする

マルチアングル(➡239)で記憶されているディスクを再生させているときに表示されるマルチアングルマークを「表示」または「非表示」に切り替えることができます。

初期設定画面で、

マルチアングルマーク にタッチします。

・ タッチするたびに表示 ↔ 非表示と切り替わります。



マルチアングルマーク

視聴制限レベルを設定する

視聴制限レベル(➡240)の設定をすることができます。

- 1 初期設定画面で、**視聴制限** にタッチします。
- 2 暗証番号を入力します。



- ・ 暗証番号が未設定のとき(「———」が表示されているとき)は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- ・ 間違えたときは **修正** にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

- 3 **完了** にタッチします。
- 4 選択する視聴制限レベルのタッチスイッチにタッチします。



知識

暗証番号入力時、**修正** に連続して10回タッチすると、暗証番号を初期化(未設定の状態に)することができます。

言語コードの入力

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の設定で、**その他**にタッチしたときは、言語コードを入力することにより、言語を選択することができます。

- 1 言語コードを入力します。
 - ・間違えたときは**修正**にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。



※画面は「字幕言語」のコード入力画面です。

- 2 **完了**にタッチします。

■言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブバジャ語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌビアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コシカ語	1113	カンボジア語	1823	キンヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ポラビュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボクロアチア語	2515	ヨルバ語
0515	エスเปรント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語

V DVDチェンジャー★

ビデオCDの操作

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみディスクの映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

・ディスクの映像が表示されないときは、**DISC** を押し、DVDチェンジャーモードに切り替えます。(☞234)

ビデオCDを操作する画面には、操作画面とオンスクリーン画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

・オーディオ本体のスイッチは、操作画面やオンスクリーン画面が表示されていないときでも操作することができます。

■操作画面

ディスクを再生させているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、**オーディオ** を押しと表示されます。

映像 にタッチすると、再生させていた映像に戻ります。

WIDE MODE にタッチすると、画面モードを切り替えることができます。(☞30)

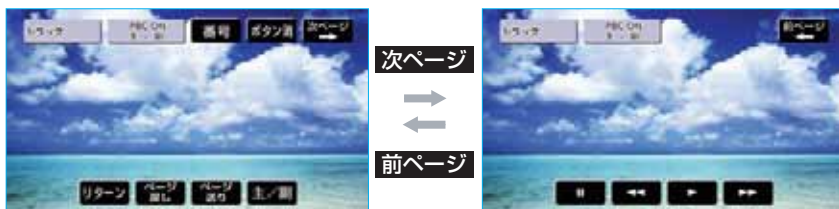



■ オンスクリーン画面

ディスクの映像をご覧になっているときに、画面にタッチすると表示されます。

- ・ オンスクリーン画面には2つの画面があります。

次ページ または **前ページ** にタッチして、2つの画面を切り替えます。



- ・ スイッチにタッチしたとき、画面に  が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。
- ・ スイッチを消すときは、**ボタン消** にタッチします。

■ ビデオCDを再生する

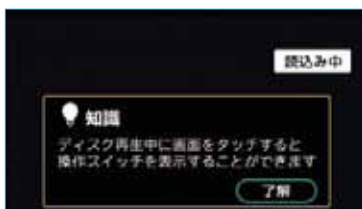
■ ディスクが挿入されていないとき
ディスクを挿入します。(☎208)

■ ディスクが挿入されているとき
[DISC] を押し、DVDチェンジャーモードに切り替えます。

- ・ チェンジャー内の希望のディスク以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。(☎210)
- ・ DVDチェンジャー以外のモードが再生されたときは、DVDチェンジャーモードに切り替わるまでスイッチを押します。

ディスクを挿入するまたはディスクが挿入されているときにビデオCDを選択すると、ディスク読み込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

「知識」が表示されたときは**了解** にタッチすると、画面上の「知識」の表示が消去されます。



知識

- ・ ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
- ・ ディスクによっては読み込み中の画面の表示時間が長い場合があります。

- ・読み込み中の画面に「知識」が表示されるのは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてから最初に映像を表示したときのみです。一度、**了解**にタッチすると、2回目以降は表示されません。また、その後、エンジンスイッチを“LOCK”にしてから、“ACC”または“ON”にして、最初に映像を表示したときには再び「知識」が表示されます。
- ・メニュー項目の画面など音声が収録されていない場合があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。
- ・PBC機能はON固定になります。PBCとはPlay Back Control（プレイバックコントロール）の略で、PBCが内蔵されているディスクを再生させているときに、ディスク独自のメニュー項目を表示させ、操作することができます。

映像を一時停止する

オンスクリーン画面で、**⏸**にタッチします。

- ・もう一度**⏸**にタッチする、または**▶**にタッチすると通常再生されます。

早送り、早戻しする

オンスクリーン画面で操作する

早送りするときは**⏩**、早戻しするときは**⏪**にタッチします。

希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

TRACKスイッチで操作する

早送りするときは \curvearrowright 側、早戻しするときは \curvearrowleft 側を“ピツ”と音がするまで押し続けます。希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

スロー再生する

- 1 オンスクリーン画面で、**⏮**にタッチします。
- 2 **▶**にタッチします。
 - ・スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

見たい場所を選ぶ

オンスクリーン画面で選ぶ

トラック番号を大きい方へ選択するときは**ページ送り**、小さい方へ選択するときは**ページ戻し**にタッチします。

TRACKスイッチで選ぶ

トラック番号を大きい方へ選択するときは \curvearrowright 側、小さい方へ選択するときは \curvearrowleft 側を押して、トラック番号を選択します。

- ・トラック番号が画面に表示されるので、希望のトラック番号を選びます。

知識

ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作が行われることがあります。

メニュー画面を表示する

ディスク独自のメニュー項目を表示することができます。

オンスクリーン画面で、**リターン**にタッチします。

- ・操作方法は、再生させているディスクに付属の取扱書をご覧ください。

メニュー番号を選ぶ

1 オンスクリーン画面で、**番号**にタッチします。

2 メニュー番号を入力します。



- ・間違えたときは**修正**にタッチすると、最後に入力した数字が消去されます。

3 **完了**にタッチします。

- ・**OFF**にタッチすると、スイッチを一時的に消すことができます。
- ・**OFF**にタッチした後、再びスイッチを表示するには**ON**にタッチします。



知識

ディスクにより、操作できなかつたり、異なる作動がされることがあります。

音声モードを切り替える

主/副にタッチするごとに、以下の順に音声モードが切り替わります。



Manufactured under license from Dolby Laboratories.

“Dolby”, “Pro Logic” and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

「ドルビー」、「Dolby」、「Pro Logic」及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



Manufactured under license under U.S. Patent #’ s: 5,451,942;5,956,674; 5,974,380;5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks & DTS Digital Surround and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software.©DTS, Inc. All Rights Reserved.

本機は、ロヴィコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ディスク再生中の操作について

DVDビデオ・DVDオーディオ・ビデオCDではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。このDVDチェンジャーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取扱書もあわせてご覧ください。

DVDビデオ・DVDオーディオについて

NTSCカラーテレビ方式に対応しています。

NTSC方式以外のカラーテレビ方式（PAL・SECAM）対応のディスクは再生させることができません。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号が表示されているものがあります。（▶240）






地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を示す番号）が含まれていない、または「ALL」（全世界向け）と表示されていないディスクは、このDVDチェンジャーで再生させることができません。

このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、このDVDチェンジャーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC	カラーテレビの方式
 (5.1ch) (2ch)	音声のトラック数 ・数字が収録されている音声数。
	字幕の言語数 ・数字が収録されている言語数
	アングルの数 ・数字が収録されているアングル数
	選択することができる画面モード ・「16:9」はワイド画面 「4:3」は標準画面
	再生可能な地域番号。 ・ALLは全世界向け、数字は地域番号（「2」は日本を示します。）

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

■DVDビデオ

タイトル1	チャプター1
	チャプター2
タイトル2	チャプター1
	チャプター2
	チャプター3
タイトル3	チャプター1

■DVDオーディオ

グループ1	トラック1
	トラック2
グループ2	トラック1
	トラック2
	トラック3
グループ3	トラック1

■タイトル、グループ

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りが一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトでは、アルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトル、グループに順につけられた番号をいいます。

■チャプター、トラック

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルやグループより小さい単位。1つのタイトル、グループは、複数のチャプター、トラックで構成され、それぞれのチャプター、トラックに順につけられた番号をいいます。

知識

ディスクによっては、再生中にタイトル、グループ番号・チャプター、トラック番号・再生時間が表示されないものもあります。

DVDビデオ・DVDオーディオの用語

より正しく有効にDVDビデオ・DVDオーディオを利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVDビデオ

動画の記憶されているDVDビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ2）が採用され、映像データが平均約1/40に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCMのほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■DVDオーディオ

最大CDの約1000倍もの情報量を持ち、マルチチャンネル音楽にも対応した、高音質オーディオ信号を再生可能なDVD。また、DVDオーディオは高音質だけでなく、動画、静止画にも対応しマルチメディアエンターテインメントを最高の音質で楽しむ事ができます。視聴制限や地域番号指定はありません。

■マルチアングル

DVDビデオ・DVDオーディオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ (多言語)

DVDビデオ・DVDオーディオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声 (DVDビデオのみ) や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」というDVDビデオの機能のひとつです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

- ・レベル1…子ども向けのディスクのみを再生させることができます。(一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。)
- ・レベル2～7…子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。(成人向けのディスクを再生させることはできません。)
- ・レベル8…すべてのディスクを再生させることができます。

■地域番号 (リージョンコード)

DVDプレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョンコード) が設けられています。

再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号 (リージョンコード) について」をご覧ください。(●238)

■音声について

このDVDチェンジャーでは、ディスク再生時の音声は、リニアPCM・パワードPCM・ドルビーデジタル・DTSに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大6chに分解して記録、再生する (ウーハーchは通常0.1chで表現するため、5.1ch) 完全ディスクリート (分割) 方式です。

■ドルビーサラウンド (ドルビープロロジック)

4ch (フロントLR、センター、サラウンド (リヤ)) の信号を2chで記録し、それをドルビープロロジックデコーダーにより再度4chに出力する方式です。
(サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります。)

■DTS

Digital Theater Systems 社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ドルビーデジタルと同様の音声分割をする方式ですが、圧縮率が低いため、より高品位なサラウンド再生をすることができます。

■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する (サンプリング) という方法が取られています。

1秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■ リニアPCM

音楽CDに用いられている信号記録方式です。

音楽CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは48kHz/16bit～96kHz/24bit、DVDオーディオでは44.1kHz/16bit～192kHz/24bitで記録されているので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

チャンネル (ch) 表示について

画面に表示されるチャンネル数は、再生しているディスクに記録されているチャンネル数を表しています。例えば、5.1chの場合、「3/2.1ch」と表示されます。



VI サウンドライブラリ

お使いになる前に

サウンドライブラリの概要

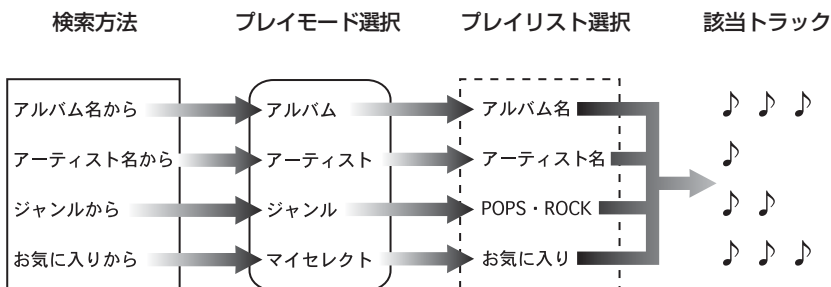
音楽CDを内蔵のハードディスクに録音することができます。また、録音した楽曲にアルバム名やアーティスト名、ジャンル名などの名称を自動で付け、リストを作成するので、聞きたい曲をアルバム名やアーティスト名、ジャンル名などから簡単に探し出し再生することができます。

知識

SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、音楽CDなどをデジタル録音したCD-Rなどから録音することはできません。

サウンドライブラリの構成について

サウンドライブラリは、録音された音楽を4種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



プレイモード・プレイリストについて

音楽CDを録音すると、種類や録音条件によってグループ分けして、ハードディスクに保存します。録音した音楽は3種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト名別、ジャンル別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
アルバム	<ul style="list-style-type: none"> 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。自動でアルバム名が付与された場合、アルバム名がプレイリスト名になります。自動でアルバム名が付与されなかった場合は、録音した日時がプレイリスト名になります。 アルバム名から選曲することができます。
アーティスト	<ul style="list-style-type: none"> 自動で録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 アーティスト名から選曲することができます。 アーティストモードでは、録音日時の新しい曲から順に再生されるため、アルバムの曲順とは逆になります。
ジャンル	<ul style="list-style-type: none"> 自動で録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。 ジャンルから選曲することができます。
マイセレクト	<ul style="list-style-type: none"> お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストです。編集作業で新規作成することができます。 オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。

知識

- ・サウンドライブラリには、最大2000曲*録音することができます。(1曲約5分換算)
 - ・マイセレクトには、最大999個*のプレイリストを作成できます。また、1つのプレイリストには最大99曲*登録することができます。
- ※録音時間や録音設定、ハードディスクの空き容量によって、作成可能なプレイリスト数や録音・登録可能な曲数は異なります。
- ・より多くの曲を録音するには、次の操作をする必要があります。
 - ・録音設定のビットレートを128kbpsに設定して録音する。(➡247)
 - ・ハードディスクに保存されているG-SOUND、AUTOLIVE カラオケ、AUTOLIVE BGMの各コンテンツを削除する。(➡565、589、605)

データベースについて

CDアルバムを再生または録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースのデータベース情報を使用しています。

Gracenote® メディアデータベースについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com

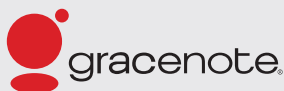
Gracenoteからの CD および音楽関連データ：Copyright © 2000 - 2007 Gracenote. Gracenote Software：Copyright 2000 - 2007 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：

#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate



知識

- ・自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- ・「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenote® メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア(以下「Gracenote ソフトウェア」)を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報(以下「Gracenote データ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」)から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関するGracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアとGracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全てのGracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。

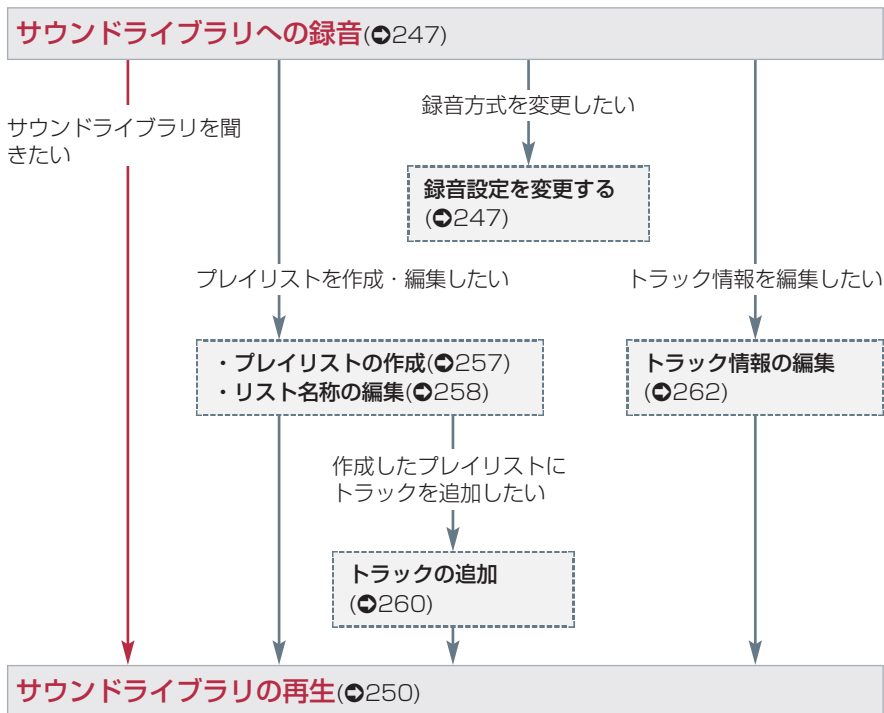
Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様によるGracenote ソフトウェアまたは任意のGracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

操作の流れについて

サウンドライブラリへの録音やプレイリスト・トラック情報の編集、サウンドライブラリの聞き方などの操作を説明します。



VI サウンドライブラリ

サウンドライブラリに録音する

録音についての注意

- ・本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、正しく録音されていることを確認してください。
- ・お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音設定を変更する

CDを再生すると同時に自動的に録音を開始する「オートモード」と、希望の曲を選んで録音する「セレクトモード」の切り替えや、録音時のビットレートの切り替えをすることができます。

- 1 CDプレーヤー操作画面またはDVDチェンジャー操作画面で、**設定** にタッチします。

CDプレーヤー操作画面



DVDチェンジャー操作画面



- 2 **AUTO** または **SELECT**、**256kbps** または **128kbps** にタッチします。



※画面は、CDプレーヤー装着車の設定画面を使用しています。DVDチェンジャー装着車では画面左上のCDの表示がDVD CHANGERになります。

- 3 **完了** にタッチします。

知識

- ・録音モードの初期設定はAUTOに設定されています。そのため、CDの再生が始まると、自動で録音を開始します。
- ・ビットレートは128kbpsに設定すると、ファイルサイズは小さくなりますが音質も低下します。

CDを録音する

- 録音モードを「オートモード」に設定します。
- CDを再生します。

CDプレーヤー操作画面



DVDチェンジャー操作画面



- 録音中は、操作画面上部に「REC」と赤字で表示されます。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を停止します。

高速録音に切り替える

オートモードで録音中、操作画面で**高速REC**にタッチすると、約4倍の速さで録音する高速録音に切り替えることができます。

知識

高速録音が終了すると、CDの再生が一瞬途切れます。

- 高速録音中は、操作画面上部に「REC FAST」と赤字で表示され、タッチスイッチの作動表示灯が点灯します。



※画面は、CDプレーヤー装着車の設定画面を使用しています。DVDチェンジャー装着車では画面左上のCDの表示がDVD CHANGERになります。

CDの中から好みの曲を録音する

- 録音モードを「セレクトモード」に設定します。
- CDプレーヤー操作画面またはDVDチェンジャー操作画面で、**REC**にタッチします。

CDプレーヤー操作画面



DVDチェンジャー操作画面



3 録音したい曲にタッチします。



※画面は、CDプレーヤー装着車の設定画面を使用しています。DVDチェンジャー装着車では画面左上のCDの表示がDVD CHANGERになります。

- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。(走行中は操作できません。)
- ・リストにあるすべての曲を録音したいときは **全て選択** にタッチします。**全て解除** にタッチすると、選択が解除されます。

4 **完了** にタッチします。

- ・セレクトモードは高速録音のみになります。
- ・録音中は、操作画面上部に「REC FAST」と赤字で表示されます。
- ・録音を中止したいときは、**REC中止** にタッチします。



※画面は、CDプレーヤー装着車の設定画面を使用しています。DVDチェンジャー装着車では画面左上のCDの表示がDVD CHANGERになります。

知識

- ・高速録音は通常の速さで再生しながら、最大4倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- ・録音準備中は文字の色が灰色で表示されます。
- ・高速録音中は、**RPT**、**RAND**、**SCAN**、**TRACK LIST**、**設定** の各スイッチは操作できません。また、早送り・早戻しもできません。
- ・CD以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし、次の場合、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
 - ・エンジンスイッチを“LOCK”にしたとき
 - ・オーディオの電源をOFFにしたとき
 - ・録音中のCDを取り出したとき
 - ・オートモードで録音中、録音モードをセレクトモードに変更したとき
 - ・チェンジャー装着車で、録音中のCD以外のディスクに切り替えたとき
 - ・AUTOLIVEに切り替える、または操作ガイドを操作したとき
 - ・録音した曲数が2000曲になったとき
 - ・HDDの容量がいっぱいになったとき
- ・高速録音時に、ディスクの状態により録音できない場合があります。そのときは等速録音（録音モードを「オートモード」にして「高速REC OFF」）に設定することにより、録音できることがあります。
- ・HDDの空き容量が少ないときにプレイリストや曲を削除したあとでは、録音を開始するまでに時間がかかることがあります。

VI サウンドライブラリ

サウンドライブラリの操作

サウンドライブラリを聞いているときに、**オーディオ**を押すと、サウンドライブラリ操作画面が表示されます。

- ・オーディオ本体のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



DVDチェンジャー、MDプレーヤー装着車



CD、MDプレーヤー装着車



知識

G-SOUND は、G-BOOK ALPHAをWeb登録して利用されているときに使用することができます。(➡558)

サウンドライブラリを聞く

DISC を押し、HDDモードに切り替えます。

- ・HDD以外のモードが再生されたときは、HDDモードに切り替わるまでスイッチを押します。

知識

- ・録音したCDの情報がデータベースにない場合、アルバムモードのプレイリストタイトルには録音した日時、トラックタイトルにはTrack01、Track02…と表示されます。
- ・オーディオ表示部に曲（トラック）の情報は表示されません。TEXTスイッチを押しても「HDD PLAYING」と表示されます。

聞きたいプレイリストを選ぶ

DISCスイッチで選ぶ

聞きたいプレイリストがうしろにあるときは \leftarrow 側、前にあるときは \rightarrow 側を押します。

操作画面で選ぶ

聞きたいプレイリストがうしろにあるときはPLAY LISTの \blacktriangle 、前にあるときは \blacktriangledown にタッチします。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたいプレイリストを選択して再生することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

現在のプレイモードで選ぶ

プレイリスト画面で聞きたいプレイリストにタッチします。

プレイリスト画面



- ・プレイリスト画面については、「プレイリストを表示する」をご覧ください。(254)

プレイモードを変更して選ぶ

- 1 プレイリスト画面(254)またはトラックリスト画面(255)で、**PLAY MODE** にタッチします。

- 2 プレイモードを選択します。



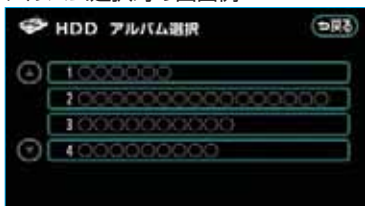
- ・アルバム名で選ぶときは **アルバム**、
アーティスト名で選ぶときは **アーティスト**、
ジャンルで選ぶときは **ジャンル**、
マイセレクトから選ぶときは **マイセレクト** にタッチします。

知識

- ・ **G-テーマ** は、G-BOOK ALPHAをWeb登録して利用されているときに使用することができます。(☎564)
- ・ 各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

3 聞きたいプレイリストにタッチします。

アルバム選択時の画面例



- ・ ジャンル以外のプレイモードを選んだときで、プレイリストが5つ以上のときは▲、▼にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・ プレイリストにタッチすると、そのプレイリストのトラックリスト画面が表示され、初めの曲の再生を始めます。

聞きたい曲（トラック）を選ぶ

TRACKスイッチで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは∩側、前にあるときは∪側を押します。

FILEツマミで選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときは右側、前にあるときは左側にまわします。

リスト画面で選ぶ

リストから聞きたい曲を選択して再生することができます。

- ・ 走行中はリスト画面を表示できないため操作できません。

トラックリスト画面で聞きたい曲にタッチします。

トラックリスト画面



- ・ トラックリスト画面については、「トラックリストを表示する」をご覧ください。(☎255)

早送り、早戻しする

早送りするときはTRACKスイッチの \curvearrowright 側、早戻しするときは \curvearrowleft 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

早送り・早戻しする場合、曲の終わり、または始めになったら、それ以上はスイッチを操作していても作動しません。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

RPT にタッチするまたは **[2]** (RPTスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **[RPT]** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択している曲が繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

同じプレイリストを繰り返し聞く

RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **[2]** (RPTスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **[● RPT]** が表示されます。
- ・解除するまで何度でも選択しているプレイリストが繰り返し再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

再生中のプレイリストの中からランダムに聞く

RAND にタッチする、または **[1]** (RANDスイッチ)を押します。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **[RAND]** が表示されます。
- ・解除するまでプレイリストの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

現在のプレイモードの中からランダムに聞く

RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける、または **[1]** (RANDスイッチ)を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・操作画面のスイッチの作動表示灯が点灯し、表示部に **[● RAND]** が表示されます。
- ・解除するまでプレイモードの中からランダム（無作為）に曲が選択され再生されます。
- ・もう一度スイッチにタッチするまたは押すと解除されます。

再生中のプレイリストの中から曲（トラック）を探す

SCAN にタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・プレイリスト内にある全曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチすると、その曲の再生を続けます。
- ・プレイリスト内にある全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

現在のプレイモードの中からプレイリストを探す

SCAN に“ピー”と音がするまでタッチします。

- ・スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ・プレイモード内にある全プレイリストの一曲目に収録されている曲の始めの部分が約10秒間つぎつぎに再生されます。
希望のプレイリストになったら、もう一度スイッチにタッチすると、そのプレイリストに収録されている曲の再生を続けます。
- ・プレイモード内にある全プレイリストの再生が終わったら、自動的に解除されます。

プレイリストを表示する

選択しているプレイモードのプレイリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

PLAY LIST にタッチします。

- ・プレイリスト画面が表示されます。

プレイリスト画面



- ・プレイリストが7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・プレイリストにタッチすると、そのプレイリストの初めの曲の再生を始めます。
- ・**TRACK** にタッチすると、トラックリスト画面が表示されます。

トラックリストを表示する

再生しているプレイリストのトラックリストを表示することができます。

- ・走行中はリスト画面を表示することはできません。

プレイリスト画面で、**TRACK** にタッチします。

- ・トラックリスト画面が表示されます。

トラックリスト画面



- ・曲が7つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・曲にタッチすると、その曲の再生を始めます。
- ・**PLAY LIST** にタッチすると、プレイリスト画面が表示されます。

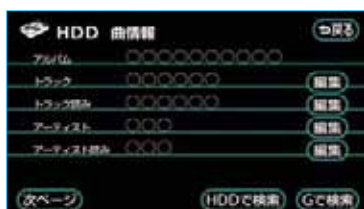
曲（トラック）の情報を表示する

再生している曲の情報を表示することができます。

- ・走行中は曲の情報を表示することはできません。

プレイリスト画面(▶254)またはトラックリスト画面(▶255)で、**曲情報** にタッチします。

- ・**次ページ**、または **前ページ** にタッチして、2つの画面を切り替えます。
- ・**編集**、**HDDで検索**、**Gで検索** は、アルバムモードで再生しているときのみ表示されます。



前ページ ↑ ↓ 次ページ



VI サウンドライブラリ

サウンドライブラリの編集

サウンドライブラリに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みの曲（トラック）を集めたプレイリストを作成することができます。また、プレイリストやトラックの名称の編集や、並び替えなどを行うことができます。

サウンドライブラリの編集をするときは、プレイリスト画面(▶254)、トラックリスト画面(▶255)から行います。

・アルバムモード、マイセレクトモードのプレイリスト画面、トラックリスト画面にはそれぞれ2つの画面があります。

次ページまたは**前ページ**にタッチして、2つの画面を切り替えます。

プレイリスト画面（マイセレクトモード時）



次ページ



前ページ



PLAY LIST ↑↓ TRACK

PLAY LIST ↑↓ TRACK

トラックリスト画面（マイセレクトモード時）



次ページ



前ページ



知識

プレイリスト次ページ画面のHDD残量表示は、残容量が10%未満になったときに表示されます。

プレイリストを作成する

お好みの曲を集めたプレイリストを作成することができます。作成したプレイリストは、プレイモードのマイセレクトから簡単に呼び出すことができます。

1 プレイリスト画面またはトラックリスト画面で、**マイセレクト新規作成** にタッチします。

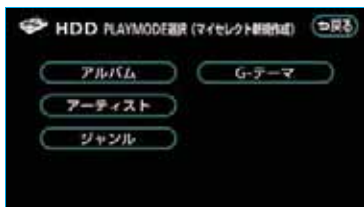
2 プレイリスト名を入力します。



・ソフトウェアキーボードで入力します。

3 **完了** にタッチします。

4 登録したい曲を検索する方法（プレイモード）を選択します。



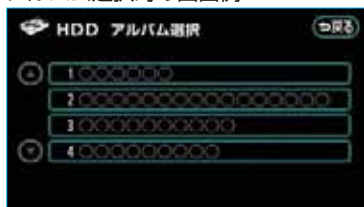
・アルバム名で探すときは **アルバム**、
アーティスト名で探すときは **アーティスト**、
ジャンルで探すときは **ジャンル**
にタッチします。

知識

G-テーマ は、G-BOOK ALPHAをWeb登録して利用されているときに使用することができます。(▶564)

5 登録したい曲が含まれているプレイリストにタッチします。

アルバム選択時の画面例



・ジャンル以外のプレイモードを選んだときで、プレイリストが5つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。

6 登録したい曲にタッチします。



・曲が5つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
・リストにあるすべての曲を登録したいときは **全て選択** にタッチします。**全て解除** にタッチすると、選択が解除されます。
・選択されている曲にタッチすると、選択が解除されます。

7 **登録** にタッチします。

8 **完了** にタッチします。



- ・ **曲追加** にタッチすると、4の画面が表示され、同様の手順で追加することができます。
- ・ **削除** にタッチすると、曲を削除することができます。 **削除** にタッチした後の操作は、「曲（トラック）を消去する」2以降と同様です。(▶266)
- ・ **移動** にタッチすると、曲を並べ替えることができます。 **移動** にタッチした後の操作は「曲（トラック）の再生順番を変更する」2以降と同様です。(▶265)

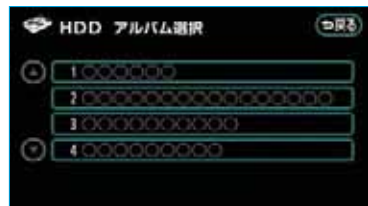
知識

- ・ 同じ名称は重複して登録できません。
- ・ プレイリストは999個作成できます。また、1つのプレイリストには99曲まで登録できます。

プレイリストの名称を編集する

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストの名称を編集することができます。

- 1 プレイリスト画面で、 **名称編集** にタッチします。
- 2 編集したいプレイリストにタッチします。



- ・ プレイリストが5つ以上のときは **▲**、 **▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。

- 3 名称を入力します。



- ・ ソフトウェアキーボードで入力します。

- 4 **完了** にタッチします。

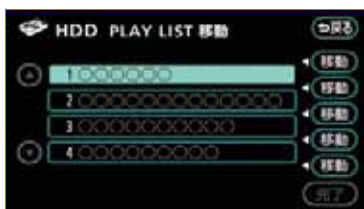
知識

マイセレクト内のプレイリストには、同じ名称は重複して登録できません。

プレイリストの再生順番を変更する

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストは、再生する順番を変更することができます。

- 1 プレイリスト画面で、**移動** にタッチします。
- 2 移動したいプレイリストにタッチします。



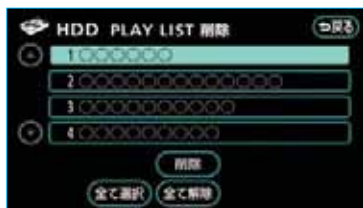
- ・プレイリストが5つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- 3 移動したい場所の **移動** にタッチします。
 - 4 **完了** にタッチします。

プレイリストを消去する

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが異なります。

プレイモード	消去されるデータ
アルバム	選択したプレイリストおよびそのプレイリストに含まれる曲。
マイセレクト	選択したプレイリスト。そのプレイリストに含まれる曲は消去されません。

- 1 プレイリスト画面で、**削除** にタッチします。
- 2 削除したいプレイリストにタッチします。



- ・プレイリストが5つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・リストにあるすべてのプレイリストを削除したいときは **全て選択** にタッチします。
- ・**全て解除** にタッチすると、選択が解除されます。
- ・選択されているプレイリストにタッチすると、選択が解除されます。

- 3 **削除** にタッチします。

4 **はい**にタッチします。



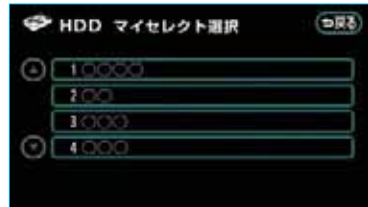
知識

- ・CDを録音中は、プレイリストを消去することはできません。
- ・HDDの空き容量が少ないときは、削除するのに時間がかかることがあります。

プレイリストに 曲（トラック）を追加する

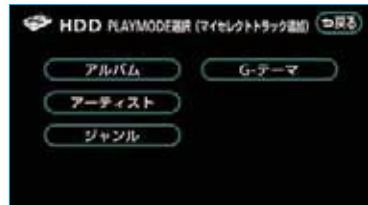
マイセレクト内のプレイリストに曲を追加することができます。その他のプレイモード内のプレイリストには追加できません。

- 1 プレイリスト画面またはトラックリスト画面で、**曲追加**にタッチします。
- 2 曲を追加したいプレイリストにタッチします。



- ・プレイリストが5つ以上のときは**▲**、**▼**にタッチしてリストのページを切り替えます。

- 3 追加したい曲を検索する方法（プレイモード）を選択します。



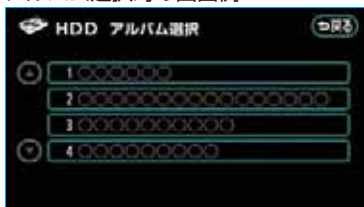
- ・アルバム名で探すときは**アルバム**、
アーティスト名で探すときは**アーティスト**、
ジャンルで探すときは**ジャンル**
にタッチします。

知識

G-テーマは、G-BOOK ALPHAをWeb登録して利用されているときに使用することができます。(▶564)

4 追加したい曲が含まれているプレイリストにタッチします。

アルバム選択時の画面例



- ・ジャンル以外のプレイモードを選んだときで、プレイリストが5つ以上のときは▲、▼にタッチしてリストのページを切り替えます。

5 追加したい曲にタッチします。



- ・曲が5つ以上のときは▲、▼にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・リストにあるすべての曲を追加したいときは**全て選択**にタッチします。**全て解除**にタッチすると、選択が解除されます。
- ・選択されている曲にタッチすると、選択が解除されます。

6 **登録** にタッチします。7 **完了** にタッチします。

- ・**曲追加** にタッチすると、3の画面が表示され、同様の手順で追加することができます。
- ・**削除** にタッチすると、曲を削除することができます。**削除** にタッチした後の操作は、「曲（トラック）を消去する」2以降と同様です。(▶266)
- ・**移動** にタッチすると、曲を並べ替えることができます。**移動** にタッチした後の操作は、「曲（トラック）の再生順番を変更する」2以降と同様です。(▶265)

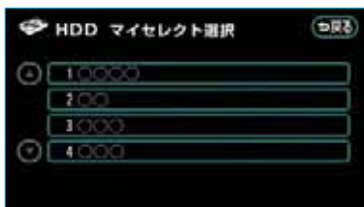
知識

1つのプレイリストには99曲まで登録できます。

再生中の曲（トラック）を プレイリストに登録する

再生している曲をマイセレクト内のプレイリストに登録することができます。その他のプレイモード内のプレイリストには登録できません。

- 1 プレイリスト画面またはトラックリスト画面で、**再生曲を登録** にタッチします。
- 2 曲に登録したいプレイリストにタッチします。



- ・プレイリストが5つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。

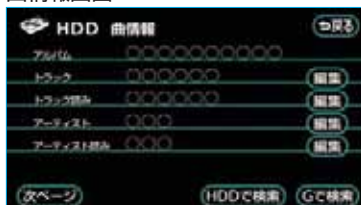
曲（トラック）の情報を 編集する

アルバムモードで再生しているときに、再生中の曲のアーティスト名やタイトル、ジャンルを変更することができます。

プレイリスト画面またはトラックリスト画面で、**曲情報** にタッチします。

- ・曲情報画面が表示されます。
- ・**次ページ** または **前ページ** にタッチして、2つの画面を切り替えます。
- ・**編集**、**HDDで検索**、**Gで検索** は、アルバムモードで再生しているときのみ表示されます。

曲情報画面



前ページ ↑ ↓ **次ページ**



トラックタイトル、トラック読みを変更する

- 1 曲情報画面で、トラックまたはトラック読みの **編集** にタッチします。
- 2 トラックまたはトラック読みを入力します。



・ソフトウェアキーボードで入力します。

- 3 **完了** にタッチします。

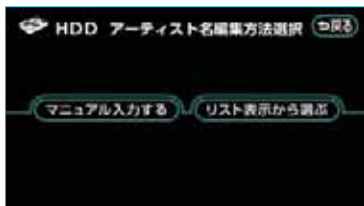
知識

読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名、アーティスト読みを変更する

■アーティスト名を変更する

- 1 曲情報画面で、アーティストの **編集** にタッチします。
- 2 編集方法を選択します。



マニュアル入力するときは

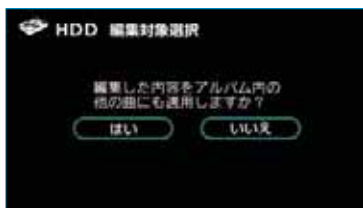
- 1 **マニュアル入力する** にタッチします。
- 2 アーティスト名を入力します。



・ソフトウェアキーボードで入力します。

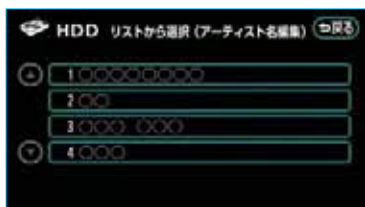
- 3 **完了** にタッチします。

- 4 編集内容をアルバム内の他の曲にも適用するときは **はい**、適用しないときは **いいえ** にタッチします。



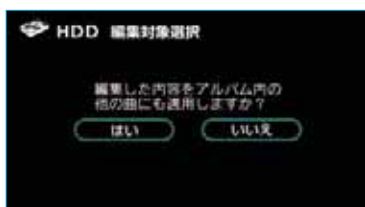
リストから選ぶときは

- 1 **リスト表示から選ぶ** にタッチします。
- 2 アーティスト名にタッチします。



- ・アーティスト名が5つ以上のときは ▲、 ▼ にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・リストに表示されるアーティストはプレイリストに登録されているアーティストのみです。

- 3 編集内容をアルバム内の他の曲にも適用するときは **はい**、適用しないときは **いいえ** にタッチします。



■アーティスト読みを変更する

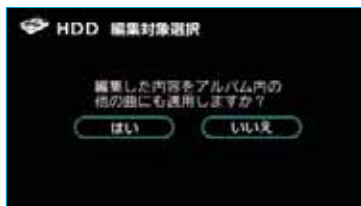
- 1 曲情報画面で、アーティスト読みの **編集** にタッチします。
- 2 アーティスト読みを入力します。



- ・ソフトウェアキーボードで入力します。

- 3 **完了** にタッチします。

- 4 編集内容をアルバム内の他の曲にも適用するときは **はい**、適用しないときは **いいえ** にタッチします。



知識

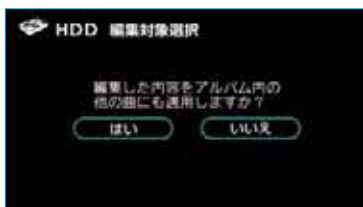
読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

- 1 曲情報画面で、ジャンルの **編集** にタッチします。
- 2 ジャンルにタッチします。



- 3 編集内容をアルバム内の他の曲にも適用するときは **はい**、適用しないときは **いいえ** にタッチします。



曲（トラック）の再生順番を変更する

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリスト内の曲は再生する順番を変更することができます。

- 1 トラックリスト画面で、 **移動** にタッチします。
- 2 移動したい曲にタッチします。



・曲が5つ以上のときは ▲、▼ にタッチしてリストのページを切り替えます。

- 3 移動したい場所の **移動** にタッチします。
- 4 **完了** にタッチします。

曲（トラック）を消去する

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリスト内の曲を消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが異なります。

プレイモード	消去されるデータ
アルバム	選択した曲。選択した曲がマイセレクトにも登録されているときは、マイセレクト内の曲も同時に消去されます。
マイセレクト	マイセレクト内の選択した曲。その他のプレイモードに含まれる同一の曲は消去されません。

- 1 トラックリスト画面で、**削除** にタッチします。
- 2 削除したい曲にタッチします。



- ・曲が5つ以上のときは **▲**、**▼** にタッチしてリストのページを切り替えます。
- ・リストにあるすべての曲を削除したいときは **全て選択** にタッチします。**全て解除** にタッチすると、選択が解除されます。
- ・選択されている曲にタッチすると、選択が解除されます。

- 3 **削除** にタッチします。

- 4 **はい** にタッチします。



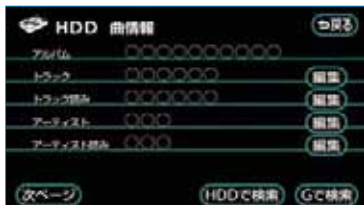
知識

- ・CDを録音中は、曲を消去することはできません。
- ・HDDの空き容量が少ないときは、削除するのに時間がかかることがあります。

タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用したCDのタイトル情報と違っているときには、再度データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。
アルバムモードで再生しているときのみ操作できます。

- 1 プレイリスト画面またはトラックリスト画面で、**曲情報** にタッチします。
- 2 **HDDで検索** にタッチします。

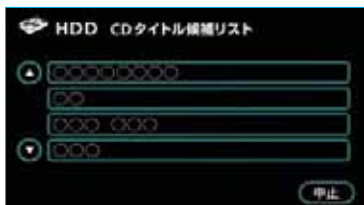


・ CDタイトル検索画面が表示されま
す。

知識

Gで検索 は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。G-BOOKオンラインサービスを利用すると、最新のCDタイトル情報をG-BOOKセンター経由でGracenoteメディアデータベースから取得することができます。(☞567)

- 3 複数候補があるときは、タイトルにタッチします。



- ・ CDタイトル検索画面が表示されま
す。
- ・ タイトル候補が5つ以上のときは
▲、**▼** にタッチしてリストの
ページを切り替えます。

- 4 **登録** にタッチします。

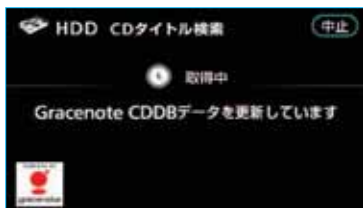


知識

再生している曲の録音に使用したCDのタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に必ずタイトル情報を確認してください。

CDタイトル検索画面

CDタイトルを検索しているときに表示されます。



検索が終わると自動的に画面が切り替わります。

中止 にタッチすると、検索を中止します。

VTR

VTRの操作

販売店装着オプションのVTRアダプターを取りつけたときに、接続した機器（ビデオなど）の映像を表示することができます。

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみVTRの映像をご覧になることができます。（VTRモードを選択していても、走行中は音声だけになりません。）

・ VTRの映像が表示されないときは、**[TV]**を押しVTRモードに切り替えます。

VTRの映像をご覧になっているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、**[オーディオ]**を押すと、VTR操作画面が表示されます。

映像にタッチすると解除されます。

WIDE MODEにタッチすると、画面モードを切り替えることができます。（**30**）



VTRを見る

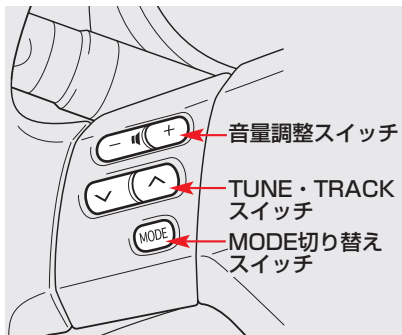
- 1 VTRアダプターに市販の機器の出力ケーブルを接続します。
- 2 接続した機器の電源をいれます。
- 3 **[TV]**を押し、VTRモードに切り替えます。

VIII ステアリングオーディオスイッチ

ステアリングスイッチでの操作

ステアリングオーディオスイッチ

ハンドルの左側にあります。



電源を入れる

MODE切り替えスイッチを押します。

- ・電源がONのときは、スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けると電源がOFFになります。

音量を調整する

音量を大きくするときは音量調整スイッチの+側、小さくするときは-側を押します。

- ・スイッチを押してすぐ(約1秒未満)に手を離すと、音量を1ステップずつ調整できます。
- ・スイッチを1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。
- ・音量を調整すると、音量のレベルが画面、オーディオ表示部に表示されます。



注意

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

モードを切り替える

MODE切り替えスイッチを押します。
・スイッチを押すごとに、「FM→サウンドライブラリ→(CDプレーヤー)→(MDプレーヤー)→(DVDチェンジャー)→テレビ*→(VTR)→AM→FM」の順にモードが切り替わります。

※アナログテレビモードには切り替わりませんが、放送を受信できません。

知識

() 内のモードは、車両に装着されていないとき、またはディスクが挿入されていないときには選択できません。

ラジオの操作

放送局の周波数を選択することができます。

■プリセットスイッチに記憶されている放送局から選ぶ

周波数を高い(大きい)方へ選択するときはTUNE・TRACKスイッチの↗側、低い(小さい)方へ選択するときは↘側を押します。

■自動で選ぶ

周波数を高い(大きい)方へ選択するときはTUNE・TRACKスイッチの↗側、低い(小さい)方へ選択するときは↘側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ・受信感度が良く、現在選ばれている周波数に一番近い周波数を自動で選択します。
- ・途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。

知識

地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤー装着時

■聞きたい曲/ファイルを選ぶ

聞きたい曲/ファイルがうしろにあるときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を押します。

■聞きたいフォルダを選ぶ

MP3/WMAディスク再生時

聞きたいフォルダがうしろにあるときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

MDプレーヤーの操作

■聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を押します。

■聞きたいグループを選ぶ

グループ録音されているMD再生時

聞きたいグループがうしろにあるときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

DVDチェンジャーの操作

DVDチェンジャー装着時

■聞きたい曲/ファイル、

見たいチャプター/トラックを選ぶ
聞きたい曲/ファイル、見たいチャプター/トラックがうしろにあるときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を押します。

知識

ディスクにより、操作できなかつたり、異なる作動がされることがあります。

■ディスクを選択する

再生したいディスクが挿入されている場所の番号が、大きいときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、小さいときは \curvearrowleft 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

サウンドライブラリの操作

■聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲がうしろにあるときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を押します。

■聞きたいプレイリストを選ぶ

聞きたいプレイリストがうしろにあるときはTUNE・TRACKスイッチの \curvearrowright 側、前にあるときは \curvearrowleft 側を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

操作スイッチ	272
--------	-----

基本的な使い方	274
---------	-----

通常の使い方	274
ガラスの曇りを取るには	274

いろいろな使い方	275
----------	-----

各スイッチの使い方	275
風量を切り替える	275
エアコンを作動させる	275
温度を調整する	275
内気循環、外気導入の切り替えをする	276
吹き出し口を切り替える	277
吹き出し口の調整	278
リヤガラスの曇りをとる	279

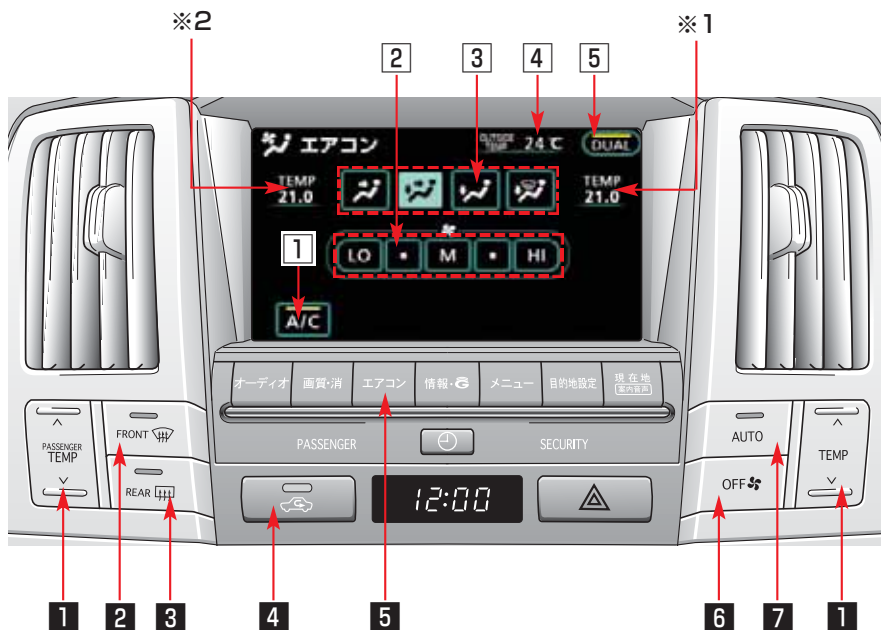
手入れのしかた	280
---------	-----

クリーンエアフィルターを交換する	280
------------------	-----

操作スイッチ

エアコン (エアコン操作スイッチ) を押しと、エアコン操作画面が表示されます。

- ・画面外のスイッチは、エアコン操作画面が表示されていないときでも操作することができます。
- ・操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、「継続表示しない (自動的にもとの画面にもどる)」、または「継続表示する (操作画面の表示を継続する)」に切り替えることができます。(☎26)



※1 運転席側設定温度表示部

※2 助手席側設定温度表示部

1 TEMP (温度調整) スイッチ	温度の調整をします。(☞275)
2 フロントデフロスター スイッチ	フロントガラスの曇りをとります。(☞274)
3 リヤウインドゥデフォグガー (曇り取り) スイッチ	リヤガラスの曇りをとります。(☞279)
4 内外気切り替えスイッチ	内気循環、外気導入の切り替えをします。(☞276)
5 エアコン操作スイッチ	エアコンの操作画面を表示します。
6 OFFスイッチ	ファンが停止します。(☞274)
7 AUTOスイッチ	エアコンがONになり、吹き出し口と風量が自動的に調整されます。(☞274)

1 A/C (エアコン) スイッチ	エアコンを作動させます。(☞275)
2 ファンスイッチ	ファンを作動させます。(☞275)
3 吹き出し口切り替え スイッチ	吹き出し口を切り替えます。(☞277)
4 外気温度表示	<p>外気温度を表示します。</p> <p>知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの計測装置により、計測した外気温度とは異なることがあります。 ・次の場合は、正しい外気温度が表示されないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・外気温度が約-30℃以下、または約50℃以上のとき ・停車しているときや低速走行(約20km/h以下)しているとき ・外気温度が急激に変化したとき(トンネルの出入口付近など) ・実際の外気温度が変化していなくても、車両の状態(車速・風向きなど)により、外気温度表示が変動することがあります。
5 DUAL (デュアル) スイッチ	運転席と助手席の設定温度を独立してかえることができます。(☞276)

基本的な使い方

通常の使い方


- 1 **AUTO**を押します。
 - ・エアコンがONになり、吹き出し口と風量が自動的に調整されます。
- 2 **TEMP**で希望温度に合わせます。
- 3 作動を止めたいときは、**OFF**を押します。



注意

バッテリーあがりを防ぐために、エンジン停止中に作動させないでください。

知識

- ・AUTOスイッチをONにしているときに、外気温が低くなると、エアコンが自動的にOFFになる（表示灯も消灯）場合があります。
- ・AUTOスイッチがONのとき、吹き出し口切り替えスイッチおよびファンスイッチを操作すると、AUTOスイッチはOFFになります。
- ・駐車のと車内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。
- ・トンネル内や渋滞などでよごれた外気を車内へいれたくないときや早く冷暖房したいとき、外気温が高いときの冷房効果を早めたいときは内外気切り替えスイッチを押して、（内気循環側）にすると効果的です。
- ・風量、吹き出し口、エアコンのいずれかを操作しても、残りの機能は引き続き自動的に調整されます。ただし、風量または吹き出し口を操作するとAUTOスイッチの表示灯が消灯します。
- ・エアコンの臭いについて
 - ・エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。

- ・エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
- ・エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

ガラスの曇りを取るには


- 1 **FRONT**を押します。
 - ・エアコンが自動的にONになります。
- 2 **内外気**を外気導入モードにします。(●276)
 - ・温度、風量はお好みにあわせて調整してください。



警告

温度が非常に高いときにフロントデフロスターを使用すると、外気とウインドウの温度差でウインドウ外側表面が曇り視界をさまたげる場合があります。

知識

- ・1、2の操作に加えて、次の操作を行うと、より早くガラスの曇りが取れます。
 - ・風量を増す。（ファンスイッチを操作する。）
 - ・設定温度を上げる。（TEMPスイッチを操作する。）
- ・フロントデフロスター作動中にもう1度フロントデフロスタースイッチを押すと、もとの吹き出しモードにもどります。
- ・フロントガラス内、外の曇りや霜を防止するため外気温が低いときや高速走行時には、モードに切り替わる場合があります。

各スイッチの使い方

スイッチの機能が作動しているときは、以下のようになります。

タッチスイッチ	・ 明るくなります。 ・ 作動表示灯があるものは作動表示灯が点灯します。
本体のスイッチ	・ 作動表示灯が点灯します。

風量を切り替える

ファンが停止中のとき、ファンスイッチにタッチすると、ファンが作動します。

ファンが作動中のとき、風量を5段階に切り替えることができます。

- ・ **LO** ・ ● ・ **M** ・ ● ・ **HI** のいずれかにタッチします。

エアコンを作動させる

ファンが作動中のとき、エアコン（冷房、除湿機能）をONにすることができます。

A/C にタッチするごとに、ONとOFFに切り替わります。

注意

エアコンスイッチの作動表示灯が点滅した場合は、システムの異常が考えられますので安全な場所に車を止めて、いったんスイッチをOFFにしてから、もう一度ONにしてください。

点滅がさらに続く場合は、スイッチをOFFにしてトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

外気温が0℃近くまで下がるとエアコンはONになりません。

温度を調整する

設定温度を18℃～32℃の間で調整することができます。

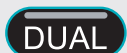
- ・ 温度を上げるときは **TEMP** の△側（最大暖房にすると表示部に「HI」が表示されます。）
- ・ 下げるときは **TEMP** の▽側（最大冷房にすると表示部に「LO」が表示されます。）を押します。（0.5℃ずつ調整できます。）
- ・ 設定温度は表示部に表示されます。
- ・ 独立モード（**DUAL** がON）のとき、運転席と助手席の温度をそれぞれのスイッチで設定することができます。

運転席と助手席の設定温度を独立してかえる

DUAL を押すごとに、連動モードと独立モードに切り替わります。

- ・温度調整は、**TEMP** で行います。
- ・運転席と助手席で設定温度の差が極端に大きい場合は、設定した温度にならない場合があります。

■連動モード



運転席と助手席の設定温度を同じにします。

■独立モード



運転席と助手席の設定温度を独立してかえることができます。

知識

- ・連動モードにもどすとき、運転席と助手席で設定温度が異なるときは、運転席の設定温度になります。
- ・連動モードのとき、助手席の設定温度をかえると、自動的に独立モードになります。

内気循環、外気導入の切り替えをする

内外気 を押すごとに、外気導入と内気循環にモードが切り替わります。

■外気導入モード



外気を導入している状態です。通常はこの状態でお使いください。

■内気循環モード



外気をシャ断している状態です。トンネルや渋滞など外気がよごれているときや早く冷暖房したいとき、外気温度が高いときの冷房効果を早めたいときにお使いください。

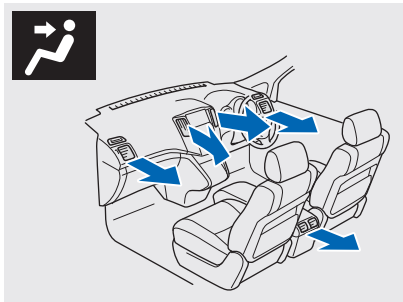
知識

- ・長時間、内気循環モードにするとガラスが曇りやすくなります。
- ・ガラスの曇りを防止するために、エアコンシステムの状態を感知して、自動的に外気導入モードに切り替わることがあります。
- ・夏場などの暑いときに、室内をより早く設定温度に冷房するため、内気循環モードに切りかわる場合があります。

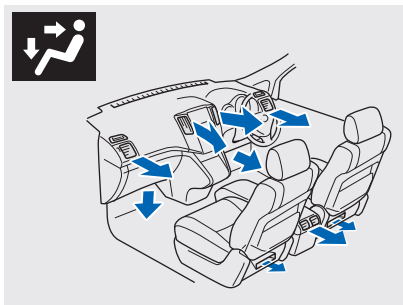
吹き出し口を切り替える

使用目的に合った吹き出し口を選択することができます。

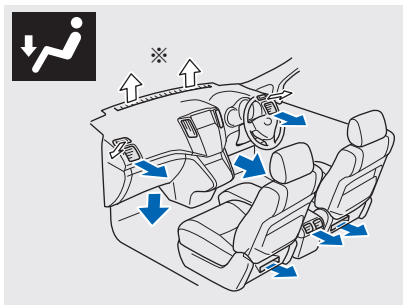
■上半身に送風したいとき





■上半身と足元に送風したいとき

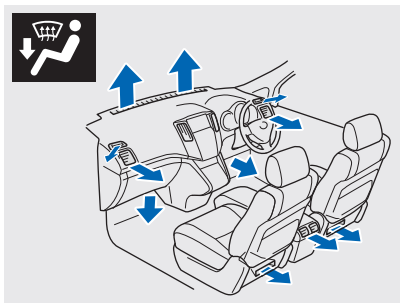


■足元に送風したいとき

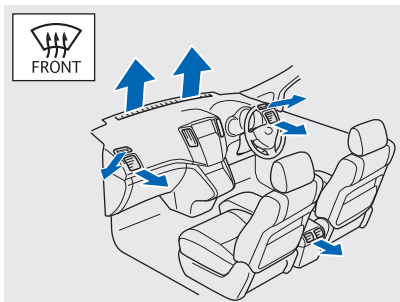


※ 吹き出し口が  のとき、もう一度  にタッチすると、窓ガラスへの送風を止めることができます。






■足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



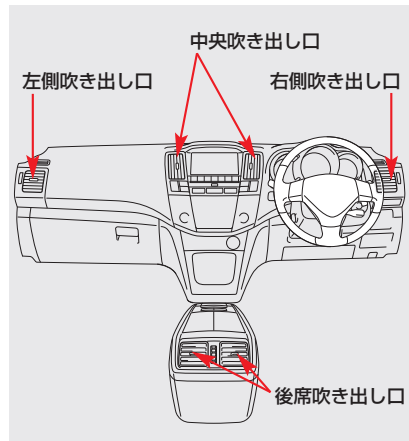
■窓ガラスの曇りを取りたいとき



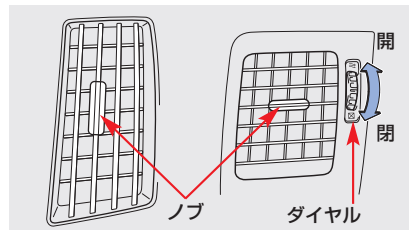
知識

- ・ AUTOスイッチがONのときは、吹き出し口が自動的に切り替わります。
- ・ ファンが停止中のとき、フロントデフロスタースイッチを押すと、ファンが自動的に作動します。
- ・ AUTOスイッチをONにしているとき、次のような機能があります。
 - ・ 吹き出し口が 、 または  のとき、冬場などの寒いときには温風の準備ができるまで、しばらくの間ファンを停止します。
 - ・ 吹き出し口が 、または  のとき、夏場などの暑いときには冷風の準備ができるまで、数秒間ファンを停止します。
- ・ エンジン スイッチを“ON”から“ACC”または“LOCK”の位置にしたとき、数秒後にモーターの作動音がすることがありますが、これは正常な作動であり、故障ではありません。

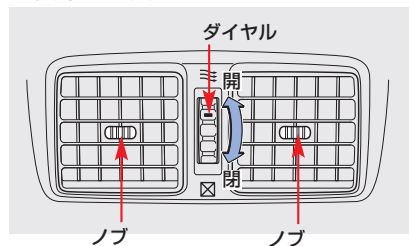
吹き出し口の調整



■ 中央、左右吹き出し口



■ 後席吹き出し口



- ・ 吹き出し口は、ノブまたは吹き出し口本体（後席吹き出し口のみ）を動かすと、風向き調整ができます。
- ・ ダイヤルで吹き出し口の調整ができます。

知識

冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したようにみえることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するものであり異常ではありません。

リヤガラスの曇りをとる

リヤウインドウガラスを熱線で暖めて曇りを取ります。

REAR を押すと約15分間作動し、作動中にもう一度押すと停止します。

知識

- ・連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。
- ・ミラーヒーターも同時に作動します。ミラーヒーターについては「ハリアー取扱書」をご覧ください。

クリーンエアフィルターを交換する

エアコンにはクリーンエアフィルターが取り付けられています。快適にお使いいただくため、定期的な清掃・交換をおすすめします。クリーンエアフィルターの清掃・交換については、「ハリアー取扱書」の「エアコンの手入れ」をご覧ください。

清掃の目安	15,000【7,500】kmごと
交換の目安	30,000【15,000】kmごと

※【 】は、多じん地区（大都市・寒冷地など、交通量・粉じんの多い地区）の場合。



MEMO

音声操作システム

音声操作システムについて	284
--------------	-----

各部の名称	285
-------	-----

1.標準モードで使う	286
------------	-----

基本操作を覚える	286
ヘルプ機能を使う	287

2.音声操作の使用例（標準モード）	289
-------------------	-----

周辺施設を表示する	289
自宅を目的地に設定する	290
施設名で検索する	291
住所で検索する	294

3.拡張モードで使う	296
------------	-----

拡張モードでできること	296
音声認識モードを設定する	296
音声認識ガイド音声の設定をする	296
拡張モードでの変更点	296
周辺施設を表示する	297
周辺施設で検索する	298
ジャンルで検索する	300
数字（電話番号、郵便番号、マップコード） で検索する	302
メモリ地点で検索する	304
知りたインフォ機能	305
オーディオを操作する	306
サウンドライブラリの楽曲を検索する	307

4. 音声認識コマンド一覧 309

ナビ操作	309
ルート案内	314
目的地設定	315
VICS	317
G-BOOK	319
オーディオ	320
TEL	322
その他	323
ジャンル名コマンド一覧	325

音声操作システムについて

音声操作システム（音声認識用マイク&トークスイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオなどの操作を行うことができます。

音声操作システムは、「標準モード」と「拡張モード」を用意しています。音声操作に慣れるまでは、まず「標準モード」をご利用ください。

使用できるコマンドについては、次のいずれかの方法で確認できます。

車載機の画面で見ると

- ・ヘルプ画面の「音声認識コマンド一覧」を見る。(P287)

取扱書で見ると

- ・本書の「音声認識コマンド一覧」を見る。(P309)

音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。

- ・発声する前は、必ずトークスイッチを短く押してください。
- ・“ピッ”という音の後にお話してください。“ピッ”という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
- ・ハッキリと発声してください。
- ・声色によっては、認識されづらいこともあります。
- ・騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
- ・方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
- ・地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

各部の名称

■音声認識用マイク

音声認識コマンドを発声するとき
に使用します。



■トークスイッチ

スイッチを操作することにより、音
声認識モードの開始／中止ができま
す。



1.標準モードで使う

基本操作を覚える

音声操作システムを使用することで、様々な機能を音声操作で使用できます。

ここでは、「標準モード」を使用した音声操作について説明します。

「標準モード」は、ナビの基本的な操作を音声操作で行うもので、使用できるコマンドをよく使うコマンドに限定してあります。そのため、音声操作が初めてという方でも、画面の指示や音声ガイドにしたがえば簡単にご利用いただけます。

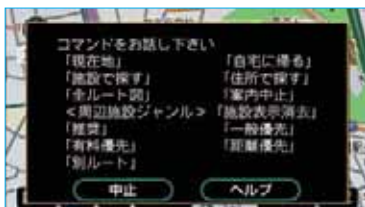
(初期設定では、「標準モード」になっています。「拡張モード」になっているときは、「音声認識モードを設定する」(●296)をご覧くださいの上、「標準モード」に設定してください。)

音声認識モードを開始する

基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

- 1 トークスイッチを押し、すぐにスイッチから指を離してください。
- 2 認識できるコマンドリストが表示され、「ピッと鳴ったらお話しください」という音声ガイドのあと、<ピツ>と音がします。

・音声認識モードになります。

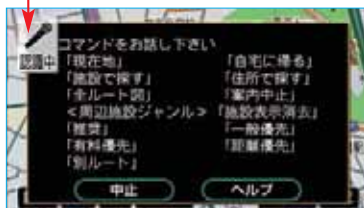


知識

トークスイッチを押しした後の音声ガイドは、左記と異なる音声ガイドが出力されることがあります。

- 3 <ピツ>と音がしてから約6秒以内に、コマンドリストの中から操作したいコマンドを発声してください。

認識中マーク



・音声認識中は、「認識中マーク」が表示されます。

- 4 コマンドが認識されると、認識結果やメッセージが表示されると同時に音声ガイドが出力され、認識されたコマンドが実行されます。

認識結果



メッセージ

■ コマンドを言い間違えたり、認識結果が違うとき

音声ガイドが出力されている途中でトークスイッチを押すと、コマンドの言い直しができます。

<ピップ>と音がしてから、再度コマンドを発声してください。

■ 連続して音声操作をする

地図を呼び出すときなど、連続して音声操作をする場合があります。

(☎289)

■ 音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をすると、音声認識モードを中止できます。

- ・ トークスイッチを押し続ける。
- ・ 音声認識モード時に **中止** にタッチする。

知識

中止 は音声認識でも操作できます。

■ ヘルプ機能を使う

ヘルプ機能を使うと、使用可能なコマンドや操作方法が、画面で確認できます。

(ここでは「拡張モード」の画面で説明していますが、「標準モード」も同様です。)

知識

走行中はヘルプ画面を表示することができません。

■ コマンドリストを見る

使用可能なコマンドのリストを画面に表示できます。

- 1 音声認識モード時に **ヘルプ** にタッチしてください。

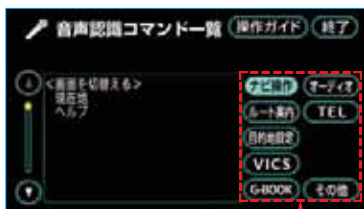


知識

ヘルプ は音声認識でも操作できます。

- 2 音声認識コマンド一覧画面で、操作したいコマンドを確認してください。

- ・ ジャンルを変更するときは、ジャンル切り替えスイッチの中から選択しタッチしてください。
- ・ ページを送るときは、▲または▼にタッチしてください。



ジャンル切り替えスイッチ

知識

音声認識操作ヘルプ画面が表示された場合は、**コマンドリスト**にタッチしてください。

操作ガイドを見る

操作方法がわからなくなったとき、画面に操作方法を表示できます。

- 1 音声認識モード時に**ヘルプ**にタッチしてください。



知識

ヘルプ は音声認識でも操作できます。

- 2 **操作ガイド** にタッチしてください。

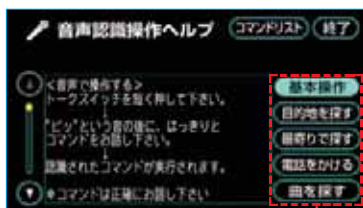


- ・音声操作により、施設、住所、ジャンル、電話番号、郵便番号、マップコードのいずれかで地図を検索中は、**ヘルプ**にタッチするだけで音声認識操作ヘルプ画面が表示されます。

- 3 音声認識操作ヘルプ画面が表示されます。

知りたい操作ガイドのジャンルを、ジャンル切り替えスイッチの中から選択しタッチしてください。

- ・ページを送るときは、**▲**または**▼**にタッチしてください。



ジャンル切り替えスイッチ

知識

音声認識コマンド一覧画面に切り替えるときは、**コマンドリスト**にタッチしてください。

ヘルプ画面を終了する

ヘルプ画面を終了するときは、**終了**にタッチしてください。

2.音声操作の使用例（標準モード）

ここでは標準モードでの音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してみてください。

文中の表記は次のようになっています。

- ・ (○○○) ……スイッチなどの操作
- ・ 「○○○」 ……車載機から出力される音声ガイド
- ・ <○○○> ……車載機から出力される操作音
- ・ 「○○○」 ……発声するコマンドなど

ここで紹介するのは一例ですので、説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」(☎309)をご覧ください。

周辺施設を表示する

地図に周辺施設の記号を表示させてみましょう。

例)「コンビニエンスストア」を表示させます。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「コンビニ」

車載機：「コンビニエンスストアを検索して表示します」

以上で、コンビニエンスストアの記号が地図に表示されます。

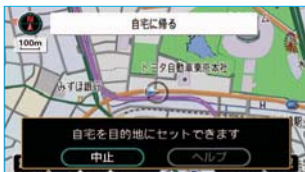
知識

標準モードでの音声操作で表示できる周辺施設は、周辺施設画面で選択されている、走行中に操作可能な6項目の施設になります。(☎63)

他の周辺施設を表示したいときは、拡張モードでご利用ください。(☎296)

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」 <ピッ>

お客様：「自宅に帰る」

車載機：「自宅を目的地にセットできます」

※ 1

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「目的地をセットするには“セット”とお話しください」 <ピッ>

お客様：「セット」

車載機：「自宅を目的地にセットします」



以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

自宅以外を目的地に設定する場合は、次ページ以降の手順で目的地を検索してから、※ 1 以降を同様に操作します。

■すでに目的地が設定されているときは

目的地に設定する操作が、上記の操作と異なります。（☎293）

知識

自宅が登録されていない場合は、使用することができません。自宅を登録してから使用してください。（☎40）

施設名で検索する

施設名から地図を検索してみましょう。

施設名で検索するときは、原則として「都道府県名+施設名」を発声します。

- ・都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように、分けて発声してもかまいません。

なお、ここで検索できる施設は、画面操作の施設検索（☞82）から検索できる施設のみとなります。

例)「東京都のとしまえん」を検索します。



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「施設で探す」

車載機：「施設を名称で探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「都道府県名と施設名を続けてどうぞ」
<ピッ>

お客様：「東京都 としまえん」

車載機：「東京都 としまえんを表示します」



目的地に設定するには

上記の操作をしたあと、「自宅を目的地に設定する」の※1以降と同様の操作を行います。（☞290）

■施設名で検索するときのポイント

次の施設は、都道府県名がわからないとき、他の名称で指定することもできます。この場合も、続けて発声しても、分けて発声してもかまいません。

販売店、レンタリース、ジェームス

系列名+店名

例) トヨタ〇〇 △△店

※ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

駅

鉄道会社名+路線名+駅名

例) JR 東海道新幹線 東京駅

高速IC・SA・PA、有料IC

・道路名+施設名

例) 東名高速道路 東京インター

・道路名+路線名+施設名

例) [首都高速] [4号新宿線]
新宿インター

※ [] 内はどちらかを省略してもかまいません。

知識

- ・ 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。
- ・ 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。
例) 千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、「千葉県」を発声する必要はありません。

・ 音声操作で検索できる施設は、次の操作で表示することができる施設になります。

・ 「立体ランドマークの表示」(➡64)

・ 「施設で地図を呼び出す」(➡82)

発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。

■発声を間違えたとき

都道府県名、施設名などを間違えたときは、次のように操作します。

- 1 トークスイッチを押してください。
- 2 音声ガイドのあと<ピップ>と音がしたら、約6秒以内に「戻る」と発声すれば言い直すことができます。



この場合、直前に発声した内容によって、次のように言い直す範囲が異なります。

例) 東京都 としまえんを検索したとき

■都道府県名と施設名を連続して発声した場合

「東京都 としまえん」と都道府県名から言い直します。

■都道府県名と施設名を分けて発声し、直前に発声したのが施設名の場合

「としまえん」と施設名のみ言い直します。

音声操作時の目的地設定のしかた

音声操作で目的地設定するときは、専用の画面が表示されます。

すでに目的地が設定されているかいないかで、表示される画面が異なります。

なお、ここで表示される画面は、タッチスイッチを操作しても、音声認識でもどちらの方法でも操作できます。

■目的地が設定されていないとき

セット にタッチすると、検索した結果を目的地に設定します。



■すでに目的地が設定されているとき

- ・ **追加目的地** にタッチすると、検索した結果を一番手前の目的地として追加します。
- ・ **新規目的地** にタッチすると、設定済みの目的地を削除して、検索した結果を新規に目的地に設定します。
- ・ 目的地は最大5カ所まで設定することができます。



知識

セット、**追加目的地**、**新規目的地** は音声認識でも操作できます。

検索しなかった結果が違うとき

認識した結果が検索しなかった結果と違うときは、**次候補** にタッチすると、次の候補の地図を呼び出すことができます。

- ・ 次候補は、最初に表示した候補を除いて、最大5件まで表示することができます。



知識

- ・ **次候補** は音声認識でも操作できます。
- ・ 希望の検索結果がないときは、最初から操作をやり直してみてください。
- ・ **次候補** が灰色になっているときは、次候補がないため操作することができません。

住所で検索する

住所で地図を検索してみましょう。

- ・住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。
- ・大字・字・番地・号は、省略して発声してください。
- ・「一」は「の」または「はいぶん」と発声してください。

なお、ここで検索できる住所は、画面操作の住所検索(●83)から検索できる住所のみとなります。

例)「東京都文京区後楽一丁目1-2」を検索します。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「住所で探す」

車載機：「住所で探します」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「住所を都道府県名からどうぞ」<ピッ>

お客様：「東京都文京区後楽一丁目」

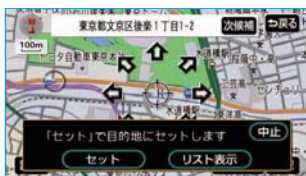
車載機：「東京都文京区後楽一丁目を表示します」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「東京都文京区後楽一丁目の続きの住所をどうぞ」<ピッ>

お客様：「1-2」

車載機：「東京都文京区後楽一丁目1-2を表示します」



知識

- ・すべての地名を発声しなかったときは、最後に発声した地名の広域図が表示されます。
- ・住所は、画面操作の住所検索(●83)を参照の上、正確に発声してください。

■発声を間違えたときは

「施設名で検索する」の「発声を間違えたとき」と同様の操作を行います。
(☞292)

■検索しなかった結果が違うときは
「施設名で検索する」の「検索しなかった結果が違うとき」と同様の操作を行います。(☞293)

■目的地に設定するには

上記の操作をしたあと、「自宅を目的地に設定する」の※1以降と同様の操作を行います。(☞290)

また、音声操作時の目的地設定のしかたについては、「施設名で検索する」の「音声操作時の目的地設定のしかた」と同様です。(☞293)

- 現在の検索結果以降の住所を選択し、タッチしてください。
・操作方法は、ナビゲーションの住所検索と同様です。



リストを表示して住所を検索する

住所で検索している途中でリストを表示させると、以降はタッチスイッチを操作して検索することができます。ただし、リスト表示以降は、音声操作による続きの検索はできなくなります。

- リスト表示** にタッチしてください。



知識

リスト表示 は音声認識でも操作できません。

3. 拡張モードで使う

拡張モードでできること

「拡張モード」では、次の操作ができるようになります。

- ・すべてのコマンドが使用できます。
- ・「ジャンル」「電話番号」「郵便番号」「マップコード」「メモリ地点の名称読み」でも、地図を検索することができます。
- ・一番近い周辺施設を探すことができます。
- ・ナビ以外の機器を音声認識で操作することができます。

ここでは「拡張モード」での音声操作の具体的な使い方などを説明します。

ここで紹介するのは一例ですので、説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」をご覧ください。(☎309)

音声認識モードを設定する

音声認識で使用可能なコマンドの範囲を選択できます。

初期設定では、「標準モード」になっていますので、「拡張モード」を利用するときは、**拡張**に設定してください。

設定は、ナビゲーションの各種設定で行います。(☎141)

各種設定画面で、音声認識モード切替の**標準**、**拡張**のいずれかにタッチしてください。

標準…よく使うコマンドのみが使用できます。

拡張…すべてのコマンドが使用できます。

標準コマンド、拡張コマンドについては、「音声認識コマンド一覧」をご覧ください。(☎309)



知識

音声操作に慣れるまでは、**標準**で利用されることをおすすめします。

音声認識ガイド音声の設定をする

音声操作を使い慣れて、トークスイッチを押した後すぐにコマンドを発声したい場合、トークスイッチを押した後に出力される音声ガイドを中止することができます。(☎141)

拡張モードでの変更点

「標準モード」では、トークスイッチを押すと、使用可能なコマンドリストが画面に表示されましたが、「拡張モード」では表示されません。

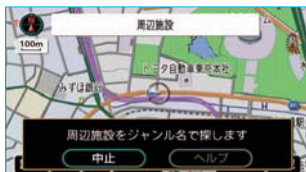
「拡張モード」では、トークスイッチを押すと下の画面が表示されます。使用可能なコマンドがわからない場合は、**ヘルプ**にタッチしてコマンドリストを参照してください。(☎287)



周辺施設を表示する

「周辺施設」と発声すると、すべての周辺施設の中から記号を表示することができます。

例) 「遊園地」を表示させます。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「周辺施設」

車載機：「周辺施設をジャンル名で探します」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「周辺施設のジャンル名をお話しください」<ピッ>

お客様：「遊園地」

車載機：「遊園地を検索して表示します」



以上で、遊園地の記号が地図に表示されます。

知識

音声操作で表示できるジャンルは、「施設の表示」(61)で選択できる周辺施設のジャンルになります。発声するジャンル名は、表示されるジャンル名をそのまま発声してください。

周辺施設で検索する

次の周辺施設を検索することができます。

- ・表示中の地図の中心から一番近い施設
- ・案内ルート上で一番近い施設
- ・最終目的地周辺で一番近い施設

例) 表示中の地図の中心から一番近い「コンビニエンスストア」を探します。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「周辺施設」

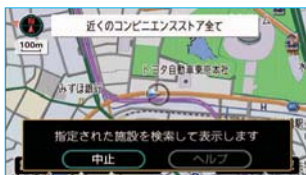
車載機：「周辺施設をジャンル名で探します」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「周辺施設のジャンル名をお話しください」<ピッ>

お客様：「近くのコンビニ」※2

車載機：「近くのコンビニエンスストアを検索して表示します」



以上で、表示中の地図の中心から一番近いコンビニエンスストアの地図が表示されます。

知識

周辺施設のジャンル名を発声するときは、走行中呼出ジャンルのリスト(➡61)に表示される名称を発声してください。

■案内ルート上で一番近いコンビニエンスストアを探すときは

※2で「この先のコンビニ」と発声します。

■最終目的地周辺で一番近いコンビニエンスストアを探すときは

※2で「目的地周辺のコンビニ」と発声します。

■発声を間違えたときは

「施設名で検索する」の「発声を間違えたとき」と同様の操作を行います。

(➡292)

■目的地に設定するには

上記の操作をしたあと、「自宅を目的地に設定する」の※1以降と同様の操作を行います。(➡290)

また、音声操作時の目的地設定のしかたについては、「施設名で検索する」の「音声操作時の目的地設定のしかた」と同様です。(➡293)

次に近い施設を呼び出す

検索した施設の次に近い施設を呼び出したいときは、次のいずれかの方法で呼び出すことができます。なお、リスト表示をした場合、以降の音声操作はできなくなります。

■音声操作で地図を表示する

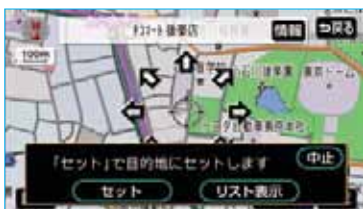
近くの施設の地図が表示された後、トークスイッチを押して、「次の施設」と発声して音声操作すると、次に近い施設の地図が表示されます。



■リストを表示する

次に近い施設のリストを近い順に表示させて、その中から選択することができます。

1 リスト表示 にタッチします。



知 識

リスト表示 は音声認識でも操作できません。

2 希望の施設を選択し、タッチします。

・操作方法は、ナビゲーションの周辺施設検索と同様です。



ジャンルで検索する

色々なジャンルで地図を検索することができます。

・住所は、都道府県名・市区町村名の順に一度に発声しても、分けて発声してもかまいません。また、施設によっては、都道府県名、市区町村名のいずれかだけ発声すればよいものもあります。音声ガイドの案内にしたがって発声してください。

例) 「和食で、東京都豊島区の〇〇〇 (施設名称)」を検索します。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「ジャンルで探す」

車載機：「施設をジャンル名で探します」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ジャンル名をどうぞ」<ピッ>

お客様：「和食」

車載機：「和食を探します」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「和食の都道府県と市区町村名をどうぞ」
<ピッ>

お客様：「東京都豊島区」

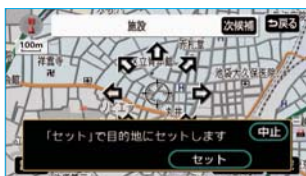
車載機：「東京都豊島区のを探します」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「和食の施設の名称をどうぞ」<ピッ>

お客様：「〇〇〇 (施設名称)」

車載機：「〇〇〇を表示します」



知識

施設の名称を発声するときは、画面操作の50音で検索したとき(78)にリストに表示される名称を発声してください。

■ジャンル名がわからないとき

使用できるジャンル名については、「ジャンル名コマンド一覧」で確認してください。(☎325)

■発声を間違えたときは

「施設名で検索する」の「発声を間違えたとき」と同様の操作を行います。(☎292)

■検索しなかった結果が違うときは

「施設名で検索する」の「検索しなかった結果が違うとき」と同様の操作を行います。(☎293)

■目的地に設定するには

左記の操作をしたあと、「自宅を目的地に設定する」の※1以降と同様の操作を行います。(☎290)

また、音声操作時の目的地設定のしかたについては、「施設名で検索する」の「音声操作時の目的地設定のしかた」と同様です。(☎293)

■ 数字（電話番号、郵便番号、マップコード）で検索する

電話番号、郵便番号、マップコードから地図を検索することができます。数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。ただし、電話番号・郵便番号を分けて発声する場合は、区切る位置に注意が必要です。次の「音声操作で入力するときのポイント」をご覧ください。

■ 音声操作で入力するときのポイント

■ 電話番号

発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。また、「一」は省略して発声してください。

例) 「03-1234-5678」を発声する場合は、次のように発声してください。

- ・一度にすべて発声するとき
「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
- ・分けて発声するとき
「ゼロ、サン」 + 「イチ、ニ、サン、ヨン」 + 「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」

なお、市内局番については、桁読みで発声することができます。

例) 「03-1234-5678」の市内局番を桁読みで発声する場合は、次のように発声してください。
「センニヒャクサンジュウヨン」

■ 郵便番号

発声するときは、以下の例を参照の上、上3桁+下4桁の区切る位置に注意して発声してください。また、「一」は省略して発声してください。

例) 「570-0057」を発声する場合は、次のように発声してください。

- ・一度にすべて発声するとき
「ゴ、ナナ、ゼロ、ゼロ、ゼロ、ゴ、ナナ」
- ・分けて発声するとき
「ゴ、ナナ、ゼロ」 + 「ゼロ、ゼロ、ゴ、ナナ」

■ マップコード

一度にすべて発声しても、途中で区切って分けて発声してもかまいません。また、「*」は「アスタリスク」と発声してください。

例) 「735002*55」を発声する場合は、次のように発声してください。
「ナナ、サン、ゴ、ゼロ、ゼロ、ニ、アスタリスク、ゴ、ゴ」

操作手順はいずれも同様なので、ここでは電話番号の場合で説明します。

例) 「03-1234-5678」を検索します。



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「電話番号で探す」

車載機：「電話番号で探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「市外局番からどうぞ」<ピッ>

お客様：「03」

車載機：「03」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「市内局番からどうぞ」<ピッ>

お客様：「1234」

車載機：「031234」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「残りの電話番号をどうぞ」<ピッ>

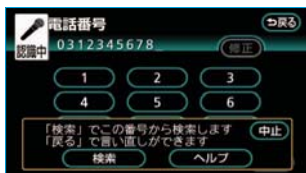
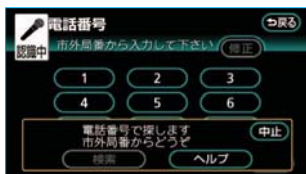
お客様：「5678」

車載機：「0312345678」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「目的地を検索するには「検索」とお話しください」<ピッ>

お客様：「検索」



■発声を間違えたときは

「施設名で検索する」の「発声を間違えたとき」と同様の操作を行います。
 (☎292)

■入力したすべての数字を消去するには

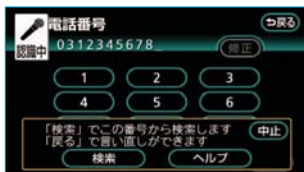
トークスイッチを押して、「全消去」と発声して音声操作してください。

■目的地に設定するには

上記の操作をして地図が呼び出されたら、「自宅を目的地に設定する」の※1以降と同様の操作を行います。(☎290)

また、音声操作時の目的地設定のしかたについては、「施設名で検索する」の「音声操作時の目的地設定のしかた」と同様です。(☎293)

検索して地図を呼び出す



電話番号・郵便番号・マップコード入力で地図を呼び出すときは、それぞれの数字を音声操作で入力してから、検索を行ってください。

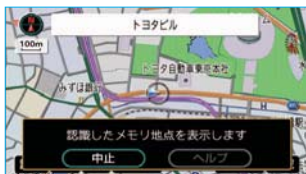
入力した数字が正しければ、**検索** にタッチする、または音声操作で「**検索**」と発声すると、音声認識した結果で地図を呼び出します。

メモリ地点で検索する

登録してあるメモリ地点の名称読みで地図を検索することができます。

・メモリ地点の名称読みについては、「メモリ地点の名称読み入力」(☎129)をご覧ください。

例) メモリ地点の名称読みが「トヨタビル」の施設を検索します。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「トヨタビル」

車載機：「トヨタビルを表示します」

トークスイッチを押して“セット”でここを目的地にセットします」

知識

登録されている名称読みが短すぎるとき、またはほかのコマンドと類似しているときは、認識されないことがあります。

■目的地に設定するには

上記の操作をしたあと、「自宅を目的地に設定する」の※1以降と同様の操作を行います。(☎290)

また、音声操作時の目的地設定のしかたについては、「施設名で検索する」の「音声操作時の目的地設定のしかた」と同様です。(☎293)

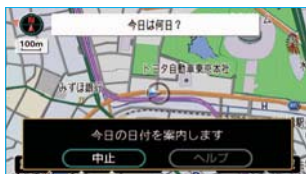
知れたインフォ機能

GPSボイスナビゲーションのさまざまな情報を音声認識で質問して、音声で案内をさせることができます。

質問できる項目については、次のいずれかの方法で確認できます。

- ・ 車載機の画面で見る …… **ヘルプ** にタッチして、音声認識コマンド一覧画面の「その他」を見る。(☎287)
- ・ 取扱書で見る …………… 本書の「音声認識コマンド一覧」を見る。(☎309)

例) 今日の日付を質問します。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「今日は何日？」

車載機：「今日は1月1日 日曜日です」

オーディオを操作する

操作できる項目はグレード等により異なります。

オーディオを音声認識で操作することができます。

操作できる項目については、**ヘルプ**にタッチして、音声認識コマンド一覧画面の「オーディオ」で確認してください。

また、音声認識により実行される内容については、「音声認識コマンド一覧」をご覧ください。(☎309)

例) オーディオの電源がOFFのときに、電源をONにします。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「オーディオ」

車載機：「オーディオをオンします」

■音声認識で操作するときのポイント

音声認識で使用できるコマンドの条件は、スイッチで操作する場合と同様、次のようになります。

・ラジオ、CDなどの操作に関するコマンドは、該当のモードに切り替わっていないと使用できません。(次の例を参照してください。)

該当のモードでないと使用できないコマンドは、「音声認識コマンド一覧」で確認してください。(☎309)

例) ナビ画面を表示しているときに、FM放送の〇〇〇(放送局名)にする。



お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「FMラジオ」

車載機：「FMラジオにします」

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「〇〇〇(放送局名)」

車載機：「〇〇〇(放送局名)にします」



知識

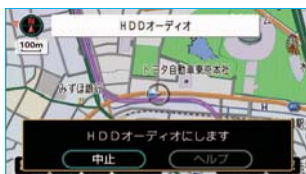
放送局名のコマンドは、現在地がその放送局の放送地域内にある場合のみ認識できます。

サウンドライブラリの楽曲を検索する

サウンドライブラリ内の楽曲を、音声認識で検索して再生することができます。

・アーティスト名と曲名は、HDD曲情報画面（☉255）で表示されるアーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）を発声してください。なお、アーティスト名と曲名は、一度に発声しても、分けて発声してもかまいません。

例) ○○○（アーティスト名）の△△△（曲名）を再生します。なお、ここでは、アーティスト名と曲名を別々に発声する場合で説明します。



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」 <ピッ>

お客様：「HDD（ハードディスク）オーディオ」

車載機：「HDDオーディオにします」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」 <ピッ>

お客様：「曲を探す」

車載機：「聴きたい曲を探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「アーティスト名と曲名を続けてどうぞ」
<ピッ>

お客様：「○○○（アーティスト名）」 ※3

車載機：「○○○（アーティスト名）の曲を探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「曲名をどうぞ」 <ピッ>

お客様：「△△△（曲名）」

車載機：「○○○（アーティスト名）の△△△（曲名）を再生します」



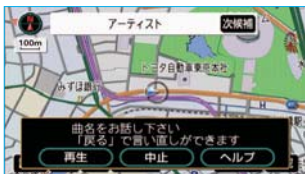
■アーティスト名と曲名を続けて発声するときは

※3で「○○○（アーティスト名）の△△△（曲名）」と発声します。

知識

- ・ 次の場合は、検索されたアーティストの曲の再生を開始します。
 - ・ 曲名を発声しなかったとき
 - ・ アーティスト名が検索されたあと、音声操作で「再生」と発声したとき
- ・ なお、アーティスト名と曲名で検索したときはプレイモードを「アルバム」に切り替えてご希望の楽曲を再生しますが、アーティスト名だけで検索したときはプレイモードを「アーティスト」に切り替えてご希望のアーティストの楽曲のみを再生します。
- ・ 一部の楽曲では、アーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、トラックの名称と読みが異なることがあります。この場合、サウンドライブラリ操作画面（➡250）に表示されるアーティスト名、トラック名を発声しても読みが異なるため、音声認識で楽曲の検索ができません。HDD 曲情報画面（➡255）でアーティスト読み、トラック読みをご確認ください。
- ・ HDD曲情報画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。
 - ・ 「タイトル情報を再取得する」の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。（➡267）
 - ・ 「曲（トラック）の情報を編集する」の操作で、希望の読みに変更する。（➡262）

違うアーティスト名が検索されたとき



検索されたアーティスト名が聴きたい曲のアーティスト名と違うときは、**次候補**にタッチすると、次の候補のアーティスト名を検索することができます。

知識

- ・ **次候補** は音声認識でも操作できます。
- ・ 聴きたい曲のアーティスト名が検索されないときは、最初から操作をやり直してみてください。
- ・ **次候補** が灰色になっているときは、次候補がないため操作することができません。

4. 音声認識コマンド一覧

この表は、拡張モードでの音声認識操作ヘルプ画面のコマンドリストに合わせて作成してあります。音声認識を使用するときは、それぞれのコマンド名称の認識語を発声してください。

コマンドの種類は、コマンド名称欄で次のように表示してあります。

標準コマンド	■	音声認識で常に使用できます。
拡張コマンド	■	メニュー画面の 各種設定 で、音声認識モード切替の 拡張 を選択したときのみ使用できます。

なお、ここではすべてのコマンドを紹介していますが、車両に装着されていない機器のコマンドは使用できません。

ナビ操作

■ 画面を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ 現在地	げんざいち	現在地の地図画面を呼び出す。
■ ヘルプ	へるぷ	ヘルプ画面を表示する。

■ 音声認識を中止する

コマンド名称	認識語	動作
■ 中止	ちゅーし	音声認識モードを中止する。

■ 地図の縮尺を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ 広域	こーいき	地図を1段階広域に切り替える。
■ 詳細	しょーさい	地図を1段階詳細に切り替える。
■ 市街図	しがいず	地図を市街図に切り替える。
■ リアル市街図	・りあるしがいず ・すりーでいーしがいず	地図をリアル市街図に切り替える。
■ 50メートルスケール	ごじゅーめーとる すけーる	地図を50mスケールに切り替える。
■ 100メートルスケール	ひゃくめーとるすけー る	地図を100mスケールに切り替える。
■ 200メートルスケール	にひゃくめーとる すけーる	地図を200mスケールに切り替える。

コマンド名称	認識語	動作
■ 400メートルスケール	よんひゃくめーとるすけーる	地図を400mスケールに切り替える。
■ 800メートルスケール	はっぴゃくめーとるすけーる	地図を800mスケールに切り替える。
■ 1.6キロメートルスケール	いってんろっきろめーとるすけーる	地図を1.6kmスケールに切り替える。
■ 3キロメートルスケール	さんきろめーとるすけーる	地図を3kmスケールに切り替える。
■ 7キロメートルスケール	ななきろめーとるすけーる	地図を7kmスケールに切り替える。
■ 13キロメートルスケール	じゅーさんきろめーとるすけーる	地図を13kmスケールに切り替える。
■ 26キロメートルスケール	にじゅーろっきろめーとるすけーる	地図を26kmスケールに切り替える。
■ 50キロメートルスケール	ごじゅっきろめーとるすけーる	地図を50kmスケールに切り替える。
■ 100キロメートルスケール	ひゃっきろめーとるすけーる	地図を100kmスケールに切り替える。
■ 200キロメートルスケール	にひゃっきろめーとるすけーる	地図を200kmスケールに切り替える。

■ 右画面の地図の縮尺を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ 右画面広域	みぎがめんこーいき	右画面地図を1段階広域に切り替える。
■ 右画面詳細	みぎがめんしょーさい	右画面地図を1段階詳細に切り替える。
■ 右画面市街図	みぎがめんしがいず	右画面地図を市街図に切り替える。
■ 右画面リアル市街図	・みぎがめんりあるしがいず ・みぎがめんすりーでいーしがいず	右画面地図をリアル市街図に切り替える。
■ 右画面50メートルスケール	みぎがめんごじゅーめーとるすけーる	右画面地図を50mスケールに切り替える。

コマンド名称	認識語	動作
■ 右画面100メートルスケール	みぎがめんひゃくめーとるすけーる	右画面地図を100mスケールに切り替える。
■ 右画面200メートルスケール	みぎがめんにひゃくめーとるすけーる	右画面地図を200mスケールに切り替える。
■ 右画面400メートルスケール	みぎがめんよんひゃくめーとるすけーる	右画面地図を400mスケールに切り替える。
■ 右画面800メートルスケール	みぎがめんはっぴゃくめーとるすけーる	右画面地図を800mスケールに切り替える。
■ 右画面1.6キロメートルスケール	みぎがめんいってんろっきろめーとるすけーる	右画面地図を1.6kmスケールに切り替える。
■ 右画面3キロメートルスケール	みぎがめんさんきろめーとるすけーる	右画面地図を3kmスケールに切り替える。
■ 右画面7キロメートルスケール	みぎがめんななきろめーとるすけーる	右画面地図を7kmスケールに切り替える。
■ 右画面13キロメートルスケール	みぎがめんじゅーさんきろめーとるすけーる	右画面地図を13kmスケールに切り替える。
■ 右画面26キロメートルスケール	みぎがめんにじゅーろっきろめーとるすけーる	右画面地図を26kmスケールに切り替える。
■ 右画面50キロメートルスケール	みぎがめんごじゅっきろめーとるすけーる	右画面地図を50kmスケールに切り替える。
■ 右画面100キロメートルスケール	みぎがめんひゃっきろめーとるすけーる	右画面地図を100kmスケールに切り替える。
■ 右画面200キロメートルスケール	みぎがめんにひゃっきろめーとるすけーる	右画面地図を200kmスケールに切り替える。

■ 地図の向きを変更する

コマンド名称	認識語	動作
■ 地図向き変更	ちすむきへんこー	地図の向きを切り替える。
■ ノースアップ	のーすあつぱ	地図の向きをノースアップに切り替える。
■ 北向き	きたむき	
■ ヘディングアップ	へでいんぐあつぱ	地図の向きをヘディングアップに切り替える。
■ 進行方向	しんこーほーこー	

■ 右画面の地図を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ 右画面地図向き変更	みぎがめんちすむき へんこー	右画面地図の向きを切り替える。
■ 右画面ノースアップ	みぎがめんの一す あつぷ	右画面地図の向きをノースアップに切り替える。
■ 右画面北向き	みぎがめんきたむき	
■ 右画面ヘディングアップ	みぎがめんへでいんぐ あつぷ	
■ 右画面進行方向	みぎがめんしんこー ほーこー	右画面地図の向きをヘディングアップに切り替える。

■ 地図を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ 2D	つーでいー	地図を2D表示に切り替える。
■ 3D	すりーでいー	地図を3D表示に切り替える。
■ 2Dツイン	つーでいーついん	地図を2Dツイン表示に切り替える。
■ 3Dツイン	すりーでいーついん	地図を3Dツイン表示に切り替える。
■ 2画面表示	にがめんひょーじ	地図を2画面表示に切り替える。
■ 2画面表示解除	にがめんひょーじかいじょ	地図を1画面表示に切り替える。
■ 1画面表示	いちがめんひょーじ	

■ 右画面の地図を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ 右画面3D	みぎがめんすりーでいー	右画面地図を3D表示に切り替える。
■ 右画面3D解除	みぎがめんすりー でいーかいじょ	右画面地図を2D表示に切り替える。
■ 右画面2D	みぎがめんつーでいー	
■ 右画面施設表示	みぎがめんしせつ ひょーじ	右画面地図上に周辺施設を表示する。
■ 右画面施設表示 消去	みぎがめんしせつ ひょーじしよーきよ	右画面地図上の周辺施設表示を消去する。

■ 地点を登録する

コマンド名称	認識語	動作
■ 地点登録	ちてんとーろく	地図画面の中心位置にメモリ地点を登録する。
■ メモリ地点	めもりちてん	
■ ここを登録	ここおとーろく	
■ 方向付きメモリ地点	ほーこーつきめりちてん	現在地画面の中心位置に進行方向に合わせ、方向付きメモリ地点を登録する。
■ 音声付きメモリ地点	おんせーつきめりちてん	地図画面の中心位置に、音声付きメモリ地点を登録する。

■ 目的地を表示する

コマンド名称	認識語	動作
■ 目的地1	もくてきちいち	1番目に設定されている目的地を表示する。
■ 目的地2	もくてきちに	2番目に設定されている目的地を表示する。
■ 目的地3	もくてきちさん	3番目に設定されている目的地を表示する。
■ 目的地4	もくてきちよん	4番目に設定されている目的地を表示する。
■ 目的地5	もくてきちご	5番目に設定されている目的地を表示する。
■ 次の目的地	つぎのもくてきち	次の目的地を表示する。
■ 最終目的地	さいしゅーもくてきち	最終目的地を表示する。

■ 目的地を削除する

コマンド名称	認識語	動作
■ 次の目的地削除	つぎのもくてきちさくじょ	次の目的地を削除する。
■ 最終目的地削除	さいしゅーもくてきちさくじょ	最終目的地を削除する。
■ 全ての目的地削除	すべてのもくてきちさくじょ	すべての目的地を削除する。

ルート案内

案内・地図表示を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ 高速略図表示	こーそくりやくすひょーじ	ハイウェイモードを表示する。
■ 都市高マップ表示	としこーまっぷびょーじ	都市高速マップ表示モードにする。
■ 都市高マップ表示解除	としこーまっぷびょーじ かいじょ	都市高速マップ表示モードを解除する。
■ ターンリスト	たーんりすと	ターンリスト図を表示する。

ルートを変更する

コマンド名称	認識語	動作
■ 推奨	すいしよー	推奨ルートでルートを探索する。
■ 有料優先	・ ゆうりょーゆーせん ・ こーそくゆーせん	有料道優先でルートを探索する。
■ 一般優先	いっぱんゆーせん	一般道優先でルートを探索する。
■ 距離優先	きよりゆーせん	距離優先でルートを探索する。
■ 別ルート	べつるーと	別ルートでルートを探索する。

ルート案内をさせる

コマンド名称	認識語	動作
■ 案内再開	あんないさいかい	ルート案内を再開する。
■ 案内中止	あんないちゅーし	ルート案内を中止する。
■ 案内音声	あんないおんせー	案内音声を出力する。
■ ナビ音量アップ	・ なびおんりょーあっぷ ・ なびぼりゅーむあっぷ	ナビゲーションのナビ音量設定を1段階アップする。
■ ナビ音量ダウン	・ なびおんりょーだうん ・ なびぼりゅーむだうん	ナビゲーションのナビ音量設定を1段階ダウンする。

ルートを表示する

コマンド名称	認識語	動作
■ 全ルート図	ぜんるーとず	全ルート図を表示する。
■ ルート全体図	るーとぜんたいず	

目的地設定

■ 目的地を探す

コマンド名称	認識語	動作
■ 施設で探す	しせつでさがす	施設で検索する。
■ ジャンルで探す	じゃんるでさがす	ジャンルで検索する。
■ 住所で探す	じゅーしょでさがす	住所で検索する。
■ 電話番号で探す	でんわばんごーでさがす	電話番号入力で検索する。
■ マップコードで探す	まっぷこーどでさがす	マップコード入力で検索する。
■ 郵便番号で探す	ゆうびんばんごーで さがす	郵便番号入力で検索する。
■ ○○○ (メモリ地点名称)	○○○ (メモリ地点名称読み)	登録されたメモリ地点を検索する。

■ 周辺の施設を探す

コマンド名称	認識語	動作
■ ○○○ (施設ジャンル)	○○○ (施設ジャンル)	指定されたジャンルの施設の記号を地図上に表示する。
■ 近くの○○○ (施設ジャンル)	ちかくの○○○ (施設ジャンル)	地図画面の中心から最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
■ この先の○○○ (施設ジャンル)	このさきの○○○ (施設ジャンル)	現在地から目的地までの案内ルート上で最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
■ 目的地周辺の ○○○ (施設ジャンル)	もくてきちしゅうへんの ○○○ (施設ジャンル)	最終目的地周辺で最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
■ 周辺施設	しゅーへんしせつ	周辺施設をジャンル別で検索する。
■ 施設表示消去	しせつひょーじしよーきよ	地図画面上の周辺施設表示を消去する。

■ 検索後、次の周辺の施設を探す

コマンド名称	認識語	動作
■ 次の施設	つぎのしせつ	候補にある次の施設（次に近い施設）の地点地図を表示する。

■ 登録した地点に設定する／登録した地点を呼び出す

コマンド名称	認識語	動作
■ 自宅に帰る	・じたくにかえる ・うちにかえる ・いえにかえる	自宅へのルートを探索する。
■ 特別メモリ1へ行く	とくべつめもりいちえいく	特別メモリ1へのルートを探索する。
■ 特別メモリ2へ行く	とくべつめもりにえいく	特別メモリ2へのルートを探索する。
■ 特別メモリ3へ行く	とくべつめもりさんえいく	特別メモリ3へのルートを探索する。
■ 特別メモリ4へ行く	とくべつめもりよんえいく	特別メモリ4へのルートを探索する。
■ 特別メモリ5へ行く	とくべつめもりごえいく	特別メモリ5へのルートを探索する。

■ 地図に目的地を設定する

コマンド名称	認識語	動作
■ 目的地セット	・もくてきちせつと ・いきさき	地図画面の中心位置に目的地を設定し、探索を開始する。

■ メッセージ表示時に有効

コマンド名称	認識語	動作
■ セット	せつと	目的地を設定する。
■ 新規目的地	しんきもくてきち	既存の目的地を全て消去して新規に目的地を設定する。
■ 追加目的地	つかかもくてきち	直近（現在地から一番近い）目的地として追加設定する。
■ 中止	ちゅーし	音声認識モードを中止する。
■ ヘルプ	へるぷ	ヘルプ画面を表示する。
■ はい	はい	質問の内容を実行する。
■ いいえ	いいえ	質問の内容をとりやめる。
■ 戻る	もどる	直前に発声した内容を取り消し、言い直すことができるようにする。
■ リスト表示	りすとひょーじ	検索結果に対応したリストを表示する。
■ 設定する	せつてーする	音声ガイドにしたがって目的地を設定する。
■ 他の道路	たのどーろ	他の道路上に目的地を設定する。

■ 数字入力中に有効

コマンド名称	認識語	動作
■ 戻る	もどる	直前に発声した内容を取り消し、言い直すことができるようにする。
■ 全消去	ぜんしょーきよ	入力したすべての数字を消去する。
■ 検索	けんさく	音声認識した結果で地図を呼び出す。

■ 次候補スイッチ表示中に有効

コマンド名称	認識語	動作
■ 次の候補	つぎのこーほ	次の候補を表示する。

VICS

■ VICSの情報を見る

コマンド名称	認識語	動作
■ VICS表示	びくくすひょーじ	地図上にVICSレベル3情報を表示するよう設定を切り替える。
■ VICS表示消去	びくくすひょーじ しよーきよ	地図上に表示しているVICSレベル3情報を消去する。
■ FM文字	えふえむもじ	VICS FM文字情報表示画面に切り替える。
■ FM図形	えふえむすけー	VICS FM図形情報表示画面に切り替える。
■ 割込情報	わりこみじょーほー	最新の割り込み図形表示画面に切り替える。

■ 情報表示する道路を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ VICS全て表示	びくくすすべてひょーじ	地図上にVICSレベル3情報を全道路に表示するよう設定を切り替える。
■ VICS高速道表示	びくくすこーそくどー ひょーじ	地図上にVICSレベル3情報を高速道のみ表示するよう設定を切り替える。
■ VICS一般道表示	びくくすいっぱんどー ひょーじ	地図上にVICSレベル3情報を一般道のみ表示するよう設定を切り替える。

■ 右画面でVICSの情報を見る

コマンド名称	認識語	動作
■ 右画面VICS表示	みぎがめんびっくすひょーじ	右画面地図上にVICSレベル3情報を表示するように設定を切り替える。
■ 右画面VICS表示消去	みぎがめんびっくすひょーじしよーきよ	右画面地図上に表示しているVICSレベル3情報を消去する。

■ 割込み情報を設定する

コマンド名称	認識語	動作
■ ビーコン文字情報	びーこんもじじょーほー	割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“する”に切り替える。
■ ビーコン文字情報解除	びーこんもじじょーほーかいじょ	割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“しない”に切り替える。
■ ビーコン図形情報	びーこんずけーじょーほー	割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“する”に切り替える。
■ ビーコン図形情報解除	びーこんずけーじょーほーかいじょ	割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“しない”に切り替える。
■ 注意警戒情報	ちゅーいけーかいじょーほー	割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“する”に切り替える。
■ 注意警戒情報解除	ちゅーいけーかいじょーほーかいじょ	割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“しない”に切り替える。

■ 地図上の情報を切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ VICS駐車場表示	びっくすちゅーしゃじょーひょーじ	VICS表示設定の“駐車場”を“ON”に切り替える。
■ VICS駐車場表示解除	びっくすちゅーしゃじょーひょーじかいじょ	VICS表示設定の“駐車場”を“OFF”に切り替える。
■ VICS渋滞・混雑表示	びっくすじゅーたいこんぞつひょーじ	VICS表示設定の“渋滞・混雑”を“ON”に切り替える。
■ VICS渋滞・混雑表示解除	びっくすじゅーたいこんぞつひょーじかいじょ	VICS表示設定の“渋滞・混雑”を“OFF”に切り替える。
■ VICS空き道表示	びっくすあきみちひょーじ	VICS表示設定の“空き道”を“ON”に切り替える。

コマンド名称	認識語	動作
■ VICS空き道表示解除	びっくすあきみち ひょーじかいじょ	VICS表示設定の“空き道”を“OFF”に切り替える。
■ VICS規制情報表示	びっくすきせー じょーほーひょーじ	VICS表示設定の“規制情報”を“ON”に切り替える。
■ VICS規制情報表示解除	びっくすきせーじょー ほーひょーじかいじょ	VICS表示設定の“規制情報”を“OFF”に切り替える。

■ 渋滞を避けるルートにする

コマンド名称	認識語	動作
■ 渋滞考慮探索	じゅーたいこーりょ たんさく	ナビゲーションの各種設定の“渋滞考慮探索”を“する”に切り替える。
■ 渋滞考慮探索解除	じゅーたいこーりょ たんさくかいじょ	ナビゲーションの各種設定の“渋滞考慮探索”を“しない”に切り替える。

知識

VICSに関するコマンドについては、VICS情報が受信できないとき、または受信しても情報がないときは、コマンドを発声しても表示させることができません。

G-BOOK

■ G-BOOKを操作する

次のコマンドは、G-BOOKオンラインサービスの利用開始操作後に使用可能になります。

コマンド名称	認識語	動作
■ Myリクエスト	まいりくえすと	Myリクエスト画面を表示する。
■ G-BOOK.com	じーぶあくどとこむ	G-BOOKセンターに接続する。
■ ○○○（コマンドはG-BOOKセンターが指定）	○○○ （コマンドはG-BOOKセンターが指定）	G-BOOKセンターが指定するコマンドの動作を実行する。

知識

G-BOOKセンターが指定するコマンドについては、**ヘルプ**にタッチして、音声認識コマンド一覧画面の「G-BOOK」で確認できます。(☎287)

オーディオ

オーディオを切替える

コマンド名称	認識語	動作
■ ビデオ	びでお	ビデオに切り替える。
■ ラジオ	らじお	ラジオに切り替える。
■ AMラジオ	ええむらじお	AMラジオに切り替える。
■ FMラジオ	えふえむらじお	FMラジオに切り替える。
■ 交通情報	こーつーじょーほう	(OFF時) 交通情報に切り替える。 (ON時) 交通情報を終了する。
■ CD	しーでいー	CDプレーヤーに切り替える。
■ MD	えむでいー	MDプレーヤーに切り替える。
■ DVDチェンジャー	でいーぶいでいーちえんじャー	DVDチェンジャーに切り替える。
■ HDDオーディオ	はーどでいすくおーでいお	サウンドライブラリに切り替える。

知識

「オーディオを切替える」のコマンドは、再生する機器を切り替えるものです。
例) DVDチェンジャー内のCDを再生する場合は、「DVDチェンジャー」と発声してください。

オーディオをオン／オフする

コマンド名称	認識語	動作
■ オーディオ	おーでいお	(OFF時) オーディオをONにする。 (ON時) オーディオをOFFにする。

■ ラジオを操作する

次のコマンドは、ラジオの音声が出力されているとき使用できます。この場合、AMラジオを受信しているときはAMの放送局というように、そのモードの放送局のみ認識できます。また、放送局名称は、現在地がその放送局の放送地域内にある場合のみ認識できます。

コマンド名称	認識語	動作
■ ○○○ (放送局名称)	○○○ (放送局名称)	○○○を選局する。
■ シークアップ	シーくあっぷ	周波数が高い方へ、自動で受信可能な放送局を選局する。
■ シークダウン	シーくだうん	周波数が低い方へ、自動で受信可能な放送局を選局する。

■ ディスクを操作する

次のコマンドは、CD、MD、DVDまたはサウンドライブラリの楽曲を再生しているとき使用できます。ただし、機種や再生するメディアにより、使用できるコマンドは異なります。

コマンド名称	認識語	動作
■ トラックアップ	・とらっくあっぷ ・つぎのきょく	次の曲を頭出しする。
■ トラックダウン	・とらっくだうん ・あたまだし	再生中の曲を頭出しする。
■ 前の曲	・まえのきょく ・いっきょくまえ	前の曲を頭出しする。
■ ディスクアップ	・でいすくあっぷ ・つぎのでいすく	次のディスクに切り替える。
■ ディスクダウン	・でいすくだうん ・まえのでいすく	前のディスクに切り替える。

■ HDDオーディオの楽曲を検索する

コマンド名称	認識語	動作
■ 曲を探す	きょくおさがす	曲を探す。

■ AUTOLIVEを操作する

次のコマンドは、G-BOOK ALPHA（Web登録あり）の利用開始操作後に使用可能になります。

コマンド名称	認識語	動作
■ AUTOLIVE カラオケ	おーとらいぶからおけ	AUTOLIVE カラオケに切り替える。
■ AUTOLIVE BGM	おーとらいぶびーじー えむ	AUTOLIVE BGMに切り替える。
■ チャンネルアップ	ちゃんねるあつぷ	次のチャンネルに切り替える。
■ チャンネルダウン	ちゃんねるだうん	前のチャンネルに切り替える。
■ 曲を探す	きょくおさがす	曲を探す。

TEL

■ 電話帳認識モードにする

コマンド名称	認識語	動作
■ 電話をかける	でんわおかける	電話画面を表示する。

■ 電話帳の名前が検索されたら

コマンド名称	認識語	動作
■ 発信	はっしん	電話をかける。
■ 次候補	じこーほ	次の候補を表示する。

その他

■ 現在の情報を聞く

コマンド名称	認識語	動作
■ 今日は何日？	きょーわなんにち	今日の日付を音声で案内する。
■ 今日は何曜日？	きょーわなんよーび	
■ 今何時ですか？	いまなんじですか	現在の時刻を音声で案内する。
■ 今日は何の日？	きょーわなんのひ	地図データベースに登録されている今日の記念日を音声で案内する。
■ 今走っている道路は？	いまはしっているどーろわ	現在走っている道路名を音声で案内する。
■ どちら向いているの？	どっちむいているの	現在走っている方向を音声で案内する。

■ ルートの情報を聞く

コマンド名称	認識語	動作
■ あとどれくらい？	あとどれくらい	現在地から最終目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
■ あと何キロ？	あとなんきろ	現在地から最終目的地までの残距離を音声で案内する。
■ あと何分？	あとなんぶん	現在地から最終目的地までの到着予想残り時間
■ あと何時間？	あとなんじかん	時間を音声で案内する。
■ 何時に着くの？	・なんじにつくの ・なんじにつきますか	最終目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
■ 次の目的地まであとどれくらい？	つぎのもくてきちまで あとどれくらい	現在地から次の目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
■ 次の目的地まであと何キロ？	つぎのもくてきちまで あとなんきろ	現在地から次の目的地までの残距離を音声で案内する。
■ 次の目的地まであと何分？	つぎのもくてきちまで あとなんぶん	現在地から次の目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
■ 次の目的地まであと何時間？	つぎのもくてきちまで あとなんじかん	

コマンド名称	認識語	動作
■ 次の目的地に何時に着くの？	・つぎのもくてきちに なんじにつくの ・つぎのもくてきちに いつきますか	次の目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
■ どこから乗るの？	どこからのの	現在地が高速道路以外有的时候に、目的地までのルート上にある次に乗る高速道路のIC名と、ICまでの到着予想残り時間および残距離を音声で案内する。
■ どのインターチェンジから乗るの？	どこのいんたーちえんじからのの	
■ どこで降りるの？	どこでおりの	目的地までのルート上にある次に降りる高速道路のIC名と、ICまでの到着予想残り時間および残距離を音声で案内する。
■ どのインターチェンジで降りるの？	どこのいんたーちえんじでおりの	
■ この先の渋滞情報は？	このさきのじゅーたいじょーほわ	現在地から目的地までのルート上の渋滞・規制情報を音声で案内する。
■ この先の規制情報は？	このさきのきせーじょーほわ	
■ 次に通る施設は？	つぎにとおるしせつわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経路するSA/PA/ICまでの残距離を、次々に音声で案内する。
■ 次のサービスエリアは？	つぎのさーびすえりあわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経路するSA/PA名と、SA/PAまでの残距離を、次々に音声で案内する。
■ 次のパーキングエリアは？	つぎのぱーきんぐえりあわ	

知識

ルート情報に関するコマンドについては、ルートからはずれたときは、認識されないコマンドがあります。

ジャンル名コマンド一覧

知識

地図データの更新により、ジャンル名や認識語は追加・変更される場合があります。

ジャンル名	認識語
ファミリーレストラン	ふぁみりーれすとらん／ふぁみれす
ファーストフード	ふぁーすとふーど
うどん・そば	うどんそば／うどん／そば
寿司	すし
ラーメン	らーめん
カレー	かれー
パスタ	ぱすた／すぱげてい
お好み焼・たこ焼	おこのみやきたこやき／おこのみやき／たこやき
イタリア料理	いたりありょうり／いためし
フランス料理	ふらんすりょうり／ふれんち
中華料理	ちゅうかりょうり／ちゅうか
各国料理	かっこくりょうり
割ぼう・懐石	かっぽうかいせき／かっぽう／かいせき／かいせきりょうり／りょうてい
和食	わしょく
肉料理	にくりょうり／やきにく／すてーき／とんかつ／やきとり
海鮮料理	かいせんりょうり／さかなりょうり
鍋料理	なべりょうり／しゃぶしゃぶ／すきやき／ちゃんこ／もつなべ
弁当	べんとう
コーヒー・喫茶	こーひーきっさ／こーひー／きっさ／きっさてん
バー・酒場	ばーさかば／ばー／さかば／いざかや／すなっく
コンビニエンスストア	こんびにえんすすとあ／こんびにえんす／こんびに
スーパーマーケット	すーぱーまーけっと／すーぱー
ディスカウントストア	でいすかうんとすとあ／でいすかうんと
デパート	でぱーと／ひゃっかてん

ジャンル名	認識語
ショッピングモール	しょっぴんぐもーる／しょっぴんぐ
アウトレットモール	あうとれっともーる
ホームセンター	ほーむせんたー
CD・ビデオ	しーでいーびでお／しーでいー／びでお／ しーでいーれこーどてん／しーでいーびでおれんたる
レンタルショップ	れんたるしょっぷ／れんたる
リサイクルショップ	りさいくるしょっぷ／りさいくる
ケーキ・菓子・パン	けーきかしばん／けーき／かし／ばん／あいすくりーむ
花・園芸	はなえんげい／はな／えんげい／うえき／せいか
雑貨	ざっか／にちようざっか
化粧品	けしょうひん
文具・事務用品	ぶんぐじむようひん／ぶんぐじむ／ぶんぐ／ じむようひん／ぶんぼうぐ
おもちゃ	おもちゃ／がんぐ
薬	くすり／やっきょく／やっきょくやくてん／やくてん
衣服	いふく／いりょう／いりょうひん／いりょうひんてん
スポーツ用品	すぽーつようひん／すぽーつようひんてん
靴・鞆	くつかばん／くつ／かばん／かばんくつ
宝石・貴金属	ほうせきききんぞく／ほうせき／ききんぞく
カメラ・時計	かめらとけい／かめら／とけい
眼鏡・コンタクト	めがねこんたくと／めがね／こんたくと
電化製品	でんかせいひん
情報機器	じょうほうきき／ぱそこん／ぱそこんしょっぷ／ けいたいでんわ／けいたい
食料品	しょくりょうひん
本	ほん／ほんや／しょてん／しょせき／ふるほん
家具・インテリア	かぐいんてりあ／かぐ／いんてりあ
ガラス・陶磁器	がらすとうじき／がらす／とうじき／がらすしょっき
チケット	ちけっと／ぶれいがいど／ちけっとばいばい
その他買う・借りる	そのたかうかりる／そのたかう／そのたかりる
ホテル	ほてる

ジャンル名	認識語
旅館	りよかん
ビジネスホテル	びじねすほてる
公共宿舎	こうきょうしゅくしゃ
民宿	みんしゅく
ペンション	べんしょん
カプセルホテル	かぷせるほてる
その他泊まる	そのたとまる／しゅくはくそのた
旅行	りょこう／かんこう／かんこうあんない／ りよかんよやく／りょこうだいいてん
温泉	おんせん
サウナ・風呂	さうなふろ／さうな／ふろ／せんとう／けんこうらんど
スポーツ施設	すぽーつしせつ
カラオケ	からおけ
ゲームセンター	げーむせんたー／げーせん
動・植物園	どうしょくぶつえん／どうぶつえん／しょくぶつえん
水族館	すいぞくかん／すいぞっかん
ゴルフ場	ごるふじょう
遊園地	ゆうえんち
キャンプ場	きゃんぷじょう
ビーチ	びーち／かいすいよくじょう
マリーナ	まりーな
娯楽	ごらく
劇場	げきじょう
映画館	えいがかん
ライブハウス	らいぶはうす
趣味	しゅみ
ガソリンスタンド	がそりんすたんど／じーえす
駐車施設	ちゅうしゃしせつ／ちゅうしゃじょう
ジェームス	じえーむす

ジャンル名	認識語
カー用品	かーようひん
レクサス販売店	れくさすはんばいてん／れくさす／れくさすでいーらー
トヨタ販売店	とよたはんばいてん
ダイハツ販売店	だいはつはんばいてん／だいはつ
トヨタ販売店 (U-Car)	とよたはんばいてんゆーかー／とよたゆーかー／ とよたちゅうこしゃ／とよたはんばいてんちゅうこしゃ／ かーろっつ
トヨタレンタリース	とよたれんたりーす
自転車・バイク	じてんしゃばいく／じてんしゃ／ばいく／おーとばい
中古車買取	ちゅうこしゃかいとり
自動車整備	じどうしゃせいび
钣金・塗装	ばんきんとそう／ばんきん／とそう
洗車	せんしゃ
ロードサービス	ろーどさーびす
役所	やくしょ／やくば
警察署	けいさつしょ／けいさつ
消防署	しょうぼうしょ
図書館	としょかん
公園	こうえん
裁判所	さいばんしょ
保健所	ほけんじょ
郵便局	ゆうびんきょく
医療機関	いりょうきかん／びょういん
駅	えき
空港	くうこう／ひこうじょう
港	みなと
高速IC	こうそくいんたーちえんじ／こうそくいんたー／ こうそくあいしー

ジャンル名	認識語
有料IC	ゆうりょういんたーちえんじ／ゆうりょういんたー／ゆうりょうあいしー
SA・PA	さーびすえりあばーきんぐえりあ／さーびすえりあ／ばーきんぐえりあ／さば
道の駅	みちのえき
一般道IC・SA・PA	いっばんどうあいしーさば／いっばんあいしーさば／いっばんどうあいしー／いっばんどうさば／いっばんどういんたーちえんじ
ハイウェイオアシス	はいうえいおあしす
名所・旧跡	めいしよきゅうせき／めいしよ／きゅうせき
神社	じんじゃ
寺	てら
教会	きょうかい
城・城跡	しろしろあと／しろ／しろあと／しろじょうせき／じょうせき
美術館	びじゅつかん
博物館	はくぶつかん
資料館	しりょうかん
ホール	ほーる
プラネタリウム	ぷらねたりうむ
天文台	てんもんだい
カルチャーセンター	かるちゃーせんたー
教室	きょうしつ
道場	どうじょう
金融機関	きんゆうきかん／ぎんこう
教育施設	きょういくしせつ／がっこう
理容・美容・アロマ	りようびようあろま／りようてん／びよういん／あろま／あろまてらびー

ジャンル名	認識語
クリーニング	くりーにんぐ
コインランドリー	こいんらんどりー
写真	しゃしん／しゃしんかん／しゃしんげんぞう
式場	しきじょう／けっこんしきじょう／さいじょう／せれもにーほーる／さいじょうせれもにーほーる
トヨタホーム	とよたほーむ
住宅展示場	じゅうたくてんじじょう
不動産	ふどうさん
車いす・足の不自由な方へ	くるまいすあしのふじゆうなかたへ／くるまいすのかた／あしのふじゆうなかた／くるまいすしせつ／ぱりあふりーといれ



MEMO

情報画面 334

I 車両情報 336

車両情報画面の表示	336
車両情報画面の見方	336

II FM多重放送 338

FM多重放送の番組について	338
FM多重放送の表示	338
放送局を切り替えるには	338
番組を切り替えるには	338
独立情報番組のページ送りのしかた	338
連動情報番組の文字情報 を繰り返し見るには	339
文字情報の記録・呼び出し・消去	339

III メンテナンス機能 341

メンテナンスメニュー画面	341
メンテナンス時期の設定	341
メンテナンス案内の設定	343
メンテナンスの案内	343
メンテナンス設定の消去	343
メンテナンス設定の更新	344
販売店の設定	344
販売店の修正・入力	345
販売店の消去	345

IV カレンダー機能 346

カレンダー画面	346
---------	-----

V 施設の情報の検索 347

情報付き施設の検索	347
ナビブラウザ画面の操作	347
ブックマークに登録する	348
ブックマークしたコンテンツを見る	348
ブックマークのタイトルを変更する	348
ブックマークを削除する	349

VI 電話帳 350**VII 時計の調整 351**

時計を調整する	351
---------	-----

「情報・G」を押すと、情報画面が表示されます。

- ・「前ページ」、または「次ページ」にタッチして、ページを切り替えます。
- ・情報画面から以下の操作を行うことができます。

1ページ目



2ページ目



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

表示順序/ 項目 (タッチスイッチ)	機 能	ページ
1 車両情報	車両情報の表示	336
2 ヘルプネット※ ¹	ヘルプネット (緊急通報)	503
3 メインメニュー	G-BOOKメインメニューの表示	516
4 アミューズメント	G-BOOKアミューズメントメニューの表示	550
5 FM多重	F M多重放送の表示	338
6 TEL	施設の電話番号の検索	350
	ハンズフリー画面の表示	430
7 周辺モニター	バックガイドモニターの設定	382
	フロント&サイドモニターの設定	402
8 操作ガイド	アプリケーションの操作説明の表示	12
9 メンテナンス	メンテナンス時期の設定・更新・消去	341~344
	販売店の設定・修正・消去	345
10 カレンダー	カレンダーの表示	346
11 情報付施設	情報付き施設の検索	347
12 ETC※ ³	ETCメニュー画面の表示	407

表示順序／ 項目 (タッチスイッチ)		機 能	ページ
13	設定	個人情報の消去	31
		ヘルプネット保守点検※ ²	507
		電話設定	442
		操作画面継続表示のON・OFF	26
		スイッチ色の変更	26
—	BEEP消	応答音のON・OFF	27

※1 装備の有無により表示されないことがあります。また、このときは表示順序が繰り上がって表示されます。

※2 装備の有無により表示されないことがあります。

※3 ナビ連動のETCシステムを取りつけたときのみ表示されます。ETCシステムを取りつけていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。

車両情報画面の表示

燃費や平均速度などの情報を表示することができます。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

情報画面（☛334）で、**車両情報** にタッチします。

・ 車両情報画面が表示されます。

車両情報画面の見方



1 瞬間燃費 (00.0km/l)

エンジン回転中、瞬間燃費を表示します。

2 給油後平均燃費 (00.0km/l)

給油をしてからの平均燃費を10秒ごとに更新して表示します。
・ 約15L以上給油後、走行し始めたとき、および、バッテリーとの接続が断たれたときは、「0.0km/l」が表示されます。

<p>3 航続可能距離 (000km)</p>	<p>航続可能距離の推定値を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約15L以上給油後、エンジンスイッチを“ON”にすると、前回の航続可能距離の推定値は消去され、新しく更新された推定値が表示されます。 <p>知識</p> <p>表示される航続可能距離は、過去約10～20km走行時の平均燃費をもとに推定値が算出されていますので、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。燃料残量警告灯が点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。なお、給油した際の推定値は、前回の給油後平均燃費をもとに推定値が算出されます。</p> <p>また、バッテリーとの接続が断たれたときは、10・15モード燃費をもとに推定値が算出されます。</p>
<p>4 平均車速 (000km/h)</p>	<p>リセット にタッチしてから、またはエンジンをかけたあと走行し始めてからの平均車速を約10秒ごとに更新して表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーとの接続が断たれたときは「0km/h」が表示されます。
<p>5 走行距離 (000km)</p>	<p>リセット にタッチしてから、またはエンジンをかけたあと走行し始めてからの走行距離を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーとの接続が断たれたときは「0km」が表示されます。
<p>6 外気温度表示</p>	<p>外気温度を表示します。</p> <p>知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの計測装置により、計測した外気温度とは異なることがあります。 ・次の場合は、正しい外気温度が表示されないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・外気温度が約-30℃以下、または約50℃以上のとき ・停車しているときや低速走行（約20km/h以下）しているとき ・外気温度が急激に変化したとき（トンネルの出入口付近など） ・実際の外気温度が変化していなくても、車両の状態（車速・風向きなど）により、外気温度表示が変動することがあります。

II FM多重放送

FM多重放送の番組について

FM多重放送は1つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

■連動情報番組

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

■独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

知識

走行中は表示させることができない番組もあります。また、FM多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。

FM多重放送の表示

情報画面(☉334)で、**FM多重** にタッチします。

- ・FMモードで選ばれている放送局の連動情報番組が表示されます。



知識

- ・FM多重放送を表示させているときに、FM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。(放送局側にて緊急放送を連続して更新しているときは、次ページに送ることができません。)
- ・FM多重放送を表示させているときは、そのFM多重放送局の番組の音声のみ聞くことができます。(文字情報を表示させているFM多重放送局とは別のFM放送局の番組の音声を聞くことはできません。)

放送局を切り替えるには

自動選局 にタッチします。

- ・FM多重放送を表示させている放送局の音声を聞いているときは、オーディオのスイッチでも、切り替えることができます。

番組を切り替えるには

1 **目次** にタッチします。

- ・**番組連動** にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。

2 番組の番号にタッチします。

独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報(▲・▼が表示されます。)が発信される独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。

▲・▼、または**自動送り**にタッチします。



- ・ ▲・▼にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- ・ **自動送り**にタッチすると、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
- ・ 文字情報の自動送りを中止するときは、**停止**にタッチします。また、自動送りに▲・▼にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは中止されます。

知識

走行中、および緊急情報を受信しているときは、自動送りはできません。

連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときや、もう一度見たいときは▲にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

▲・▼にタッチして、文字情報を切り替えます。



- ・ タッチすると、文字情報の自動切り替えが中止されます。
- ・ 自動切り替えを中止したとき、**最新情報**にタッチすると、最新の文字情報にもどり、もとの状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

文字情報の記録・呼び出し・消去

記録するには

- 記録する文字情報を表示させ、**メモ記録**にタッチします。
- ・ 記録項目は最大20個です。

知識

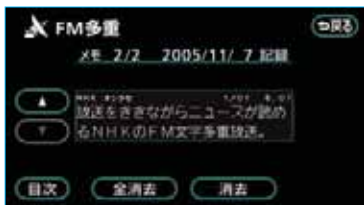
記録する内容によっては、20個記録できないことがあります。

呼び出すには

- 1 **メモ呼出**にタッチします。
 - ・ 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。
- 2 ▲・▼にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

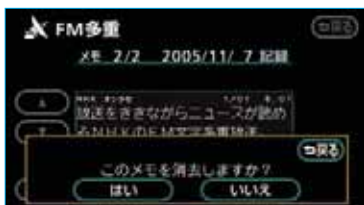
消去するには

- 1 消去する文字情報を表示させます。
「呼び出すには」(☎339) をご覧ください。
- 2 **消去** にタッチします。



- ・すべての文字情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。

- 3 **はい** にタッチします。



Ⅲ メンテナンス機能

メンテナンス機能とは、GPS (④143) のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

- ・メンテナンス機能の内容・時期の設定については、トヨタ販売店にご相談ください。

知識

車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスメニュー画面

情報画面 (④334) で、**メンテナンス** にタッチします。




- ・メンテナンスメニュー画面が表示されます。



項目	内容
	エンジンオイル交換
	オイルフィルター交換
	タイヤローテーション (タイヤ位置交換)
	タイヤ交換
	バッテリー交換
	ブレーキパッド交換
	ワイパーゴム交換

項目	内容
	冷却水 (LLC) 交換
	ブレーキフルード交換
	ATF (オートマチックトランスミッションフルード) 交換
	パーソナル項目 (その他の項目を5つまで設定することができます。)

知識


未設定の項目は (黒色)、すでに設定されている項目は (緑色)、メンテナンス案内が行われる時期の項目は (橙色) で表示されています。

メンテナンス時期の設定

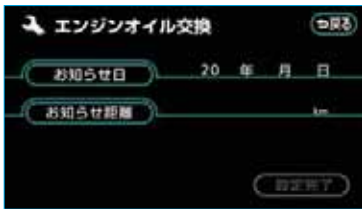
知識

メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンス案内を **する** に設定しないと、メンテナンス案内は行われません。(④343)

1 メンテナンスメニュー画面 (④341) で、設定する項目にタッチします。

- ・ (パーソナル項目) にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。(④342)
- ・すでに設定されているパーソナル項目にタッチしたときは、2の画面が表示されます。

- 2 **お知らせ日**、または
お知らせ距離にタッチします。



- ・日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

- 3 日付、距離を1つずつタッチして入力します。

日付入力画面



距離入力画面



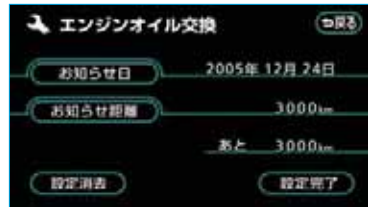
- ・間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。
- ・「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、**年・月・日** にタッチして入力することができます。ただし、2～9月と4～9日は **月・日** にタッチする必要はありません。

【例】


2005年7月1日と入力するときは、**5・年・0・7・1・日** または **0・5・7・0・1** と順にタッチします。

- 4 **完了** にタッチします。

- 5 **設定完了** にタッチします。





■ パーソナル項目の設定のしかた

- 1 メンテナンスメニュー画面 (☞341) で  (パーソナル項目) にタッチします。

- 2 設定する項目にタッチします。



- ・  (パーソナルリマインダー) 以外にタッチしたときは、「メンテナンス時期の設定」(☞341) 2の画面が表示されます。
- ・  (パーソナルリマインダー) にタッチしたときは、次に表示された名称変更画面で、名称を入力します。入力方法は、「メモリ地点の名称入力」(☞127) と同様です。

メンテナンス案内の設定

自動通知を**する**に設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

メンテナンスメニュー画面 (☉341) で、自動通知の**する**にタッチします。




- ・案内をOFFにするには、再度この画面で、**しない**にタッチします。

メンテナンスの案内

設定をした日がすぎる、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。



- ・5つ以上の項目があるときは、が表示されます。
 - ・名称入力項目のときは、入力した名称を表示します。
- ・**次回表示しない**にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

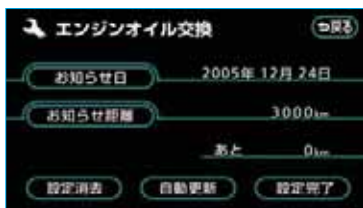
メンテナンス設定の消去

- 1 メンテナンスメニュー画面 (☉341) で、設定を消去する項目にタッチします。

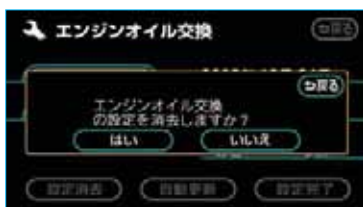


- ・すべての項目を消去するときは、**設定全消去**にタッチします。（3の画面が表示されます。）

- 2 **設定消去**にタッチします。



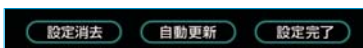
- 3 **はい**にタッチします。



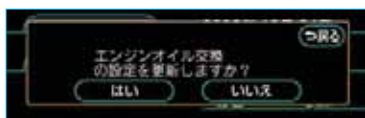
メンテナンス設定の更新

- 1 「メンテナンス設定の消去」1で表示された画面（➡343）で、設定を更新する項目にタッチします。
・すべての項目を更新するときは、**自動全更新**にタッチします。（3の画面が表示されます。）

- 2 **自動更新**にタッチします。



- 3 **はい**にタッチします。

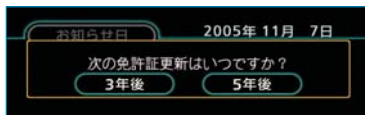


- ・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

知識

新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

- 4 パーソナル項目の免許証更新では、次に表示された画面で、**3年後**、または**5年後**にタッチします。



- 5 2の画面にもどったときは、**設定完了**にタッチします。

販売店の設定

- 1 メンテナンスメニュー画面（➡341）で、**販売店設定**にタッチします。
- 2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。（➡76、88）



- 3 **セット**にタッチします。

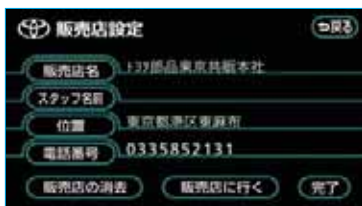


📍の位置に販売店が設定されます。

知識

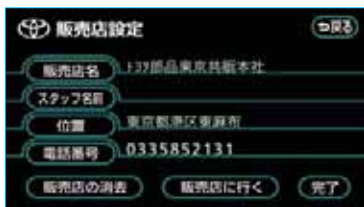
「施設で地図を呼び出す」（➡82）でトヨタ・ダイハツ販売店を呼び出し、地図が表示されたら、そのまま地図を動かさずに**セット**にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

- 4 **完了**にタッチします。



販売店の修正・入力

- 1 メンテナンスメニュー画面 (☉341) で、**販売店設定** にタッチします。
- 2 修正、入力する項目にタッチします。

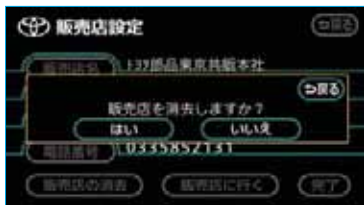


- ・修正・入力方法については以降のページをご覧ください。
- ・販売店名 ……………☉127
- ・スタッフ名前 ……………☉127
- ・位置 ……………☉129
- ・電話番号 ……………☉130
- ・**販売店に行く** にタッチすると、販売店の地図が表示されます。

- 3 **完了** にタッチします。

販売店の消去

- 1 「販売店の修正・入力」 (☉345) 2で表示された画面で **販売店の消去** にタッチします。
- 2 **はい** にタッチします。



IV カレンダー機能

カレンダーは、2005年から2024年まで表示させることができます。また、GPS (📍143) の時刻情報 (GPS時計) を利用して、日時を表示します。

知識

- ・ GPSからの時刻情報が受信されているときは、「GPS」が表示されます。
- ・ 表示される時刻は、数秒程度の誤差が生じることがあります。

カレンダー画面

情報画面 (📍334) で、**カレンダー** にタッチします。

- ・ カレンダー画面が表示されます。

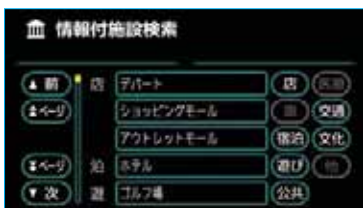


- ・ **▶月**・**◀月** にタッチすると、月が切り替わります。
- ・ **▶年**・**▶年** にタッチすると、年が切り替わります。
- ・ 月、または年を切り替えたとき、**今月** にタッチすると、今月のカレンダーが表示されます。

情報付き施設の検索

登録されている施設の内容を表示させることができます。

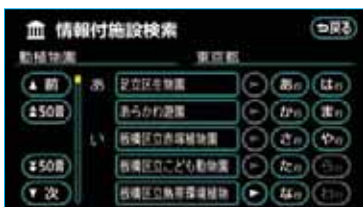
- 1 情報画面 (☉334) で、**情報付施設** にタッチします。
- 2 施設のジャンルにタッチします。



- 3 都道府県名 (路線名) にタッチします。



- 4 施設名称にタッチします。



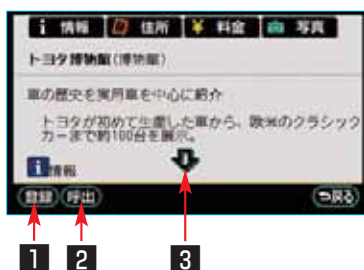
・検索された画面の操作については、「ナビブラウザ画面の操作」をご覧ください。(☉347)

ナビブラウザ画面の操作

ナビブラウザは、ハードディスクに保存されている情報付き施設の表示や操作を行います。

コンテンツの閲覧中は、タッチスイッチにタッチすると、以下のことができます。

- ・ **○○** (**住所**・**写真**など) にタッチすると、表示されている項目の情報が表示されます。



1 登録スイッチ

表示中のページをブックマークに登録できます。ブックマークは最大50件まで登録できます。

2 呼出スイッチ

ブックマーク画面を表示します。

3 スクロールスイッチ

表示中のページが画面に収まらないとき表示されます。↑にタッチすると画面が移動して、隠れていた部分を見ることができます。

ブックマークに登録する

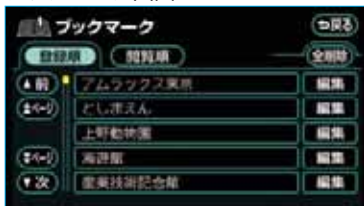
- 1 ナビブラウザ画面で、ブックマークに登録したいページを表示します。
- 2 **登録** にタッチします。
- 3 同じブックマークが登録されている場合は、次に表示された画面で、置き換えてもよければ **はい** にタッチします。



ブックマークしたコンテンツを見る

- 1 ナビブラウザ画面で **呼出** にタッチします。
- 2 希望のブックマークタイトルが表示されたスイッチにタッチします。

ブックマーク画面



- ・ブックマークしたコンテンツが表示されます。

知識

リストは、登録順と閲覧順の2種類の並べ方をさせることができます。

- ・ **登録順** にタッチすると、ブックマークに登録した日時が新しいものから順に並びかわります。
- ・ **閲覧順** にタッチすると、コンテンツの最後に閲覧した日時が新しいものから順に並びかわります。

ブックマークのタイトルを変更する

ブックマークのタイトルをお好みのタイトルに変更できます。

タイトルは、全角で最大48文字、半角で最大96文字まで入力できます。

- 1 ブックマーク画面 (➡348) で、編集したいブックマークの右側にある **編集** にタッチします。
- 2 **タイトル** にタッチします。



- 3 ソフトウェアキーボードで入力します。



- 4 ブックマーク編集画面で、**完了** にタッチします。

ブックマークを削除する

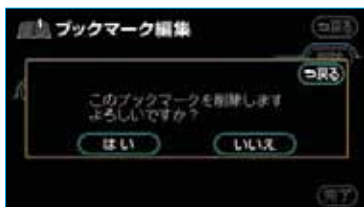
ブックマークは、50件を超えて登録しようとした場合はメッセージが表示されます。

この場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

- 1 ブックマーク画面 (☞348) で、削除したいブックマークの右側にある **編集** にタッチします。
 - ・すべてのブックマークを削除するときは、**全削除** にタッチします。
- 2 **削除** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。

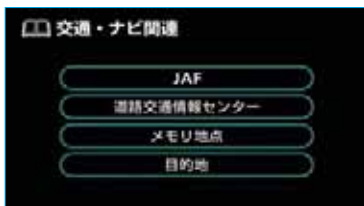
また、登録されているメモリ地点 (☉124) や設定されている目的地 (☉91) に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示させることができます。

1 情報画面 (☉334) で、**TEL** にタッチします。

2 **交通・ナビ** にタッチします。



3 項目にタッチします。



・ **目的地** (1カ所のみ設定されているとき) にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。

4 都道府県名にタッチします。



・ 3で **メモリ地点**、または **目的地** (2カ所以上設定されているとき) にタッチしたときは、次に表示された画面で、地点名称にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。

・ 3で **メモリ地点** にタッチしたときは、次に表示された画面で、地点名称の右にある **地図** にタッチすると、タッチした地点の地図が表示されます。

5 施設名称にタッチします。



施設名称と電話番号が表示されます。

時計を調整する

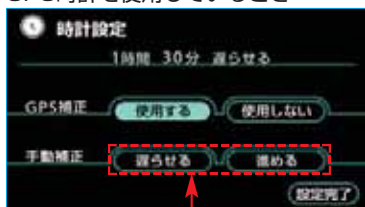
この時計はGPSの時刻情報（GPS時計）を利用して、時刻を表示させることができます。

知識

- ・GPS時計は、自動で時刻が調整されるため、時刻の調整は不要です。
- ・GPS時計を使用して表示させている時刻は、数秒程度の誤差が生じることがあります。

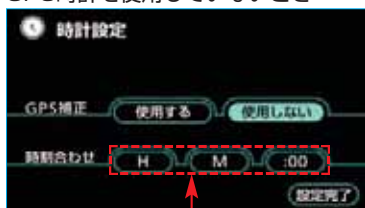
- 1 時計スイッチ (➡9) を押します。
- 2 GPS補正の **使用する**、または **使用しない** にタッチします。

GPS時計を使用しているとき



GPS時計の補正

GPS時計を使用していないとき



時刻の調整

- 3 **設定完了** にタッチします。

GPS時計の補正

GPS時計を使用しているときに、時計に表示されている時刻を、実際の時刻より進めたり、遅らせたりすることができます。

- 1 「時計を調整する」 (➡351) 2で表示された画面で、実際の時刻より進めるときは **進める**、遅らせるときは **遅らせる** にタッチします。
- 2 **設定完了** にタッチします。

知識

最も進める (6時間) と **進める**、最も遅らせる (6時間) と **遅らせる** を操作することができなくなります。

時刻の調整

GPS時計を使用していないときに、時刻の調整をすることができます。

- 1 「時計を調整する」 (➡351) 2で表示された画面で、**H** にタッチすると“時”、**M** にタッチすると“分”が早送りされます。
 - ・時報と同時に **:00** にタッチすると、時報に合わせるができます。
 - ・0~29分は切り下げられます。
 - ・30~59分は切り上げられます。

(例)

1 : 00 ~ 1 : 29 の場合は 1 : 00 に、
1 : 30 ~ 1 : 59 の場合は 2 : 00 に
なります。

- 2 **設定完了** にタッチします。

知識

秒表示はありませんが、次の場合は0秒から作動が開始されます。

- ・ **:00** にタッチしたとき
- ・ **M** にタッチして分を調整後、**M** から手を離れたとき



MEMO

バックガイドモニター

バックガイドモニターとは 354

■ はじめに		354
■ ガイド方法の選び方	並列駐車（車庫入れ）時に 使用するとき	355
	縦列駐車時に使用するとき	356
■ ガイド画面の出し方		357

並列駐車のみ 358

■ 進路表示モード	画面の見方	358
	操作のみ	359
■ 駐車ガイド線表示モード	画面の見方	362
	操作のみ	363

縦列駐車のみ 364

■ 縦列ガイドモード	車の動きと画面・音声案内の流れ	364
	操作のみ	367
■ 駐車ガイド線表示モード	画面の見方	373
	操作のみ	374

バックガイドモニターについての注意点 376

運転時の注意	376
画面に映る範囲	377
カメラ	378
画面と実際の路面との誤差	379
立体物が近くにあるとき	380
システム初期化中画面がでたときは	381

バックガイドモニターの設定 382

※本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

バックガイドモニターとは

はじめに

バックガイドモニターは、後退操作（とくに駐車時）を補助する装置です。車の後方の映像に後退操作の参考になるガイド線を合成して表示するとともに、さらに音声で案内します*。

*音声ガイドについては縦列ガイドモードのみ



イラストは縦列ガイドモード時の状況です

警告

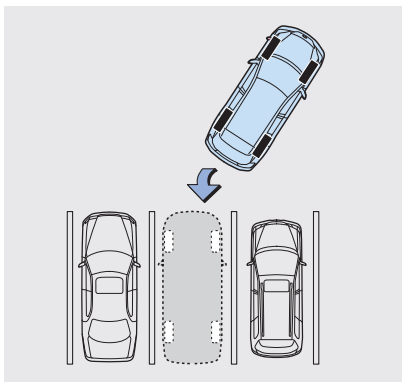
- ・バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。(➡376)
- ・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(➡379)

バックガイドモニターとは

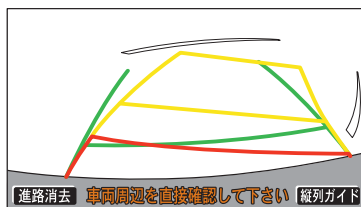
ガイド方法の選び方

並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

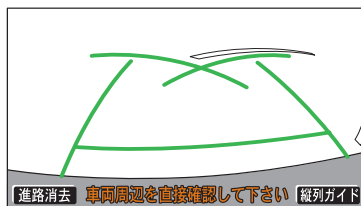


■進路表示モードで 並列駐車をする（☎358）



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

■駐車ガイド線表示モードで 並列駐車をする（☎362）

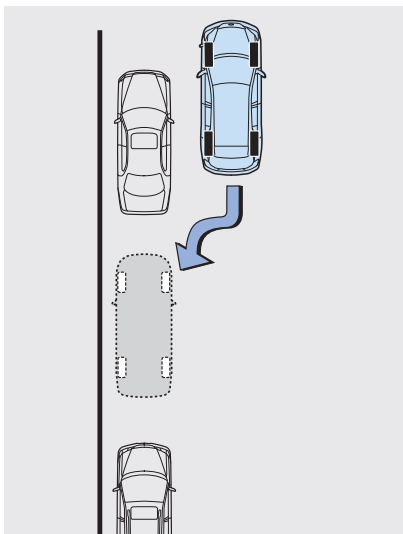


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

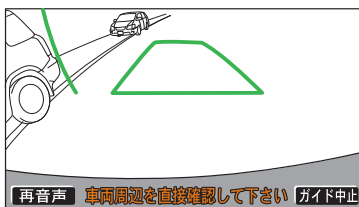
- ・車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせず駐車できる方）はご使用ください。

縦列駐車時に使用するとき

縦列駐車をするときは、縦列ガイドモードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

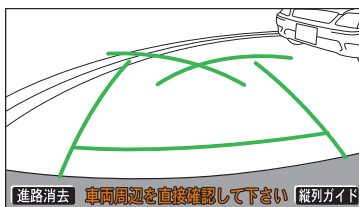


■縦列ガイドモードで 縦列駐車をする (364)



画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

■駐車ガイド線表示モードで 縦列駐車をする (373)



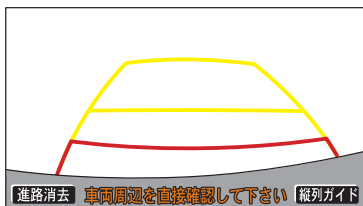
ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

- ・縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

バックガイドモニターとは

ガイド画面の出し方

エンジンスイッチが“ON”のとき、シフトレバーを**R**にすると、バックガイドモニターの画面になります。



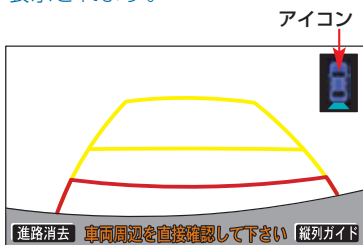
・シフトレバーを**R**以外にすると、バックガイドモニターは解除されます。

知識

シフトレバーを**R**にしているとき、**現在地**・**情報・G**など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモードの画面に切り替わります。

フロント&サイドモニター装着車

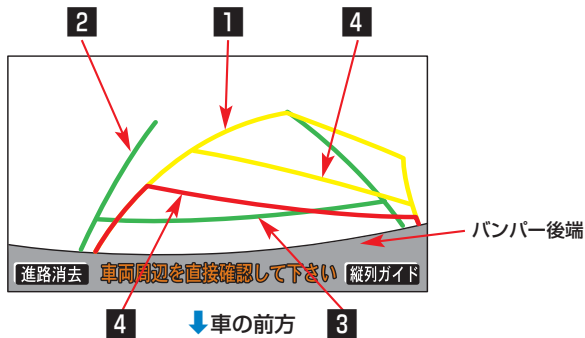
縦列ガイドモード以外のときに、表示中の映像のカメラ位置を示すアイコンが表示されます。



並列駐車のかた

進路表示モード

画面の見方



1 予想進路線 (黄色)	車が後退していく進路の目安を示します。 ・ハンドル操作と連動します。
2 車幅延長線 (緑色)	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・実際の車幅より広く表示しています。 ・ハンドルがまっすぐ (直進状態) になっているときは、予想進路線と重なります。
3 距離目安線 (緑色 約0.5m先)	車の後方 (バンパー-後端から) の距離を示します。 ・約0.5m先を示します。
4 距離目安線 (赤色 約0.5m先) (黄色 約1m先)	車の後方 (バンパー-後端から) の距離を示します。 ・ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 ・それぞれの中心位置で、約0.5m先 (赤色) ・約1m先 (黄色) を示します。 ・ハンドルがまっすぐ (直進状態) になっていないときは誤差が生じます。 上の画面では、距離目安線が示す実際の距離 (赤色: 約0.5m先、黄色: 約1m先) より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。



警告

- ・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・ハンドルがまっすぐ (直進状態) で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分間以上走行してください。それでもなおならない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

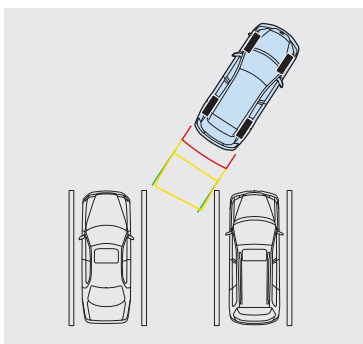
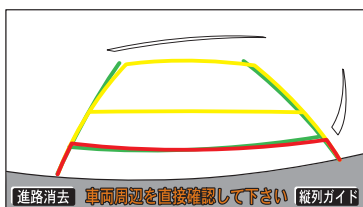
知識

画面に表示されている**進路消去**にタッチすると、予想進路線・車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。もとにもどすときは、同じ画面に表示される**進路表示**にタッチします。

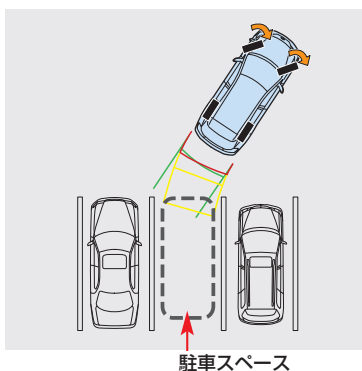
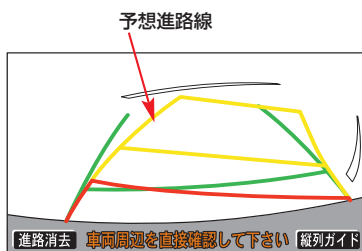
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

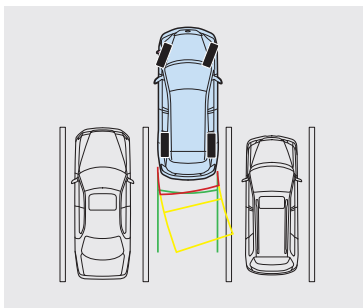
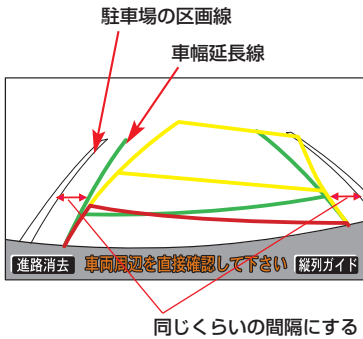
- 1 シフトレバーを**R**にします。
 - ・進路表示モードになっていない場合は、進路表示モードにしてください。（☎382）



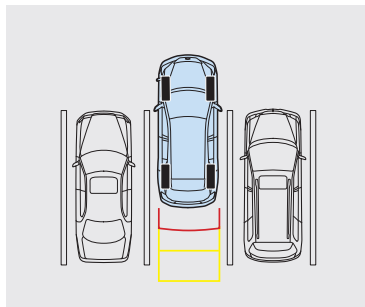
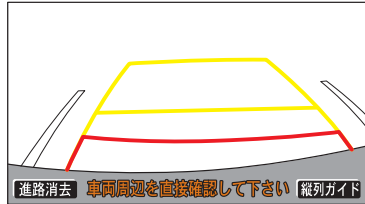
- 2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。



3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作します。



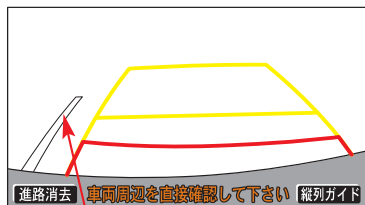
4 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退します。



知識

駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。

- ・ 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行ではないことがあります。
- ・ 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



駐車場の区画線

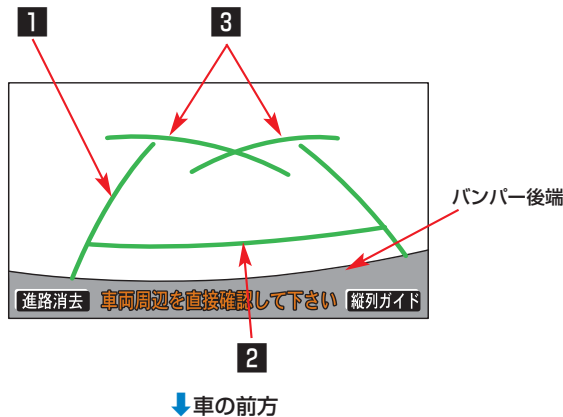


MEMO

並列駐車のしかた

駐車ガイド線表示モード

画面の見方



1 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線 約0.5m先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・約0.5m先を示します。
3 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ・駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

警告

- ・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

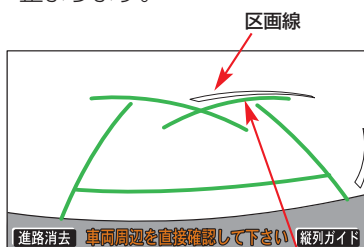
画面に表示されている **進路消去** にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。

もとにもどすときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

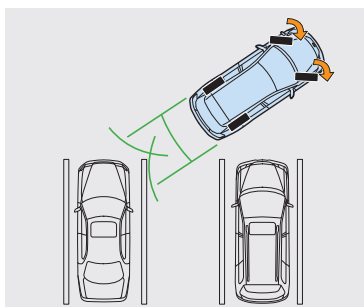
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

- 1 シフトレバーを**⑥**にします。
・駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、駐車ガイド線表示モードにしてください。(➡382)
- 2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まります。



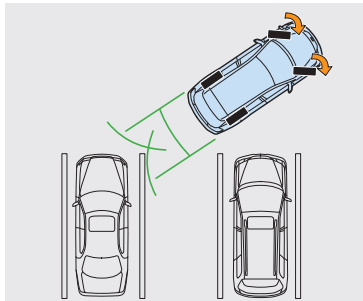
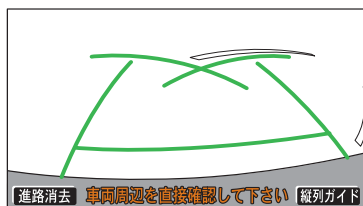
駐車ガイド線



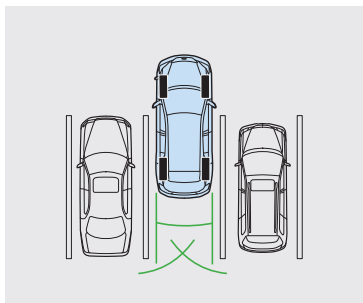
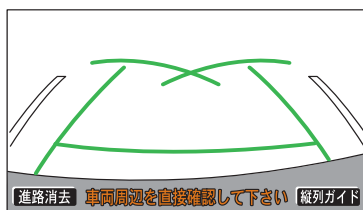
知識

画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

- 3 ハンドルを右いっぱいにして、ゆっくり後退します。



- 4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

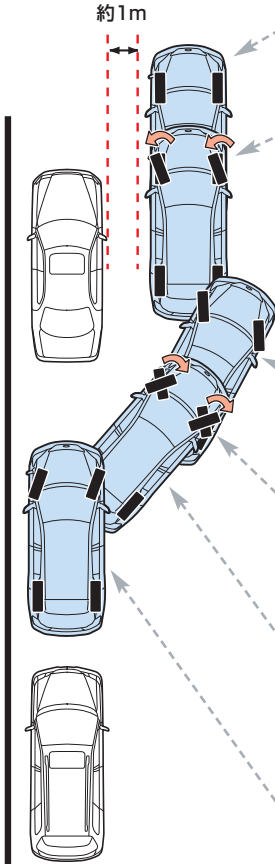


縦列駐車のかた

縦列ガイドモード

車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置で止まる。

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。

(画面①)

車を止めたまま、ハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。(画面②)

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。(画面③)

駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。(画面④)

ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。(画面⑤)

車がほぼまっすぐになったら縦列ガイドモードが終了する。(画面⑥)

■画面・音声案内の流れ

画面①

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。

再音声 車両周辺を直接確認して下さい ガイド中止

音声案内 「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

ここまで後退する。

再音声 車両周辺を直接確認して下さい ガイド中止

画面②

緑の枠を駐車したい場所に合わせる。

再音声 車両周辺を直接確認して下さい ガイド中止

音声案内 「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

再音声 車両周辺を直接確認して下さい

音声案内 「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面③

緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。

再音声 車両周辺を直接確認して下さい

画面④

「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに戻します。」

再音声 車両周辺を直接確認して下さい

音声案内 「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに戻します。」

距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。

画面⑤

「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

再音声 車両周辺を直接確認して下さい

音声案内 「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面⑥

「縦列ガイドを終了します。」

再音声 車両周辺を直接確認して下さい

音声案内 「縦列ガイドを終了します。」



警告

- ・カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使用しないでください。
- ・ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

知識

- ・ガイドを中止したいときは、**ガイド中止** にタッチすると、最初（シフトレバーを**P**にしたとき）の画面にもどります。
- ・音声案内をもう一度聞きたいときは**再音声** にタッチします。
- ・音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

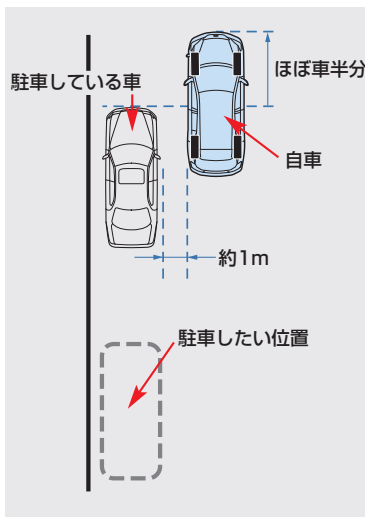
フロント&サイドモニター装着車

- ・縦列ガイドモード中に、いったんフロント&サイドモニタースイッチを押してサイドモニターの映像を表示させても、縦列ガイドを継続して使用することができます。
- ・サイドモニターの映像表示中は縦列ガイドの音声案内は行われません。
- ・サイドモニター表示中に縦列ガイドができなくなったときは、縦列ガイドモードと同様のメッセージが表示されます。
- ・継続中の縦列ガイドを表示させるには、もう1度フロント&サイドモニタースイッチを押します。

操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときには、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

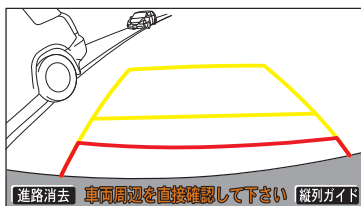
- 1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。
 - ・前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



- 2 シフトレバーを⑥にします。

- 3 車の位置を確認し、画面の**縦列ガイド**にタッチします。

- ・画面で駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやりなおします。



- 4 表示された画面と同じ位置に、車が止まっていることを確認します。

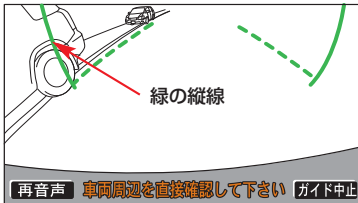
- ・車の位置を確認したら、**次へ**にタッチします。
- ・**ガイド中止**にタッチすると、前の画面にもどります。



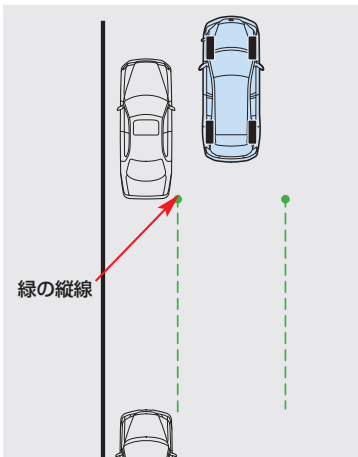
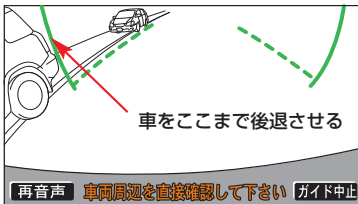
知識

次回からこの表示を省略 にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再び表示させたいときは、「バックガイドモニターの設定」(➡382) をご覧ください。

- 5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まります。



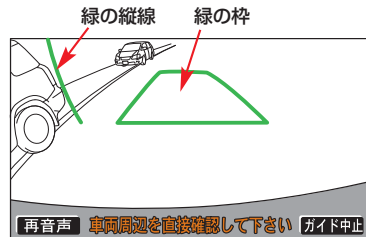
音声案内 「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」



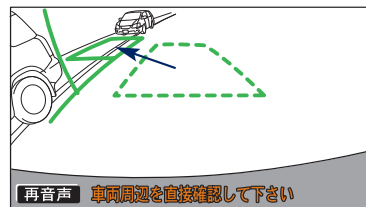
知識

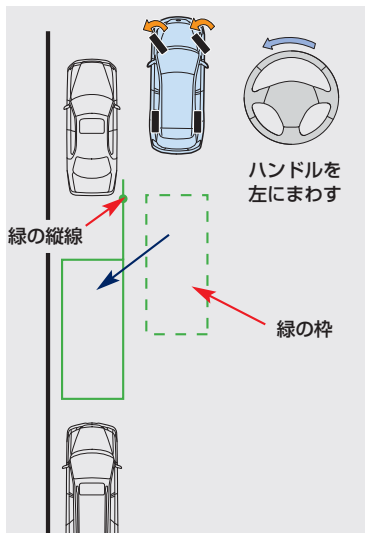
- ・ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。
- ・シフトレバーをⒶ以外にしても、約10秒以内にⒶにもどせば、この画面にもどります。

- 6 音声で案内され、緑の枠が表示されます。止まったまま、ハンドルを左に回して緑の枠を駐車したい位置に合わせます。



音声案内 「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」



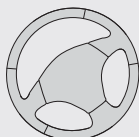


- ・ 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。(☎372)
- ・ 画面の中にメッセージが表示されることがあります。(☎372)

7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。

音声案内

「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

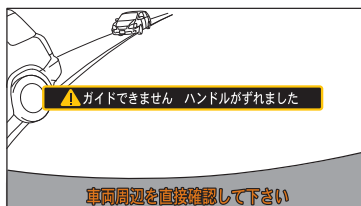


ハンドルはそのまま



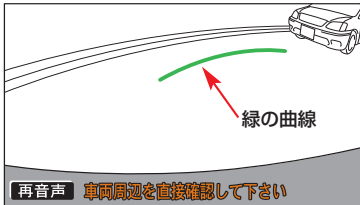
知識

- ・ 後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。その場合は、シフトレバーをP以外にしてから、再度Pにして最初からやりなおしてください。

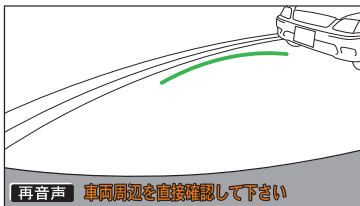


- ・ ごく低速で後退すると、次の案内が行われなくなることがあります。
- ・ 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- 8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。



音声案内 「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」



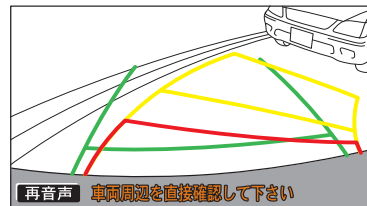
知識

後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

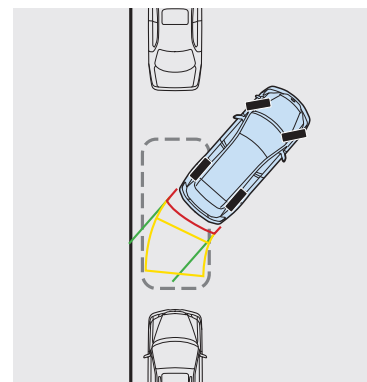
- 9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまで回します。
・必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。



- 10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。



音声案内 「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

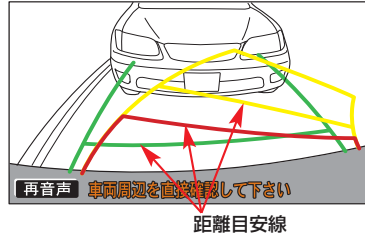




注意

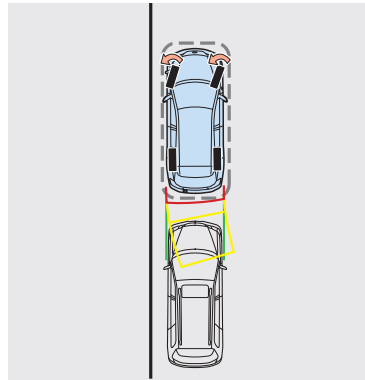


車の左前端を前方に
駐車している車にぶ
つけないよう注意し
て、ゆっくり後退し
てください。



音声案内 「縦列ガイドを終了します。」

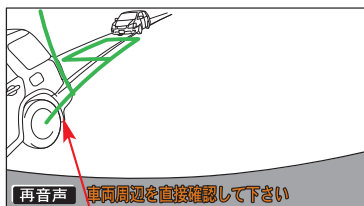
- 11 車が道路（または路肩）と平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどします。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認してゆっくり後退し止まります。
- ・車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドモードが終了します。



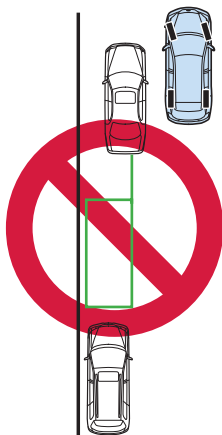


注意

- ・手順6 (➡368) のときに緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。
- ・緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。
- ・緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

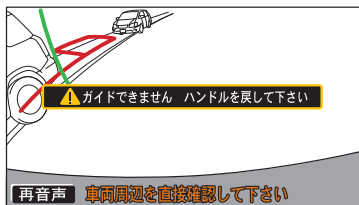


延長線がタイヤにかかっている

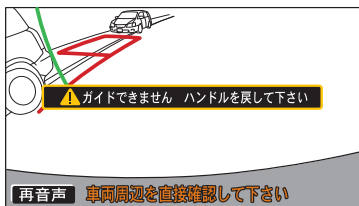


知識

- ・手順6 (➡368) のときに枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



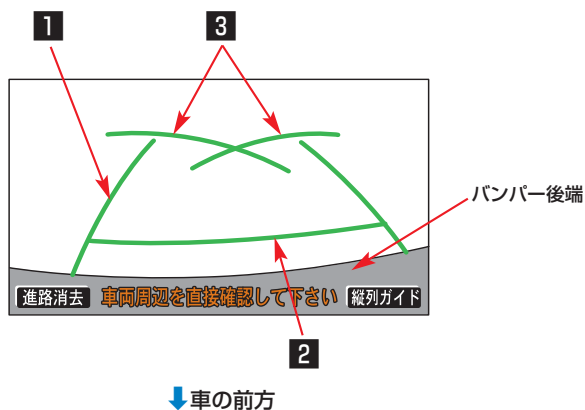
- ・枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔 (約1m) を確認してください。



縦列駐車のかた

駐車ガイド線表示モード

画面の見方



1 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線 約0.5m先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・約0.5m先を示します。
3 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ・駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

警告

- ・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

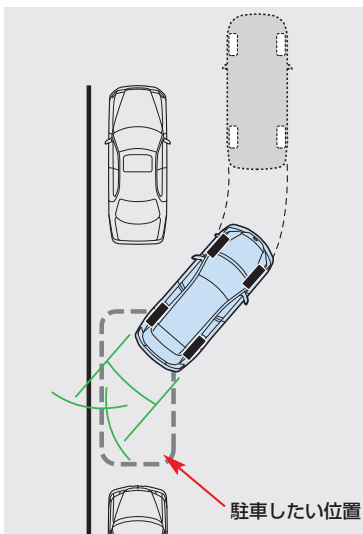
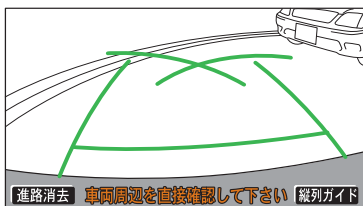
知識

画面に表示されている **進路消去** にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。
もとももどすときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

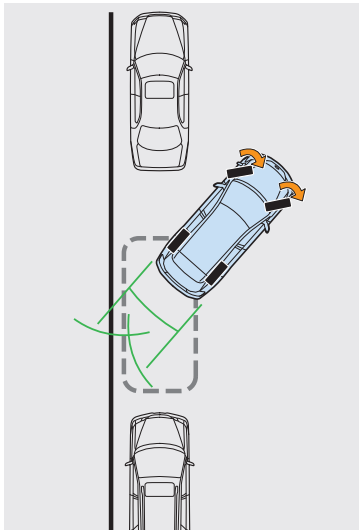
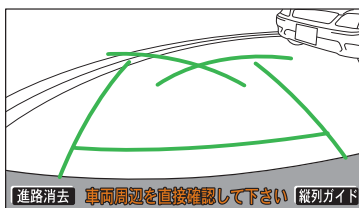
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

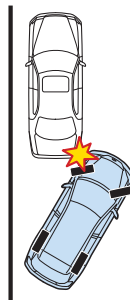
- 1 シフトレバーをPにします。
・駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、駐車ガイド線表示モードにしてください。(P382)
- 2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まります。



- 3 ハンドルを右いっぱい回して、ゆっくり後退します。

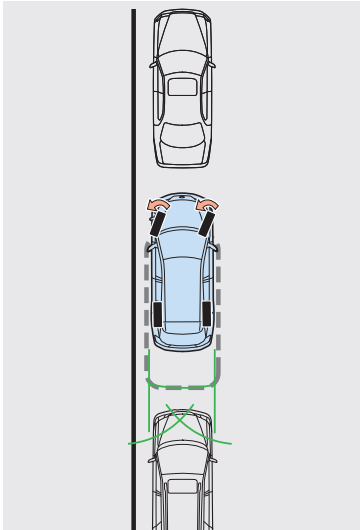
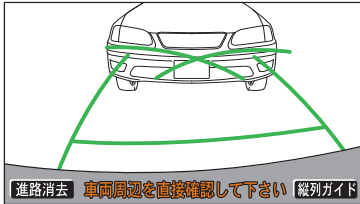


注意



車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

- 4 車が路肩と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終わめます。



運転時の注意

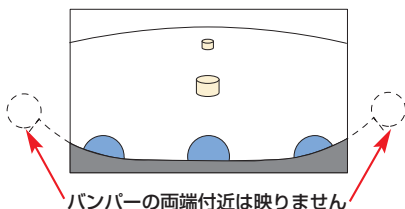
警告

- ・バックガイドモニターを過信しないでください。
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- ・後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- ・以下のような状況では、使用しないでください。
 - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・坂道など平坦でない道路
- ・バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。
- ・外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・タイヤを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

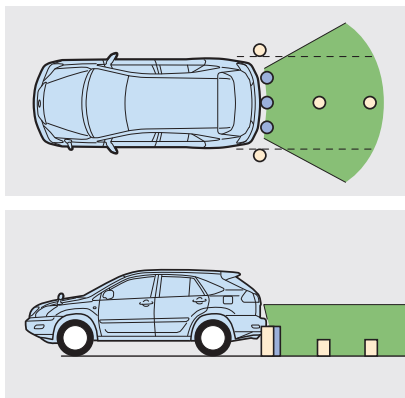
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

画面



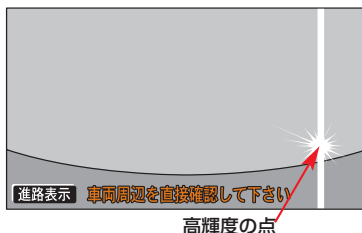
映る範囲



知識

- ・車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ・カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

- ・次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間など）
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
 - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
 - ・カメラに擦り傷や土がついているとき
 - ・太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき
 - ・高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミア現象*が発生することがあります。

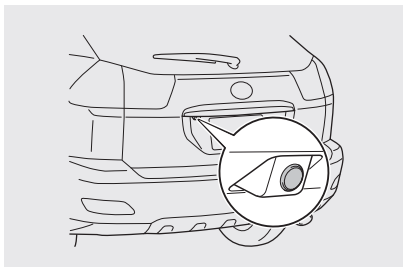


※スミア現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

- ・蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下でバックガイドモニターを使用すると、照明および照明の照らされている部分がちらついて見ることがあります。（フリッカー現象）
- ・バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（➡28）
メーター照度調整ダイヤルを右いっばいにまわした位置（“カチッ”と音がする位置）にすると、夜間ライト点灯時の画面の明るさが切り替わります。

カメラ

バックドアに取り付けられています。



⚠ 注意

バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- ・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ・カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。高水圧のためカメラの故障の原因となることがあります。

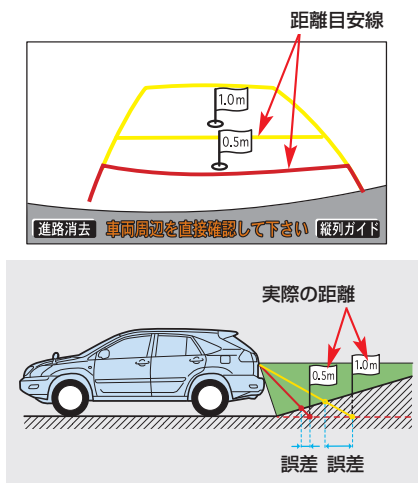
知識

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

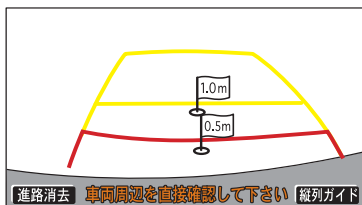
■急な上り坂が後方にあるとき



距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くに見えるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

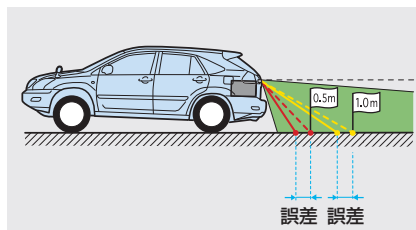
■急な下り坂が後方にあるとき



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりむしろ距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くに見えるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■車が傾いているとき



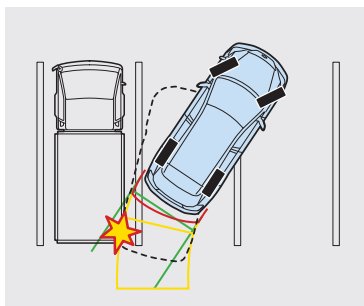
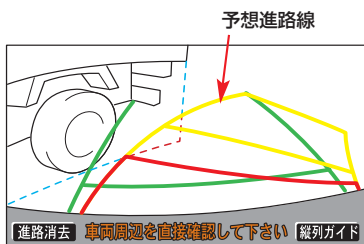
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるとき

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意して、ぶつからないようにしてください。

■ 予想進路線

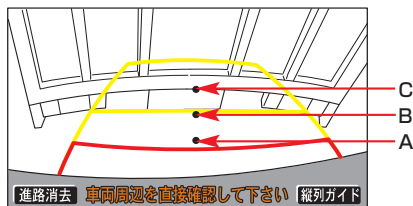
予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。



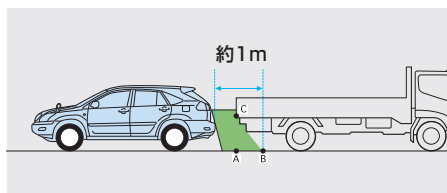
画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

■ 距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



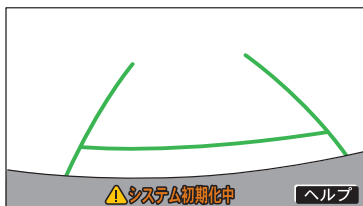
A,B,Cの位置



画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

システム初期化中画面が でたときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下した場合などには、下図の画面が表示されます。この場合、次のどちらかの操作が必要となります。



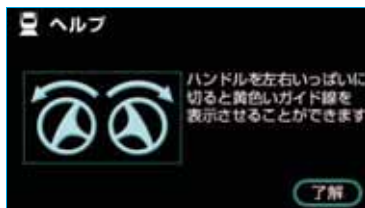
- ・車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいに戻したあと、右いっぱいに回します。(左右どちらが先でも可)
- ・できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。

通常の画面にもどれば、設定終了です。

システム初期化中画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

システム初期化中画面で、**ヘルプ** にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



画面に表示されている操作をし、通常の画面にもどれば、設定終了です。

システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- ・**了解** にタッチすると、もとの画面にもどります。

バックガイドモニターの設定

「縦列ガイド音量設定」・「はじめのコツ表示」・「駐車ガイド線表示」の設定ができます。

1 **情報・G**を押します。

2 情報画面で、**周辺モニター**にタッチします。



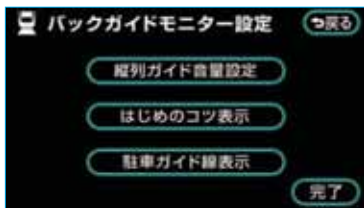
※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

3 フロント&サイドモニター装着車
周辺モニター設定画面で、**バックガイドモニター**にタッチします。



・フロント&サイドモニター非装着車は、周辺モニター設定画面は表示されません。

4 バックガイドモニター設定画面で、設定する項目にタッチします。



- ・縦列ガイド音量設定 ……→382
- ・はじめのコツ表示 ……→383
- ・駐車ガイド線表示 ……→383

■縦列ガイド音量設定

音声案内の音量を調整することができます。

消音・**小**・**・**・**・**・**大**のいずれかにタッチします。



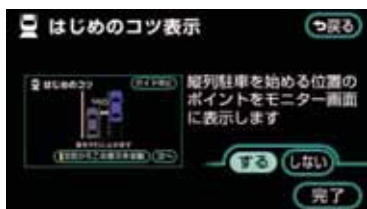
・**消音**にタッチしたときは、音声案内されません。

■はじめのコツ表示

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか、表示しないか、選ぶことができます。

表示させたいときは、**する**にタッチします。

表示させたくないときは、**しない**にタッチします。

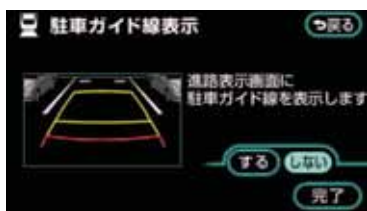


■駐車ガイド線表示

駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするか、選ぶことができます。

駐車ガイド線表示モードにしたいときは、**する**にタッチします。

進路表示モードにしたいときは、**しない**にタッチします。



5 **完了** にタッチします。



MEMO

フロント&サイドモニター ★

フロント&サイドモニターとは	386
表示するには	386
フロント&サイドモニタースイッチ	386
自動表示モード	387
フロントモニター	388
画面の見方	388
進路線の使い方	390
サイドモニター	392
画面の見方	392
車幅平行線・進路線の使い方	394
フロント&サイドモニターについての注意点	396
運転時の注意	396
画面に映る範囲	397
カメラ	398
画面と実際の路面との誤差	399
立体物が近くにあるとき	400
システム初期化中画面がでたときは	401
フロント&サイドモニターの設定	402

※本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

フロント&サイドモニターとは

フロント&サイドモニターは、フロントグリルと助手席側ドアミラーにカメラを搭載して、車両前方または左前側方の状況を画面表示させ、周辺の安全確認を補助する装置です。



警告

- ・フロント&サイドモニターは、周辺の安全確認を補助する装置です。必ず目視やミラーなどで安全を直接確認してください。(☎396)
- ・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(☎399)

表示するには

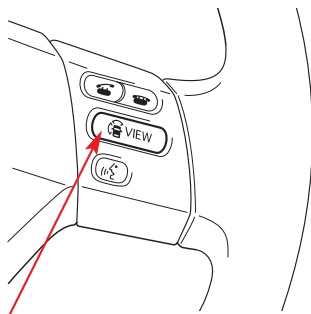
エンジンスイッチが“ON”の位置で、車両が表示可能速度（停車時および約6km/h以下）のときにフロント&サイドモニタースイッチを押すとフロントモニターの映像が表示されます。

知識

フロント&サイドモニター表示中に表示可能速度を越えるとフロント&サイドモニターは自動的に解除されます。

フロント&サイドモニタースイッチ

ハンドルの右側にあります。



フロント&サイドモニタースイッチ

- ・フロントモニターの映像表示中にスイッチを押すとサイドモニターの映像に切り替わります。サイドモニターの映像表示中にスイッチを押すとフロント&サイドモニターが解除されます。

知識

- ・新車時の設定は、フロントモニター→サイドモニターの順で表示されます。表示順序の設定を変更したいときは、「画面順序の設定」(☎402)をご覧ください。
- ・バックガイドモニター表示中にフロント&サイドモニターを表示させたときは、表示順序の設定にかかわらずサイドモニターの映像が表示されます。(フロントモニターの映像は表示されません。)

自動表示モード

フロント&サイドモニターはスイッチ操作による表示に加え、出発時または停車時にフロント&サイドモニターに自動的に切り替わる自動表示モードを設定することができます。

知識

新車時は、「自動表示しない」に設定されています。自動表示モードに設定したいときは、「自動表示モードの設定」(➡402)をご覧ください。



- ・ **出発時に表示** に設定すると、シフトレバーを①、②以外から③または④に操作するごとにフロント&サイドモニターが自動的に表示されます。
- ・ **停車時に表示** に設定すると、シフトレバーが⑤以外で、車両が表示可能速度まで減速したときにフロント&サイドモニターが自動的に表示されます。

知識

自動表示モードを設定すると各モニター画面に **自動** スイッチが表示され、自動表示モードを一時的に解除することができます。(➡388、392)

画面の見方

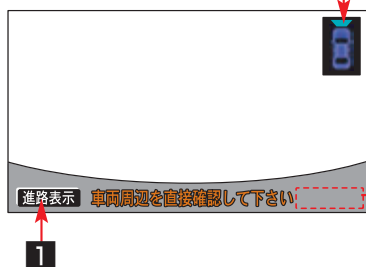
フロントカメラの映像が表示されます。

車両のフロント側周辺をモニターして出発（発車）時や駐・停車時に障害物や車間距離の確認の補助としてご使用ください。

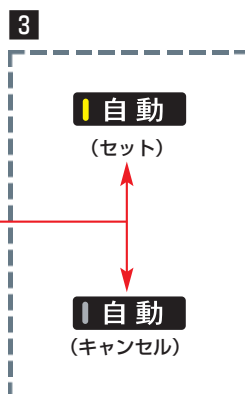
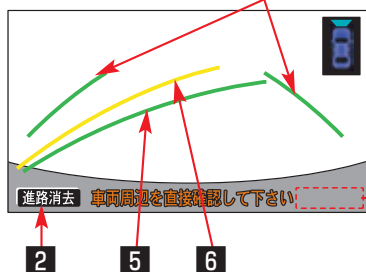
画面のスイッチ操作により進路線を表示してハンドル操作の目安として使用することもできます。

<進路線消去画面>

表示中の映像のカメラ位置を示しています。



<進路線表示画面>



1 進路表示スイッチ	進路線の表示・非表示に応じたスイッチが表示されます。
2 進路消去スイッチ	・スイッチにタッチすることによりフロント&サイドモニターの画面が進路線表示画面 ↔ 進路線消去画面になります。
3 自動スイッチ	自動表示モード (☑387) を設定したときに表示されます。 ・スイッチにタッチすることによりフロント&サイドモニターの自動表示モードをセット (有効) ↔ キャンセル (中止) することができます。
4 車幅延長線 (緑色)	車幅の延長線で、車両を直進させたときの進路の目安を示します。 ・ハンドルが直進状態付近 (直進位置から約90° 以内) のときに表示されます。
5 最小予想進路線 (緑色)	ハンドルをいっぱいまで操作して、もっとも小回りしたときの進路の目安を示します。 ・ハンドルの操作量が上記の直進状態より大きいときに表示されます。
6 予想進路線 (黄色)	ハンドル操作に連動した進路の目安を示します。 ・最小予想進路線とともに表示されます。

**警告**

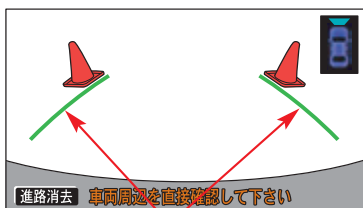
自車の状況 (乗車人数・積載量など) により映像範囲が変化します。それにとまないガイド線の示す位置に誤差が生じます。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。誤差については「画面と実際の路面との誤差」(☑399) をご覧ください。

知識

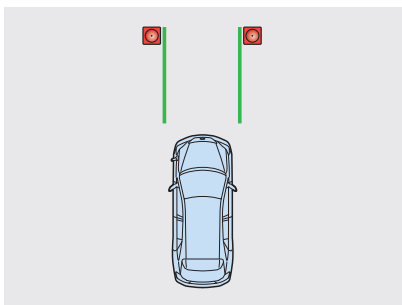
新車時は**6 予想進路線 (黄色)**を「表示しない」に設定されていますので、**進路表示**にタッチして進路を表示させたときにガイド線は表示されません。ガイド線を表示したいときは、「ガイド線表示の設定」(☑403) をご覧ください。

進路線の使い方

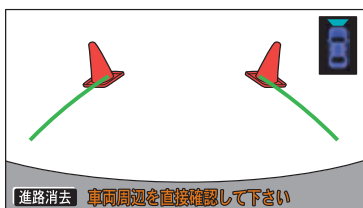
■車幅延長線（緑色）



車幅延長線

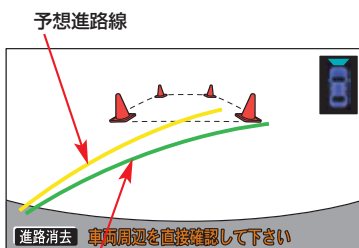


車幅延長線と障害物との位置関係を見ます。上記のように左右の車幅延長線が障害物の間にあれば、そのままのハンドル位置で進入可能と目安をつけることができます。

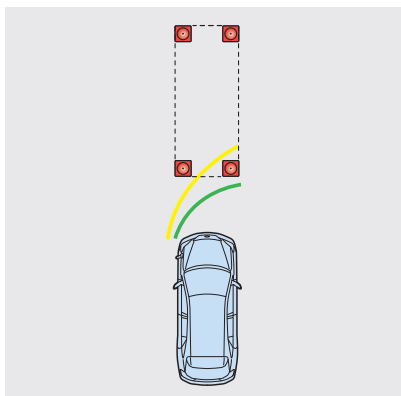


上記のように車幅延長線が障害物上にあるときや、車幅延長線の内側に障害物があるときは、接触する可能性があります。

■最小予想進路線（緑色）・ 予想進路線（黄色）



最小予想進路線

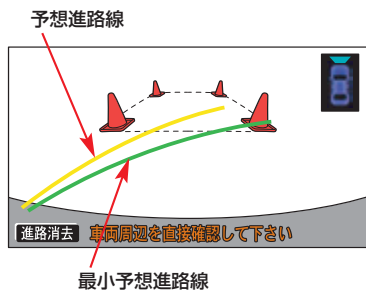


最小予想進路線や予想進路線（表示時）と障害物との位置関係を見ます。上記のように障害物が最小予想進路線（緑色）の外側にあれば、通過可能と目安をつけることができます。予想進路線（黄色）を表示しているときは障害物が予想進路線の外側になるハンドル操作量を保持した状態で車両が障害物を通り過ぎるまで走行します。



注意

車両が障害物を通り過ぎるまでハンドルを戻さないでください。進路が変わり障害物に接触する可能性があります。



上記のように最小予想進路線（緑色）が障害物上にあるときや、最小予想進路線の内側に障害物がある場合は、接触する可能性があります。

画面の見方

サイドカメラの映像が表示されます。

車両の左前側周辺をモニターして出発（発車）時や駐・停車時、左側へ旋回するときの安全確認の補助としてご使用ください。

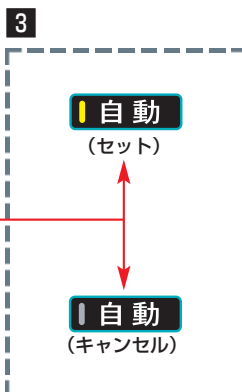
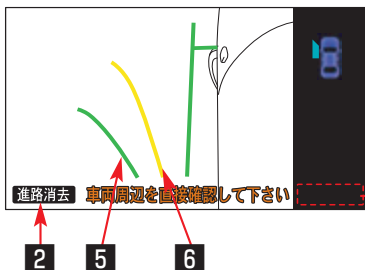
画面のスイッチ操作により進路線を表示して左旋回時にハンドル操作の目安として使用することもできます。

<進路線消去画面>

表示中の映像のカメラ位置を示しています。



<進路線表示画面>



1 進路表示スイッチ	進路線の表示・非表示に応じたスイッチが表示されます。
2 進路消去スイッチ	・スイッチにタッチするごとにフロント&サイドモニターの画面が進路線表示画面 ↔ 進路線消去画面になります。
3 自動スイッチ	自動表示モード (➡387) を設定したときに表示されます。 ・スイッチにタッチするごとにフロント&サイドモニターの自動表示モードをセット (有効) ↔ キャンセル (中止) することができます。
4 車幅延長線 (緑色)	ドアミラーを含んだ車幅の目安と車両先端の目安を示します。
5 最小予想進路線 (緑色)	ハンドルをいっぱいまで操作して、もっとも小回りしたときの予想進路の目安を示します。 ・ハンドルが左側へ操作されている (直進位置から約90°以上) ときに表示されます。
6 予想進路線 (黄色)	ハンドル操作に連動した進路の目安を示します。 ・最小予想進路線とともに表示されます。



警告

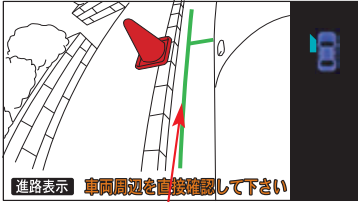
自車の状況 (乗車人数・積載量など) により映像範囲が変化します。それにもないガイド線の示す位置に誤差が生じます。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。誤差については「画面と実際の路面との誤差」(➡399) をご覧ください。

知識

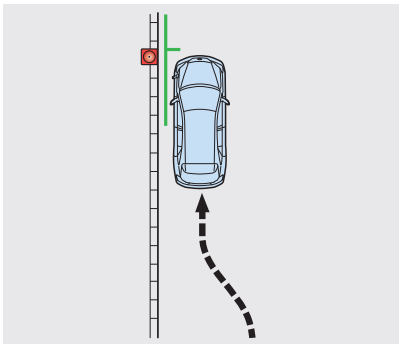
新車時は**6** 予想進路線 (黄色) を「表示しない」に設定されていますので、**進路表示** にタッチして進路を表示させたときにガイド線は表示されません。ガイド線を表示したいときは、「ガイド線表示の設定」(➡403) をご覧ください。

車幅平行線・進路線の使い方

■車幅平行線

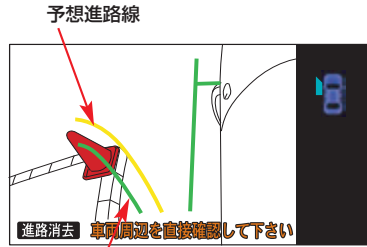


車幅平行線

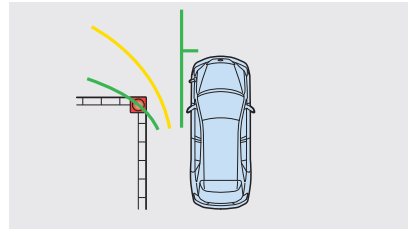


車幅平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を見ます。上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで目標物に沿って駐車することができます。

■最小予想進路線・予想進路線



最小予想進路線

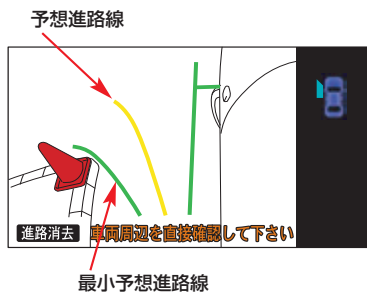


最小予想進路線や予想進路線（表示時）と障害物との位置関係を見ます。上記のように最小予想進路線（緑色）が障害物上にあるときや、最小予想進路線（緑色）の内側に障害物があるときは、小回りすると障害物に接触する可能性があります。予想進路線（黄色）を表示しているときは予想進路線が障害物の内側になるハンドル操作量を維持して車両が障害物を通り過ぎるまで旋回してください。



注意

サイドモニターの映像から障害物が見えなくなっても車両が障害物を通り過ぎるまでハンドルを切り足さないでください。ハンドルを切り足すことで小回りすることになり障害物に接触する可能性があります。



上記のように障害物が最小予想進路線（緑色）の外側にあれば、もっとも小回りした場合でも通過可能と目安をつけることができます。

運転時の注意

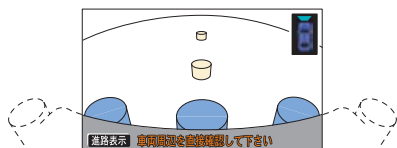
警告

- ・フロント&サイドモニターを過信しないでください。運転は一般の車と同様、慎重に行ってください。
- ・画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。
- ・以下のような状況では、使用しないでください。
 - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・ボンネットが完全に閉まっていないとき
 - ・助手席側ドアミラーが正しい位置に復帰していないとき、助手席ドアが完全に閉まっていないとき
 - ・坂道など平坦でない道路
- ・外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・タイヤを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

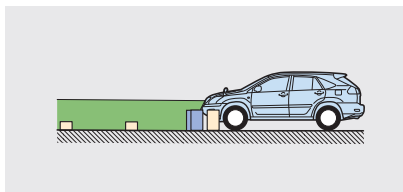
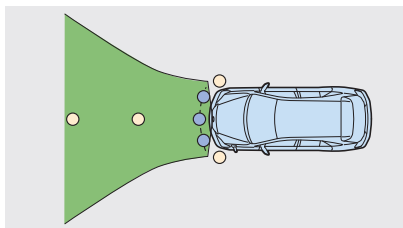
画面に映る範囲

自車の状況や路面状況により、映し出される範囲が異なります。

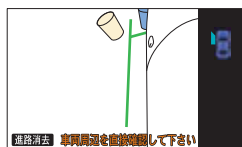
■画面



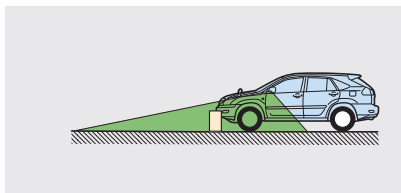
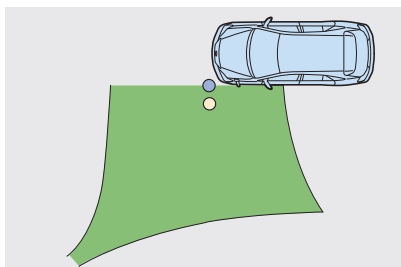
■フロントカメラ



■画面



■サイドカメラ



- ・カメラに写し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にある物は写し出されません。

知識

- ・フロント&サイドモニターのカメらは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ・次のようなときは、画面が見つづらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間など）
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
 - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
 - ・カメラに擦り傷や土がついているとき
 - ・太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき
- ・高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

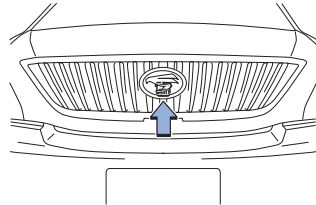


高輝度の点

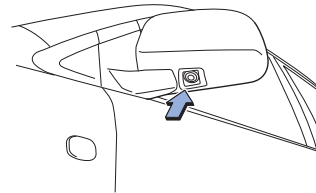
- ※スミヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。
- ・蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下でフロント&サイドモニターを使用すると、照明および照明の照らされている部分がちらついて見えることがあります。（フリッカー現象）
 - ・フロント&サイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（☞28）

カメラ

■フロントカメラ



■サイドカメラ



注意

- ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロント&サイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・カメラ部は防水構造となっていますので、ネジをゆるめたり、ケーブルを引っ張ったりするなど、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ・カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ・洗車時に高压洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。高水圧のためカメラの故障の原因となることがあります。

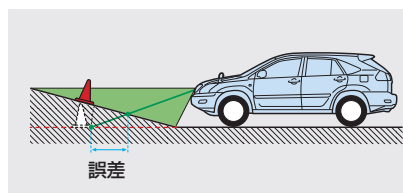
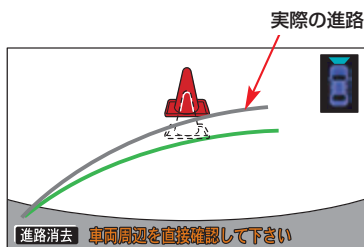
知識

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

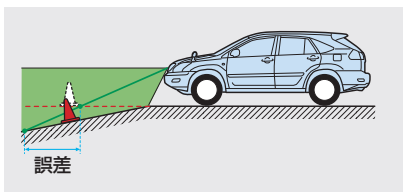
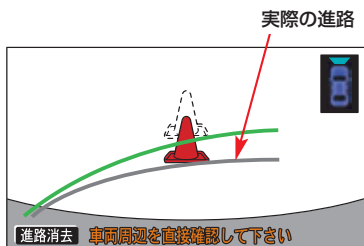
以下の状態のときは、画面の予想進路線と実際の路面上の進路に誤差が生じます。

■急な上り坂が前方にあるとき



予想進路線は、平らな路面に対しての進路の目安を示しています。そのため、上り坂が前方にあるときには、実際の進路より近くに予想進路線が表示され、誤差が生じます。

■急な下り坂が前方にあるとき



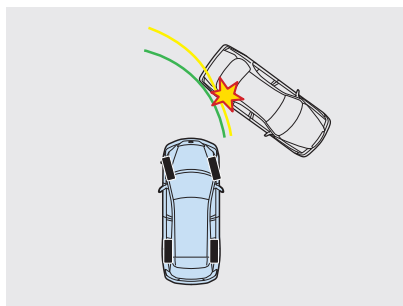
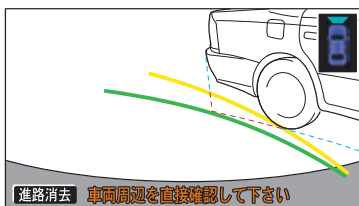
下り坂が前方にあるときには、実際の進路より遠くに予想進路線が表示され、誤差が生じます。

警告

車両側が坂にあっても同じように誤差が生じます。
また乗車人数、積載量などによって車両が前後に大きく傾いても誤差が生じます。

立体物が近くにあるとき

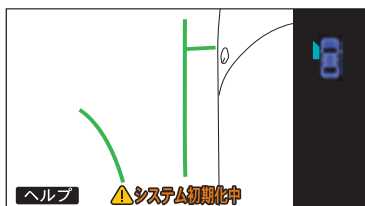
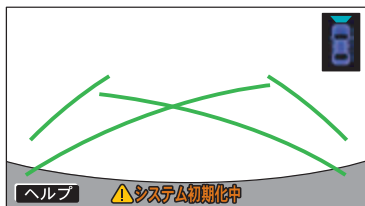
画面のガイド線は平面物（道路など）を対象に合成しています。予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。張り出しのある立体物（車のバンパーのような障害物）が近くにあるときは、接触などしないようにしてください。



画面では、駐車車両が予想進路線の外側にあり接触しないように見えますが、実際にはバンパーが進路上に張り出しているため接触することがあります。このように予想進路線が障害物の近くにあるときは、周囲の安全を直接確認してください。

システム初期化中画面が でたときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下した場合などには、下図の画面が表示されます。この場合、次の操作が必要となります。



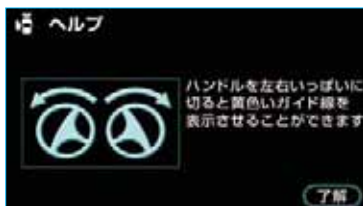
- ・ エンジンをかけ車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにもわしたあと、右いっぱいにもわします。(左右どちらが先でも可。)

通常の画面にもどれば、設定終了です。

システム初期化中画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

システム初期化中画面で、**ヘルプ** にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



画面に表示されている操作をし、通常の画面にもどれば、設定終了です。

システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- ・ **了解** にタッチすると、もとの画面にもどります。

フロント&サイドモニターの設定

「画面順序」・「自動表示モード」・「ガイド線表示」の設定ができます。

- 1 **情報・G**を押します。
- 2 情報画面で、**周辺モニター**にタッチします。

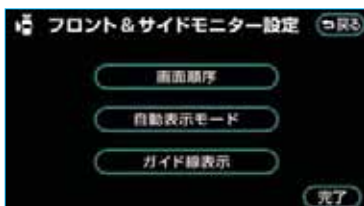


※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 3 周辺モニター設定画面で、**フロント&サイドモニター**にタッチします。



- 4 フロント&サイドモニター設定画面で、設定する項目にタッチします。



- ・画面順序の設定 ……………➡402
- ・自動表示モードの設定 ……➡402
- ・ガイド線表示の設定 ……➡403

■画面順序の設定

フロント&サイドモニターの最初に表示する画面を設定することができます。

フロント・**サイド**のいずれかにタッチします。



■自動表示モードの設定

出発時または停車時に画面を自動的にフロント&サイドモニターを表示させるように設定することができます。

自動表示しない・**出発時に表示**・**停車時に表示**のいずれかにタッチします。

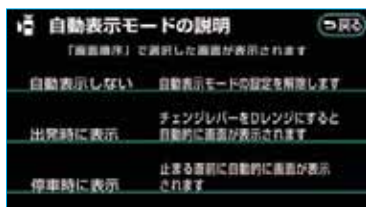


【知識】

自動表示モードを設定すると各モニター画面に**自動**スイッチが表示され、自動表示モードを一時的に解除することができます。詳しくは各モニター画面の説明(➡388、392)をご覧ください。

説明 にタッチすると自動表示モードの説明画面になり、説明文が表示されます。

- ・ **戻る** にタッチすると、自動表示モードの設定画面にもどります。



■ ガイド線表示の設定

フロント&サイドモニターの映像にハンドル操作に連動したガイド線を表示するかしないかを設定することができます。

表示する ・ **表示しない** のいずれかにタッチします。



5 設定が終了したら **完了** にタッチします。



MEMO

ETCシステム

※販売店装着オプションのナビ連動のETCシステムを取りつけたときに使用することができます。

I ETCシステムについて

406

II ETC画面の使い方

407

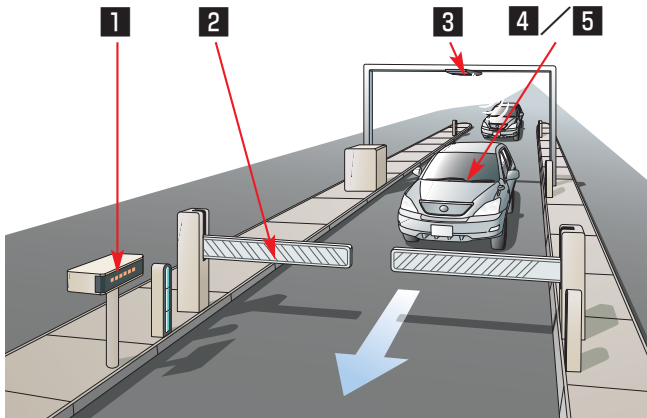
ETCメニュー画面	407
ETC割り込み表示	407
履歴表示	408
統一エラーコードの表示	408
ETC登録情報の表示	408
ETCの設定	408

本書では、ナビ連動のETCシステムが装着された車両の画面での操作のみを説明していません。ETCユニット・ETC車載器本体の操作については、「ETC取扱書」をご覧ください。

I ETCシステムについて

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置と車両のETCユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



1 路側表示器	料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
2 発進制御装置 (ゲート)	料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要な応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
3 路側無線装置	料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、車両のETCユニットとの通信を行うためのアンテナです。
4 ETCユニット	車両に装着します。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
5 ETCカード	ETCユニットに装着します。ICチップを搭載した、ETCユニット用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。 知識 ETCカードには有効期限があります。 あらかじめETCカードの有効期限をご確認ください。



警告

安全のため、運転者は走行中にETCカードの抜き差し、およびETCユニットの操作を極力しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

II ETC画面の使い方

ETCメニュー画面

- 1 「情報・G」を押します。
- 2 情報画面 (☉334) で、**ETC**にタッチします。
 - ・ ETCメニュー画面が表示されます。



ETCカードメッセージ

現在のETCシステムの状態が表示されます。

メッセージ	状態
認証中	ETCカードを読み込み中です。
ETCカード認証完了	ETCカードを読み込み完了。
システム異常	ETCシステムに何らかの異常が発生しています。
ETCカード異常	ETCカードを読み込むことができません。
ETCカード未挿入	ETCカードが挿入されていません。
未セットアップ	ETCユニットがセットアップされていない状態。
セットアップ完了	ETCユニットがセットアップ完了している状態。

ETC割り込み表示

有料道路にあるETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。



割り込み表示

知識

- ・ ETC設定画面のETC割込表示 (☉408) を「しない」に設定しても、ナビの各種設定の料金案内 (☉140) を「する」に設定してあると、料金所手前での料金案内は実施されます。
 - ・ 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
- また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割り込み表示・音声による案内は行われない場合があります。

履歴表示

- 1 ETCメニュー画面で、**履歴情報表示** にタッチします。
- 2 表示させる履歴を切り替えます。



- ・履歴を切り替えたとき、**最新** にタッチすると、最も新しい履歴にもどります。
- ・**詳細** にタッチすると利用区間が表示されます。

知識

- ・表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- ・ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。
- ・道路事業者の設定する料金所情報に追加、変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードの表示

エラー発生時、ETCメニュー画面(☎407)で**登録情報表示** にタッチすると、最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

ETC登録情報の表示

ETCメニュー画面(☎407)で**登録情報表示** にタッチすると、お客様の車のETCユニットに登録された情報が表示されます。

- ・また、エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETCの設定

- 1 ETCメニュー画面(☎407)で、**設定** にタッチします。
- 2 ETC設定項目の**する**、または**しない** にタッチします。



- 3 **完了** にタッチします。

以下の設定を変更することができます。

■ETC割込表示

「ETC割り込み表示」をご覧ください。
(☎407)

■ETC音声案内

ETCシステムを利用するときに、音声が出力されます。

■ACCオン時警告表示

エンジンスイッチを“LOCK”から“ACC”の位置にしてから約20秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。

■ACCオン時警告音声案内

エンジンスイッチを“LOCK”から“ACC”の位置にしてから約20秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。

■カード抜き忘れ警告

エンジンスイッチを“ACC”から“LOCK”の位置にしたとき、お客様の車のETCユニットからカードの抜き忘れを警告します。

カード抜き忘れ警告は、お客様の車のETCユニットにより、警告音（ブザー音）の出力、または音声の出力のいずれかで警告します。

お使いになる前に 412

ハンズフリーとは	412
各部の名称	415
音声について	416
各種表示について	417
お車を手放すとき	419
Bluetooth機器使用上の注意事項	419

I ハンズフリーの基本操作 420

■ ハンズフリーの準備をする	携帯電話を登録する	420
	携帯電話を接続する	422
	Bluetooth接続の再接続について	423
■ ステアリングスイッチを使う	電話スイッチを使う	424
	音量の調整をする	425
	音声認識を起動する	425
■ 電話をかける	ダイヤル発信する	426
	電話を切る	427
■ 電話を受ける	電話を受ける	428
	自動で電話を受ける	428
■ 通話中に操作する	通話中に10キー入力する	429
	通話を終了する	429

II ハンズフリーの便利な使い方 430

■ 電話をかける	電話画面を表示する	430
	電話帳発信する	430
	履歴発信する	432
	ワンタッチ発信する	433
	音声認識発信する	434
	ナビから発信する	435
	携帯電話本体から発信する	436
■ 電話を受ける	着信中画面で操作する	437

■ 通話中に操作する	通話中画面で操作する	439
■ 簡易画面で操作する	簡易画面で操作する	441

Ⅲ ハンズフリーの設定 442

■ 電話設定画面を表示する	電話設定画面を表示する	442
■ ワンタッチダイヤルの設定 をする	ワンタッチダイヤルを登録する	443
	ワンタッチダイヤルを削除する	444
■ 音量の設定をする	音量の設定をする	445
■ 画面の設定をする	画面の設定をする	446
■ 電話帳の設定をする	電話帳について	448
	電話帳の設定をする	448
	携帯電話の電話帳データを転送する	448
	電話帳に新規データを追加する	451
	電話帳に追加データを登録する	454
	電話帳のデータを修正する	454
	電話帳のデータを削除する	455
	グループ名称を登録する	457
グループ名称を削除する	458	
■ 履歴を削除する	履歴のデータを個別に削除する	460
	履歴のデータをすべて削除する	460
■ セキュリティの設定をする	セキュリティについて	461
	ロックNo.を変更する	461
	電話帳・発着信履歴制限をする	462
	設定を初期化する	463
■ 携帯電話・Bluetoothの設定をする	携帯電話を登録する	464
	使用する携帯電話を選択する	464
	電話機詳細情報を表示する	465
	車載機のBluetooth設定を変更する	466
	Bluetooth電話機の登録を削除する	468

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店にご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ハンズフリーとは

動作確認済のBluetooth携帯電話（以下「携帯電話」）を車載機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■対応Bluetooth仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1以上（Ver.1.2以上を推奨）

■対応Profile

- ・HFP（Hands Free Profile） Ver.1.0
- ・OPP（Object Push Profile） Ver.1.1
- ・DUN（Dial-up Networking Profile） Ver.1.1



BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。



警告

- ・安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- ・運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。



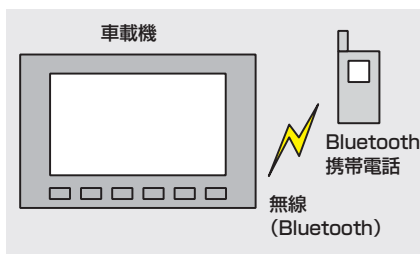
注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

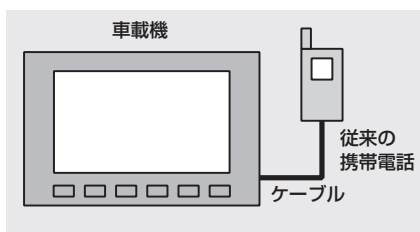
Bluetooth携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、車載機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。例えば、胸ポケットに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

Bluetooth接続の携帯電話



有線（ケーブル）接続の携帯電話



※ 本システムでは、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。



注意

Bluetooth携帯電話を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知識

- ・ Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- ・ Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- ・ 通話エリア外るとき
- ・ 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
- ・ 緊急通報中るとき
- ・ 携帯電話から電話帳データを転送中るとき
- ・ 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- ・ データ通信中など、携帯電話が使用中るとき
- ・ 携帯電話が故障しているとき
- ・ 携帯電話が車載機に接続されていないとき
- ・ 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- ・ 携帯電話の電源がOFFのとき
- ・ 車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
(切り替え中は車載機のBluetooth接続状態表示が表示されません。)
- ・ その他、携帯電話自体が使えないとき

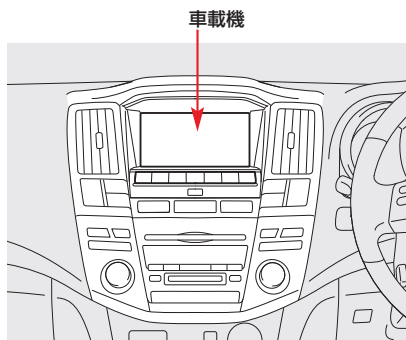
知識

- ・ 割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- ・ ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
 - ・ ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
 - ・ 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

各部の名称

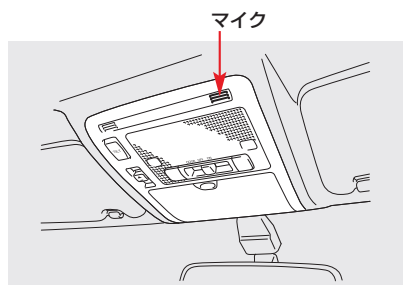
■車載機

画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が使用できます。



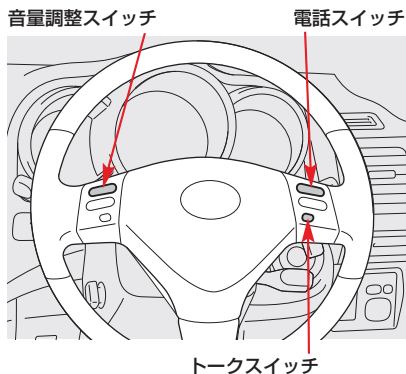
■マイク

通話時に使用します。



■ステアリングスイッチ

電話スイッチを操作することにより、電話を受ける、切るなどのハンズフリーの基本的な機能が使用できます。また、音量調整スイッチはハンズフリーの各音量が調整でき、トークスイッチは音声操作で電話をかけることができます。



音声について

- ・発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- ・着信通知や通話時などの音声出力は、運転席側スピーカーから出力されます。
- ・ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

知識

- ・通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声
が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。
(故障ではありません。)
- ・受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになること
があります。
 - ・通話相手の音声が車外にもれる。
 - ・通話相手側にエコーが聞こえる。
- また、音声は大きくはっきりとお話してください。
- ・次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - ・悪路走行時
 - ・高速走行時
 - ・窓を開けているとき
 - ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - ・エアコンのファンの音が大きいとき
 - ・携帯電話をマイクに近づけたとき
- ・使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）する
ことがあります。

各種表示について

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- ・「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- ・「未接続」の表示が出ているときは、携帯電話が車載機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth接続してからご利用ください。

受信レベル表示



表示	圏外	📶	📶	📶	📶
レベル	圏外	弱	←	→	強

電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- ・電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- ・本システムには携帯電話の充電機能はありません。

電池残量表示



表示					
残量	無	少	←	→	多

Bluetooth接続状態表示

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。

Bluetooth接続状態表示



・青色表示

Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。

・黄色表示

この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。

・切断表示

携帯電話がBluetooth接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(☎464) もしも、携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(☎420)

知識

- ・ Bluetooth通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。
 - ・ 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
 - ・ 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき
- Bluetooth携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
- ・ 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報に登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(☎31)

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- ・電話帳データ
- ・発信履歴および着信履歴
- ・ワンタッチダイヤル
- ・Bluetooth電話機の登録情報
- ・ロックNo.

Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。

変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定干渉距離は10m以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知識

- ・本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- ・本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

I ハンズフリーの基本操作

ハンズフリーの準備をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧ください。操作してみてください。

携帯電話を登録する

Bluetooth携帯電話を使用するためには、まず次の手順で車載機に登録をすることが必要です。

- ・携帯電話は、車載機に最大5台まで登録することができます。
- ・携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

- 1 情報画面で **TEL** にタッチします。




※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 2 電話画面で **設定** にタッチします。



知識

電話画面は、電話スイッチの  スイッチを押しても呼び出すことができます。(➡424)

- 3 電話設定画面で **Bluetooth** にタッチします。



知識

電話設定画面は、情報の設定画面で **電話設定** にタッチしても呼び出すことができます。(➡442)

- 4 Bluetooth設定画面で、Bluetooth電話設定の **登録** にタッチします。



- 5 Bluetooth接続中画面が表示されたら、携帯電話からBluetooth登録します。



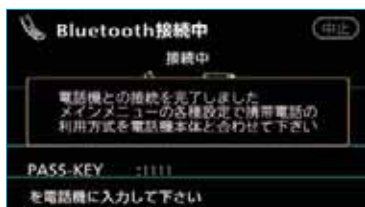
- ・携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続中画面を表示させて行ってください。
- ・中止したいときは、**中止** にタッチします。

- 6 携帯電話本体で、車載機に表示されているDevice Nameを選択し、PASS-KEYを入力します。

知識

PASS-KEYとは、Bluetooth携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(☎466)

- 7 接続完了のメッセージが表示されます。



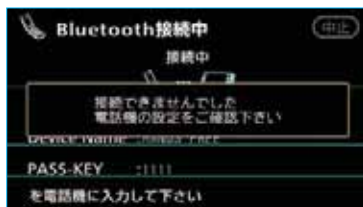
これで携帯電話が登録されました。複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

■G-BOOKオンラインサービスを利用するとき

携帯電話の登録後、ご利用の携帯電話に合わせて、携帯電話の利用方式を設定してください。(☎534)

■接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



知識

- ・携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
- ・携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- ・HFPに対応していない携帯電話は、車載機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPPのみのサービスは利用できません。
- ・接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。

携帯電話を接続する

Bluetooth携帯電話の車載機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

なお、携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

携帯電話を登録すると、自動接続ON状態になります。(電話設定画面の**自動接続**の作動表示灯が点灯します。)

これにより、エンジンスイッチを“LOCK”から“ACC”または“ON”にするたびに、車載機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。



作動表示灯

- ・通常はこの状態で使用してください。
- ・携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。
- ・**自動接続** にタッチするたびに、自動接続ON状態とOFF状態が切り替わります。

Bluetooth接続確認表示

電話画面設定のACC-ON時のBluetooth接続確認表示(➡447)で「する」を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth接続確認表示



- ・Bluetooth接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態表示でも確認できます。(➡418)

知識

- ・接続完了の表示は、エンジンスイッチを“LOCK”から“ACC”または“ON”にした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。接続失敗の表示がされてもその後接続できれば、接続完了の表示が1回のみ表示されます。(ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。)
- ・携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)

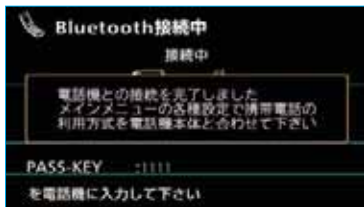
携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続OFF状態にしているときにBluetooth接続するときには、手動でBluetooth接続操作をします。

- 1 携帯電話をBluetooth接続可能な状態にします。
- 2 電話設定画面で **接続** にタッチします。



- 3 接続完了のメッセージが表示されます。



これで携帯電話が使用できます。

Bluetooth接続の再接続について

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

■Bluetooth接続が意図的に切断された場合

携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- ・手動で接続する ……………➡423
- ・改めて携帯電話を選択する …➡464

I ハンズフリーの基本操作

ステアリングスイッチを使う

ステアリングスイッチで操作できることは、画面のタッチスイッチを使うよりもステアリングスイッチを使った方が楽に操作できることがあります。ハンズフリーを使用する前に、各ステアリングスイッチの使い方を覚えておきましょう。

電話スイッチを使う

走行中などに画面を注視することなくハンズフリー機能が使用できるように、ステアリングスイッチの電話スイッチを操作するだけで、基本的な電話機能が使用できます。



知識

音声認識発信以外の音声認識中に ☎ スイッチを操作すると、音声認識を中断し ☎ スイッチの操作を優先します。

着信時の機能

着信時、電話スイッチで次の操作ができます。

- 電話をとる : ☎ スイッチを押す、または応答保留画面で ☎ スイッチを押す
- 応答保留する : ☎ スイッチを押す
- 着信拒否する : ☎ スイッチを長押しする (約2秒間)、または応答保留画面で ☎ スイッチを押す

発信中、通話中の機能

- 電話を切る : ☎ スイッチを押す

発信機能

- 電話をかける : ☎ スイッチを押す


知識

- ☎ が表示される画面で、☎ スイッチを押すと電話をかけることができます。
- データ通信中は、☎ スイッチを押ししても電話をかけることはできません。

ハンズフリー画面表示機能

ハンズフリー以外の画面を表示しているときに ☎ スイッチを押すと、ハンズフリー画面に切り替わります。ハンズフリー画面を表示しているときに ☎ スイッチを押すと、ハンズフリー画面が解除されます。

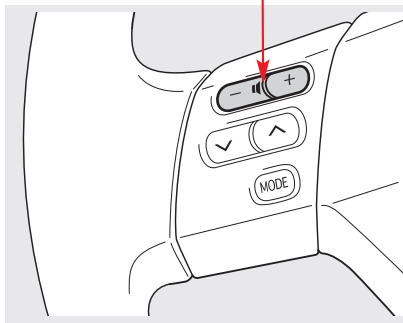
音声認識中止機能

音声認識発信の操作をしているときに  スイッチを押すと、音声認識発信が中止されます。

音量の調整をする

ステアリングスイッチの音量調整スイッチで、ハンズフリー音声の音量（受話音量、着信音量）が調整できます。なお、スイッチを押し続けても、音量は連続して調整できません。

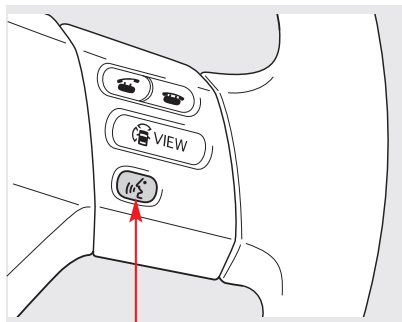
音量調整スイッチ



音声認識を起動する

ステアリングスイッチのトークスイッチで、音声認識の起動・中止をすることができます。

音声認識発信で使用します。



トークスイッチ

起動する：トークスイッチを押す

中止する：トークスイッチを長押しする（約2秒間）

I ハンズフリーの基本操作

電話をかける

ここでは、基本操作としてダイヤル発信を説明しています。

その他の電話のかけ方については、「電話をかける」(☎430)をご覧ください。

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。

- ・電話画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーが灰色になり、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

知識

- ・ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ・Bluetooth携帯電話は、車載機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(☎420)
- ・携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ・Bluetooth接続状態表示が切断表示の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。

1 停車中に次のいずれかの操作をします。

- ・電話スイッチの☎スイッチを押す。
- ・情報画面で**TEL**にタッチする。
- ・トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声して音声操作する。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

2 電話画面で、1桁ずつタッチして電話番号を入力します。



- ・**修正**にタッチすると、最後の1桁が消去できます。タッチし続けると、最後から1桁ずつ順に消去できます。
- ・☎にタッチすると、最後に発信した電話番号が入力されます。

3 電話スイッチの☎スイッチを押す、または☎にタッチします。

4 発信できると、発信中画面が表示されます。



- ・発信音が出力された後、呼出音が出力されます。

知識

携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。

- ・発信音、呼出音が出力されず、無音になることがあります。
- ・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
- ・通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしてもしトン信号を送れないことがあります。10キー入力については、「通話中に10キー入力する」(➡429)をご覧ください。



- 5 相手が電話に出ると、通話中画面が表示されます。
この画面で通話ができます。

**知識**

画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。

電話を切る

次のいずれかの操作をすると、発信の中断または通話の終了ができます。

- ・電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・発信中または通話中画面で  にタッチする。
- ・携帯電話本体で電話を切る。

電話が切れると発信画面にもどります。

I ハンズフリーの基本操作

電話を受ける



ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、画面にタッチスイッチが表示されないため、タッチスイッチでの操作ができなくなります。(☎441)

電話を受ける

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。



2 次のいずれかの操作をすると、通話中画面が表示されて通話できます。

- ・電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・ にタッチする。

知識

- ・着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。

- ・ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。

携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご確認ください。

- ・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
- ・携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
- ・着信音については、
 - ①車内のスピーカーから聞こえる
 - ②携帯電話から聞こえる
 - ③両方から聞こえるなど、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が出力できないときは、車載機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
- ・機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
- ・携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
- ・携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、車載機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。

自動で電話を受ける

電話画面設定で自動着信応答を「する」に設定しておく、自動で電話を受けることができます。(☎447)

I ハンズフリーの基本操作

通話中に操作する

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、画面にタッチスイッチが表示されないため、タッチスイッチでの操作ができなくなります。(☎441)

通話中に10キー入力する

通話中に10キー入力が必要な場合は、次の手順で10キーを表示させます。

- 1 通話中画面で **トーン** にタッチします。



- 2 タッチスイッチにタッチして入力します。





- ・電話スイッチの  スイッチを押す、または  にタッチすると、電話が切れます。

知識

走行中は10キーが灰色になり、操作できません。

通話を終了する

次のいずれかの操作をすると、電話が切れます。

- ・電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・通話中画面で  にタッチする。
- ・携帯電話本体で電話を切る。

II ハンズフリーの便利な使い方


電話をかける

ここでは、知っているると便利に使えるハンズフリーの使い方について説明しています。

ハンズフリーの基本操作ができるようになったら、必要に応じてご利用ください。

電話画面を表示する

停車中に次のいずれかの操作をすると、ハンズフリーに切り替わり、電話画面が表示されます。

- ・電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・情報画面で **TEL** にタッチする。
- ・トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声して音声操作する。(走行中に操作すると、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。)

電話画面



この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- ・ダイヤル発信 ……………➡426
電話番号を入力して電話をかける
- ・電話帳発信 ……………➡430
車載機の電話帳から電話をかける
- ・履歴発信 ……………➡432
発信履歴または着信履歴から電話をかける
- ・ワンタッチ発信 ……………➡433
ワンタッチダイヤルから電話をかける

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

- ・音声認識発信 ……………➡434
音声認識で電話をかける
- ・ナビからの発信 ……………➡435
ナビまたはG-BOOKのデータから電話をかける

知識

- ・電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。
- ・データ通信中に電話をかけようとした場合は、メッセージが表示されます。データ通信を終了しても良い場合は、**はい** にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、**いいえ** にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

電話帳発信する

あらかじめ電話番号を車載機の電話帳に登録しておくことにより (➡448)、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

- 1 電話画面で **電話帳** にタッチします。
- 2 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えます。(➡431)



音声認識アイコン

ショートカットスイッチ

- ・ショートカットスイッチは、**その他**にタッチすると英数字ショートカット、**50音**にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。
- ・英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
(例) **ABC**に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

知識

音声認識の設定をしてあるデータは、名称の前に音声認識アイコンが表示されます。

- 3 希望の通話相手にタッチします。
- 4 電話番号が2件登録してあるときは、希望の電話番号を選択しタッチします。



- 5 電話スイッチの  スイッチを押す、または  にタッチします。

電話帳の表示を切り替える

電話帳は電話帳（50音）画面と電話帳（グループ）画面のどちらかが表示できます。

電話帳（50音）画面

電話帳に登録されているすべてのデータを、各データの名称読みにより50音順に並べて表示します。電話番号にグループ設定をしていないときは、この画面から希望の通話相手を検索します。



電話帳（グループ）画面で**50音検索**にタッチすると、電話帳（50音）画面に切り替わります。

■電話帳（グループ）画面

選択したグループに登録されているデータを、各データの名称読みにより50音順に並べて表示します。データにグループ設定をしていると、グループ選択で検索対象を絞り込むことにより、希望の通話相手を素早く検索することができます。



1 電話帳（50音）画面が表示されているときは **グループ検索**、電話帳（グループ）画面が表示されているときは **グループ選択** にタッチします。

2 グループ選択画面で、希望のグループを選択しタッチします。



・ 選択したグループの電話帳（グループ）画面が表示されます。

履歴発信する

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 電話画面で **履歴** にタッチします。



2 必要に応じて、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチして、履歴の表示を切り替えます。

発信履歴画面





着信履歴画面



着信拒否アイコン
不在着信アイコン

知識

着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。

- 3 希望の通話相手にタッチします。
- 4 電話スイッチの  スイッチを押す、または  にタッチします。

**知識**

- ・ 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 車載機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
 - ・ 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- ・ 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 車載機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
 - ・ 同一電話番号から着信した場合は、すべて着信履歴に登録されます。
 - ・ 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
 - ・ 相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と着信履歴に登録されません。
- ・ 履歴を削除したいときは、「履歴を削除する」(☎460) をご覧ください。

ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより(☎443)、簡単な操作で電話をかけることができます。また、ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

- 1 電話画面(☎430)で、**ワンタッチダイヤル** にタッチします。
- 2 希望の電話番号にタッチすると、発信されます。



- ・ ページを切り替えるときは、**ワンタッチ1**・**ワンタッチ2**・**ワンタッチ3**のいずれかにタッチします。

■走行中に電話をかける場合

走行中に次のいずれかの操作をする
と、ワンタッチダイヤル画面(➡433)
になり、ワンタッチで発信することが
できます。

- ・電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・情報画面で **TEL** にタッチする。
- ・トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声して音声操作する。

知識

走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。


音声認識発信する

電話帳に登録してある認識読みを利用して、音声認識を使用することができます。

音声認識により、音声認識の対象に設定されている名称を検索し、名称に対応した電話番号に電話をかけることができます。

- ・音声認識の設定については、「音声認識の設定をする」(➡453)をご覧ください。
- ・音声認識の操作方法については、「音声操作システム」(➡282)をご覧ください。

例) 伊藤さんに電話をかけます。

- 1 次のいずれかの操作をして、ハンズフリーの画面に切り替えます。
 - ・電話スイッチの  スイッチを押す。
 - ・情報画面で **TEL** にタッチする。
 - ・トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声して音声操作する。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 2 次のように発声して音声操作します。

お客様：(トークスイッチを押す)
車載機：「電話帳に登録されている名称をお話し下さい」<ピ>



お客様：「伊藤」
車載機：「伊藤が検索されました」



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「発信」で電話をかけます」<ピッ>

お客様：「発信」

車載機：「伊藤に電話をかけます」


以上で、伊藤さんに電話がかけられます。

■ **次候補**が表示されているとき
検索した名称に該当する候補が複数ある場合は、**次候補**が表示されます。


候補は、最初の認識結果を含めて、最大で6件まで表示できます。表示された結果が違っていた場合は、次のいずれかの操作をすると、次の候補に切り替えることができます。

- ・ **次候補** にタッチする。
- ・ トークスイッチを押して、「**次候補**」と発声して音声操作する。

■ 音声操作以外の方法で発信する
電話番号が検索され**発信**が表示されたら、次のいずれかの操作をしても発信することができます。

- ・ 電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・ **発信** にタッチする。


■ 音声認識発信を中止する
次のいずれかの操作をすると、音声認識発信は中止されます。

- ・ トークスイッチを押し続ける。
- ・ 電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・ **中止** にタッチする。（音声認識中を除く）
- ・ 音声操作で「**中止**」と発声する。

知識

- ・ 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。
- ・ 音声認識発信は走行中でも使用できません。

ナビから発信する

ナビ画面で  または **電話をかける** が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

- 1  または **電話をかける** が表示されている画面を表示します。



- 2  または **電話をかける** にタッチします。

■ 電話画面の「交通・ナビ」の使い方

電話画面で **交通・ナビ** にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。（☎350）




携帯電話本体から発信する

車載機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

■ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、次のいずれかの操作をすると、ハンズフリー画面が表示されます。

- ・電話スイッチの  スイッチを押す。
- ・情報画面で **TEL** にタッチする。この場合、**通話転送** 以外のタッチスイッチは灰色になり、操作できません。タッチスイッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。(☎440)



警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

知識

- ・携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
 - ・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
 - ・単独で通話中の携帯電話が車載機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- ・携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

II ハンズフリーの便利な使い方



電話を受ける

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、画面にタッチスイッチが表示されないため、タッチスイッチでの操作ができなくなります。(☎441)



着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。



電話を保留する(応答保留)

- 1 着信中、電話スイッチの  スイッチを押す、または  にタッチすると、応答保留できます。



- 2 電話スイッチの  スイッチを押す、または  にタッチすると、応答保留を解除して通話できます。



- ・ 応答保留中、**小**または**大**にタッチすると音量を調整できます。
- ・ 応答保留中、次のいずれかの操作をすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。
 - ・ 電話スイッチの  スイッチを押す。
 - ・  にタッチする。

知識

- ・ 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- ・ 携帯電話の機種によっては、車載機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- ・ Bluetooth接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、応答保留中でも **通話転送** にタッチすると、通話を転送することができます。(☎440)

着信音量を調整する

着信中、次のいずれかの方法で調整します。

- ・ 着信中画面で、**小**または**大**にタッチする。
- ・ ステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整する。



知識

着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

着信拒否する

着信中画面で、次のいずれかの操作をすると、着信拒否できます。

ただし、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

- ・電話スイッチの  スイッチを長押しする。
- ・  にタッチし続ける。

着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

II ハンズフリーの便利な使い方

通話中に操作する

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、画面にタッチスイッチが表示されないため、タッチスイッチでの操作ができなくなります。(☎441)

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- ・受話音量の調整
- ・送話音のミュート
- ・通話の転送

通話中画面



知識

ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。

携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

- ・単独で通話中の携帯電話が車載機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ・ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチを“LOCK”にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。

なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチが“ACC”または“ON”であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(☎440)

受話音量を調整する

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- ・通話中画面で、**小**または**大**にタッチする。
- ・ステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整する。

送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。

(この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。)

通話中画面で**ミュート**にタッチします。



作動表示灯

- ・ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ・ミュートを解除したいときは、再度**ミュート**にタッチします。

通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、車載機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■画面で操作する

通話中画面または応答保留中画面で、**通話転送**にタッチします。


- ・走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- ・携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、電話スイッチおよびタッチスイッチでの操作ができます。
- ・携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

知識

- ・応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで車載機には通話中画面が表示されます。この場合は、電話スイッチの  スイッチを押すと、ハンズフリー通話を続けることができます。
- ・画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声がかえなくなる場合があります。

II ハンズフリーの便利な使い方

簡易画面で操作する

簡易画面で操作する

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面にタッチスイッチは表示されませんが、電話スイッチや音量調整スイッチでの各操作は、通常通りすることができます。

電話が切れる、または電話を切ると、オンスクリーン表示やTEL音声画面は解除されます。

■ オンスクリーン表示画面

電話画面設定の着信割り込み表示(☎446)で「簡易」を選択しているときに表示されます。




■ TEL音声画面

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えようとした場合に表示されます。



■ 通話中画面で操作したいときは

電話スイッチの  スイッチを押すと、通話中画面が表示され、通話中画面での操作ができます。

Ⅲ ハンズフリーの設定

電話設定画面を表示する

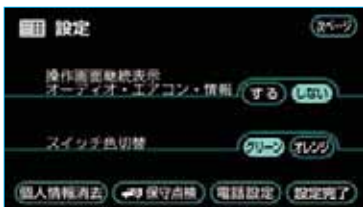
ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

電話設定画面を表示する

1 電話画面で**設定**にタッチします。



情報の設定画面で、**電話設定**にタッチしても電話設定画面を呼び出すことができます。(➡334)



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

2 電話設定画面で、次の項目の設定ができます。

電話設定画面



- ワンタッチ ……………➡443
ワンタッチダイヤルの登録・削除
- 音量設定 ……………➡445
ハンズフリー各音の音量調整・設定
- 画面設定 ……………➡446
ハンズフリー画面の設定
- 電話帳 ……………➡448
電話帳の転送・登録・編集・削除
- セキュリティ ……………➡461
ロックNo.の変更、制限機能の設定
- 電話機選択 ……………➡464
使用する携帯電話の選択
- Bluetooth ……………➡464
携帯電話の登録・削除、詳細設定
- 自動接続・接続 ……………➡422
Bluetooth接続

Ⅲ ハンズフリーの設定

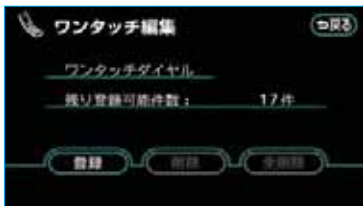
ワンタッチダイヤルの設定をする

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大17件までワンタッチダイヤルに登録することができます。1ページ目の6件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておく便利です。

- 1 電話設定画面（☎442）で **ワンタッチ** にタッチします。
- 2 ワンタッチ編集画面で **登録** にタッチします。

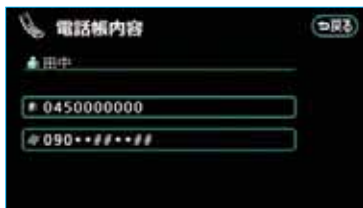


- 3 電話帳画面で、登録したいデータを選択しタッチします。



- ・ 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えてください。

- 4 電話帳内容画面で、登録したい電話番号にタッチします。



- 5 登録先選択画面で、登録したいスイッチを選択しタッチします。



- 6 登録済みのスイッチを選択したときは、置き換え確認のメッセージが表示されます。置き換えしてもよいときは **はい** にタッチします。



ワンタッチダイヤルを削除する

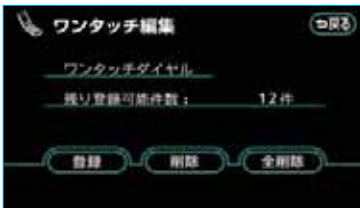
ワンタッチダイヤルの01～17は、個別に選択して削除できます。全削除すると、17件すべてが削除できます。

知識

- ・ワンタッチダイヤル01～17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ・ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

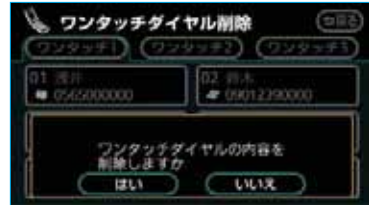
- 1 ワンタッチ編集画面で**削除**にタッチします。



- 2 削除したいワンタッチダイヤルのスイッチにタッチします。

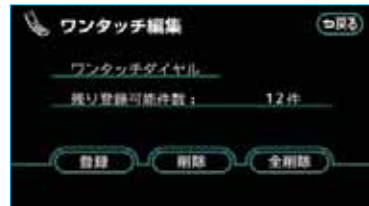


- 3 **はい**にタッチします。

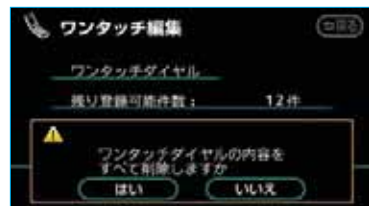


ワンタッチダイヤルをすべて削除する

- 1 ワンタッチ編集画面で**全削除**にタッチします。



- 2 **はい**にタッチします。



Ⅲ ハンズフリーの設定

音量の設定をする

音量の設定をする

- 1 電話設定画面で **音量設定** にタッチします。



- 2 音量設定画面で各設定をします。



作動表示灯

- ・音量調整 ……………→445
- ・高速時の自動音量切替 ……→445

- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

音量の設定をする

音量設定画面で、各音量の **小** または **大** にタッチして調整します。

受話音量 : 通話相手の音声の音量が調整できます。

着信音音量 : 着信音の音量が調整できます。

知識

- ・受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- ・着信音音量は、着信中画面でも調整できます。

高速走行時の自動音量切替を設定する

車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。(車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。)

音量設定画面で、

高速時の自動音量切替 にタッチするたびに、ON(自動で上がる)とOFF(上がらない)が切り替わります。

- ・ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

- 1 音量設定画面で **初期化** にタッチします。
- 2 **はい** にタッチします。



Ⅲ ハンズフリーの設定

画面の設定をする

画面の設定をする

- 1 電話設定画面で **画面設定** にタッチします。



- 2 電話画面設定の画面で各設定をします。



- ・着信割り込み表示 ➡446
- ・自動着信応答 ➡447
- ・ACC-ON時のBluetooth接続確認表示 ➡447

- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

簡易表示



着信割り込み表示

電話画面設定の画面で、着信割り込み表示の **全画面** または **簡易** を選択しタッチします。

全画面：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、電話スイッチおよびタッチスイッチで操作することができます。

簡易：着信中および応答保留中は着信割り込み表示が画面上部に表示されます。ハンズフリーのタッチスイッチは表示されませんので、操作は電話スイッチでの操作になります。

自動着信応答

自動着信応答を設定しておく、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

- 1 電話画面設定の画面で、自動着信応答の **する** にタッチします。
- 2 **-** または **+** にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定します。



ACC-ON時のBluetooth接続確認表示

エンジンスイッチを“LOCK”から“ACC”または“ON”にして、携帯電話と自動的にBluetooth接続したときに、接続確認の表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

Bluetooth接続確認表示

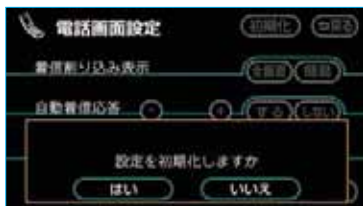


電話画面設定の画面で、ACC-ON時のBluetooth接続確認表示の **する** または **しない** にタッチします。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

- 1 電話画面設定の画面で **初期化** にタッチします。
- 2 **はい** にタッチします。



Ⅲ ハンズフリーの設定

電話帳の設定をする

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- ・携帯電話に登録してある電話帳を車載機の電話帳に転送する。
……………➡448
- ・車載機の電話帳に新規登録する。
……………➡451
- ・発信履歴または着信履歴から登録する。
……………➡454

また、登録したデータは、車載機で編集することができます。

この電話帳は1名につき最大2件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。

また、各データはグループでまとめることができ、最大20のグループが使用できます。

知識

低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

電話帳の設定をする

電話設定画面で「電話帳」にタッチすると、電話帳設定画面が表示されます。



電話帳設定画面から、以下の操作を行うことができます。

電話帳設定画面



- ・電話帳データの転送 ……………➡448
- ・新規データの追加 ……………➡451
- ・電話帳データの修正 ……………➡454
- ・電話帳データの削除 ……………➡455
- ・グループ名称の登録 ……………➡457
- ・グループ名称の削除 ……………➡458

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、車載機に転送することができます。車載機の電話帳は、1名につき最大2件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。

転送するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

この機能は、OPPIに対応していない携帯電話では使用できません。

また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。

詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。

- 1 電話帳設定画面 (☎448) で、**電話帳転送** にタッチします。
- 2 グループ選択画面で、電話帳データを転送したいグループを選択しタッチします。



- 3 選択したグループにすでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。既存のデータに上書きするときは**上書き**、既存のデータに追加するときは**追加**にタッチします。



- 4 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

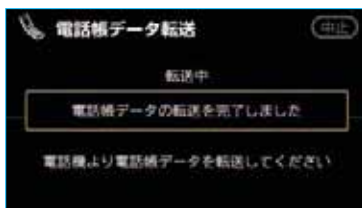


- ・携帯電話側の転送操作は、必ずこの画面を表示させた状態で行ってください。
- ・転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。
- ・転送を中止したいときは、**中止**にタッチします。

- 転送が1件ずつで、転送完了すると電話帳データ転送画面で待機する機種の場合

転送したい電話帳データの数だけ転送操作を繰り返します。

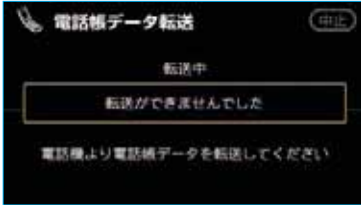
- 5 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話画面にもどります。



- 転送が1件ずつで、転送完了ごとに電話画面にもどる機種の場合
- 転送したい電話帳データの数だけ1～5の転送操作を繰り返します。

転送失敗画面が表示されたとき

「転送ができませんでした」のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



知識

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - 携帯電話の電話帳で1つの名称に3件以上の電話番号が登録されている場合、車載機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
 - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - 車載機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
 - 転送には10分程度かかる場合があります。
 - 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
 - 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
 - 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
 - 電話帳データ転送中にエンジン スイッチを“LOCK”にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは車載機の電話帳に保存されます。
 - 車載機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
 - 何らかの原因で転送が中断されたとき
- 車載機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

電話帳に新規データを追加する

車載機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。電話帳には、1名のデータにつき、次の項目が登録できます。

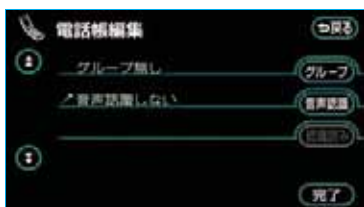
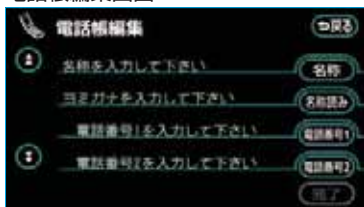
- ・名称、名称読み、電話番号（最大2件）、電話番号アイコン（各電話番号にそれぞれ1つ）、グループ、音声認識、認識読み

- 1 電話帳設定画面で **新規追加** にタッチします。

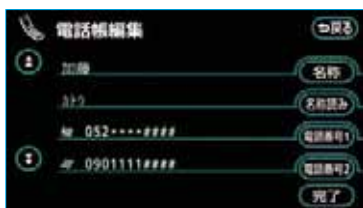


- 2 電話帳編集画面で、各項目のスイッチにタッチして編集します。(☉452)

電話帳編集画面



- 3 すべての項目の編集が終わったら、**完了** にタッチします。



次の画面からも、電話帳編集画面を呼び出して、電話帳を編集することができます。

電話帳（50音）画面

電話帳（50音）画面（☉431）で、**新規追加** にタッチします。



履歴内容画面

履歴内容画面（☉433）で、**新規登録** にタッチします。

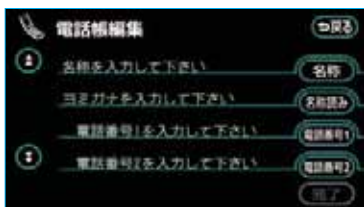


名称、名称読み、認識読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。

認識読みは、音声認識発信をしたいときは必須入力項目です。なお、名称読みが入力されていないと、音声認識の対象にすることはできません。

- 1 電話帳編集画面で、編集する項目のスイッチ（**名称**、**名称読み**、**認識読み**）にタッチします。



- 2 ソフトウェアキーボードで入力します。



- 名称 : 全角で最大12文字、半角で最大24文字まで
- 名称読み : 半角で最大24文字まで
- 認識読み : 半角で最大24文字まで

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号1と電話番号2にそれぞれ1件ずつ登録でき、1名につき最大2件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- 1 電話帳編集画面（☎451）で、**電話番号1**または**電話番号2**にタッチします。
- 2 電話番号画面で電話番号を入力し、**完了**にタッチします。



- 3 アイコン選択画面で、アイコンを選択しタッチします。



グループの選択をする

グループを設定しておくことで、電話帳（グループ）画面でグループ単位で表示できるので、通話相手を素早く検索することができます。

グループは、「グループ無し」、「グループ01」～「グループ19」の20件の中から選択できます。

設定しないときのグループは、「グループ無し」になります。

なお、「グループ無し」以外のグループ名称は、任意の名称が登録できます。（☎457）

- 1 電話帳編集画面（☎451）で **グループ** にタッチします。
- 2 グループ選択画面で、グループを選択しタッチします。



音声認識の設定をする

各データに対して、音声認識の対象にするかしないかを設定できます。音声認識の対象に設定すると、各データの認識読みにより音声認識発信（☎434）ができます。

音声認識の対象にできるのは、最大500件です。

- 1 電話帳編集画面（☎451）で **音声認識** にタッチします。

- 2 音声認識選択画面で、**電話番号①** または **電話番号②** にタッチして、音声認識の対象にする電話番号を選択します。



- ・音声認識の対象からはずすときは、**音声認識しない** にタッチします。

- 3 音声認識読み確認画面で、音声認識で使用する読みを確認します。



- ・読みを修正したいときは、**認識読み修正** にタッチして修正します。

- 4 **完了** にタッチします。

知識

- ・電話帳の名称読みが登録されていないと、音声認識の対象に設定することができません。音声認識発信で利用したい場合は、電話帳の名称読みを必ず登録しておいてください。
- ・音声認識の対象に設定した電話番号を削除する、または電話帳の名称読みを削除すると、そのデータは音声認識の対象でなくなります。

電話帳に追加データを登録する

既存の電話帳データに、履歴の内容を追加データとして登録することができます。

履歴に登録されている電話番号を、登録済みの電話帳データに追加したいときに便利です。

知識

履歴に登録されている電話番号は、新規に電話帳データとして登録することもできます。(451)

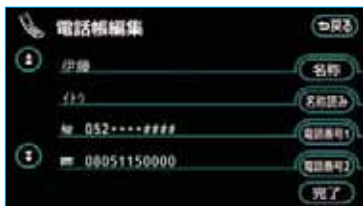
- 履歴内容画面で **追加登録** にタッチします。



- 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えます。
追加登録したいデータを選択しタッチします。



- 電話帳編集画面で、追加されたデータの内容を確認します。
必要に応じて、各項目のスイッチにタッチして編集します。



- すべての項目の編集が終わったら、**完了** にタッチします。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

- 電話帳設定画面で **修正** にタッチします。



- 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えます。
修正したいデータを選択しタッチします。



- 3 電話帳編集画面で、各項目のスイッチにタッチして編集します。



- 4 すべての項目の編集が終わったら、**完了**にタッチします。

電話帳内容画面(➡431)で**修正**にタッチしても、電話帳編集画面を呼び出して修正することができます。



電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

知識

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(➡31)

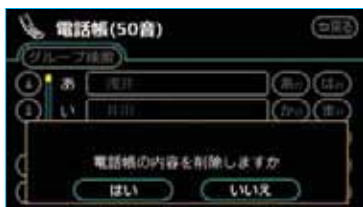
電話帳のデータを個別に削除する

- 1 電話帳設定画面(➡448)で、電話帳の**削除**にタッチします。

- 2 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えます。
削除したいデータを選択しタッチします。



- 3 **はい**にタッチします。



次の方法でもデータの削除ができます。

- 1 電話画面(➡430)で**電話帳**にタッチします。



- 2 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えます。
削除したいデータを選択しタッチします。



- 3 電話帳内容画面で **削除** にタッチします。

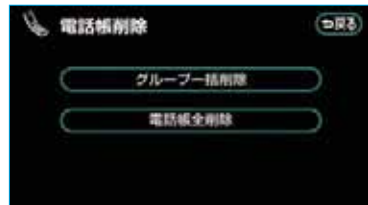


- 4 **はい** にタッチします。



電話帳のデータをすべて削除する

- 1 電話帳設定画面 (☎448) で、電話帳の **全削除** にタッチします。
- 2 電話帳削除画面で、削除方法を選択しタッチします。



- グループ一括削除：グループ内の電話帳データをすべて削除する
電話帳全削除：電話帳のデータをすべて削除する

- 3 **グループ一括削除** を選択した場合、グループ選択画面が表示されます。
削除したいグループを選択しタッチします。



4 **はい** にタッチします。



次の方法でもデータの削除ができます。

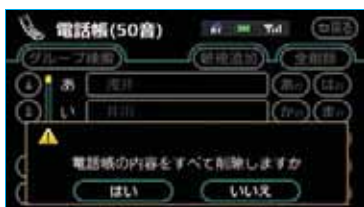
1 電話画面で**電話帳**にタッチします。



2 電話帳 (50音) 画面で**全削除**にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



グループ名称を登録する

グループは20件あり、初期設定では「グループ無し」、「グループ01」～「グループ19」という名称で登録されています。

「グループ01」～「グループ19」のグループ名称は、任意の名称が登録できます。

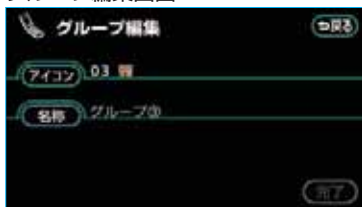
1 電話帳設定画面 (☎448) で**登録**にタッチします。

2 グループ選択画面で、グループ名称を登録したいスイッチを選択しタッチします。



3 グループ編集画面で、各項目のスイッチにタッチして編集します。(☎458)

グループ編集画面



4 すべての項目の編集が終わったら、**完了**にタッチします。

知識

「グループ無し」はグループ名称が固定されているため、グループ名称を登録することや削除することができません。

グループアイコンを選択する

- 1 グループ編集画面 (☎457) で **アイコン** にタッチします。
- 2 アイコン選択画面で、アイコンを選択しタッチします。



グループ名称の編集をする

グループ名称は、全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

- 1 グループ編集画面 (☎457) で **名称** にタッチします。
- 2 ソフトウェアキーボードで入力します。



グループ名称を削除する

グループ名称は、個別に選択して削除、または全削除ができます。グループ名称を削除すると、「グループ無し」以外のグループ名称は初期設定の状態にもどります。

グループ名称を個々に削除する

- 1 電話帳設定画面 (☎448) で、グループ名称の **削除** にタッチします。



- 2 グループ選択画面で、グループ名称を削除したいグループを選択しタッチします。

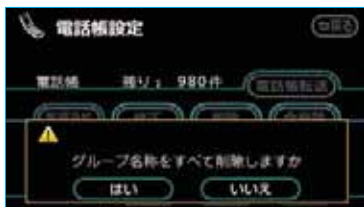


- 3 **はい** にタッチします。



グループ名称をすべて削除する

- 1 電話帳設定画面 (➡448) で、グループ名称の **全削除** にタッチします。
- 2 **はい** にタッチします。



Ⅲ ハンズフリーの設定

履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

知識

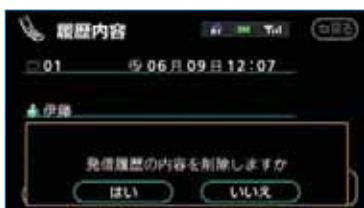
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(☎31)

履歴のデータを個別に削除する

- 1 削除したいデータの履歴内容画面で**削除**にタッチします。



- 2 **はい**にタッチします。



履歴のデータをすべて削除する

- 1 発信履歴画面または着信履歴画面で、**全削除**にタッチします。



- 2 **はい**にタッチします。



Ⅲ ハンズフリーの設定

セキュリティの設定をする

セキュリティについて

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくなることができます。ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。なお、セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

ロックNo.を変更する

セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。ロックNo.は4桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

注意

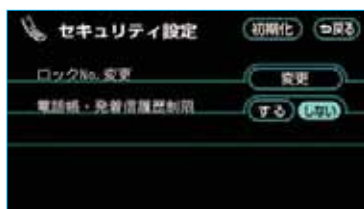
ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、トヨタ販売店でもセキュリティ設定を解除することができません。

万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、個人情報初期化を行ってください。(☎31)ただし、個人情報初期化を行うと、電話帳のほかに、ナビの地点情報や録音済み音楽なども消去されます。

- 1 電話設定画面で**セキュリティ**にタッチします。



- 2 セキュリティ設定画面で**変更**にタッチします。



- 3 現在のロックNo.を入力します。



- ・間違えたときは、**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。
- 4 **完了**にタッチします。

5 新しいロックNo.を入力します。



6 **完了** にタッチします。

7 **はい** にタッチします。



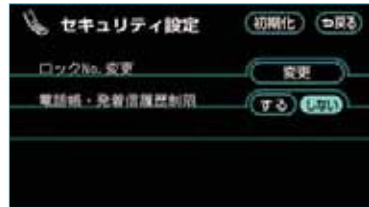
電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくなることができます。

- ・電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ・ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- ・発信時および着信時の相手先名称の表示
- ・発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- ・電話機詳細情報画面の表示
- ・ロックNo.の変更

なお、この機能を設定すると、走行中でもワンタッチダイヤル画面の表示ができなくなります。

1 セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の**する**にタッチします。



2 設定を変更したときは、ロックNo.入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了**にタッチします。



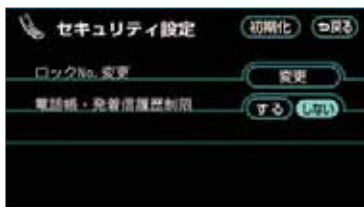
■設定を解除する

設定を解除するときは、セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の**しない**にタッチし、ロックNo.を入力します。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

- 1 セキュリティ設定画面で **初期化** にタッチします。



- 2 ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



Ⅲ ハンズフリーの設定

携帯電話・Bluetoothの設定をする

ここでは、携帯電話とBluetoothに関する次の設定の説明をしています。

- ・使用する携帯電話の選択 ……➡464
- ・電話機詳細情報の表示 ……➡465
- ・車載機のBluetooth設定の変更
……………➡466
- ・携帯電話の登録削除 ……➡468

携帯電話を登録する

携帯電話の登録については、「携帯電話を登録する」(➡420)をご覧ください。

使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて携帯電話を選択する必要があります。

- ・携帯電話は車載機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

- 1 電話設定画面で **電話機選択** にタッチします。



- 2 携帯電話をBluetooth接続可能状態にしておきます。

- 3 使用する携帯電話を選択しタッチします。



Bluetoothマーク

知識

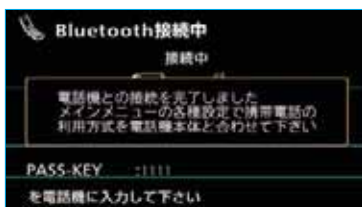
Bluetooth接続中の携帯電話は、Bluetoothマークが表示されます。

- 4 **完了** にタッチします。



- ・他の携帯電話がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。

- 5 接続完了のメッセージが表示されます。



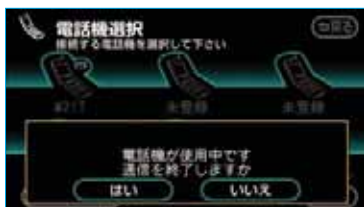
これで携帯電話が使用できます。

■G-BOOKオンラインサービスを利用するとき

携帯電話の利用方式が変更になる場合は、携帯電話の選択後、ご利用の携帯電話に合わせて利用方式を設定してください。(☎534)

■データ通信中の場合は

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。通信を終了するときは**はい**、終了しないときは**いいえ**にタッチします。



- ・ **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度3からやり直します。

知識

緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、電話機選択はできません。

電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、車載機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。情報は、次の項目が表示されます。

- ・ **Device Name**（デバイス名称）
車載機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。

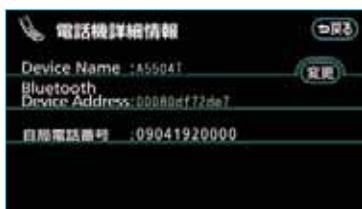
- ・ **Bluetooth Device Address**
機器固有のアドレスで、変更することはできません。
- ・ **自局電話番号**
携帯電話の電話番号です。

- 1 電話機選択画面で、詳細情報を表示したい携帯電話を選択しタッチします。



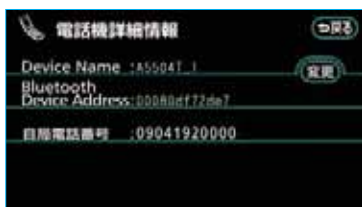
- 2 **詳細情報表示** にタッチします。

- 3 電話機詳細情報画面が表示されます。



この画面で、Device Nameを変更することができます。(☎466)

- 4 設定が終わったら、**戻る** にタッチします。



Device Nameを変更する

車載機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

なお、車載機でDevice Nameを変更しても、携帯電話に登録されているDevice Nameは変更されません。

- 1 電話機詳細情報画面で **変更** にタッチします。



- 2 Device Nameをソフトウェアキーボードで入力します。



車載機のBluetooth設定を変更する

Bluetooth設定は、車載機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

- ・ Device Name (デバイス名称)
Bluetoothネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。

- ・ PASS-KEY

携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。

- ・ Bluetooth Device Address

車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。Device NameやPASS-KEYを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまう場合に参考にすることができます。

Device NameまたはPASS-KEYを変更したいときは、次の手順で行ってください。

- 1 電話設定画面で **Bluetooth** にタッチします。



- 2 Bluetooth設定画面が表示されます。

Device NameまたはPASS-KEYを変更する場合は、この画面でそれぞれの **変更** にタッチします。



- 3 Device Nameはソフトウェアキーボードで入力します。



- ・半角で最大20文字まで入力できます。

- 4 PASS-KEYはPASS-KEY変更画面で入力します。4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、**完了** にタッチします。



- ・文字を修正するときには、**修正** にタッチします。

- 5 設定が終わったら、**戻る** にタッチします。



Bluetoothの詳細設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

- 1 Bluetooth設定画面で、**初期化** にタッチします。



- 2 **はい** にタッチします。



Bluetooth電話機の登録を削除する

- 1 Bluetooth設定画面で、Bluetooth電話設定の**削除**にタッチします。



- 2 削除する携帯電話を選択しタッチします。



- 3 **完了**にタッチします。
- 4 **はい**にタッチします。



- データ通信中の場合は
データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。通信を終了するときには**はい**、終了しないときは**いいえ**にタッチします。



- ・ **いいえ**にタッチした場合は、データ通信終了後、再度2からやり直します。

知識

緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

登録を削除する携帯電話の詳細情報を表示する

登録を削除する前に、電話機詳細情報を表示させて、削除する携帯電話を間違えていないか確認することができます。

- 1 電話機削除画面で、詳細情報を表示したい携帯電話を選択しタッチします。



- 2 **詳細情報表示** にタッチします。
- 3 確認が終わったら、**戻る** にタッチします。



G-BOOKオンラインサービス

G-BOOKオンラインサービスを利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

I ご利用にあたって 476

G-BOOKオンラインサービスについて	476
安全上の注意	477
掲載画面について	477
お車を手放す際は	477
G-BOOKオンラインサービス コンテンツについて	477
通信機器について	477
データ通信時の留意事項	479

II 各種手続きをする 482

■ 利用手続きをする		
	利用手続きについて	482
	利用手続きの手順	483
	利用開始操作をする	485
■ 各種手続きについて		
	ユーザー画面について	488
	Web登録が必要なサービスを 利用しなくなったとき	489
	サポートアドレスについて	490
	ポップアップ機能について	491
	有料コンテンツのご利用について	491
	利用登録の解除について	492
	利用登録の解除をする	493
	非アクセス登録をする	493

III ヘルプネット（ワンタッチタイプ） 494

■ はじめに		
	ヘルプネットについて	494
	各部の名称とはたらき	497
	安全のために	498
■ サービス開始操作をする	サービス開始操作をする	501
■ 緊急通報をする	緊急通報をする	503
■ 保守点検をする		
	自動保守点検	507
	手動保守点検	508

■ 知っておいてください	利用登録の解除	511
	携帯電話について	511
	緊急通報できない場合について	513
	故障とお考えになる前に	515

IV メインメニュー 516

■ メインメニュー画面で操作する	メインメニュー画面の使い方	516
■ ブラウザを操作する	ブラウザ画面で操作する	518
■ ブラウザ閲覧履歴からコンテンツを表示する	ブラウザ閲覧履歴について	523
	ブラウザ閲覧履歴からコンテンツを表示する	523
	ブラウザ閲覧履歴を削除する	523
■ ブックマークを使う	ブックマークについて	524
	ブックマークに登録する	524
	ブックマークしたコンテンツを見る	524
	ブックマークのタイトルを変更する	525
	ブックマークを削除する	525
■ 音声認識コマンドを使う	音声認識コマンドについて	527
■ 各種設定をする	各種設定画面を表示する	528
	通信ロック解除のための暗証番号を設定する	529
	通信ロックを使う	532
	G-BOOK設定を初期化する	533
	携帯電話の利用方式を設定する	534
	各種条件を設定する	535

V Myリクエスト 538

Myリクエストについて	538
Myリクエスト画面で操作する	538
Myリクエストを使う	539
ドライブプランを利用する	544
音声認識でリクエストをする	545
リクエストの登録をする	546

VI オペレーターサービス 547

オペレーターサービスについて	547
オペレーターサービスを購入する	547
オペレーターサービスを使う	548
手動で情報を取得する	549

VII アミューズメント 550

	アミューズメントメニュー画面の使い方	550
■ G-ライブラリコピー	G-ライブラリコピーについて	551
	G-ライブラリコピー画面の使い方	552
	コンテンツをコピーする	553
	コンテンツを削除する	555
■ G-SOUNDカタログ	G-SOUNDについて	558
	G-SOUNDカタログについて	559
	G-SOUNDカタログ画面の使い方	560
	希望のコンテンツを検索する	561
	コンテンツを試聴する	562
	ライセンスの購入手続きをする	563
	G-SOUNDコンテンツを再生する	564
	ライセンスを確認する	565
	G-SOUNDコンテンツを削除する	565
■ CDタイトル情報取得	タイトル情報を取得する	567

VIII AUTOLIVE 568

■ AUTOLIVEについて	音量・音質の調整について	569
	AUTOLIVEの操作手順	570
	歌本・チャンネルガイドについて	571
	チケットについて	571
	歌い放題パック・聴き放題パックについて	571
■ AUTOLIVEカラオケ各画面の使い方	AUTOLIVEカラオケ画面の使い方	572
	選曲メニュー画面の使い方	576
■ AUTOLIVEカラオケの準備をする	コースを選択する	577
	利用契約をする	578

■ AUTOLIVEカラオケの選曲 をする	選曲方法について	579
	歌本から選曲する	579
	Gで選曲する	582
	曲番号で選曲する	582
	購入済曲から選曲する	583
	音声認識で選曲する	584
■ AUTOLIVEカラオケの予約 をする	予約について	586
	曲予約画面から予約する	586
	予約曲を並べ替える	587
	予約を取り消す	588
■ AUTOLIVEカラオケのデー タを削除する	歌本を削除する	589
	曲データを削除する	589
■ AUTOLIVE BGM各画面の 使い方	AUTOLIVE BGM画面の使い方	591
	チャンネル追加メニュー画面の使い方	595
■ AUTOLIVE BGMの準備を する	コースを選択する	596
	利用契約をする	597
■ チャンネルの選択をする	チャンネルの選択方法について	598
	チャンネルガイドから選択する	598
	Gで選択する	599
	購入済チャンネルから選択する	600
■ チャンネルを追加する	チャンネルリストについて	601
	チャンネルを追加する	601
	チャンネルを並べ替える	602
	チャンネルを取り消す	603
	チャンネル情報を見る	604
■ AUTOLIVE BGMのデー タを削除する	チャンネルガイドを削除する	605
	曲データを削除する	605

IX G-BOOKとナビの連携機能 607

	ナビ連携機能について	607
■ 渋滞予測	渋滞予測情報を表示する	608
■ ルート探索 (プローブ情報付)	ルート探索をする (プローブ情報付)	612
■ Gメモリ地点	Gメモリ地点を登録する	614
	Gメモリ地点を表示する	614

■ ドライブプラン	ドライブプランを利用する	616
■ 施設情報表示	施設の情報を表示する	617
■ G情報マーク表示	G情報マークを表示する	618
	G情報マークの表示種類について	619
■ G情報マーク連動サービス	G情報マーク連動サービスについて	620
■ Gで設定	ドライブプランを利用する	621
	Gメモリを利用する	622
	G-BLOGを利用する	622
	Gメモリを一括ダウンロードする	623

X 知っておいていただきたいこと	624
こんなメッセージが表示されたときは	624

本機で携帯電話を利用するには、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店またはG-BOOKの携帯サイト (<http://mo.g-book.com/>)、パソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用しているコンテンツの画面は、実際の画面と異なることがあります。



MEMO

G-BOOKオンラインサービスについて

ご利用の車載機では、携帯電話接続で利用する「G-BOOK ALPHA」が利用できます。

サービス内容について

利用できるサービスは次のようになっています。

・サービスメニューの詳細、有料オプションの価格は、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

主なサービス／機能	G-BOOK ALPHA		ページ
	Web登録をして利用		
通信機器	Bluetooth携帯電話		—
ヘルプネット	×	○※1	494
メインメニュー G-BOOK.com コンテンツ	無料コンテンツ	○※2※3	516
	有料コンテンツ	×	
オペレーターサービス	×	△	547
G-SOUND	×	△	558
AUTOLIVE	×	△	568
CDタイトル情報取得	○	○	567
渋滞予測	○	○	608
Gルート探索	○	○	612
ドライブプラン	○※4	○	544、 616、 621

○ …… 利用できます

△ …… 有料オプション（コンテンツ購入が必要です）

× …… 利用できません

※1 初度登録日より3年間ご利用いただけます。

なお、4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、2年ごとに利用登録料1,050円（税込）が必要です。

※2 一部コンテンツはWeb登録が必要です。

※3 利用可能なコンテンツは一部異なります。

※4 利用には、GAZOOの会員登録が必要です。（☎486）

安全上の注意

G-BOOKオンラインサービスをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。

走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。

なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

走行中にG-BOOKオンラインサービスをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。

このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

掲載画面について

本書で使用している画面の表示内容は、サンプル表示となっています。

お車を手放す際は

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、利用登録の解除をお願いします。(☎492)

G-BOOKオンラインサービスコンテンツについて

詳しくは、G-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) をご覧ください。

通信機器について

G-BOOKオンラインサービスは、Bluetooth携帯電話を利用して、データ通信やハンズフリー通話を行います。

携帯電話の動作確認済み機種はトヨタ販売店またはG-BOOKの携帯サイト (<http://mo.g-book.com/>)、パソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

Bluetooth携帯電話を使用するときの留意事項

Bluetooth携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- ・ Bluetooth携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ車載機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(☎420)
- ・ Bluetooth携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
- ・ Bluetooth携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くこととなります。
割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。
- ・ Bluetooth携帯電話で通信利用方式を「パケット」に設定してデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、G-BOOKセンターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。
なお、通信利用方式を「回線交換」で利用する場合は、通信の自動切断設定を任意に設定することができます。(☎536)
- ・ Bluetooth携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。
この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
- ・ Bluetooth携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。

知識

- ・ 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- ・ 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

データ通信時の留意事項

G-BOOKオンラインサービスは、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- ・通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。
- ・お手持ちの携帯電話に添付の取扱説明書の注意事項もよくお読みください。



注意

データ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くこととなります。

割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。

知識

- ・通信料金はおお客様のご負担になります。
 - ・データ取得までの時間は、車載機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
 - ・G-BOOKオンラインサービスを利用中に携帯電話と車載機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。
 - ・G-BOOKオンラインサービス利用後に携帯電話と車載機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
 - ・G-BOOKオンラインサービスを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。
- この場合は、電話スイッチを操作するなどして、通話を終了する操作を行ってください。(☎427)

・ヘルプネット (☎494) での緊急通報中は、G-BOOKセンターに接続できません。

・画面上部 (タイトル) に、ネットワーク接続中は「接続中」、コンテンツ読み込み中は「しばらくお待ち下さい」が表示されます。

また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。

(走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。)



バー

・通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。

通信中マーク



知識

・受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行います。一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。

・GPS信号を長い間 (数カ月間) 受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断られたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS信号が受信できる場所 (☎143) に車を移動し、**現在地** を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。



GPSマーク

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。
データ通信時の目安にしてください。



- ・表示される受信レベルは、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。

状態	表示
未接続時	未接続 接続の検出ができません
接続規制時	規制 接続が規制されています
接続時	圏外 Υ Υ_1 Υ_2 Υ_3 圏外 弱 ← → 強

知識

Bluetooth携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。

ナビメニューの切断スイッチについて

G-BOOKセンターとのデータ通信を切断するときは、画面内またはメッセージ内の**切断**を使用します。

この場合、**切断**にタッチしてデータ通信終了後、しばらくしてから切断されます。

通常の使用では問題ないと思われませんが、携帯電話を別の用途にすぐに使用したい場合などは、ナビメニューの**切断**を使用すると、すぐに回線を切断することができます。



Ⅱ 各種手続きをする

利用手続きをする

利用手続きについて

G-BOOKオンラインサービスの利用開始は、次の「利用手続きの手順」にしたがって実施してください。

注意

手続きを行うときは、次の点に注意して、手続きが中断しないようにしてください。中断すると、最初からやり直さなければなりません。

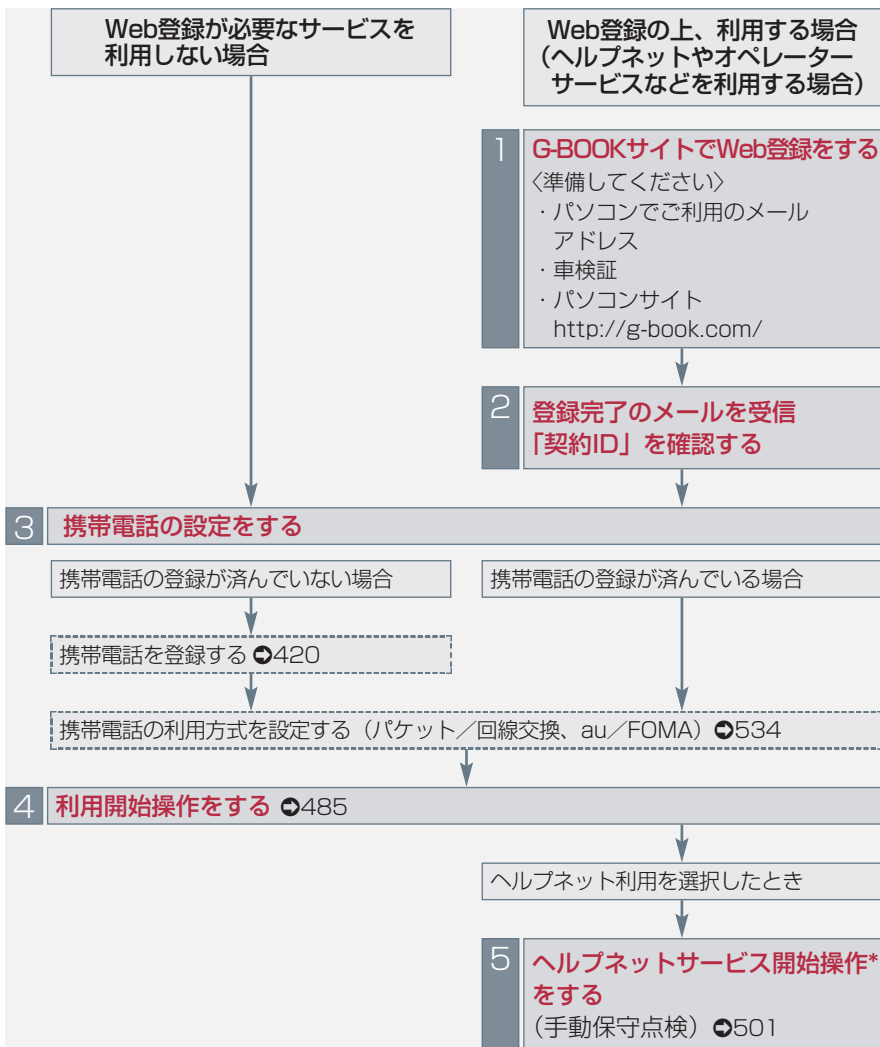
- ・通信が途中で切れないように、受信感度が良い場所で行ってください。
- ・手続きの途中で、中止や切断の操作をしないでください。また、エンジンをかけなおすなどのエンジン スイッチの操作をしないでください。
- ・携帯電話を着信拒否に設定するなど、ハンズフリーで着信できないようにしてください。

知識

- ・パソコンのG-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) でWeb登録をする場合、GAZOO 会員IDがあれば、G-BOOK契約IDとして使えます。
- ・車両1台につき1つの契約IDが必要です。同じ契約IDを複数の車両で利用することはできません。

利用手続きの手順

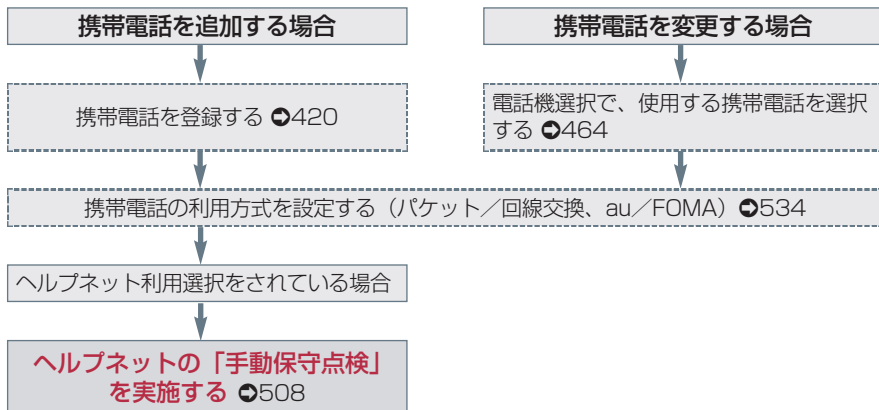
下図にしたがって、利用手続きとそれに伴う各種設定を行ってください。



*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

携帯電話を追加・変更する場合

利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行ってください。



利用開始操作をする

利用開始操作は、Web登録をした場合としない場合で操作手順が異なります。

該当のページをご覧くださいの上、手続きを行ってください。

G-BOOK ALPHA
Web登録をしない場合 ➡485

G-BOOK ALPHA
Web登録をした場合 ➡487

G-BOOK ALPHA Web登録をしない場合

- 1 **情報・G**を押します。
- 2 情報画面で、**メインメニュー**にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 3 メインメニュー画面で、**G-BOOK.com**にタッチします。



知識

画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの利用登録の解除が完了していません。G-BOOKサポートセンターにご連絡ください。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120-104-370
受付時間 9:00~18:00
(年中無休)

- 4 G-BOOKの利用開始画面で、**利用開始する**にタッチします。



- 5 サービス内容、利用規約などが表示されます。
画面の指示にしたがって、確認・操作してください。
- 6 利用開始操作完了画面が表示されます。
次へにタッチします。
・PC・携帯連携をご利用になる場合は、PC・携帯連携の利用手続きを行ってください。(➡486)

■PC・携帯連携の利用手続きをする
 PC・携帯連携の利用手続きをすると、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで編集したデータを、車載機で利用することができます。
 パソコンサイト (http://g-book.com/)
 携帯サイト (http://mo.g-book.com/)

●GAZOO会員登録について

PC・携帯連携をご利用いただくには、GAZOO会員である必要があります。

GAZOO会員の登録は、G-BOOKサイト (http://g-book.com/) で行ってください。

PC・携帯連携の利用手続きでは、GAZOO会員IDとパスワードの入力が必要です。

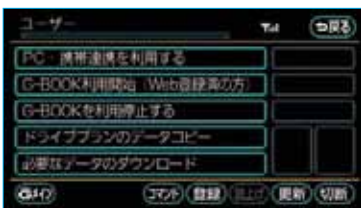
1 メインメニュー画面で、
G-BOOK.com にタッチします。

2 G-BOOK.comトップ画面で、
ユーザー にタッチします。

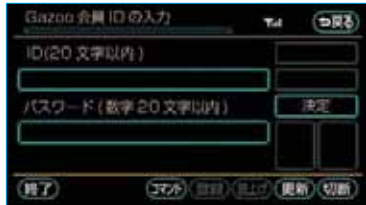


※表示されているメニューは一例です。

3 ユーザー画面で、
PC・携帯連携を利用する にタッチします。



- 4 注意事項が表示されます。
 画面の指示にしたがって、確認・操作します。
- 5 Gazoo会員IDの入力画面が表示されたら、IDとパスワードを入力し、**決定** にタッチします。



・IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。

知識

車両1台につき1つの契約IDが必要です。同じ契約IDを複数の車両で利用することはできません。

6 登録内容が表示されます。
 画面の指示にしたがって、確認・操作してください。

7 手続き完了画面が表示されたら、利用できます。

知識

6ヶ月以上ご利用のない場合、再びGAZOO会員IDとパスワードを入力していただく必要があります。

G-BOOK ALPHA Web登録をした場合

- 1 「情報・G」を押します。
- 2 情報画面で、**メインメニュー**にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 3 メインメニュー画面で、**G-BOOK.com**にタッチします。

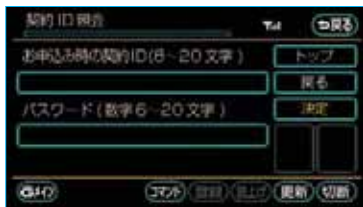


知識

画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの利用登録の解除が完了していません。G-BOOKサポートセンターにご連絡ください。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120-104-370
受付時間 9:00～18:00
(年中無休)

- 4 契約ID照会画面が表示されます。IDとパスワードを入力し、**決定**にタッチします。



・IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。

- 5 登録内容が表示されます。画面の指示にしたがって、確認・操作してください。
- 6 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されます。
 - ・ヘルプネット利用を選択された場合は、続けてヘルプネットのサービス開始操作* (☎501) を行い、車載機が正常に動作するか確認してください。この操作が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。
 - *ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

Ⅱ 各種手続きをする

各種手続きについて

ユーザー画面について

登録内容の確認・変更やG暗証番号の変更、支払方法の設定などを行なえます。

ユーザー画面を表示する

- 1 メインメニュー画面で、**G-BOOK.com** にタッチします。



- 2 G-BOOK.comトップ画面で、**ユーザー** にタッチします。



※表示されているメニューは一例です。

ユーザー画面の使い方

ユーザー画面で行なえるメニューは、次のようなものがあります。状況に応じて、次の各スイッチにタッチし、画面の指示にしたがって操作してください。

① 会員情報／利用契約変更・解約

■ 利用登録の解除

契約者情報や利用契約の確認・変更ができます。

※ 装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

② コンテンツ購入履歴／解約

契約中コンテンツの確認および解約ができます。

③ ドライブプランのデータコピー

他のIDで作成したドライブプランデータ（Myルート、Gメモリ）を、現在利用中のIDへコピーできます。

Web登録が必要なサービス を利用したくなったとき

G-BOOK ALPHAをWeb登録なしで利用開始したお客様で、有料コンテンツなどのWeb登録が必要なサービスを利用したい場合は、次の手順で再度、利用開始操作を行ってください。

■ Web登録について

有料コンテンツのご利用には、まずパソコンのG-BOOKサイト(<http://g-book.com/>)でWeb登録が必要です。

G-BOOKセンターから登録完了のメールを受信したら、車載機から利用開始操作をします。

- 1 メインメニュー画面で、**G-BOOK.com** にタッチします。

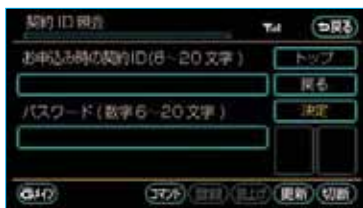


- 2 G-BOOK ALPHA利用登録準備完了の案内が表示されます。**進む** にタッチします。

知識

利用登録準備完了の案内が表示されない場合は、Web登録手続きがG-BOOKセンター側で完了していません。しばらくしてから再度操作してください。

- 3 契約ID照会画面が表示されます。IDとパスワードを入力し、**決定** にタッチします。



- ・ IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。
- 4 登録内容が表示されます。画面の指示にしたがって、確認・操作してください。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、オペレーターサービスなどのコンテンツ利用に必要な連絡先です。

Web登録で入力いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合は、下記操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

サポートアドレスの確認・変更は、G-BOOK.com画面で行います。

- 1 G-BOOK.com画面で、**サポートアドレスの登録・変更**にタッチします。



※表示されているメニューは一例です。

- 2 表示される電話番号を確認した後、**メール**にタッチします。
 - ・電話番号を変更するとき
→変更する電話番号にタッチし、入力する。
- 3 Eメールアドレスを確認する。
 - ・Eメールアドレスを変更するとき
→変更するEメールアドレスにタッチし、入力する。

ポップアップ機能について

G-BOOKセンターに接続すると、お客様のご利用状況により、ヘルプネット開通案内や登録更新案内などのメッセージが表示されます。

お客様の必要に応じて、画面の指示にしたがって操作してください。

メッセージ	原因	処置
ヘルプネットのサービス開始操作を行ってください	G-BOOK ALPHAのWeb登録で、ヘルプネットを利用選択したが、サービス開始操作*が実施されていない。	サービス開始操作*の方法を選択してください。 ・すぐに操作をする。 → 説明を読む にタッチする。 ・あとで操作をする。 → あとで にタッチする。
まもなく、ヘルプネットの利用期間が終了します	G-BOOK ALPHAをWeb登録してご利用の場合で、ヘルプネットの利用登録更新時期が近づいている。	継続手続きの状況により選択してください。 ・継続手続きが済んでいる。 → 了解 にタッチする。 ・継続手続きが済んでいない。 → 説明を読む にタッチする。

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

有料コンテンツのご利用について

G-BOOK ALPHAでは、有料コンテンツの利用にはWeb登録が必要です。

有料コンテンツの購入・解約

G-BOOK有料コンテンツの購入・解約には、次の手続きが必要になります。また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

■有料コンテンツ購入手続き

有料コンテンツを購入する際は、画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

■有料コンテンツ解約手続き

ユーザー画面で、

コンテンツ購入履歴／解約 - **コンテンツ契約内容の確認** の順にタッチし、申し込み時に登録した「G暗証番号」を入力の上、解約してください。

知識

「G暗証番号」は、有料コンテンツを購入するときや、一部のサービスを車載機や携帯電話から利用するときに入力していただく4桁の番号です。

利用登録の解除について

お車を手放すときなど、G-BOOKオンラインサービスの利用登録の解除をするときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

〈車載機で利用登録の解除をする場合〉

利用登録の解除をする ☎493

↓
〈お車を手放す場合〉

G-BOOK設定を初期化する ☎533

個人情報の初期化をする ☎31

利用登録の解除をしないで
車を手放したときなど

↓
G-BOOKサポートセンターに
連絡して利用登録の解除をする

G-BOOKサポートセンター

全国共通・フリーダイヤル

0120-104-370

受付時間 9:00~18:00

(年中無休)

⚠ 注意

車載機に保存した情報は、車載機で利用登録の解除をしたときのみ消去できます。

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、車載機で利用登録の解除および初期化を必ず行ってください。

知識

G-BOOK契約IDは、利用登録の解除後、GAZOO会員IDとして利用できます。

利用登録の解除をする

G-BOOKオンラインサービスの利用登録の解除をするときは、次の手順で実施してください。

- 1 **情報・G**を押します。
- 2 情報画面で、**メインメニュー**にタッチします。

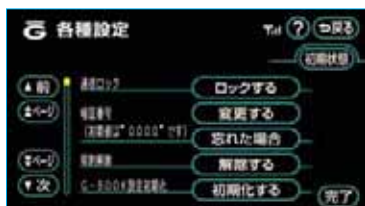


※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 3 メインメニュー画面で、**各種設定**にタッチします。



- 4 各種設定画面で、**解除する**にタッチします。



- 5 画面の指示にしたがって操作してください。

知識

- ・ユーザー画面からでも利用登録の解除ができます。
- ・G-BOOKオンラインサービスの利用開始ができないように設定したい場合は、「非アクセス登録」をしてください。(☎493)

■お車を手放すとき

利用登録の解除をただけでは、車載機に保存したお客様の情報は消去されません。

お車を手放すときは、次の操作も合わせて必ず実施してください。

- ・G-BOOK設定の初期化 (☎533)
- ・個人情報の初期化 (☎31)

非アクセス登録をする

G-BOOKオンラインサービスが不要というお客様は、G-BOOKサポートセンターに電話をしてください。オペレーターに「非アクセス登録」を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。申請書を提出していただくと、利用開始操作をできないように設定します。
※G-BOOKオンラインサービスを利用中のお客様は、申請書を提出する前に利用登録の解除を行ってください。

- ・再びG-BOOKオンラインサービスの利用をご希望の際は、G-BOOKサポートセンターに電話をしてください。「非アクセス登録」の利用登録の解除を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。

G-BOOKサポートセンター

全国共通・フリーコール

0800-123-0016

受付時間 9:00~18:00

(年中無休)

Ⅲ ヘルプネット（ワンタッチタイプ）

はじめに

- ※ 初度登録日より3年間で利用いただけます。
なお4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、2年ごとに利用登録料1,050円（税込）が必要です。ご利用にはWeb登録が必要です。

ヘルプネットについて

ヘルプネット（ワンタッチタイプ）は、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチにタッチするだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にオペレーターがお客様の状況を通報します。

本システムは、エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときに作動します。

■ サービス開始と利用登録の解除について

- ・ ヘルプネットは、車載機でG-BOOKオンラインサービスを利用開始の上、サービス開始操作*が完了すると利用することができます。（☎501）
- ・ 利用登録の更新については、トヨタメディアサービス（株）より、更新前に案内があります。
- ・ ヘルプネットの利用登録の解除は、G-BOOKオンラインサービスの利用登録の解除と同時に実施されます。また、ヘルプネットのみの利用登録の解除は車載機で行うことができます。（☎511）

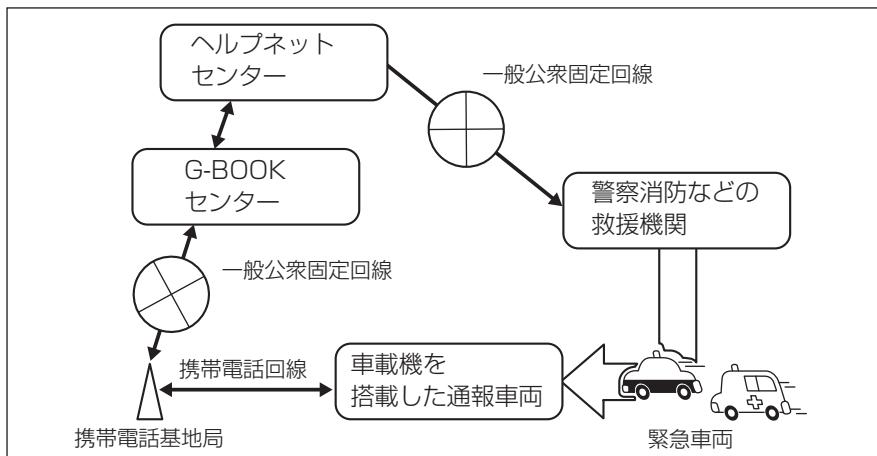
ヘルプネットは、警察や消防への緊急通知サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行えません。

- ※ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

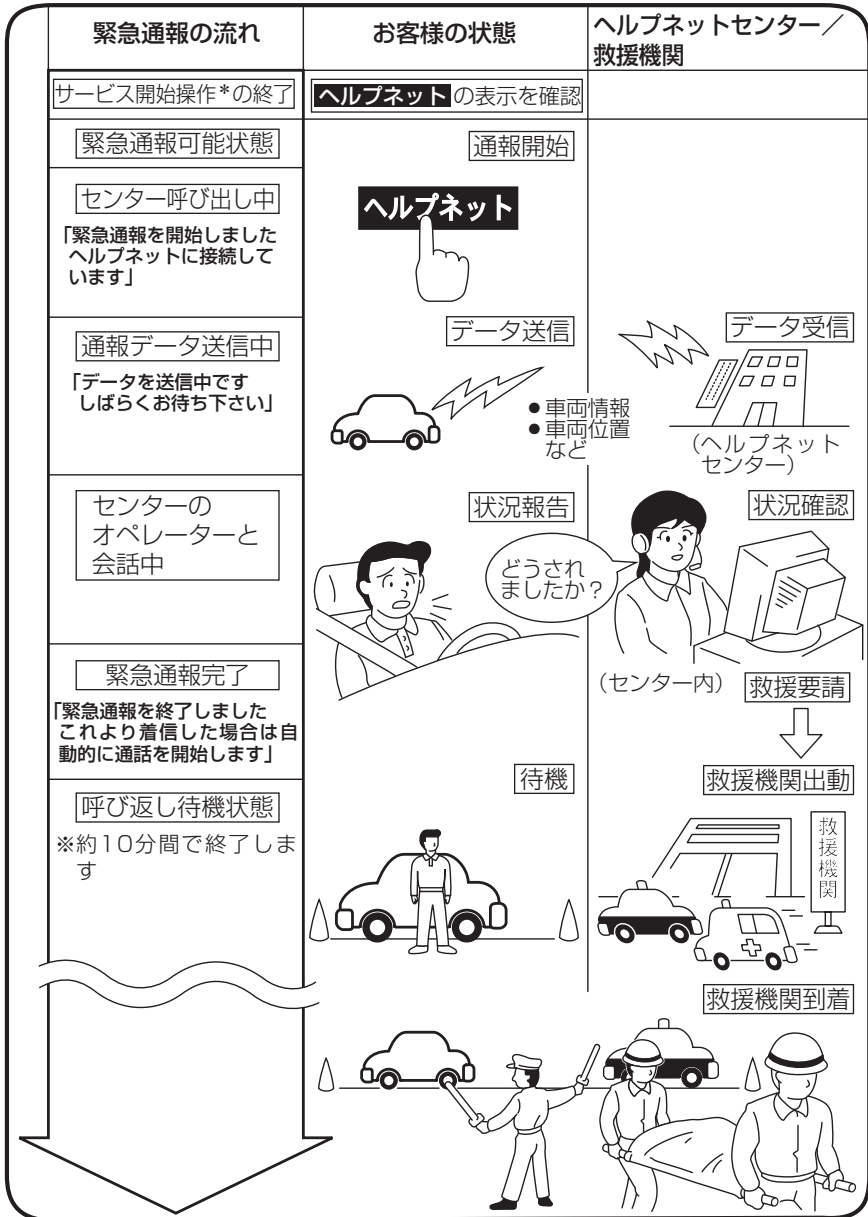
*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

緊急通報のしくみ

車載機の画面に表示される**ヘルプネット**にタッチすると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



■緊急通報の主な流れ



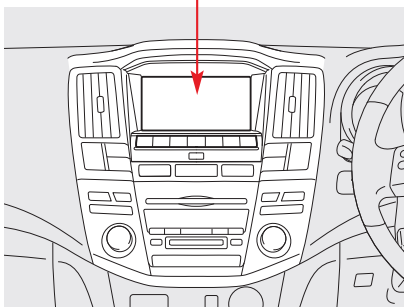
*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各部の名称とはたらき

■車載機

緊急通報時や手動保守点検時に使用します。

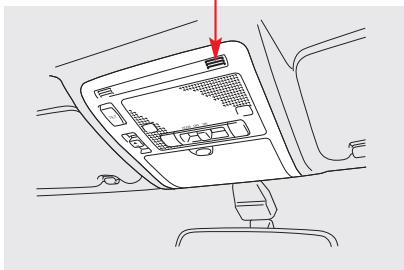
車載機



■マイク

緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に、お客様の声をヘルプネットセンターに伝えます。

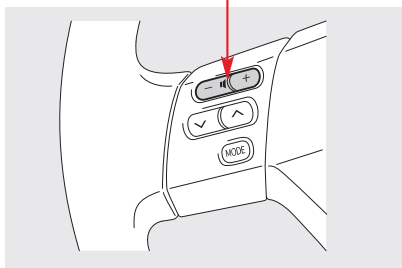
マイク



■音量調整スイッチ（ステアリングスイッチ）

ヘルプネットセンターとのハンズフリー通話時に、通話音量を調整します。

音量調整スイッチ



注意

車載機本体が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。車載機本体に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。車載機本体が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

安全のために

警告

- ・安全運転を心がけてください。
本機は、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- ・緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- ・緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- ・サービス開始操作*は契約者本人が行い、情報画面に**ヘルプネット**が表示されていることを必ず確認してください。
- ・本機は衝撃などによって、作動しなくなる場合があります。
このような場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ・バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できない場合があります。
- ・携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ・次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - ・携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
 - ・機器（車載機本体、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
 - ・G-BOOKオンラインサービスの利用登録がされていない、または利用登録期限が切れている場合
 - ・ヘルプネットの利用登録がされていない、または利用登録が更新されていない場合
 - ・サービス開始操作*を実施していないため、車載機が緊急通報可能状態になっていない場合
 - ・携帯電話と車載機がBluetooth接続されていない場合
 - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
 - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
 - ・携帯電話が故障している場合
 - ・携帯電話の料金を滞納している場合

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

 警告

- ・緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ・ヘルプネットを使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話について」をご覧ください。(☎511)
- ・緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。なお、状況によっては、携帯電話と車載機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ・安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- ・本機はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。このような場合には、**ヘルプネット**による緊急通報をしてください。
- ・G-BOOKオンラインサービスまたはヘルプネットの利用登録の解除をしても、情報画面に**ヘルプネット**が表示されているときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- ・ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- ・煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ・本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。
万一、異常などがある場合には、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- ・車載機本体の取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- ・緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- ・次の温度範囲以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
動作温度範囲：-20℃～+60℃
- ・実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物については、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- ・呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチを“LOCK”にしてください。
この場合、エンジンスイッチを“LOCK”にした時点で、緊急通報は終了します。
なお、状況によっては、携帯電話と車載機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ・電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

知識

- ・ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- ・いたずらなどが原因で救急車両などの出勤が起きた場合、該当費用についての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

Ⅲ ヘルプネット（ワンタッチタイプ）

サービス開始操作*をする

サービス開始操作*をする

ヘルプネットは、サービス開始操作*を完了してはじめて利用できるようになります。

利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作*および車載機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- 1 可能な限り見晴らしの良い場所に車を移動します。
 - ・ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。
- 2 「手動保守点検」(☎508) を行い、次の点を確認します。
 - ・手動保守点検で通信が正常に始まることを確認してください。
 - ・通報位置が正しいことをヘルプネットセンターとの通話で確認してください。
 - ・通話ができることを確認してください。
 - ・表示内容を確認後、正常に動作することが確認できたら**確認**にタッチしてください。



警告

最後に表示された画面で**中止**にタッチする、または**現在地**などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作*を行い、車載機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

3 手動保守点検後、情報画面に

ヘルプネットが表示されます。

- ・情報画面に**ヘルプネット**が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
- ・手動保守点検が正常に終了しなくても**ヘルプネット**が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、トヨタ販売店にご相談ください。



警告

- ・次のように、車載機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
 - ・発呼しない。
 - ・通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
 - ・通話できない。
- ・サービス開始操作*は途中で中断せず、最後まで完了してください。途中で中断した場合は、基本的に**ヘルプネット**は表示されませんが、**ヘルプネット**が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。



警告

- ・サービス開始操作*時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあります。手動保守点検時に車載機が正常に動作しない場合や、**ヘルプネット**が表示されたが通話できない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- ・手動保守点検後、**ヘルプネット**が表示されない場合、緊急通報は動作しません。**ヘルプネット**の表示が正常に行われない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- ・ヘルプネットで使用する携帯電話は、次の点に注意してください。
 - ・本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
 - ・ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録(☎420)および携帯電話の利用方式の設定(☎534)を行ってください。
 - ・車載機に携帯電話をBluetooth接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本車載機には携帯電話の充電機能はありません。
 - ・電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話について」をご覧ください。(☎511)



警告

- ・携帯電話と車載機がBluetooth接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

知識

- ・手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- ・携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明をOFFに設定してください。(設定については携帯電話の取扱説明書をご参照ください。)

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

Ⅲ ヘルプネット (ワンタッチタイプ)

緊急通報をする

緊急通報をする

緊急通報は、急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターに通報するときを使用します。

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき、情報画面で**ヘルプネット**にタッチすると緊急通報を開始します。

この操作をすれば、あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがっていただければ、緊急通報は完了します。

ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。

実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。なお、ヘルプネットを使用する場合は、携帯電話と車載機がBluetooth接続されていることを確認してください。

警告

- ・次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ・携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
- ・携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話できません。



警告

- ・緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ・ヘルプネットセンターへ接続中に、エンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。緊急通報が中止されます。エンジンスイッチを“LOCK”にしてしまった場合、緊急通報はできないので、再度エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ・ヘルプネットを使用する場合は、携帯電話と車載機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

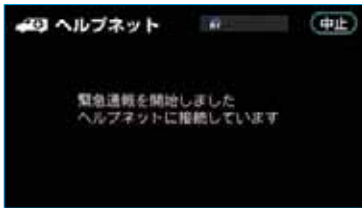
1 **情報・G**を押します。

2 情報画面で**ヘルプネット**にタッチします。

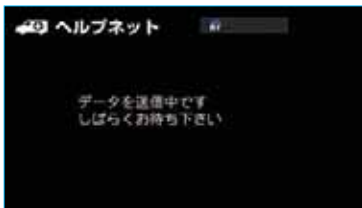


※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

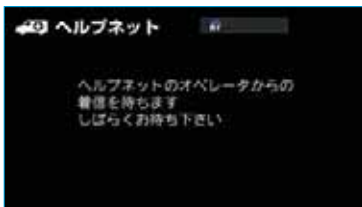
- 3 ヘルプネットセンターに接続を開始し、緊急通報が開始されます。



- ・メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
 - ・中止したいときは、**中止** にタッチします。
- 4 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などを送信します。



- 5 データ通信完了後、通話モードになります。



- 6 通話中画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察または消防などへの通報の要・不要を伝えてください。



- ・通話音量を調整したいときは、次のいずれかの操作をします。
 - ・ステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整する。
 - ・**小**または**大**にタッチする。

知識

- ・緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
- ・通話中にエンジンスイッチを“LOCK”にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。

- 7 警察または消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察または消防に接続します。

- 8 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断を行います。

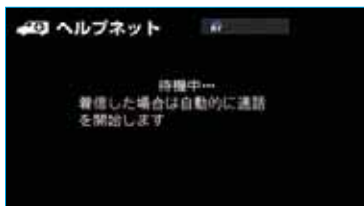


知識

通話中にステアリングスイッチを操作して電話を切ることができます。

- 9 通話終了後、しばらくの間（約10分間）は、ヘルプネットセンターおよび救済機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。

この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。



警告

呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。

なお、状況によっては、携帯電話と車載機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。

知識

- ・呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救済活動に関わる着信であっても、着信できません。
- ・呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点でヘルプネット画面は解除されます。
- ・呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。

- 10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除されます。



知識

- ・ 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- ・ 緊急通報開始時から通話終了までの間は、車載機の音声自動的にミュート（消音）されます。
- ・ 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。
- ・ 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

Ⅲ ヘルプネット（ワンタッチタイプ）

保守点検をする

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

保守点検は、次の2種類があります。

- ・自動保守点検➡507
- ・手動保守点検➡508

自動保守点検

自動保守点検は、車載機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、とくに必要ありません。

自動保守点検は、次の要領で行われます。

■点検時期

（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。

■点検時間

自動保守点検は、開始後1～2分で終了します。



注意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまった場合は、次にエンジンスイッチを“LOCK”から“ACC”または“ON”にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

知識

自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。



警告

ヘルプネットを使用する場合は、携帯電話と車載機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

手動保守点検

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、次の保守点検を実施します。

- ・ 車載機の保守点検（車載機修理点検や車両修理後の保守点検）
- ・ ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

なお、ヘルプネットを使用する場合は、携帯電話と車載機がBluetooth接続されていることを確認してください。

警告

- ・ 手動保守点検の途中で、エンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。エンジンスイッチを“LOCK”にしてしまった場合は、再度手動保守点検をやり直してください。
- ・ ヘルプネットを使用する場合は、携帯電話と車載機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

- 1 現在地画面でGPSの受信（GPSマークが表示されること）を確認します。



GPSマーク

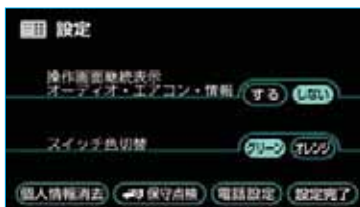
- 2 **情報・G**を押します。

- 3 情報画面で**設定**にタッチします。



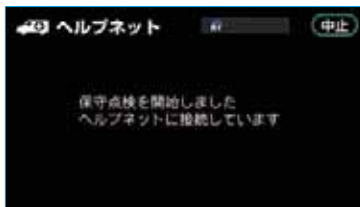
※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 4 設定画面で、**保守点検**に約10秒以上タッチし続けます。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

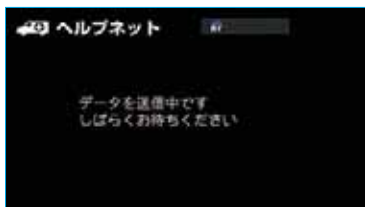
- 5 ヘルプネットセンターに接続を開始します。



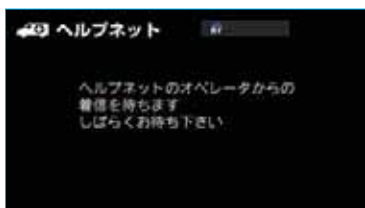
- ・ メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- ・ 中止したいときは、**中止**にタッチします。

6 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、次の確認をします。

- ・車両の所在地
- ・手動保守点検をしていること
- ・ヘルプネットセンターに利用登録されているかどうか



7 データ通信完了後、通話モードになります。



8 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。



- ・ヘルプネットセンターの対応は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在の地の確認後に、名前を聞かれます。“ピー”と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
- ・通話音量を調整したいときは、次のいずれかの操作をします。
 - ・ステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整する。
 - ・**小**または**大**にタッチする。

9 通話の終了後に点検を終了します。



10 画面の内容を確認後、正常に動作することが確認できたら**確認**にタッチします。

(**確認**がある画面が表示された場合のみ)

⚠ 警告

ここで表示された画面で**中止**にタッチする、または**現在地**などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作*を行い、車載機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- 11 **情報・G**を押して、情報画面に**ヘルプネット**が表示されていることを確認します。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

知識

- ・手動保守点検開始時から通話終了までの間は、車載機の音声自動的にミュート（消音）されます。
- ・手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。



警告

サービス開始操作*で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。

途中で中断した場合は、基本的に**ヘルプネット**は表示されませんが、**ヘルプネット**が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。



注意

・手動保守点検は、正確に位置情報を送れることを確認しています。

手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。

・手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度“LOCK”にし、手動保守点検をやり直してください。

携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

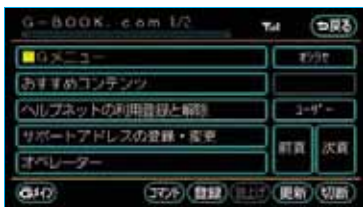
Ⅲ ヘルプネット（ワンタッチタイプ）

知っておいてください

利用登録の解除

ヘルプネットのみ利用登録の解除をしたい場合は、次の手順で手続きを行ってください。

- 1 メインメニュー画面で、**G-BOOK.com** にタッチします。
- 2 G-BOOK.com トップ画面で、**ヘルプネットの利用登録と解除** にタッチします。



※表示されているメニューは一例です。

- 3 ヘルプネット画面で、**利用登録内容の確認・解除** にタッチします。



- 4 画面の指示にしたがって操作してください。

携帯電話について

警告

・緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。（機能を解除する方法については、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）

- (1) ダイアルロック
- (2) 発信を制限もしくは禁止する機能
- (3) ドライブモード
- (4) 着信拒否、着信制限
- (5) 着信転送
- (6) 留守番電話
- (7) 発信者電話番号非通知
- (8) 着信を制限もしくは禁止する機能

※ (1) (2) の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。

(3) ~ (8) の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（キャッチホン、三者通話、セレクフォン、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があります。

・ヘルプネットはG-BOOKオンラインサービスの通信設定を利用します。携帯電話を変更したときは、必ず携帯電話の利用方式の設定（☎534）を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。

知識

ヘルプネットを使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。

- ・携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
- ・緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
- ・自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

緊急通報できない場合について

次のような場合には、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出る場合があります。

■G-BOOK利用登録の不成立または消滅

- ・未登録の場合
- ・利用登録を解除した場合
- ・サービス開始操作*を完了していない場合

■車載機または車両関連機器の異常による通信不能

- ・車載機（車載ユニット、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- ・バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- ・車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

■緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- ・GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きい場合

知識

ヘルプネットは、車載機本体のGPSから位置情報を取得しています。「GPSについて」をご覧ください。(➡143)

■ヘルプネットセンター／G-BOOKセンターシステムの異常による通信不能

- ・センターシステムの故障など
- ・センターの火災などによる、センターシステムの損傷

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- ・本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置する場合
- ・携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合
- ・携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果としてヘルプネットによる通信ができない場合
- ・通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができない場合
- ・本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止された場合

■緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- ・センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
- ・大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中した場合

■その他

- ・ヘルプネットを使用するとき、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
 - ・携帯電話と車載機がBluetooth接続されていない
 - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
 - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
 - ・携帯電話が故障している
 - ・携帯電話の料金を滞納している など
- ・緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができない場合（緊急通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、次の表にしたがって確認してください。
それでも作動しない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。



警告

緊急事態発生時に緊急通報できない場合は、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症状	考えられること	処置
保守点検 が表示されない	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。(☎485)
ヘルプネット が表示されない	サービス開始操作*が完了していない。	サービス開始操作*を実施してください。(☎501)
緊急通報できない	動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	トヨタ販売店にご確認ください。
	携帯電話の利用方式を設定しましたか。	携帯電話の利用方式を設定してください。 (☎534)
	携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良い良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	(☎508)
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良い良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。 (☎508)

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

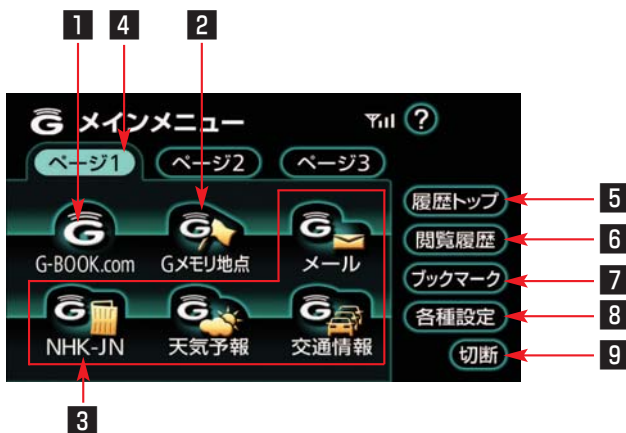
IV メインメニュー

メインメニュー画面で操作する

メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-BOOKオンラインサービスのアプリケーションを起動するメニューです。

情報画面で、**メインメニュー** にタッチすると表示されます。



スイッチ	機能
1 G-BOOK.comスイッチ	G-BOOKセンターに接続し、ブラウザ画面(☞518)が表示され、G-BOOK.comコンテンツが閲覧できます。
2 Gメモリ地点スイッチ	G-BOOK.comコンテンツで保存した、Gメモリ地点のリスト画面を表示します。 知識 Gメモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。(☞124)
3 G-BOOKセンターが追加するスイッチ	G-BOOKセンター側で用意されるサービスにより、機能が割り当てられます。 スイッチが表示されているときは、タッチすると該当のアプリケーションを起動します。 スイッチはG-BOOKセンターからの指示で、追加・削除されます。

スイッチ	機能
4 ページ切り替えスイッチ	メニューが複数ページある場合に表示されます。スイッチにタッチしてページを切り替えます。
5 履歴トップスイッチ	ブラウザで最後に閲覧したページを表示します。
6 閲覧履歴スイッチ	閲覧履歴画面(☎523)を表示します。 閲覧履歴は最大100件まで登録されます。
7 ブックマークスイッチ	ブックマーク画面(☎524)を表示します。 ブックマークは最大50件まで登録できます。
8 各種設定スイッチ	各種設定画面(☎528)を表示します。
9 切断スイッチ	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 ・切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 知識 データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

Ⅳ メインメニュー

ブラウザを操作する

ブラウザ画面で操作する

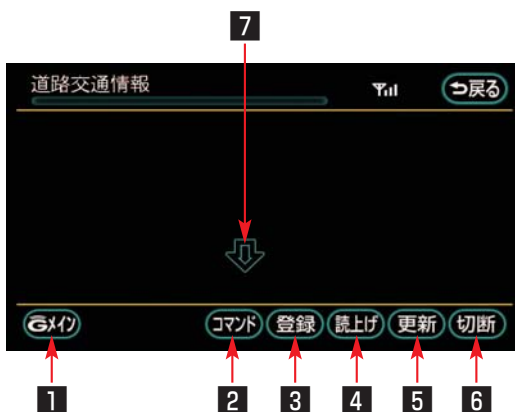
ブラウザは、G-BOOKオンラインサービスの各種コンテンツの表示や操作を行います。

ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。

各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。



スイッチ	機能
1 Gメイン/終了スイッチ	<ul style="list-style-type: none">・ Gメイン が表示されているときは、タッチするとメインメニュー画面にもどります。・ 終了 が表示されているときは、タッチするとブラウザ画面を終了し、ブラウザ表示前の画面にもどります。
2 コマンドスイッチ	表示中のコンテンツで使用できる音声認識コマンドのリスト画面(☞527)を表示します。
3 登録スイッチ	<ul style="list-style-type: none">・ 登録 が表示されているときは、表示中のページをブックマークに登録できます。・ ブックマークは最大50件まで登録できます。・ 登録したブックマークは、ブックマーク画面(☞524)で表示することができます。

スイッチ	機能
4 読上げスイッチ	<p>読み上げ情報があるコンテンツを表示しているときは、読み上げをはじめます。</p> <p>読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。</p> <p>知識</p> <p>読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。(➡536)</p>
5 更新／中止スイッチ	<p>コンテンツの再読み込みと読み込みの中止ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの読み込みが完了しているとき、または中断しているときは、更新が表示されます。更新にタッチすると、表示しているコンテンツを再読み込みして、画面を更新します。 ・コンテンツの読み込み中のときは、中止が表示されます。中止にタッチすると、読み込み中のコンテンツの読み込みを中止します。 <p>知識</p> <p>コンテンツの読み込み中に中止にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新にタッチして、コンテンツを再取得する。 ・戻るにタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。
6 切断スイッチ	<p>G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 <p>知識</p> <p>データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。</p>
7 スクロールスイッチ	<p>表示中のページが画面に収まらないとき、スクロールスイッチが表示されます。</p> <p>矢印にタッチすると画面が移動して、隠れていた部分を見ることができます。</p> <p>タッチし続けると、連続して画面が移動します。</p> <p>走行中はスクロール操作できません。</p>

読み上げ中に操作する

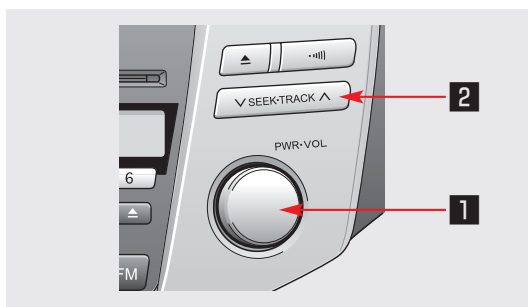
読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。



スイッチ	機能
1 Gメインスイッチ	メインメニュー画面にもどります。
2 音量調整スイッチ	読み上げ情報があるコンテンツを読み上げるときの音量が調整できます。 ▼VOL にタッチすると音量が小さくなり、VOL▲ にタッチすると音量が大きくなります。 ・スイッチを操作すると、画面上部に音量が表示されます。
3 前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更できます。 ◀ にタッチすると、読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめ、▶ にタッチすると、次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 ・前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、◀ にタッチしてから約1秒以内に再度タッチしてください。
4 停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどります。
5 ポーズ／再開スイッチ	コンテンツの読み上げの一時停止と再開ができます。 ・読み上げ中は が表示されます。 にタッチすると、コンテンツの読み上げを一時停止します。 ・読み上げ一時停止中は ▶ が表示されます。▶ にタッチすると、読み上げていた項目の先頭から読み上げを再開します。

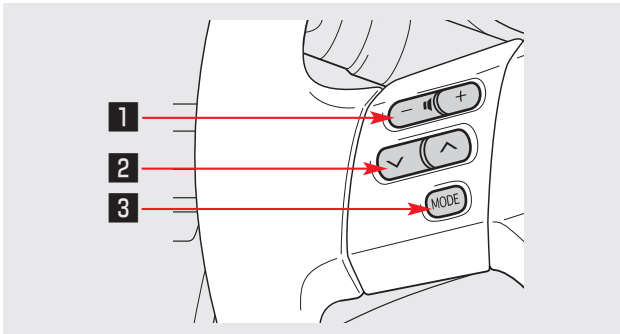
スイッチ	機能
6 切断スイッチ	<p>G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 <p>知識</p> <p>データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。</p>

車載機のスイッチで操作する



スイッチ	機能
1 パワースイッチ／音量調整ツマミ	<p>コンテンツの読み上げ停止と、読み上げ音量の調整をすることができます。</p> <p>■パワースイッチ コンテンツの読み上げ中に押すと、読み上げを停止します。</p> <p>■音量調整ツマミ コンテンツの読み上げ中に、ツマミを右へまわすと読み上げ音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。 ・ツマミをまわすと、音量のレベルが画面上部に表示されます。</p>
2 TRACK (トラック) スイッチ	<p>コンテンツの読み上げ中に、読み上げの開始位置を変更できます。</p> <p>スイッチの ◀ 側を押すと、読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめ、スイッチの ▶ 側を押すと、次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 ・前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、スイッチの ◀ 側を押してから約1秒以内に再度押してください。</p>

ステアリングスイッチで操作する



スイッチ	機能
1 音量調整スイッチ	読み上げ音量の調整をすることができます。 音量を ・大きくするときはスイッチの+側 ・小さくするときはスイッチの-側 を押します。
2 TRACK (トラック) スイッチ	コンテンツの読み上げ中に、読み上げの開始位置を変更できます。 スイッチの▽側を押すと、読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめ、スイッチの△側を押すと、次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 ・前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、スイッチの▽側を押してから約1秒以内に再度押してください。
3 MODE (モード切り替え) スイッチ	コンテンツの読み上げの解除と、オーディオの電源をOFFにすることができます。 ・読み上げ中にスイッチを押すと、コンテンツの読み上げを解除することができます。 ・読み上げ中にスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けると、オーディオの電源をOFFにすることができます。

Ⅳ メインメニュー

ブラウザ閲覧履歴からコンテンツを表示する

ブラウザ閲覧履歴について

ブラウザ閲覧履歴には、これまでにブラウザで閲覧したコンテンツのタイトルが、閲覧した日付が新しいものから順に保存されています。以前に閲覧したコンテンツを再度閲覧したい場合に使用すると便利です。

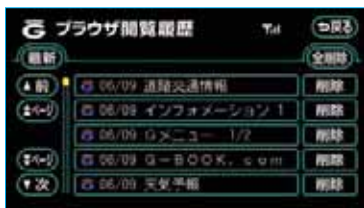
なお、ブラウザ閲覧履歴は、最大100件まで登録されます。100件以上になると、古いものから順に削除されます。

ブラウザ閲覧履歴からコンテンツを表示する

- 1 メインメニュー画面で、**閲覧履歴**にタッチします。



- 2 ブラウザ閲覧履歴画面で、閲覧したいコンテンツのスイッチにタッチします。

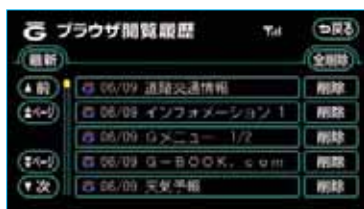


- ・リストは最近閲覧したコンテンツの順に表示されます。**最新**にタッチすると、リストの先頭に移動します。

ブラウザ閲覧履歴を削除する

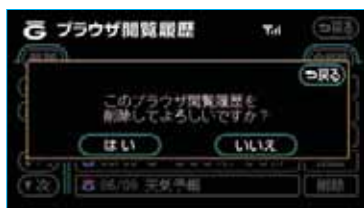
ブラウザ閲覧履歴は100件以上になると古いものから順に削除されますが、任意で履歴を削除することもできます。

- 1 ブラウザ閲覧履歴画面で、削除したい履歴の右側にある**削除**にタッチします。



- ・すべての履歴を削除するときは、**全削除**にタッチします。

- 2 **はい**にタッチします。



Ⅳ メインメニュー

ブックマークを使う

ブックマークについて

ブラウザで表示しているページをブックマークに登録することができます。ブックマークは、閲覧履歴のように古いものから順に削除されることがありません。

そのため、再度閲覧したいページがあるときなどに使用すると、ブックマーク画面から簡単にそのページを表示することができます。

また、登録したブックマークのタイトルは、あとで編集することができます。

ブックマークは最大50件まで登録できます。

知識

ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。そのようなページでは、登録スイッチが灰色になっています。

ブックマークに登録する

- 1 ブラウザ画面で、ブックマークに登録したいページを表示します。



- 2 **登録** にタッチします。

- 3 同じブックマークが登録されている場合は、メッセージが表示されます。置き換えてもよろしければ、**はい** にタッチします。



ブックマークしたコンテンツを見る

- 1 メインメニュー画面で、**ブックマーク** にタッチします。



- 2 ブックマーク画面で、希望のブックマークタイトルが表示されたスイッチにタッチします。



■リストを並べかえる

リストは登録順と閲覧順の2種類の並べ方をさせることができます。

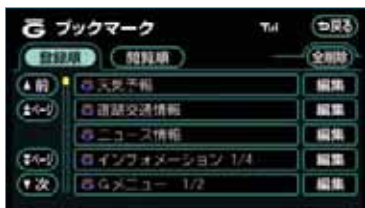
- ・ **登録順** にタッチすると、ブックマークに登録した日時が新しいものから順に並びかわります。
- ・ **閲覧順** にタッチすると、コンテンツを最後に閲覧した日時が新しいものから順に並びかわります。

ブックマークのタイトルを変更する

ブックマークのタイトルは、ブックマークを探しやすくするなどの目的で、お好みのタイトルに変更することができます。

タイトルは、全角で最大48文字、半角で最大96文字まで入力できます。

- 1 ブックマーク画面で、編集したいブックマークの右側にある **編集** にタッチします。



- 2 ブックマーク編集画面で、**タイトル** にタッチします。



- 3 ソフトウェアキーボードで入力します。



- 4 ブックマーク編集画面で、**完了** にタッチします。



ブックマークを削除する

ブックマークは、最大50件まで登録できます。50件を超えて登録しようとした場合はメッセージが表示されます。この場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

ブックマークを削除する

次の操作で削除したいブックマークだけ削除できます。

すべてのブックマークを削除したいときは、「すべてのブックマークを削除する」をご覧ください。(➡526)

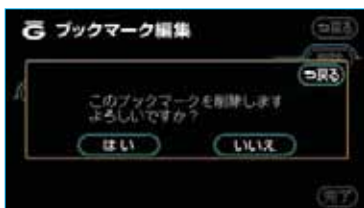
- 1 ブックマーク画面で、削除したいブックマークの右側にある **編集** にタッチします。



- 2 ブックマーク編集画面で、**削除** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



すべてのブックマークを削除する

- 1 ブックマーク画面で、**全削除** にタッチします。



- 2 **はい** にタッチします。



IV メインメニュー

音声認識コマンドを使う

音声認識コマンドについて

G-BOOKオンラインサービスでは、音声認識コマンドを発声することにより、音声操作ができます。

G-BOOKオンラインサービスに関するコマンドについては、利用開始操作完了後に使用可能になります。

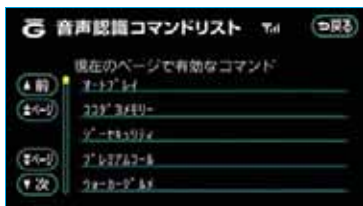
音声操作システムおよび音声認識コマンドについては、「音声操作システム」をご覧ください。(☎282)

■コンテンツ毎のコマンドについて

各コンテンツ毎のコマンドについては、画面上で確認することができます。

ブラウザ画面(☎518)で **コマンド** にタッチすると、音声認識コマンドリストが表示されます。

表示中のコンテンツで使用できるコマンドを確認することができます。



Ⅳ メインメニュー

各種設定をする

各種設定画面を表示する

ブラウザの設定や通信に関する設定など、G-BOOKオンラインサービスの設定を変更するときは、各種設定画面から行います。

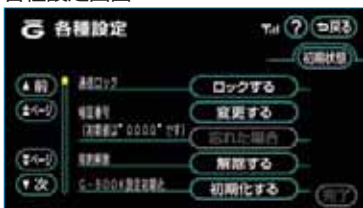
- ・設定を変更する場合は、G-BOOKセンターに接続していないときに行ってください。

- 1 メインメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。



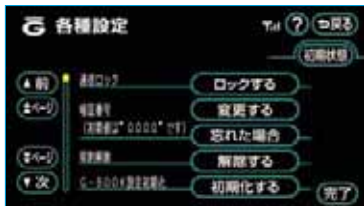
- 2 各種設定画面で、次の設定をすることができます。

各種設定画面



- ・通信ロック解除のための暗証番号を設定する ➡529
- ・通信ロックを使う ➡532
- ・G-BOOK設定を初期化する ➡533
- ・携帯電話の利用方式を設定する ➡534
- ・各種条件を設定する ➡535
- ・利用登録の解除をする ➡493

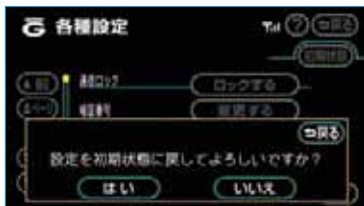
- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



設定を初期状態にもどす

すべての各種設定の内容を初期状態にもどすことができます。

- 1 各種設定画面で、**初期状態** にタッチします。
- 2 **はい** にタッチします。



通信ロック解除のための 暗証番号を設定する

暗証番号は、通信ロック (☎532) したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

- ・暗証番号は4桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- ・質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。(☎530)
質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。

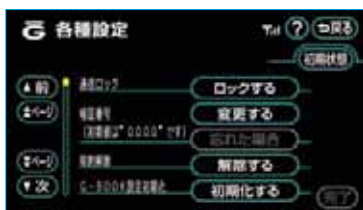
なお、暗証番号を変更するときも、同様の操作で行なうことができます。

注意

完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。

- ・エンジンスイッチを“LOCK”にする。
- ・エンジンをかけなおす。

- 1 各種設定画面で、暗証番号の**変更する**にタッチします。



- 2 現在の暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



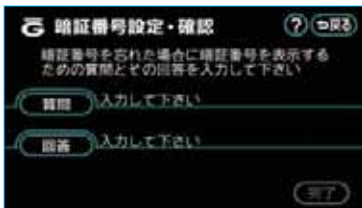
- ・はじめて設定するときには、ここで「0000」を入力します。
- ・変更するときには、設定してある暗証番号を入力します。
- ・間違えたときは、**修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。
- ・暗証番号を忘れたときは、「暗証番号を忘れた場合」(☎530)を参照して、暗証番号を確認してください。

- 3 新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了**にタッチします。



- 4 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了**にタッチします。

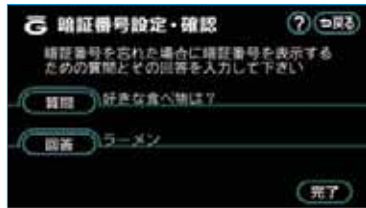
- 5 暗証番号設定・確認画面で、**質問**、**回答**にタッチして、それぞれ入力します。



- ・それぞれ全角で最大12文字まで入力することができます。
- ・質問、回答は、ソフトウェアキーボードで入力します。

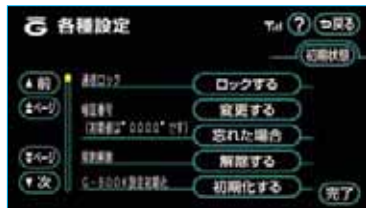


- 6 入力が終わったら、**完了**にタッチします。

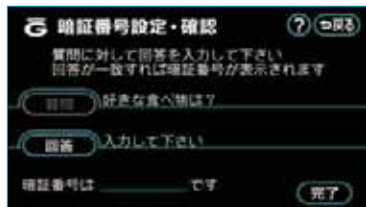


暗証番号を忘れた場合

- 1 各種設定画面で、暗証番号の**忘れた場合**にタッチします。



- 2 **回答**にタッチします。

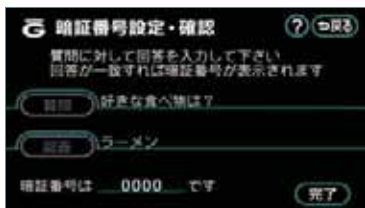


3 回答を入力します。



- ・回答はソフトウェアキーボードで入力します。

4 入力が終わったら、**完了**にタッチします。回答が一致すると、暗証番号が表示されます。



5 暗証番号を確認したら、**完了**にタッチします。

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。他人に車を貸す場合など、G-BOOKオンラインサービスを触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

○：利用できます

×：利用できません

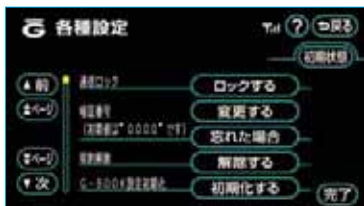
機 能		動 作
ヘルプネット		○
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	履歴トップ	×
	ブラウザ閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
Myリクエスト		×
オペレーターサービス		×
アミューズメント	G-ライブラリコピー	×
	G-SOUNDカタログ	×
	CDタイトル情報取得	×
AUTOLIVE	カラオケ	×
	BGM	×
G-BOOKとナビの 連携機能	渋滞予測	×
	Gルート探索	×
	Gメモリ地点	○（保存済データのみ）
	施設情報表示	×
	G情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）
Gで設定		×

知 識

通信ロックを使用するような場合は、ハンズフリーの発信制限も合わせてご利用ください。
(➡461)

ロックする

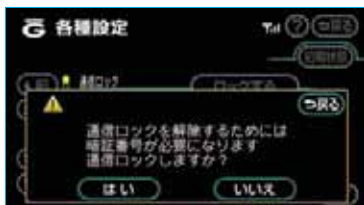
- 1 各種設定画面で、通信ロックの**ロックする**にタッチします。



知識

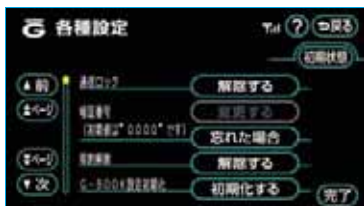
通信ロックを解除するときには、暗証番号が必要になります。暗証番号については、「通信ロック解除のための暗証番号を設定する」をご覧ください。(☎529)

- 2 **はい** にタッチします。



解除する

- 1 各種設定画面で、通信ロックの**解除する**にタッチします。



- 2 暗証番号を入力します。
 - ・暗証番号については、「通信ロック解除のための暗証番号を設定する」をご覧ください。(☎529)



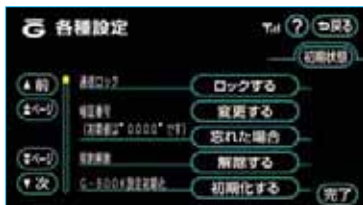
- 3 **完了** にタッチします。

G-BOOK設定を初期化する

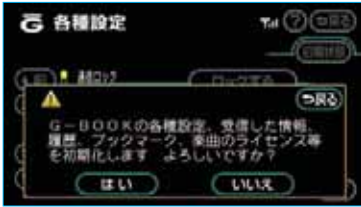
お客様の登録した通信設定情報や、お客様が通信を利用して取得したデータなどを初期化することができます。お車を手放すときや、中古で入手された場合に前のユーザのデータが残っていたときなど、車載機に保存されている通信関係のデータを消去したいときにご利用ください。

なお、Gメモリ地点については、この操作では消去できません。「メモリ地点の消去」をご覧ください。(☎131)

- 1 G-BOOK設定初期化の**初期化する**を、約10秒間タッチし続けます。



2 **はい** にタッチします。



■データ通信中の場合は

データ通信中に初期化の操作をする
と、メッセージが表示されます。

通信を終了するときは **はい**、終了し
ないときは **いいえ** にタッチします。

- ・ **いいえ** にタッチした場合は、デー
タ通信終了後、再度やり直します。

知識

ナビの地点情報、電話帳、録音済み音楽
などの個人情報の初期化については、「個
人情報を消去する」をご覧ください。(➡
31)

携帯電話の利用方式を設定 する

次のような場合は、必ず携帯電話の
利用方式の設定を確認してください。

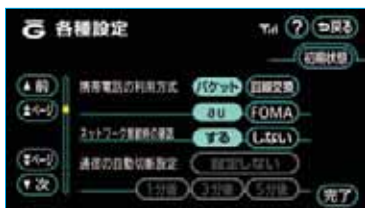
- ・ 携帯電話を初めて接続するとき
- ・ 携帯電話の機種を変更したとき
- ・ バッテリーとの接続が断たれたと
き

G-BOOKオンラインサービスを利用
する場合は、ご利用の携帯電話に合
わせたデータ通信の利用方式を選択
してください。

利用方式の選択が間違っていると、
G-BOOKオンラインサービスを利用
できません。

携帯電話が採用しているデータ通信
の方式については、携帯電話に添付
の取扱説明書などでご確認ください。

各種設定画面の携帯電話の利用方式の項目で、該当の項目にタッチします。



1 データ通信の利用方式を選択します。

パケット：auまたはFOMAのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合に選択します。

回線交換：上記以外の携帯電話をご利用の場合に選択します。

2 「パケット」を選択したときは、携帯電話の通信事業者を選択します。

au：auのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合に選択します。

FOMA：FOMAのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合に選択します。

※ auはKDDI株式会社の商標または登録商標です。

※ 「FOMA／フォーム」は株式会社NTTドコモの商標です。

知識

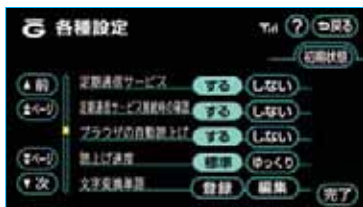
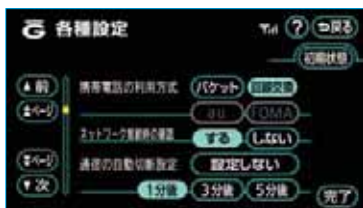
電話機選択 (☎464) で携帯電話を変更すると、ネットワーク接続時の確認および定期通信サービス接続時の確認の設定も「する」に変更されます。「しない」を選択していた場合は、設定しなおしてください。

各種条件を設定する

各種設定画面で、G-BOOKオンラインサービスを利用するときの各種条件を設定することができます。

各種条件は、初期状態のままで使用していただいてもかまいません。

初期状態で使いづらいときは、お好みに合わせて設定を変更してください。



■ ネットワーク接続時の確認

G-BOOKセンターへ接続するときに、確認のメッセージを表示するかしないかを選択できます。



する：メッセージを表示する

しない：メッセージを表示しない

知識

電話機選択 (☎464) で携帯電話を変更すると、ネットワーク接続時の確認の設定も「する」に変更されます。「しない」を選択していた場合は、設定しなおしてください。

■通信の自動切断設定

G-BOOKセンターへ接続中、操作しない時間が続いた場合に、データ通信を自動で切断するかしないかを選択できます。

また、自動で切断するときは、操作しない時間の長さを選択できます。この設定は、回線交換方式の携帯電話で接続するときのみ設定できます。

- ・パケット方式の携帯電話で接続するときは、携帯電話の機種によって設定が固定されます。

- 設定しない：自動で切断しない
- 1分後：1分後に自動で切断する
- 3分後：3分後に自動で切断する
- 5分後：5分後に自動で切断する

知識

通信の自動切断設定を「設定しない」に設定しても、操作しない時間が約7分続くと、G-BOOKセンター側からデータ通信を切断されることがあります。

■定期通信サービス

定期通信サービスを実行するかしないかを選択できます。

- する：定期通信サービスを実行する
- しない：定期通信サービスを実行しない

■定期通信サービス接続時の確認

G-BOOKセンターに接続する場合、次のようなときに確認のメッセージを表示するかしないかを選択できます。

- ・定期通信サービスに接続するとき
- ・JCT手前や高速道路に乗る手前などでのGルート探索情報の自動取得をするとき

- する：メッセージを表示する
- しない：メッセージを表示しない

知識

電話機選択 (☎464) で携帯電話を変更すると、定期通信サービス接続時の確認の設定も「する」に変更されます。「しない」を選択していた場合は、設定しなおしてください。

■ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをするかしないかを選択できます。

- する：自動で読み上げをする
- しない：自動で読み上げをしない
(手動操作時のみ読み上げをする)

■読上げ速度

ブラウザで読み上げをするときの速度を選択できます。

「標準」で聞き取りづらいときは、「ゆっくり」を選択してください。

- 標準：通常で速度で読み上げる
- ゆっくり：通常よりもゆっくりした速度で読み上げる



MEMO

Myリクエストについて

Myリクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。

- ・ G-BOOK ALPHAをWeb登録してご利用の方は、登録するメニューを変更したり、並べ替えることができます。
 - ・ G-BOOK ALPHAをWeb登録なしでご利用の方は、メニューが固定されます。
- 操作は、Myリクエスト画面をタッチする方法と、音声認識で行う方法があります。

Myリクエスト画面で操作する



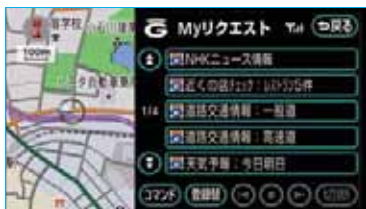
スイッチ	機能
1 コマンドスイッチ	表示中のコンテンツで使用できる、音声認識コマンドリスト画面を表示します。(☎545)
2 登録替スイッチ	G-BOOKセンターに接続し、Myリクエスト内のコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。 ・ G-BOOK ALPHAをWeb登録してご利用の方のみ使用できます。
3 切断スイッチ	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 ・ 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 知識 データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

Myリクエストを使う

- 1 ナビ画面で、**G** にタッチします。



- 2 Myリクエスト画面で、リクエストしたいコンテンツのスイッチにタッチします。



知識

走行中はリストを動かすことができません。2ページ目以降に登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、音声認識でリクエストしてください。(●545)

- 3 ナビ画面に切り替わり、データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。

通信中マーク



- ・ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

知識

- ・コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。
- ・リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。ただし、運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
- ・リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読み上げの設定(●536)に関係なく行われます。

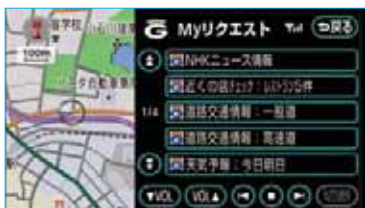
読み上げ中に操作する

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、次の手順でMyリクエスト画面を表示させて行います。

- 1 読み上げ中に **G** にタッチします。



- 2 読み上げ中のMyリクエスト画面が表示されます。



■スイッチの使い方




コンテンツの読み上げ中にMyリクエスト画面を表示させると、次の操作をすることができます。



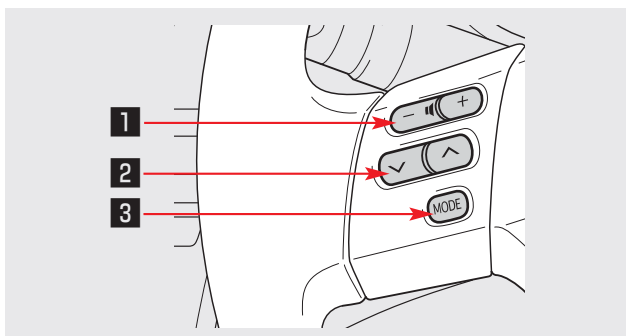
スイッチ	機能
1 音量調整スイッチ	<p>コンテンツの読み上げ音量が調整できます。</p> <p>▼VOLにタッチすると音量が小さくなり、VOL▲にタッチすると音量が大きくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを操作すると、画面上部に音量が表示されます。 ・音量調整は、オーディオおよびステアリングスイッチでも行うことができます。
2 前項目／次項目スイッチ	<p>読み上げの開始位置を変更できます。</p> <p>◀にタッチすると、読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめ、▶にタッチすると、次の項目の先頭から読み上げをはじめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、◀にタッチしてから約1秒以内に再度タッチしてください。
3 停止／再開スイッチ	<p>コンテンツの読み上げの停止と、ブラウザ画面で一時停止した読み上げの再開ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み上げ中は■が表示されます。■にタッチすると、コンテンツの読み上げを停止します。 ・ブラウザ画面で読み上げを一時停止したときは▶が表示されます。▶にタッチすると、読み上げていた項目の読み上げを再開します。 <p>知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。 ・なお、音声案内が終了すると読み上げが再開されます。 ・コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。

車載機のスイッチで操作する



スイッチ	機能
1 パワースイッチ/ 音量調整ツマミ	<p>コンテンツの読み上げ停止と、読み上げ音量の調整をすることができます。</p> <p>■パワースイッチ コンテンツの読み上げ中に押すと、読み上げを停止します。</p> <p>■音量調整ツマミ コンテンツの読み上げ中に、ツマミを右へまわすと読み上げ音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。</p> <ul style="list-style-type: none">・ツマミをまわすと、音量のレベルが画面上部に表示されます。
2 TRACK (トラック) スイッチ	<p>コンテンツの読み上げ中に、読み上げの開始位置を変更できます。</p> <p>スイッチの  側を押すと、読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめ、スイッチの  側を押すと、次の項目の先頭から読み上げをはじめます。</p> <ul style="list-style-type: none">・前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、スイッチの  側を押してから約1秒以内に再度押してください。

ステアリングスイッチで操作する



スイッチ	機能
1 音量調整スイッチ	読み上げ音量の調整をすることができます。 音量を ・大きくするときはスイッチの+側 ・小さくするときはスイッチの-側 を押します。
2 TRACK (トラック) スイッチ	コンテンツの読み上げ中に、読み上げの開始位置を変更できます。 スイッチの∨側を押すと、読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめ、スイッチの∧側を押すと、次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 ・前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、スイッチの∨側を押してから約1秒以内に再度押してください。
3 MODE (モード切り替え) スイッチ	コンテンツの読み上げの解除と、オーディオの電源をOFFにすることができます。 ・読み上げ中にスイッチを押すと、コンテンツの読み上げを解除することができます。 ・読み上げ中にスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けると、オーディオの電源をOFFにすることができます。

情報を見る

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます。

- 1 アイコンにタッチします。



知識

アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。

- 2 **情報** にタッチすると、ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。



知識

リクエストで地図上に表示されたアイコンは、次の手順で非表示にすることができます。詳しくは、「G情報マークを表示する」をご覧ください。(➡618)

現在地 を押し、**表示変更** → **周辺施設** → **G情報マーク表示** の順にタッチして、作動表示灯を消灯させます。

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておく、車載機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

- 1 Myリクエスト画面で、設定したいドライブプランにタッチします。



- 2 **はい** にタッチします。



- 3 ドライブプランがダウンロードされると、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始します。

知識

目的地が設定されているときにドライブプランをダウンロードすると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

音声認識でリクエストをする

音声認識でリクエストすると、登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。

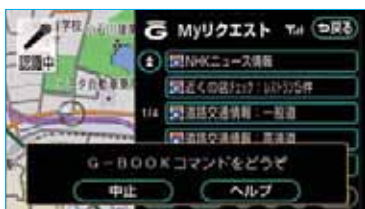
なお、音声認識については、「音声操作システム」をご覧ください。

(282)

- 1 音声操作で「**マイリクエスト**」と発声します。



- 2 音声操作で、リクエストしたいコンテンツの音声認識コマンドを発声します。



- 3 ナビ画面に切り替わり、データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。

通信中マーク



- ・ ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

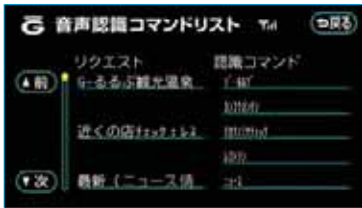
その他の操作については、Myリクエスト画面からタッチスイッチでリクエストした場合と同様です。

■ 音声認識でリクエストできないとき発声するコマンドの読みが間違っていることがあります。次の手順でコマンドを確認してください。

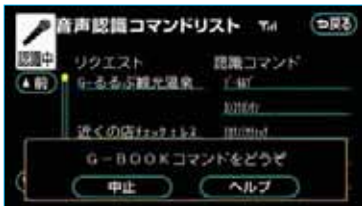
- 1 Myリクエスト画面で、**コマンド**にタッチします。



- 2 リクエストしたいコンテンツの認識コマンドを確認します。



- 3 音声操作で、認識コマンドに表示されているコマンドを発声します。



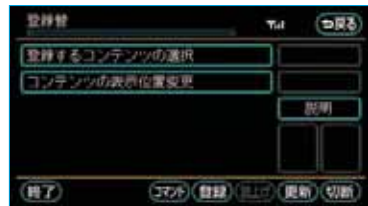
リクエストの登録をする

G-BOOK ALPHAをWeb登録してご利用の方のみ操作できます。

- 1 Myリクエスト画面で、**登録替**にタッチします。



- 2 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツの登録をします。



- ・ Myリクエストは、最大で20件まで登録できます。

※ オペレーターサービスは、有料オプションになります。

オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、オペレーターと直接通話して、ナビゲーションの目的地設定やG-BOOKのいろいろなコンテンツを利用できるサービスです。

車での利用は、ハンズフリーが利用可能な条件を満たしているときに可能です。(P420)

詳しいサービス内容については、パソコンのG-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) をご覧ください。

知識

- ・ 車載機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。
この場合は、GPS信号が受信できる場所に車を移動し、**現在地**を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- ・ ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
- ・ オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
- ・ マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。

オペレーターサービスを購入する

利用するには、まずコンテンツの購入手続きをします。

- 1 **情報・G**を押します。
- 2 情報画面で、**オペレーター**にタッチします。



※ 装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- ・ オペレーターサービスのタッチスイッチは、サービスの提供時期により、名称や表示される画面が変更されることがあります。
最新情報は、パソコンのG-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) をご覧ください。
- 3 画面の指示にしたがって、購入手続きをします。

オペレーターサービスを使う

ここでは、車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

- 1 情報画面で、**オペレーター**にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 2 オペレーターに電話をつなぎます。



- ・オペレーターサービスを中止するときは、**切断**にタッチします。

- 3 オペレーターが応答します。「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。



- 4 オペレーターとの通話が終了すると、自動的に回線が切断されます。



- 5 「目的地設定」、「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOKセンターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。画面にしたがって操作してください。



携帯電話・固定電話から利用 する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

知識

- ・ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- ・ご本人であることをオペレーターが確認させていただく場合があります。
- ・通話料はお客様のご負担になります。

1 オペレーターに電話をかけます。

オペレーターサービス専用電話番号
0561-74-7031
(365日 24時間対応)

2 利用したい内容をお伝えください。

- ・ドライブサポート
- ・トラブルサポート

3 車載機を使用して、手動で受信します。

- ・携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが車載機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。

表示されない場合は、手動で情報を取得してください。(☎549)

手動で情報を取得する

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

- 1 情報画面で、**情報確認** にタッチします。
- 2 メッセージが表示されたら、**はい** にタッチします。



■メッセージが表示されないときは

受信一覧 にタッチします。

- ・過去に依頼した情報が表示されません。

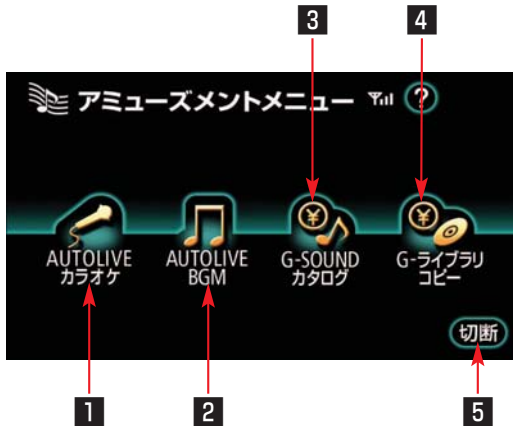


VII アミューズメント

アミューズメントメニュー画面の使い方

アミューズメントメニューは、G-BOOKオンラインサービスのアミューズメント系アプリケーションを起動するメニューです。

情報画面で、**アミューズメント** にタッチすると表示されます。



スイッチ	機能
1 AUTOLIVE カラオケ スイッチ	AUTOLIVE カラオケ画面 (☎572) を表示します。
2 AUTOLIVE BGM スイッチ	AUTOLIVE BGM画面 (☎591) を表示します。
3 G-SOUNDカタログ スイッチ	G-SOUNDカタログ画面 (☎560) を表示します。
4 G-ライブラリコピー スイッチ	G-ライブラリディスクが車載機に挿入されているときに、G-ライブラリコピー画面 (☎552) を表示します。
5 切断スイッチ	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 ・切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 知識 データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

VII アミューズメント

G-ライブラリコピー

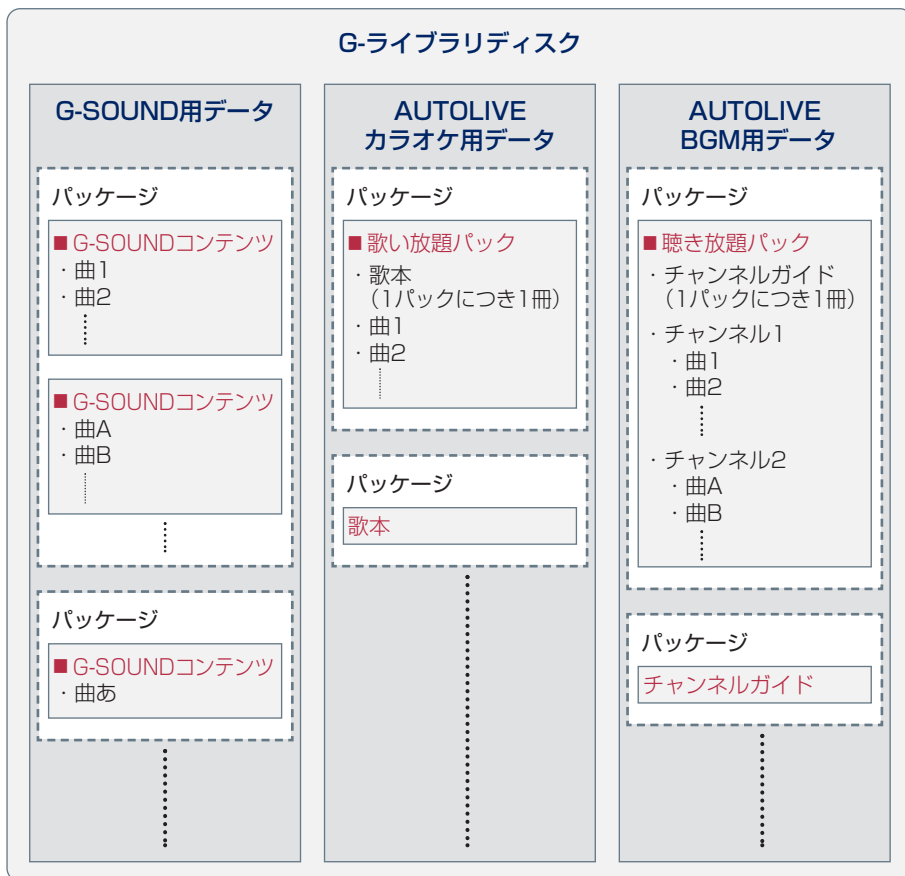
G-ライブラリコピーについて

G-ライブラリディスクに収録されているコンテンツを、G-ライブラリコピーを利用して、車載機のハードディスクにコピーすることができます。

G-ライブラリディスクには、G-SOUND、AUTOLIVE カラオケ、AUTOLIVE BGMの各データが下図のように収録されています。

コピーをするときは、パッケージ単位でコピーされます。

■G-ライブラリディスクに含まれる内容



知識

車載機の時刻データが更新されていないと、コピーできないことがあります。この場合は、GPS信号が受信できる場所に車を移動し、**現在地**を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

G-ライブラリコピー画面の使い方

次のいずれかの操作をすると、G-ライブラリコピー画面が表示されます。

- ・ G-ライブラリディスクを車載機に挿入する。
この場合、G-ライブラリディスクを挿入してからG-ライブラリコピー画面が表示されるまでは、少し時間がかかります。
- ・ G-ライブラリディスクが車載機に挿入されているときに、アミューズメントメニュー画面で **G-ライブラリコピー** にタッチする。



スイッチ	機能
1 G-SOUNDスイッチ	G-ライブラリディスクに収録されているG-SOUNDコンテンツを、車載機のハードディスクに保存します。
2 AUTOLIVE カラオケスイッチ	G-ライブラリディスクに収録されているAUTOLIVE カラオケ歌い放題パックや歌本を、車載機のハードディスクに保存します。
3 AUTOLIVE BGMスイッチ	G-ライブラリディスクに収録されているAUTOLIVE BGM聴き放題パックやチャンネルガイドを、車載機のハードディスクに保存します。

コンテンツをコピーする

G-ライブラリディスクの内容を車載機のハードディスクにコピーします。G-SOUND、AUTOLIVE カラオケ、AUTOLIVE BGMのいずれの場合も、同様の操作でコピーすることができます。

ここでは、G-SOUNDコンテンツのコピーの場合で説明します。

- 1 G-ライブラリディスクが、車載機に挿入されていることを確認します。
- 2 G-ライブラリコピー画面で、**G-SOUND**にタッチします。



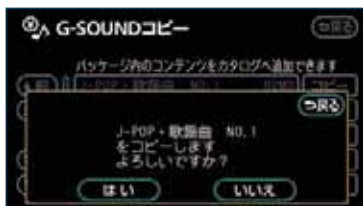
- 3 G-SOUNDコピー画面で、コピーしたいパッケージ名の右側にある**コピー**にタッチします。



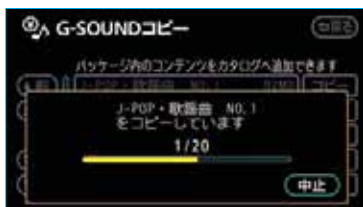
知識

G-ライブラリディスクの挿入後、G-ライブラリコピー画面からG-SOUNDコピー画面を表示するときは、しばらく時間がかかることがあります。

- 4 メッセージが表示されたら**はい**にタッチすると、コピーを開始します。

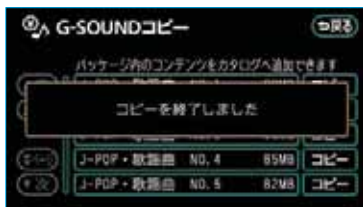


- 5 コピー中は進行状況が表示されます。



- ・コピーを中止したいときは、**中止**にタッチします。

- 6 コピーが完了すると、コピー終了のメッセージが表示されます。



※表示されている名称は一例です。

知識

- ・通信ロック中はコピーすることができません。通信ロックを解除してから操作してください。
- ・次のような場合は、車載機にコンテンツをコピーすることができません。
 - ・ハードディスクの空き容量が不足しているとき
 - ・コンテンツの最大保存数が超過するとき

ハードディスクの空き容量が不足しているときは、不要なG-SOUNDコンテンツやCDから録音した曲で不要な曲を、ハードディスクから削除する必要があります。

コンテンツの最大保存数が超過するときは、不要なG-SOUNDコンテンツをハードディスクから削除する必要があります。

不要なG-SOUNDコンテンツについては、「コンテンツを削除する」(●555)をご覧ください。また、CDから録音した曲で不要な曲については、「プレイリストを消去する」(●259)または「曲(トラック)を消去する」(●266)をご覧ください。

- ・コンテンツによっては、コピーするのに非常に時間がかかる場合があります。(10MBコピーするのに、約1分かかります。)
- ・コピー中に他の画面に切り替えても、コピーは継続されます。この場合、再度G-ライブラリコピー画面に切り替えれば、コピーの進行状況が確認できます。なお、コピーが終了していれば、進行状況の表示は消えています。
- ・コピー中はG-ライブラリディスクを取り出さないでください。コピーが中止されます。
- ・コピー中にエンジン スイッチを“LOCK”にすると、コピーが中止されます。この場合、次にエンジン スイッチを“ACC”または“ON”にしたときにG-ライブラリディスクが挿入されていれば、自動的にコピーを再開します。

ただし、その他の原因によりコピーが中止された場合は、自動的にコピーを再開することができません。この場合は、最初からコピー操作をやり直してください。

- ・G-SOUNDコンテンツをコピーする場合、コピーを中止しても、既にコピーが終了したコンテンツはG-SOUNDカタログ画面に表示されます。

ディスクの収録内容を確認する

G-ライブラリディスクからコピーする前に、コンテンツの詳細情報を確認することができます。

ここでは、G-SOUNDコンテンツの場合で説明します。

- 1 G-SOUNDコピー画面で、確認したいパッケージ名にタッチします。



- 2 収録されているコンテンツが一覧表示されます。



※実際の画面には、コンテンツ名が表示されます。

- ・G-SOUNDコンテンツの場合、各コンテンツの収録曲を確認したいときは、確認したいコンテンツ名にタッチします。(AUTOLIVEの各パックには、この機能はありません。)

コンテンツを削除する

次のような場合は、不要なコンテンツを削除してください。

- ・ハードディスクの空き容量が不足しているとき
- ・コンテンツの最大保存数が超過するとき



注意

すべてのG-SOUNDコンテンツを削除すると、コンテンツ内の曲はすべて利用できなくなります。

すべての歌い放題パックを削除すると、パック内の曲と歌本はすべて利用できなくなります。

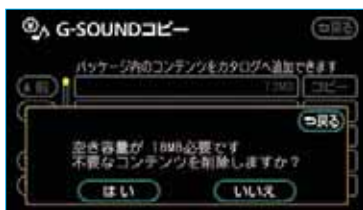
すべての聴き放題パックを削除すると、パック内の曲とチャンネルガイドはすべて利用できなくなります。

また、削除したデータは復元できません。

ハードディスクの空き容量が不足しているとき

ハードディスクの空き容量が不足しているときは、次の手順で不要なコンテンツを削除して、ハードディスクの空き容量を増やします。ここでは、G-SOUNDコンテンツを削除する場合で説明します。

- 1 メッセージが表示された画面で、**はい**にタッチします。



- 2 コンテンツ削除画面で、削除したいコンテンツのある名称にタッチします。



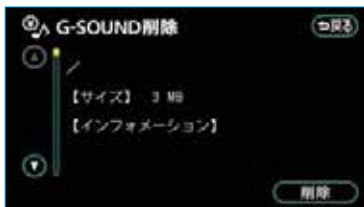
- 3 G-SOUND削除画面で、削除したいコンテンツ名にタッチします。



※実際の画面にはインストール済みのコンテンツ名が表示されます。

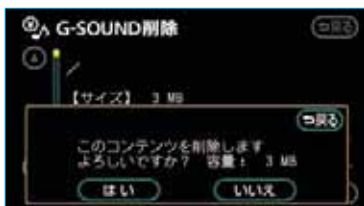
- ・すべてのコンテンツを削除したいときは、**全削除**にタッチします。
- ・G-SOUNDコンテンツを削除する場合は、**検索条件**にタッチしてコンテンツを絞り込んでから**全削除**にタッチすると、検索されたコンテンツをすべて削除することができます。複数のコンテンツを一度に削除する場合に使用すると便利です。

- 4 コンテンツを個別に削除する場合は、コンテンツの詳細内容が表示されます。
削除してもよければ、**削除** にタッチします。

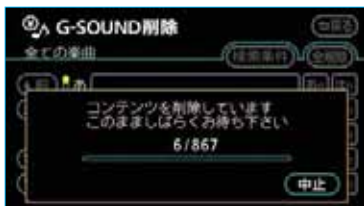


※実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

- 5 **はい** にタッチします。



- 6 **全削除** を選択した場合、途中で削除を中止したいときは、**中止** にタッチします。



⚠ 注意

- ・全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了したコンテンツをもとにもどすことはできません。
- ・AUTOLIVE カラオケの歌い放題パックを削除すると、歌い放題パックに含まれるパック用歌本も削除されます。
- ・AUTOLIVE BGMの聴き放題パックを削除すると、聴き放題パックに含まれるパック用チャンネルガイドも削除されます。

知識

ライセンス購入済みのコンテンツは、削除画面のリストに表示されません。

削除する場合は、サウンドライブラリで該当するG-SOUNDコンテンツのプレイリストを削除してから操作してください。

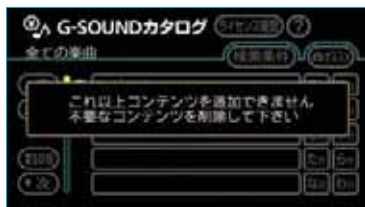
コンテンツの最大保存数が 超過するとき

コンテンツの最大保存数が超過するときは、次の手順で不要なコンテンツを削除します。

各コンテンツの最大保存数は次のとおりです。

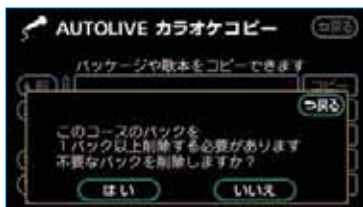
G-SOUND	・ 1500コンテンツ ・ 4000曲
AUTOLIVE カラオケ	・ コース毎に4パック ・ 歌本200冊
AUTOLIVE BGM	・ コース毎に4パック ・ チャンネルガイド 200冊

■G-SOUNDコンテンツを削除する
「G-SOUNDコンテンツを削除する」
をご覧ください。(☎565)



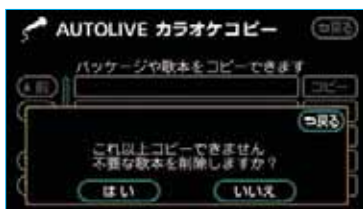
■AUTOLIVE カラオケの歌い放題
パック/AUTOLIVE BGMの聴き
放題パックを削除する

メッセージが表示された画面で **はい** にタッチすると、AUTOLIVE カラオケ削除画面またはAUTOLIVE BGM削除画面が表示されます。



以降は「ハードディスクの空き容量が不足しているとき」(☎555)の3～6と同様の操作で、パックを削除してください。

■歌本/チャンネルガイドを削除する
メッセージが表示された画面で **はい** にタッチすると、歌本削除画面またはチャンネルガイド削除画面が表示されます。



以降は「ハードディスクの空き容量が不足しているとき」(☎555)の3～6と同様の操作で、歌本またはチャンネルガイドを削除してください。

※実際の画面にはインストール済みのコンテンツ名が表示されます。

VII アミューズメント

G-SOUNDカタログ

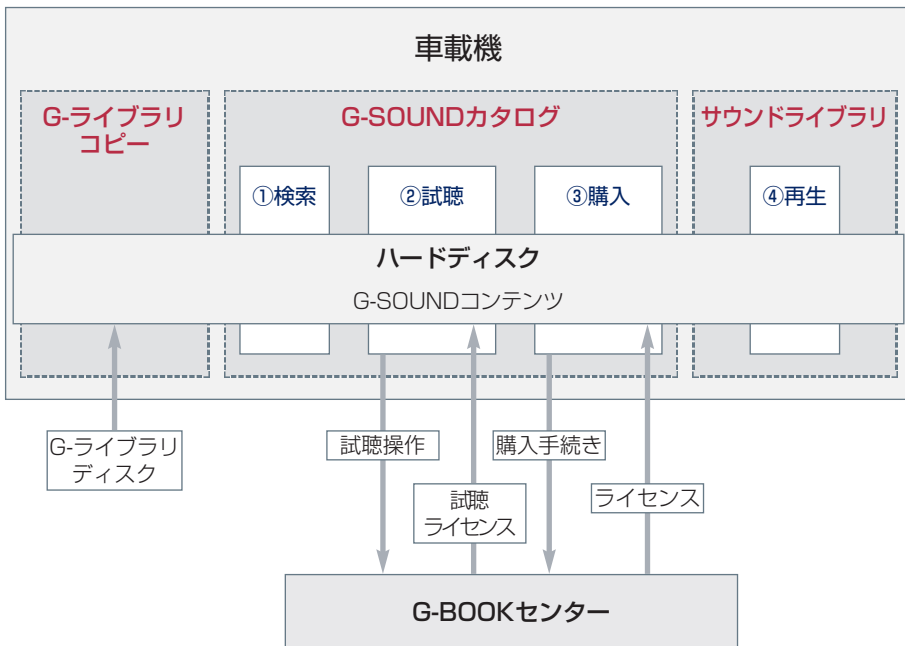
G-SOUNDについて

G-SOUNDは、車載機のハードディスクに保存されている曲（G-SOUNDコンテンツ）を、G-BOOKセンターからライセンスを購入することにより、再生するサービスです。

次のようにして利用します。

- ① G-SOUNDカタログで、希望のコンテンツを検索します。
- ② G-SOUNDカタログで、コンテンツを試聴します。（試聴は省略してもかまいません。）
- ③ G-SOUNDカタログで、ライセンスを購入します。
- ④ サウンドライブラリで、コンテンツを再生します。

なお、G-ライブラリディスクを入手された場合は、G-ライブラリコピーを利用して車載機のハードディスクにコピーすることで、同様に再生することができます。



G-SOUNDカタログについて

G-SOUNDカタログを利用して、車載機のハードディスク内に保存されているG-SOUNDコンテンツを、試聴・購入することができます。

カタログ機能として、いろいろな検索条件を設定することで、保存されているすべてのG-SOUNDコンテンツの中から聴きたいコンテンツを絞り込むこともできます。

また、G-BOOKセンターが提供するオススメコンテンツも、G-SOUNDカタログを使って購入して、サウンドライブラリで再生することができます。

■G-SOUNDコンテンツについて

G-SOUNDコンテンツは、G-BOOKオンラインサービスが提供する音楽コンテンツです。

1つのコンテンツには1曲または複数の曲が収録されています。

G-SOUNDコンテンツは、車載機のハードディスクにプリインストールされているものもありますが、次の方法で入手することもできます。

- ・G-ライブラリディスクを入手して、ハードディスクにコピーする。

知識

G-SOUNDコンテンツは、G-BOOKオンラインサービスの利用登録の解除をすると利用できなくなります。

■ライセンスについて

G-SOUNDコンテンツの曲を再生するときは、そのコンテンツのライセンスを購入する必要があります。

- ・ライセンスに有効期限が設定されている場合は、有効期限までその楽曲を再生することができます。

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で複製、頒布すること、または改変、インターネットなどによる公衆送信などの行為を行うことは、法律により禁止されています。

G-SOUNDカタログ画面の使い方

次のいずれかの操作をすると、G-SOUNDカタログ画面が表示されます。

- ・サウンドライブラリ操作画面（➡250）で、**G-SOUND**にタッチする。
- ・アミューズメントメニュー画面で、**G-SOUNDカタログ**にタッチする。



※実際の画面には、コンテンツ名が表示されます。

スイッチ	機能
1 ライセンス確認スイッチ	ライセンス確認画面（➡565）が表示されます。 購入済みライセンス・期限切れライセンスの確認、およびG-SOUNDコンテンツの削除をします。 期限切れのライセンスは再購入することもできます。
2 検索条件スイッチ	ハードディスク内のG-SOUNDコンテンツの中から、検索条件を変更して希望のコンテンツを検索します。
3 Gオススメスイッチ	次の2つのサービスが利用できます。 ・G-BOOKセンターがオススメする検索条件の取得 ・G-BOOKセンターからG-SOUNDコンテンツの取得とライセンスの購入

希望のコンテンツを検索する

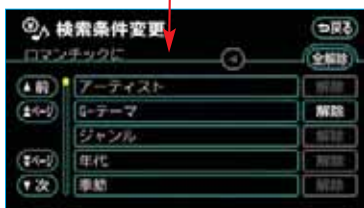
ハードディスクに保存されているG-SOUNDコンテンツの中から、いろいろな検索条件を設定して希望のコンテンツを検索することができます。

- 1 G-SOUNDカタログ画面*で、**検索条件**にタッチします。



- 2 検索条件変更画面で、検索条件に加えたい項目にタッチします。

検索条件表示欄



- ・ 検索項目の右側にある**解除**にタッチすると、その項目で設定した検索条件を解除します。
- ・ **全解除**にタッチすると、すべての検索条件を解除します。

- 3 詳細な検索項目が表示されます。検索条件に設定したい詳細項目にタッチします。



- 4 検索結果が反映されたG-SOUNDカタログ画面*が表示されます。



知識

設定した検索条件は検索条件表示欄に表示されます。◀ または ▶ にタッチしてスクロールさせると、設定した検索条件をすべて確認することができます。

*実際の画面には、コンテンツ名が表示されます。

コンテンツを試聴する

コンテンツの検索ができれば、G-SOUNDカタログ画面から聴きたいコンテンツを選択して、ライセンスの購入前に試聴することができます。

コンテンツの試聴をするには、「試聴ライセンス」が必要です。

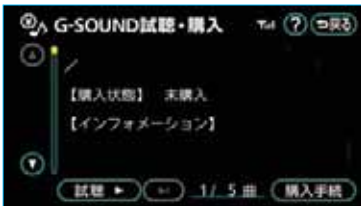
試聴ライセンスには、試聴期限または試聴回数が設定されており、それらを超えたコンテンツは試聴することができません。

- 1 G-SOUNDカタログ画面で、聴きたいコンテンツにタッチします。



※実際の画面には、コンテンツ名が表示されます。

- 2 G-SOUND試聴・購入画面*で、**試聴▶**にタッチします。

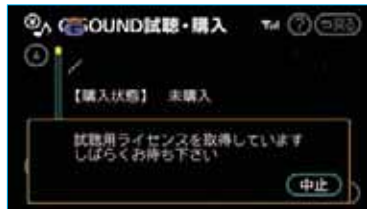


- ・試聴はシングル3回、アルバム3回まで可能です。

知識

- ・1回の試聴時間は、1曲あたり約40秒です。
- ・アルバムの試聴は、アルバム単位での試聴になります。
- ・**試聴▶**にタッチしたら、その時点で試聴回数は1回と計算されます。

- 3 試聴ライセンスを取得していない場合は、試聴ライセンスの取得を開始します。



- ・取得を中止したいときは、**中止**にタッチします。

知識

試聴ライセンスを取得中に他の画面に切り替えると、取得が中止されます。

- 4 試聴再生を開始します。



- ・**試聴■**にタッチすると、試聴再生中の曲を停止します。
- ・**▶**にタッチすると、次の曲を試聴再生します。
- ・**オーディオ**を押すと、サウンドライブラリ操作画面が表示できます。

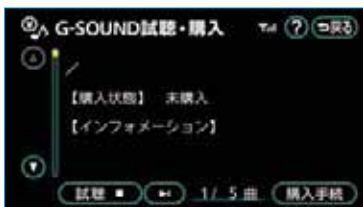
*実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

ライセンスの購入手続きをする

試聴してみて、継続して聴きたいコンテンツの場合は、ライセンスを購入します。

- ・ライセンスは最大1000個まで購入することができます。

- 1 G-SOUND試聴・購入画面で、**購入手続**にタッチします。



※実際の画面には、歌手名・曲名などが表示されます。

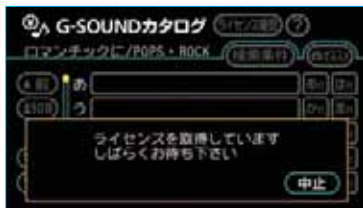
- 2 G-BOOKセンターに接続します。画面の指示にしたがって操作してください。



知識

購入金額は、G-SOUNDコンテンツ、ライセンス利用期限により異なります。

- 3 ライセンスの取得を開始します。



- ・取得を中止したいときは、**中止**にタッチします。

- 4 ライセンス取得が完了すると、メッセージが表示されます。**はい**にタッチすると、再生を開始します。



- ・**オーディオ**を押すと、サウンドライブラリ操作画面が表示できます。

知識

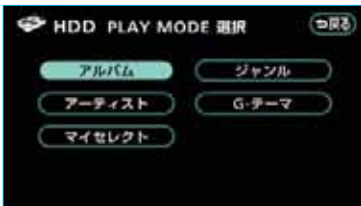
- ・ライセンス取得に失敗した場合は、再度手続きを行ってください。
- ・ライセンスの取得を中断したときは、次のG-SOUNDカタログ起動時に購入手続きの再開確認メッセージが表示されます。**はい**にタッチすると、購入手続きを再開します。

G-SOUNDコンテンツを再生する

ライセンスを購入したG-SOUNDコンテンツは、サウンドライブラリ(250)の各プレイモードで再生することができます。

G-SOUNDコンテンツの操作方法は、次の「サウンドライブラリで録音した曲との相違点」を除いては、サウンドライブラリで録音した曲と同様です。

再生できるG-SOUNDコンテンツがあると、サウンドライブラリのプレイモード選択画面の**G-テーマ**が使用できるようになります。



サウンドライブラリで録音した曲との相違点

G-SOUNDコンテンツは、次の点がサウンドライブラリで録音した曲と異なります。

- ・曲調に合わせたテーマやシチュエーションがあらかじめ設定されており、これを「G-テーマ」と呼びます。プレイモードで「G-テーマ」を選択すると、テーマ毎に再生することができます。
- ・次の機能はありません。
 - ・曲情報（トラック、トラック読み、アーティスト、アーティスト読み、ジャンル）の編集
 - ・タイトル情報の取得
- ・G-SOUNDコンテンツのプレイリストを削除する場合は、ライセンスのみ削除され、コンテンツ自体はハードディスクから削除されません。
- ・曲（トラック）単位で削除することができません。削除する場合は、コンテンツ単位での削除になります。

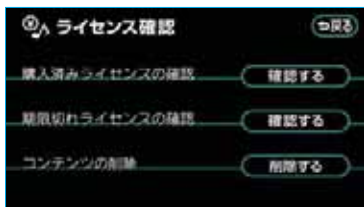
ライセンスを確認する

購入済みライセンスおよび期限切れライセンスの詳細を確認することができます。

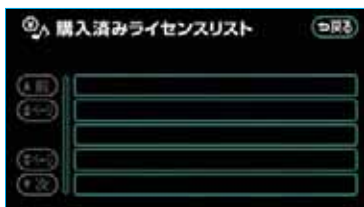
- 1 G-SOUNDカタログ画面*で、**ライセンス確認**にタッチします。



- 2 ライセンス確認画面で、購入済みライセンスの確認または期限切れライセンスの確認の右側にある**確認する**にタッチします。



- 3 詳細を確認したいライセンス名にタッチします。



- ・ライセンスが期限切れのコンテンツの試聴・購入がしたいときは、「コンテンツを試聴する」(☞562) または「ライセンスの購入手続きをする」(☞563) をご覧ください。

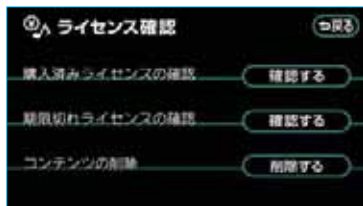
G-SOUNDコンテンツを削除する

不要となったG-SOUNDコンテンツは、次の手順で削除することができます。

注意

すべてのG-SOUNDコンテンツを削除すると、コンテンツ内の曲はすべて利用できなくなります。

- 1 ライセンス確認画面で、コンテンツの削除の右側にある**削除する**にタッチします。



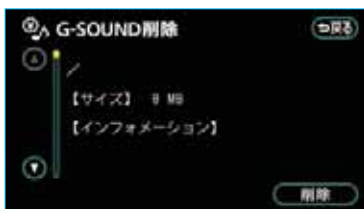
- 2 G-SOUND削除画面*で、削除したいコンテンツ名にタッチします。



*実際の画面には、コンテンツ名が表示されます。

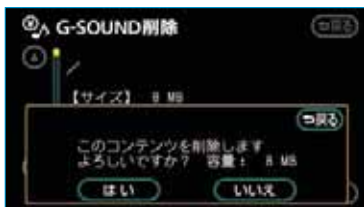
- すべてのコンテンツを削除したいときは、**全削除**にタッチします。
- 検索条件**にタッチしてコンテンツを絞り込んでから**全削除**にタッチすると、検索されたコンテンツをすべて削除することができます。複数のコンテンツを一度に削除する場合に使用すると便利です。

3 コンテンツを個別に削除する場合は、コンテンツの詳細内容が表示されます。削除してもよければ、**削除**にタッチします。

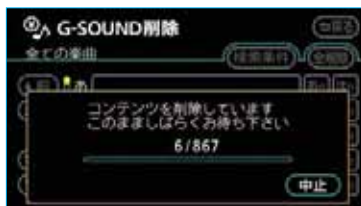


※実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

4 **はい**にタッチします。



5 **全削除**を選択した場合、途中で削除を中止したいときは、**中止**にタッチします。



⚠ 注意

全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了したコンテンツをもともどすことはできません。

知識

ライセンス購入済みのコンテンツは、削除画面のリストに表示されません。削除する場合は、サウンドライブラリで該当するG-SOUNDコンテンツのプレイリストを削除してから操作してください。

Ⅶ アミューズメント

CDタイトル情報取得

サウンドライブラリでは、音楽CDから内蔵のハードディスクへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているデータベースから取得することができます。

ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-BOOKオンラインサービスを利用すると、最新のCDタイトル情報をG-BOOKセンター経由でGracenote メディアデータベースから取得することができます。

知識

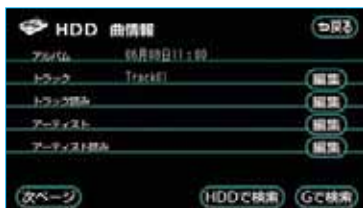
サウンドライブラリの詳しい説明については、「サウンドライブラリ」をご覧ください。(➡242)

タイトル情報を取得する

- 1 サウンドライブラリのプレイリスト画面、またはトラックリスト画面で、**曲情報**にタッチします。



- 2 **Gで検索**にタッチします。



- 3 表示された画面の指示にしたがって、ご希望のタイトルを選択・登録してください。

知識

- ・該当するCDタイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとに曲情報画面にもどります。
- ・ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CDタイトル情報の取得を中止します。

VIII AUTOLIVE

AUTOLIVEについて

AUTOLIVEは、通信またはG-ライブライディスクにより各種データを取得して、カラオケやBGMを楽しむことができるサービスです。

このサービスは、別途コンテンツプロバイダーとの契約が必要です。

■AUTOLIVE カラオケ (☎572)

AUTOLIVE カラオケは、G-BOOKオンラインサービス専用のカラオケです。

再生中には、曲に合わせて歌詞が表示されます。(停車中のみ)

利用方法は次の2種類です。

歌い放題コース	車載機のハードディスクにあらかじめ保存されている5000曲のカラオケを月額固定料金で自由に利用できます。
ダウンロードコース	チケットを購入し、一曲毎にダウンロードしていくサービスです。 (ハードディスクにあらかじめ保存されている以外の曲目については、 Gで選曲 にタッチし、最新のリストをご確認ください。)

■AUTOLIVE BGM (☎591)

AUTOLIVE BGMは、G-BOOKオンラインサービス専用のBGM集です。

AUTOLIVE BGMは「チャンネル」単位でまとめられており、1つのチャンネルには1曲もしくは複数の曲が含まれています。

利用方法は次の2種類です。利用頻度により使い分けることができます。

聴き放題コース	車載機のハードディスクにあらかじめ保存されているチャンネル単位にまとめられた169チャンネル(800曲)のBGMを月額固定料金で自由に聴くことができます。
ダウンロードコース	チケットを購入し、チャンネル毎にオンラインでダウンロードしていくサービスです。 (ハードディスクにあらかじめ保存されている以外のチャンネルについては、 Gで選択 にタッチし、最新のリストをご確認ください。)

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で複製、頒布すること、または改変、インターネットなどによる公衆送信などの行為を行うことは、法律により禁止されています。

知識

- ・通信でデータを取得しているときに他のオーディオに切り替えると、取得中の内容は破棄されます。
- ・ハンズフリーで通話中は、AUTOLIVEを使用することができません。通話を終了してからご利用ください。
- ・AUTOLIVE カラオケの再生中は、車載機の画面に歌詞が表示されます。ただし、走行中には表示されません。

音量・音質の調整について

AUTOLIVEの音量・音質の調整方法は、オーディオと同様です。

(☎182、183)

なお、サウンド調整画面・ASL調整画面での調整は、次の手順で操作画面を表示させて行ってください。

- 1 AUTOLIVEの再生中に、**オーディオ**を押します。



- 2 操作画面が表示されます。
この画面から、各調整を行います。



- 3 調整が終わったら、**映像** にタッチすると、再生中のAUTOLIVE画面が表示されます。

AUTOLIVEの操作手順

AUTOLIVE カラオケ

- 1 コースを選択します。
「コースを選択する」
➡577
- 2 利用契約をします。
「利用契約をする」
➡578
- 3 選曲をします。
・ 次のいずれかの方法で選曲します。
「歌本から選曲する」 ➡579
「Gで選曲する」 ➡582
「曲番号で選曲する」 ➡582
「購入済曲から選曲する」 ➡583
「音声認識で選曲する」 ➡584
- 4 予約をします。
・ 希望の曲を予約リストに追加します。
「曲予約画面から予約する」 ➡586
・ 再生の順番は変更できます。
「予約曲を並べ替える」 ➡587
「予約を取り消す」 ➡588
- 5 再生します。
・ 再生スイッチの操作で、予約リストの順に再生します。
「AUTOLIVE カラオケ画面の使い方」
➡572

1,2が済んでいるとき

AUTOLIVE BGM

- 1 コースを選択します。
「コースを選択する」
➡596
- 2 利用契約をします。
「利用契約をする」
➡597
- 3 チャンネルを選択します。
・ 次のいずれかの方法でチャンネルを選択します。
「チャンネルガイドから選択する」
➡598
「Gで選択する」 ➡599
「購入済チャンネルから選択する」
➡600
- 4 チャンネルリストに追加します。
・ 希望のチャンネルをチャンネルリストに追加します。
「チャンネルを追加する」 ➡601
・ 再生の順番は変更できます。
「チャンネルを並べ替える」 ➡602
「チャンネルを取り消す」 ➡603
- 5 再生します。
・ チャンネルリストの順に再生します。
「AUTOLIVE BGM画面の使い方」
➡591

1,2が済んでいるとき

知識

コース選択（1）後、歌本／チャンネルガイドの設定をすると、利用契約（2）をする前に、選択したコースの曲タイトルを確認することができます。

歌本・チャンネルガイドについて

本機のハードディスクには、歌本およびチャンネルガイドがあらかじめインストールされています。

他の歌本やチャンネルガイドなどを使用する場合は、G-ライブラリコピーを使用して、G-ライブラリディスクから車載機のハードディスクにデータをコピーしてください。(●553)

チケットについて

G-BOOKセンターから曲データを取得するコース（ダウンロードコース）をご利用の際は、曲データを取得するときにチケットが必要になります。あらかじめチケットを購入してからご利用ください。

チケットの要／不要については、曲予約画面またはチャンネル追加画面のチケットの欄に表示されます。「必要」と表示されていた場合は、曲データを取得するタイミングでチケットが消費されます。

なお、チケットの購入および残り枚数の確認は、選曲メニューまたはチャンネル追加メニューの**利用手続**から行うことができます。

歌い放題パック・聴き放題パックについて

AUTOLIVEを利用するときは、まず最初にコースを選択します。

その際、歌い放題または聴き放題のコースを選択すると、本機のハードディスクにあらかじめインストールされている歌い放題パックまたは聴き放題パックに収録されている曲が、歌い放題または聴き放題の対象になります。







AUTOLIVE カラオケ画面の使い方

アミューズメントメニュー画面で、**AUTOLIVE カラオケ** にタッチすると表示されます。

・走行中は、歌詞の表示はされません。



スイッチ	機能
1 曲を選ぶスイッチ	選曲メニュー画面 (➡576) を表示します。
2 予約リストスイッチ	予約リスト画面 (➡587) を表示します。
3 曲データ削除スイッチ	購入済曲や歌い放題パックを削除します。(➡589)
4 KEY (キー) スイッチ	再生中の曲のキーを変更します。 キーを上げるときは KEY▲ 、キーを下げるときは ▼KEY にタッチします。 ・変更したキーのレベルはスイッチの上に表示されます。 ・キーを変更した曲の再生が終了すると、キーは“0”にもどります。
5 RPT (リピート) スイッチ	再生中の曲を繰り返し再生します。 いったんスイッチにタッチすると、スイッチの作動表示灯が点灯し、解除するまで何度でも同じ曲を繰り返し再生します。 ・もう一度スイッチにタッチすると解除され、スイッチの作動表示灯が消灯します。

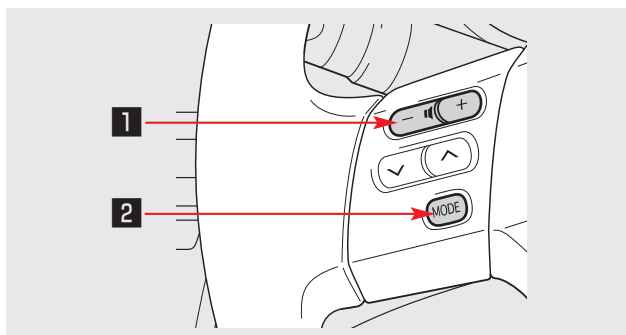
スイッチ	機能
6 再生／停止スイッチ	<p>予約リストに追加された曲の再生と停止ができます。 予約リストに追加後、にタッチすると再生を開始します。</p> <p>再生は予約リストの順に再生されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・停止中はが表示されます。にタッチすると、曲の先頭から再生を開始します。・再生中はが表示されます。にタッチすると、曲の再生を停止します。・曲データの取得中ににタッチすると、データ通信を中止します。
7 次の曲スイッチ	<p>予約リストの順で、次の曲を再生します。</p> <ul style="list-style-type: none">・停止中またはリピート再生中にスイッチにタッチしても、次の曲を再生します。
8 切断スイッチ	<p>G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。</p> <ul style="list-style-type: none">・切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 <p>知識</p> <p>データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。</p>

車載機のスイッチで操作する



スイッチ	機能
1 パワースイッチ／音量調整ツマミ	<p>曲の再生・停止と音量調整ができます。</p> <p>■パワースイッチ 再生中に押すと、曲の再生を停止します。 再度押すと、再生途中の曲の先頭から再生を開始します。</p> <p>■音量調整ツマミ ツマミを右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。 ・ツマミをまわすと、音量のレベルが画面上部に表示されま す。</p>

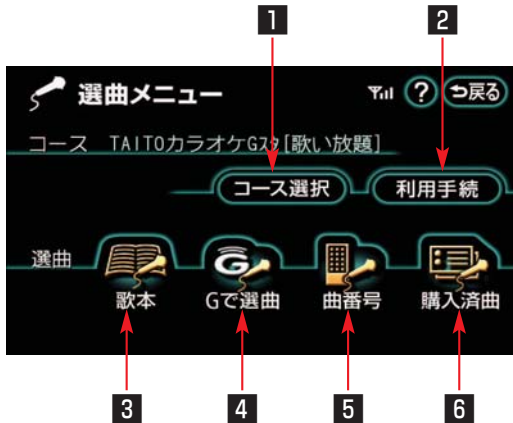
ステアリングスイッチで操作する



スイッチ	機能
1 音量調整スイッチ	音量の調整をすることができます。 <ul style="list-style-type: none">・ 音量を大きくするときはスイッチの+側、小さくするときはスイッチの-側を押します。・ スイッチを押してすぐ（約1秒未満）に手を離すと、音量を1ステップずつ調整できます。・ スイッチを約1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。
2 MODE（モード切り替え）スイッチ	AUTOLIVE カラオケの解除と、オーディオの電源をOFFにすることができます。 <ul style="list-style-type: none">・ スイッチを押すと、AUTOLIVE カラオケを解除することができます。・ スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けると、オーディオの電源をOFFにすることができます。

選曲メニュー画面の使い方

AUTOLIVE カラオケ画面で、**曲を選ぶ** にタッチすると表示されます。



スイッチ	機能
1 コース選択スイッチ	コース選択画面 (☎577) を表示します。
2 利用手続スイッチ	コンテンツプロバイダーと利用契約を行います。(☎578) また、契約状況の確認や残りチケット数の確認をすることができます。
3 歌本スイッチ	設定した歌本から選曲します。(☎579)
4 Gで選曲スイッチ	G-BOOK.com内コンテンツから選曲します。(☎582) ・歌い放題コースを選択している場合は、利用できません。
5 曲番号スイッチ	曲番号を入力して選曲します。(☎582)
6 購入済曲スイッチ	購入済曲の中から選曲します。(☎583) ・歌い放題コースを選択している場合は、利用できません。

VIII AUTOLIVE

AUTOLIVE カラオケの準備をする

コースを選択する

AUTOLIVE カラオケを利用するには、まずコースを選択します。

・曲の再生中はコース選択ができません。曲を停止してから行ってください。

- 1 情報画面で、**アミューズメント**にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 2 アミューズメントメニュー画面で、**AUTOLIVE カラオケ**にタッチします。



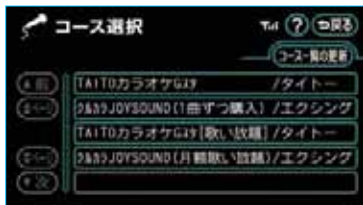
- 3 AUTOLIVEカラオケ画面で、**曲を選ぶ**にタッチします。



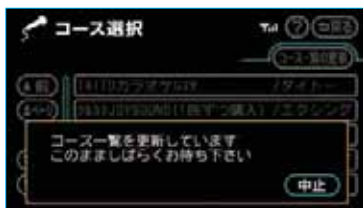
- 4 選曲メニュー画面で、**コース選択**にタッチします。



- 5 コース選択画面で、**コース一覧の更新**にタッチします。

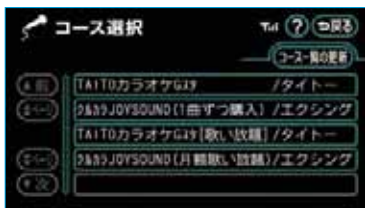


- 6 G-BOOKセンターに接続し、コース一覧を更新します。



- ・コース一覧の更新を中止したいときは、**中止**にタッチします。

- 7 希望のコースを選択しタッチします。



知識

新しく追加されたコースがない場合は、「新しいリストはありません」とメッセージが表示されます。

利用契約をする

コースを選択したら、次にコンテンツプロバイダーと利用契約をします。
・曲の再生中は利用契約手続きができません。曲を停止してから行ってください。

- 1 選曲メニュー画面で、**利用手続**にタッチします。



- 2 画面の指示にしたがって、利用契約を行います。

知識

コースを選択後、歌本の設定 (☞579) をすると、利用契約をする前に、歌本の収録曲を確認することができます。

選曲方法について

コースを選択したら、次は選曲をします。

選曲方法は、次の5通りの方法があります。

歌本 ➡579

歌本を選択して、歌本から選曲します。

Gで選曲 ➡582

G-BOOK.com内コンテンツから選曲します。

曲番号 ➡582

曲番号を入力して選曲します。

購入済曲 ➡583

購入済曲の中から選曲します。

音声認識 ➡584

歌本を選択して、音声認識で選曲します。

歌本から選曲する

歌本を設定する

歌本から選曲する場合は、コンテンツプロバイダーから提供される歌本がハードディスクに保存されていて、車載機で歌本が選択してある必要があります。

次の手順で歌本を選択してください。また、別の歌本に替える場合も、同様にして歌本を選択し直します。

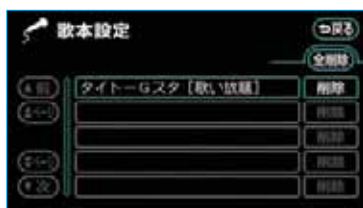
- 1 選曲メニュー画面で、**歌本**にタッチします。



- 2 歌本選曲画面で、**設定**にタッチします。



- 3 歌本設定画面で、希望の歌本を選択しタッチします。



選曲する

歌本での選曲方法は、次の3通りの方法があります。

曲名で探す ➡580

曲名を入力して選曲します。

歌手名で探す ➡580

歌手名を入力して選曲します。

リストから探す ➡581

リストから絞り込んで選曲します。

なお、「曲名で探す」および「歌手名で探す」で選曲する場合は、曲名または歌手名をすべて入力しなくても、入力した単語と先頭部分が一致する曲または歌手を検索できます。

■曲名で探す

- 1 歌本選曲画面で、**曲名で探す** にタッチします。

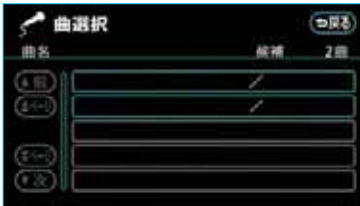


- 2 曲名入力画面で、曲名を入力し、**完了** にタッチします。

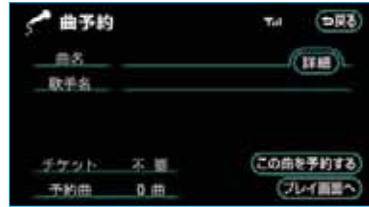


- ・間違えたときは、**修正** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。

- 3 曲選択画面*で、希望の曲を選択しタッチします。



- 4 曲予約画面*で、**この曲を予約する** にタッチします。



- すぐに再生したいときは、曲予約画面で **プレイ画面へ** にタッチし、AUTOLIVE カラオケ画面で **▶** にタッチします。

曲の予約を続けるときは、「曲の予約を続ける」をご覧ください。(➡586)

■歌手名で探す

- 1 歌本選曲画面で、**歌手名で探す** にタッチします。



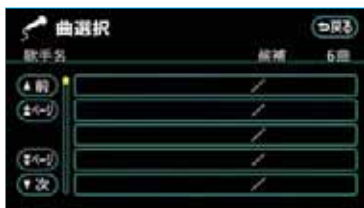
- 2 歌手名入力画面で、歌手名を入力し、**完了** にタッチします。



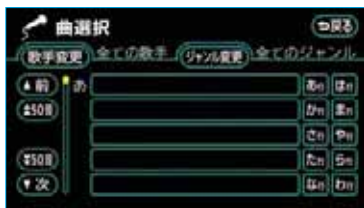
- ・間違えたときは、**修正** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。

*実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

3 曲選択画面*で、希望の曲を選択しタッチします。



2 曲選択画面*で、希望の曲を選択しタッチします。



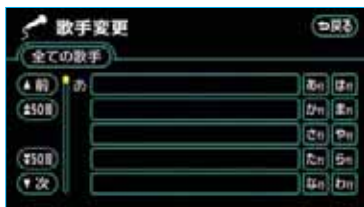
4 曲予約画面*で、**この曲を予約する**にタッチします。



・リストは、歌手名およびジャンルで曲を絞り込むことができます。歌手名で絞り込むときは**歌手変更**、ジャンルで絞り込むときは**ジャンル変更**にタッチします。

歌手名で絞り込む

歌手変更画面*で歌手名を選択しタッチすると、その歌手の曲に絞り込まれたリストが表示されます。



すぐに再生したいときは、曲予約画面で**プレイ画面へ**にタッチし、AUTOLIVE カラオケ画面で**▶**にタッチします。

曲の予約を続けるときは、「曲の予約を続ける」をご覧ください。(☎586)

■リストから探す

1 歌本選曲画面で、**リストから探す**にタッチします。

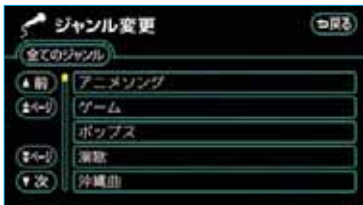


・**全ての歌手**にタッチすると、すべての歌手の曲がリストに表示されます。

*実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

ジャンルで絞り込む

ジャンル変更画面でジャンル名を選択しタッチすると、そのジャンルの曲に絞り込まれたリストが表示されます。



- ・ **全てのジャンル** にタッチすると、すべてのジャンルの曲がリストに表示されます。

3 曲予約画面で、**この曲を予約する** にタッチします。



※実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

すぐに再生したいときは、曲予約画面で **プレイ画面へ** にタッチし、AUTOLIVE カラオケ画面で **▶** にタッチします。

曲の予約を続けるときは、「曲の予約を続ける」をご覧ください。(☎586)

Gで選曲する

G-BOOKセンターに接続し、G-BOOK.com内コンテンツの曲リストから選曲することができます。

- ・ 歌い放題コースを選択している場合は、利用できません。

1 選曲メニュー画面で、**Gで選曲** にタッチします。



2 画面の指示にしたがって、曲の予約を行います。

3 選曲メニュー画面が表示されたら、**戻る** にタッチし、AUTO-LIVE カラオケ画面で再生します。

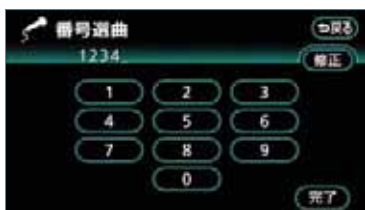
曲番号で選曲する

歌本などで曲番号がわかっている場合は、曲番号を直接入力して選曲することができます。

1 選曲メニュー画面で、**曲番号** にタッチします。



- 2 番号選曲画面で、曲番号を入力し、**完了**にタッチします。



- ・間違えたときは、**修正**にタッチすると、1文字ずつ削除されます。

- 3 曲予約画面で、**この曲を予約する**にタッチします。



すぐに再生したいときは、曲予約画面で**プレイ画面へ**にタッチし、AUTOLIVE カラオケ画面で**▶**にタッチします。

曲の予約を続けるときは、「曲の予約を続ける」をご覧ください。(☎586)

知識

画面に曲名および歌手名が表示されないときは、曲番号を間違えて入力した可能性があります。

誤った曲番号を入力すると、ご希望の曲とは異なる曲がダウンロードされます。

購入済曲から選曲する

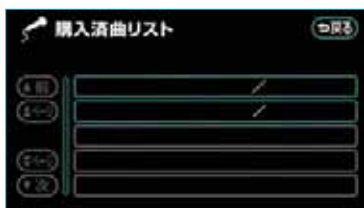
チケットを使って購入した曲は「購入済曲」と言い、この中から選曲することができます。

ただし、購入済曲は各コースごとに保存されるため、コースを変更すると購入済曲リストに表示されません。購入済曲から選曲する場合は、必ずコース選択を確認してから行ってください。

- 1 選曲メニュー画面で、**購入済曲**にタッチします。

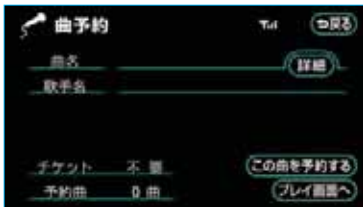


- 2 購入済曲リスト画面で、希望の曲を選択しタッチします。



※実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

3 曲予約画面で、この曲を予約するにタッチします。



※実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

すぐに再生したいときは、曲予約画面で「**プレイ画面へ**」にタッチし、AUTOLIVE カラオケ画面で「▶」にタッチします。

曲の予約を続けるときは、「曲の予約を続ける」をご覧ください。(☎586)

知識

購入済曲は、コンテンツプロバイダーとの利用契約やG-BOOKオンラインサービスの利用登録の解除をした後も、継続して利用できます。

音声認識で選曲する

オーディオがAUTOLIVE カラオケで、歌本が選択されている場合は、選択している歌本に収録されている曲を音声認識で選曲および予約することができます。

- ・アーティスト名と曲名は、一度に発声しても、分けて発声してもかまいません。
- ・この機能は歌本が選択されていないと使用できません。歌本の選択方法は「歌本を設定する」をご覧ください。(☎579)

なお、音声認識については、「音声操作システム」をご覧ください。

(☎282)

例) ○○○ (アーティスト名) の△△△ (曲名) を選曲して、予約リストに追加します。

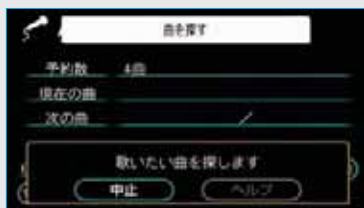
なお、ここでは、アーティスト名と曲名を別々に発声する場合で説明します。

お客様：(トークスイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」<ピッ>

お客様：「曲を探す」

車載機：「歌いたい曲を探します」



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「アーティスト名と曲名を
続けてどうぞ」<ピッ>

お客様：「〇〇〇（アーティスト名）」※

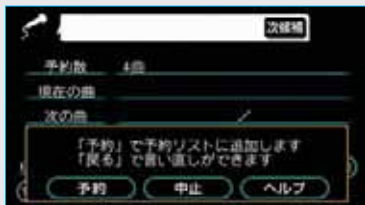
車載機：「〇〇〇（アーティスト名）
の曲を探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「曲名をどうぞ」<ピッ>

お客様：「△△△（曲名）」

車載機：「〇〇〇（アーティスト名）
の△△△（曲名）を表示
します」



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」<ピッ>

お客様：「予約」

車載機：「予約リストに追加します」

■アーティスト名と曲名を続けて発 声するとき

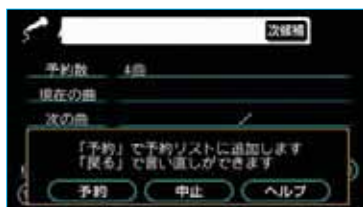
※で「〇〇〇（アーティスト名）の
△△△（曲名）」と発声します。

知識

音声認識で選曲する場合、曲名だけでは選曲できません。アーティスト名と曲名については、一度に発声しても、分けて発声してもかまいませんが、先に必ずアーティスト名を発声する必要があります。

検索結果が違うとき

検索されたアーティスト名や曲名が希望のものと違うときは、**次候補** にタッチすると、次の候補を検索することができます。



・次候補は、最初の候補を含めて、最大5件まで検索することができます。

知識

・**次候補** は音声認識でも操作できます。
・希望するアーティスト名や曲名が検索されないときは、最初から操作をやり直してみてください。

予約について

選曲したら、次に曲を予約して、予約リストに追加します。

選曲メニュー画面から選曲した場合は、次の「曲予約画面から予約する」をご覧ください。

■予約リストについて

予約リストには各コース毎に最大50曲まで予約することができます。

予約曲は予約リストの順に再生され、再生中の曲および再生が終了した曲は予約リストから削除されます。予約リストの全曲を再生し終わると、予約リストは空になります。

なお、予約リストに予約曲がある場合は、並べ替えや取り消しをすることができます。

曲予約画面から予約する

歌本・曲番号・購入済曲から選曲した場合は、選曲後に曲予約画面で予約をします。

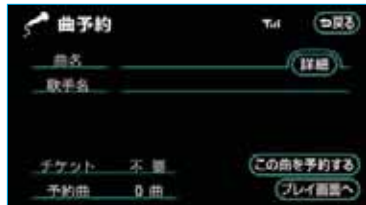
- ・Gで選曲・音声認識については、この操作はありません。

知識

曲を予約する際、その曲がコンテンツプロバイダーと未契約の場合は、メッセージが表示されます。契約する場合は、**はい**にタッチして、手続きを行ってください。

(歌い放題コース利用時で未契約の場合、またはダウンロードコース利用時で過去にチケットを購入したことがない場合に表示されます。)

選曲をしたあとに表示される曲予約画面*で、**この曲を予約する**にタッチします。



- ・曲名や歌手名が画面上にすべて表示されないときは、**詳細**にタッチすると曲情報が表示されます。

■予約した曲を再生する

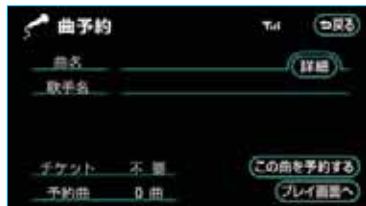
曲の予約後、再生をしたいときは、曲予約画面で**プレイ画面へ**にタッチし、AUTOLIVE カラオケ画面で再生します。

曲の予約を続ける

引き続き予約をするときは、予約する曲により、次のいずれかの方法で行います。

■選曲方法が同じ場合

曲予約画面*で**戻る**にタッチして画面をもどし、希望の曲の予約をします。



*実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

■選曲方法が異なる場合

- 1 曲予約画面で**プレイ画面へ**にタッチします。
- 2 AUTOLIVE カラオケ画面で**曲を選ぶ**にタッチします。
- 3 選曲メニュー画面から、希望の曲の予約をします。

予約曲を並べ替える

予約リストに追加された曲は、予約した順に再生されます。

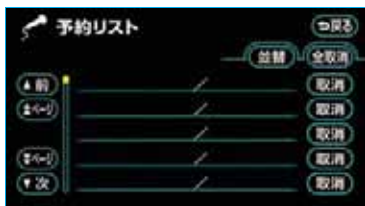
予約リストで予約曲を並べ替えると、再生する順番を変更することができます。

ただし、再生中の曲および再生が終了した曲は予約リストから削除されています。

- 1 AUTOLIVE カラオケ画面で、**予約リスト**にタッチします。

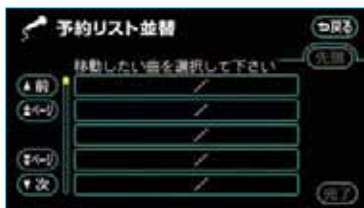


- 2 予約リスト画面*で、**並替**にタッチします。



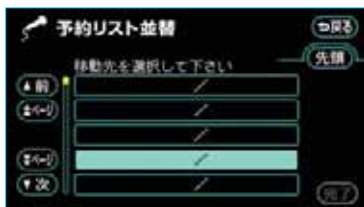
*実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

- 3 予約リスト並替画面*で、移動したい曲にタッチして、選択状態にします。



- ・間違えて選択したときは、選択状態のスイッチにもう一度タッチすると解除されます。

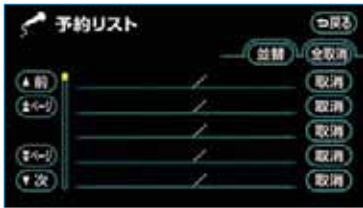
- 4 移動先を選択しタッチすると、移動します。



- ・元の位置より前に移動する場合は、移動先として選択した曲の前へ移動します。
- ・元の位置よりうしろに移動する場合は、移動先として選択した曲のうしろへ移動します。
- ・**先頭**にタッチすると、予約リストの先頭に移動します。
- ・他にも入れ替えたい曲があるときは、3、4の操作を繰り返します。

- 5 予約曲の並べ替えがすべて終わったら、**完了**にタッチします。

- 6 予約リスト画面*が表示されたら、**戻る**にタッチします。



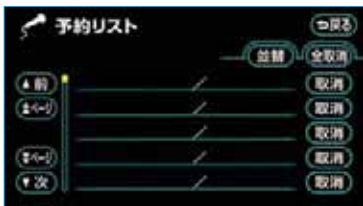
- 3 取り消し後の内容を予約リスト画面*で確認したら、**戻る**にタッチします。



予約を取り消す

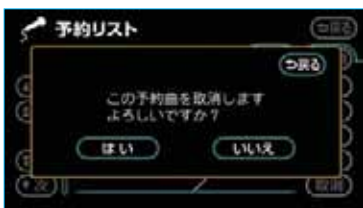
予約リストに追加された曲は、予約リストで取り消すことができます。

- 1 予約リスト画面*で、予約を取り消したい曲の右側にある**取消**にタッチします。



- ・すべての予約を取り消したいときは、**全取消**にタッチします。

- 2 **はい**にタッチします。



*実際の画面には、曲名・歌手名などが表示されます。

⚠ 注意

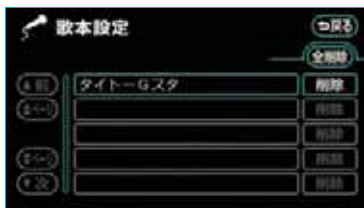
歌い放題パックを削除すると、パック内の曲と歌本は利用できなくなります。また、利用しているコースの歌い放題パックをすべて削除すると、歌い放題の契約をしていてもそのコースの歌い放題が利用できなくなります。

歌本を削除する

歌本は、次の手順で削除することができます。

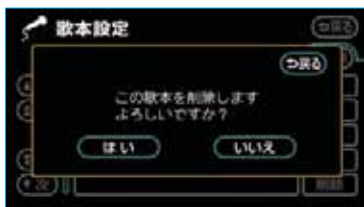
ただし、この方法では、歌い放題パック用の歌本は削除できません。削除したいときは、「曲データを削除する」をご覧ください。(☎589)

- 1 歌本設定画面で、削除したい歌本の右側にある **削除** にタッチします。

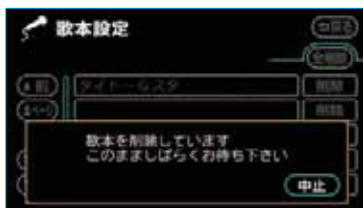


- ・すべての歌本を削除したいときは、**全削除** にタッチします。

- 2 **はい** にタッチします。



- ・全削除を選択した場合、途中で中止したいときは、**中止** にタッチします。



⚠ 注意

全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了した歌本をもとにもどすことはできません。

曲データを削除する

購入済曲や歌い放題パックは、次の手順で削除することができます。

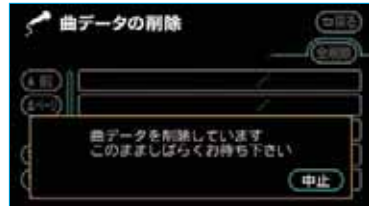
- 1 AUTOLIVE カラオケ画面で、**曲データ削除** にタッチします。



2 曲データの削除画面で、削除したいデータの右側にある **削除する** にタッチします。



・全削除を選択した場合、途中で中止したいときは、**中止** にタッチします。



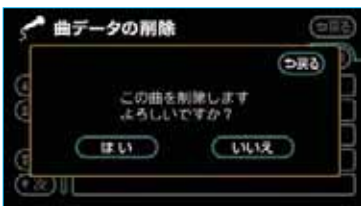
3 削除したい購入済曲または歌い放題パックを選択しタッチします。



※曲または歌い放題パックを購入している場合のみ、リストに曲名・歌手名などが表示されます。

・すべての曲データを削除したいときは、**全削除** にタッチします。

4 **はい** にタッチします。

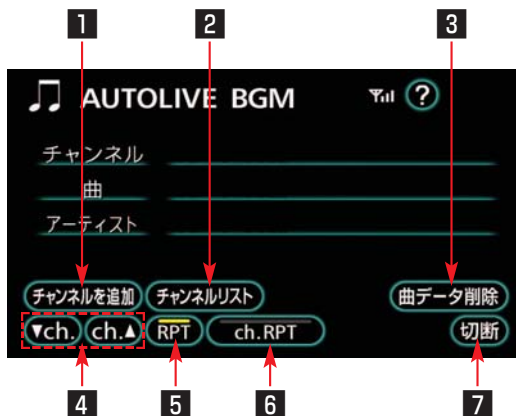


⚠ 注意

全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了した曲データをもとにもどすことはできません。

AUTOLIVE BGM画面の使い方

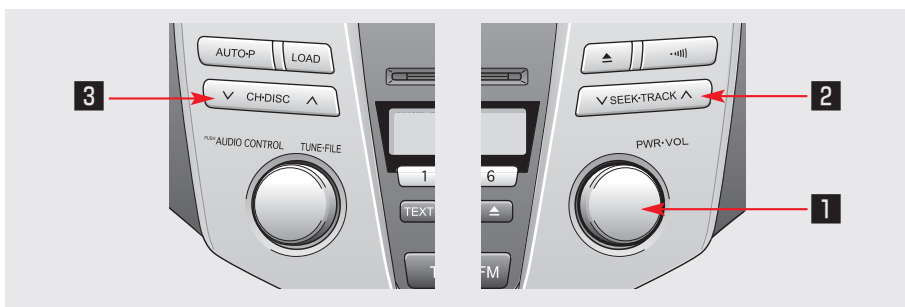
アミューズメントメニュー画面で、**AUTOLIVE BGM** にタッチすると表示され、チャンネルリストの順に曲の再生を開始します。







スイッチ	機能
1 チャンネルを追加スイッチ	チャンネル追加メニュー画面 (➡595) を表示します。
2 チャンネルリストスイッチ	チャンネルリスト画面 (➡602) を表示します。
3 曲データ削除スイッチ	購入済チャンネルや聴き放題パックを削除します。(➡605)
4 ch. (チャンネル) スイッチ	チャンネルを切り替えます。 次のチャンネルに切り替えるときは ch.▲ 、前のチャンネルに切り替えるときは ▼ch. にタッチします。
5 RPT (リピート) スイッチ	再生中の曲を繰り返し再生します。 いったんスイッチにタッチすると、スイッチの作動表示灯が点灯し、解除するまで何度でも同じ曲を繰り返し再生します。 ・もう一度スイッチにタッチすると解除され、スイッチの作動表示灯が消灯します。
6 ch. RPT (チャンネルリピート) スイッチ	再生中のチャンネルを繰り返し再生します。 いったんスイッチにタッチすると、スイッチの作動表示灯が点灯し、解除するまで何度でも同じチャンネルを繰り返し再生します。 ・もう一度スイッチにタッチすると解除され、スイッチの作動表示灯が消灯します。

スイッチ	機能
7 切断スイッチ	<p>G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 <p>知識</p> <p>データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。</p>

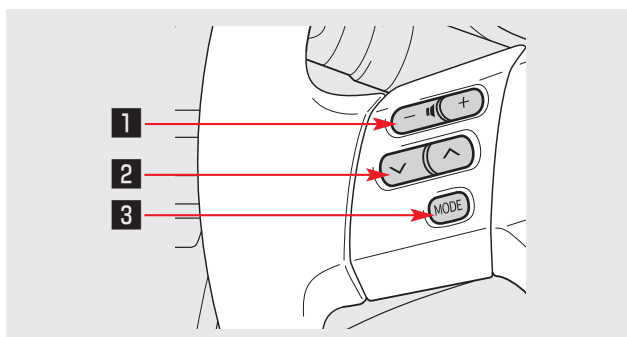
車載機のスイッチで操作する







スイッチ	機能
1 パワースイッチ／音量調整ツマミ	<p>曲の再生・停止と音量調整ができます。</p> <p>■パワースイッチ</p> <p>再生中に押すと、曲の再生を停止します。 再度押すと、再生途中の曲の先頭から再生を開始します。</p> <p>■音量調整ツマミ</p> <p>ツマミを右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツマミをまわすと、音量のレベルが画面上部に表示されます。
2 TRACK (トラック) スイッチ	<p>曲の頭出しと、チャンネルを切り替えることができます。</p> <p>■頭出しをするには</p> <p>スイッチを押してすぐ手を離すと、曲の頭出しをすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭出しをしたい曲が うしろにあるときはスイッチの ↖ 側 前にあるときはスイッチの ↘ 側 を押します。

スイッチ	機能
<p>2 TRACK (トラック) スイッチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンネルの最後の曲を再生中に次の曲を頭出しすると、次のチャンネルの最初の曲が再生されます。 ・チャンネルの最初の曲の頭出しをしたあと、約1秒以内に前の曲を頭出しすると、前のチャンネルの最後の曲が再生されます。 <p>■チャンネルを切り替えるには スイッチを”ピツ”と音がするまで押し続けると、チャンネルを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンネルを次のチャンネルに切り替えるときはスイッチの  側 ・前のチャンネルに切り替えるときはスイッチの  側を押します。
<p>3 CH (チャンネル) スイッチ</p>	<p>チャンネルを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンネルを次のチャンネルに切り替えるときはスイッチの  側 ・前のチャンネルに切り替えるときはスイッチの  側を押します。

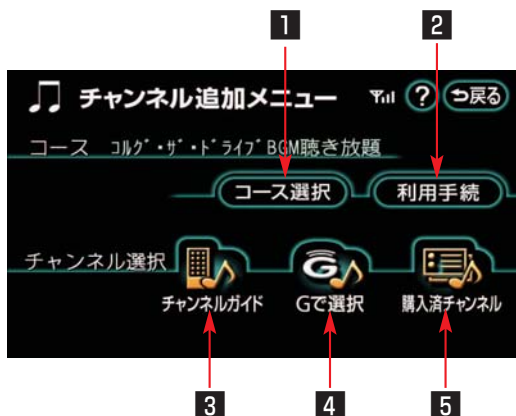
ステアリングスイッチで操作する



スイッチ	機能
1 音量調整スイッチ	<p>音量の調整をすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音量を大きくするときはスイッチの＋側 小さくするときはスイッチの－側を押します。 ・スイッチを押してすぐ（約1秒未満）に手を離すと、音量を1ステップずつ調整できます。 ・スイッチを約1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。
2 TRACK（トラック）スイッチ	<p>曲の頭出しと、チャンネルを切り替えることができます。</p> <p>■頭出しをするには スイッチを押してすぐ手を離すと、曲の頭出しをすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭出しをしたい曲がうしろにあるときはスイッチの  側 前にあるときはスイッチの  側を押します。 ・チャンネルの最後の曲を再生中に次の曲を頭出しすると、次のチャンネルの最初の曲が再生されます。 ・チャンネルの最初の曲の頭出しをしたあと、約1秒以内に前の曲を頭出しすると、前のチャンネルの最後の曲が再生されます。 <p>■チャンネルを切り替えるには スイッチを“ピツ”と音がするまで押し続けると、チャンネルを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンネルを次のチャンネルに切り替えるときはスイッチの  側 前のチャンネルに切り替えるときはスイッチの  側を押します。
3 MODE（モード切り替え）スイッチ	<p>AUTOLIVE BGMの解除と、オーディオの電源をOFFにすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを押すと、AUTOLIVE BGMを解除することができます。 ・スイッチを“ピツ”と音がするまで押し続けると、オーディオの電源をOFFにすることができます。

チャンネル追加メニュー画面の使い方

AUTOLIVE BGM画面で、**チャンネルを追加** にタッチすると表示されます。



スイッチ	機能
1 コース選択スイッチ	コース選択画面 (➡596) を表示します。
2 利用手続スイッチ	コンテンツプロバイダーと利用契約を行います。(➡597)
3 チャンネルガイドスイッチ	設定したチャンネルガイドからチャンネルを選択します。(➡598)
4 Gで選択スイッチ	G-BOOK.com内コンテンツからチャンネルを選択します。(➡599) ・聴き放題コースを選択している場合は、利用できません。
5 購入済チャンネルスイッチ	購入済チャンネルの中から選択します。(➡600)

VIII AUTOLIVE

AUTOLIVE BGMの準備をする

コースを選択する

AUTOLIVE BGMを利用するには、まずコースを選択します。

- 1 情報画面で、**アミューズメント**にタッチします。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 2 アミューズメントメニュー画面で、**AUTOLIVE BGM**にタッチします。



- 3 AUTOLIVE BGM画面で、**チャンネルを追加**にタッチします。



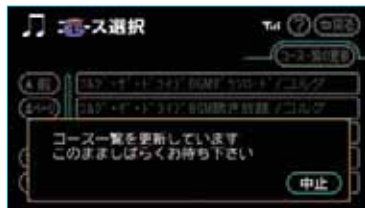
- 4 チャンネル追加メニュー画面で、**コース選択**にタッチします。



- 5 コース選択画面で、**コース一覧の更新**にタッチします。



- 6 G-BOOKセンターに接続し、コース一覧を更新します。



- ・コース一覧の更新を中止したいときは、**中止**にタッチします。

- 7 希望のコースを選択しタッチします。



知識

新しく追加されたコースがない場合は、「新しいリストはありません」とメッセージが表示されます。

利用契約をする

コースを選択したら、次にコンテンツプロバイダーと利用契約をします。

- 1 チャンネル追加メニュー画面で、**利用手続** にタッチします。



- 2 画面の指示にしたがって、利用契約を行います。

知識

コースを選択後、チャンネルガイドの設定（●598）をすると、利用契約をする前に、チャンネルガイドの収録曲を確認することができます。

チャンネルの選択をする

チャンネルの選択方法について

コースを選択したら、次はチャンネルの選択をします。

チャンネルの選択方法は、次の3通りの方法があります。

チャンネルガイド ……………➡598

チャンネルガイドを選択して、ガイドからチャンネルを選択します。

Gで選択 ……………➡599

G-BOOK.com内コンテンツからチャンネルを選択します。

購入済チャンネル ……………➡600

購入済チャンネルの中から選択します。

チャンネルガイドから選択する

チャンネルガイドを設定する

チャンネルガイドから選択する場合は、コンテンツプロバイダーから提供されるチャンネルガイドがハードディスクに保存されていて、車載機でチャンネルガイドが選択してある必要があります。

次の手順でチャンネルガイドを選択してください。

また、別のチャンネルガイドに替える場合も、同様にしてチャンネルガイドを選択し直します。

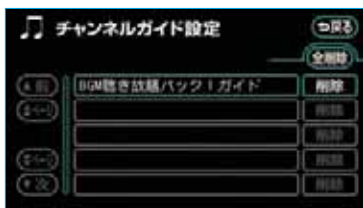
- 1 チャンネル追加メニュー画面で、**チャンネルガイド**にタッチします。



- 2 チャンネルガイド画面で、**設定**にタッチします。



- 3 チャンネルガイド設定画面で、希望のチャンネルガイドを選択しタッチします。



チャンネルを選択する

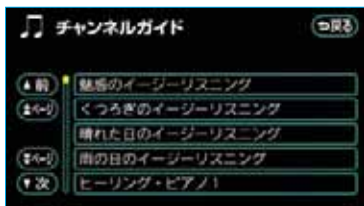
チャンネルガイドを選択したら、チャンネルの選択をします。

チャンネルを選択するには、まずジャンルを選択し、次にチャンネルを選択します。

- 1 チャンネルガイド画面で、希望のジャンルを選択しタッチします。



- 2 希望のチャンネルを選択しタッチします。



- 3 チャンネル追加画面で、**チャンネルリストに追加** にタッチします。



Gで選択する

G-BOOKセンターに接続し、G-BOOK.com内コンテンツからチャンネルリストに追加するチャンネルを選択することができます。

・聴き放題コースを選択している場合は、利用できません。

- 1 チャンネル追加メニュー画面で、**Gで選択** にタッチします。



- 2 画面の指示にしたがって、チャンネルの選択をします。

- 3 チャンネルリストに追加されると、チャンネル追加メニュー画面が表示されます。AUTOLIVE BGM画面を表示するときは、**戻る** にタッチします。

購入済チャンネルから選択する

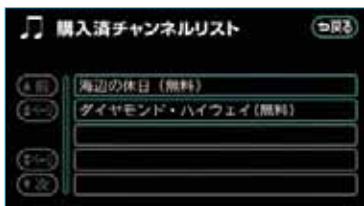
チケットを使って購入したチャンネルは「購入済チャンネル」と言い、この中から選択することができます。ただし、購入済チャンネルは各コースごとに保存されるため、コースを変更すると購入済チャンネルリストに表示されません。

購入済チャンネルから選択する場合は、必ずコース選択を確認してから行ってください。

- 1 チャンネル追加メニュー画面で、**購入済チャンネル** にタッチします。



- 2 購入済チャンネルリスト画面で、希望のチャンネルを選択しタッチします。



- 3 チャンネル追加画面で、**チャンネルリストに追加** にタッチします。



知識

購入済チャンネルは、コンテンツプロバイダーとの利用契約やG-BOOKオンラインサービスの利用登録の解除をした後も、継続して利用できます。

チャンネルを追加する

チャンネルリストについて

チャンネルの選択をしたら、次にチャンネルリストにチャンネルを追加します。

チャンネルリストは、最大200件までチャンネルを登録することができます。

チャンネルはチャンネルリストの順に再生され、再生が終了してもチャンネルリストから削除されません。お客様がチャンネルを取り消さない限り、チャンネルリストにはそのまま登録したチャンネルが残ります。なお、チャンネルリストに登録されているチャンネルは、並べ替えや取り消しをすることができます。

チャンネルを追加する

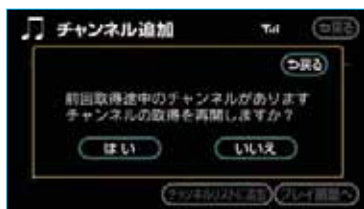
- 1 チャンネルの選択をしたあとに表示されるチャンネル追加画面で、**チャンネルリストに追加** にタッチします。



- ・ **▲** または **▼** にタッチすると、収録曲を確認することができます。

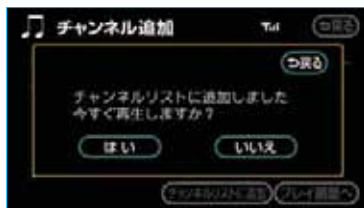
- 2 チャンネル再生確認またはチャンネル取得再開確認のメッセージが表示されます。

- ・ チャンネル取得再開確認のメッセージが表示されたら、**はい** にタッチします。



- ・ チャンネル再生確認のメッセージが表示されたときは、**はい** にタッチすると追加したチャンネルの曲が再生されます。

なお、チャンネルリストが0件の場合は、確認のメッセージを表示することなく、再生を開始します。



- AUTOLIVE BGM画面を表示するチャンネル追加画面で、**プレイ画面へ** にタッチします。

チャンネルリストへの追加を続ける

引き続きチャンネルリストへの追加をするときは、追加するチャンネルにより、次のいずれかの方法で行います。

■チャンネルの選択方法が同じ場合
チャンネル追加画面で **戻る** にタッチして画面をもどし、希望のチャンネルを選択します。



■チャンネルの選択方法が異なる場合

- 1 チャンネル追加画面で、**プレイ画面へ** にタッチします。
- 2 AUTOLIVE BGM画面で、**チャンネルを追加** にタッチします。
- 3 チャンネル追加メニュー画面から、希望のチャンネルを選択します。

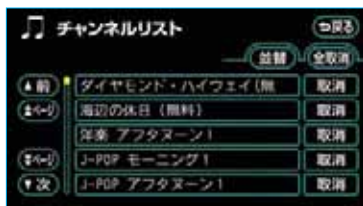
チャンネルを並べ替える

チャンネルリストに追加されたチャンネルは、追加した順に再生されます。チャンネルリストのチャンネルを並べ替えると、再生する順番を変更することができます。

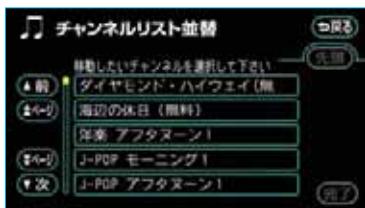
- 1 AUTOLIVE BGM画面で、**チャンネルリスト** にタッチします。



- 2 チャンネルリスト画面で、**並替** にタッチします。

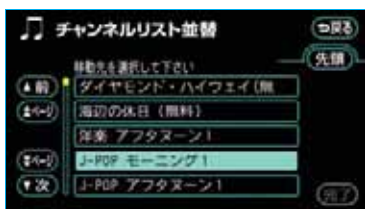


- 3 チャンネルリスト並替画面で、移動したいチャンネルにタッチして、選択状態にします。



- ・間違えて選択したときは、選択状態のスイッチにもう一度タッチすると解除されます。

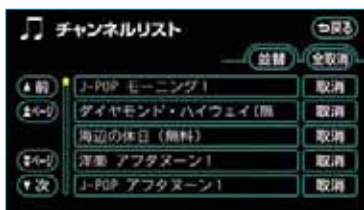
- 4 移動先を選択しタッチすると、移動します。



- ・元の位置より前に移動する場合は、移動先として選択したチャンネルの前へ移動します。
- ・元の位置よりうしろに移動する場合は、移動先として選択したチャンネルのうしろへ移動します。
- ・**先頭**にタッチすると、チャンネルリストの先頭に移動します。
- ・他にも入れ替えたいチャンネルがあるときは、3、4の操作を繰り返します。

- 5 チャンネルリストの並べ替えがすべて終わったら、**完了**にタッチします。

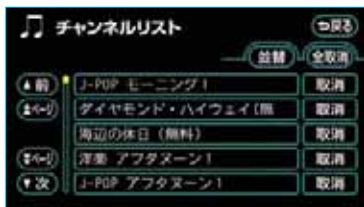
- 6 チャンネルリスト画面が表示されたら、**戻る**にタッチします。



チャンネルを取り消す

チャンネルリストに追加したチャンネルは、チャンネルリスト画面で取り消すことができます。

- 1 チャンネルリスト画面で、取り消したいチャンネルの右側にある**取消**にタッチします。

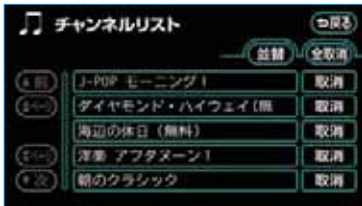


- ・すべてのチャンネルを取り消したいときは、**全取消**にタッチします。

- 2 **はい**にタッチします。



- 3 取り消し後の内容をチャンネルリスト画面で確認します。AUTO-LIVE BGM画面を表示するときは、**戻る**にタッチします。



- すべてのチャンネルを取り消したときは、チャンネルリスト画面は表示されません。

知識

取り消したチャンネルの内、通信で取得したチャンネルは、チャンネル追加メニューの**購入済チャンネル**から追加することができます。(➡600)

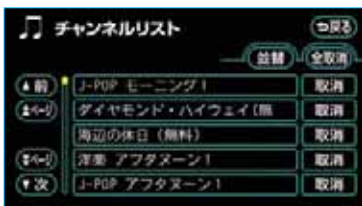
チャンネル情報を見る

チャンネルリストに追加したチャンネルのチャンネル情報を見ることができます。

チャンネル情報では、そのチャンネルの収録曲が確認できます。

また、チャンネル情報画面から、そのチャンネルを直接再生することもできます。

- 1 チャンネルリスト画面で、チャンネル情報を見たいチャンネルにタッチします。



- 2 ▲ または ▼ にタッチすると、収録曲を確認することができます。



- 3 確認したチャンネルを再生したいときは**再生**、チャンネルリストにしたがって再生したいときは**プレイ画面へ**にタッチします。

注意

すべての聴き放題パックを削除すると、パック内の曲とチャンネルガイドはすべて利用できなくなります。

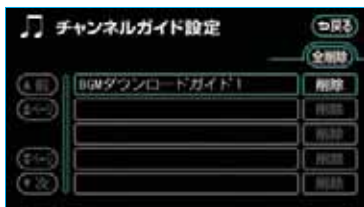
チャンネルガイドを削除する

チャンネルガイドは、次の手順で削除することができます。

ただし、この方法では、聴き放題パック用のチャンネルガイドは削除できません。削除したいときは、「曲データを削除する」をご覧ください。

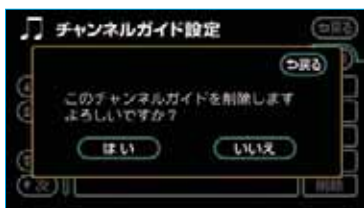
(605)

- 1 チャンネルガイド設定画面で、削除したいチャンネルガイドの右側にある **削除** にタッチします。

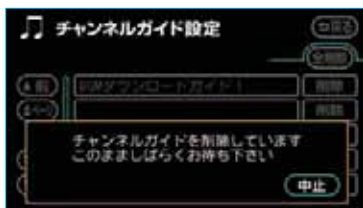


- ・すべてのチャンネルガイドを削除したいときは、**全削除** にタッチします。

- 2 **はい** にタッチします。



- ・全削除を選択した場合、途中で中止したいときは、**中止** にタッチします。



注意

全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了したチャンネルガイドをもとにもどすことはできません。

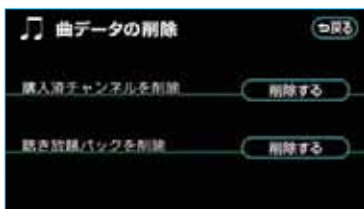
曲データを削除する

購入済チャンネルや聴き放題パックは、次の手順で削除することができます。

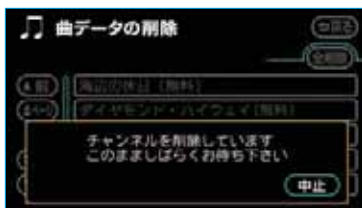
- 1 AUTOLIVE BGM画面で、**曲データ削除** にタッチします。



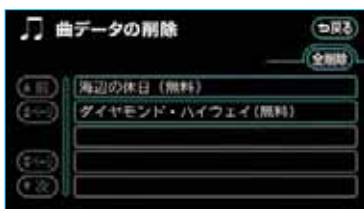
- 2 曲データの削除画面で、削除したいデータの右側にある **削除する** にタッチします。



- ・全削除を選択した場合、途中で中止したいときは、**中止** にタッチします。



- 3 削除したい購入済チャンネルまたは聴き放題パックを選択しタッチします。

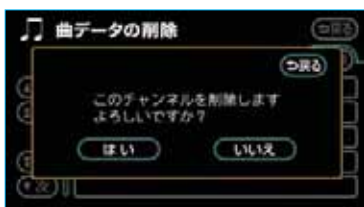


⚠ 注意

全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了した曲データをもとにもどすことはできません。

- ・すべての曲データを削除したいときは、**全削除** にタッチします。

- 4 **はい** にタッチします。



ナビ連携機能について

ナビ連携機能は、ナビゲーションとG-BOOKセンターとを通信でつなぐことにより、リアルタイムな情報を提供し、ナビゲーションを更に有効に活用できる機能です。

ナビ連携機能には、次の機能があります。

渋滞予測	➡608
渋滞予測情報を表示する	
Gルート探索(プローブ情報付).....	➡612
VICSとプローブコミュニケーション 交通情報で最適ルートを案内する	
Gメモリ地点	➡614
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト で登録したGメモリを、車載機で Gメモリ地点として利用する	
ドライブプラン	➡616
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト で作成したドライブプランを車載機 で利用する	
施設情報表示	➡617
施設の情報を表示する	
G情報マーク表示	➡618
G情報マークを表示する	
G情報マーク連動サービス	➡620
G情報マーク連動サービスを表示する	
<G-BOOKサイト> パソコンサイト (http://g-book.com/) 携帯サイト (http://mo.g-book.com/)	
Gで設定	➡621
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト で作成したドライブプランやGメモリ を車載機で利用する	

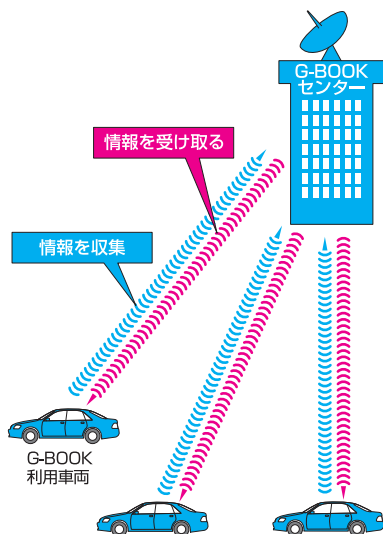
■プローブコミュニケーション交通情報について

プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOK利用車両の走行状態から渋滞度などをG-BOOKセンターで計算し、G-BOOK利用車両に配信されるリアルタイムな交通情報です。

G-BOOK利用車両が増えるにつれて、従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。この情報は、次の機能・サービスに利用されています。

- ・VICS情報の表示 (➡154)
- ・Gルート探索 (➡612)
- ・到着予想時刻 (➡611)

また、ここで得られた交通情報は、独自の統計処理により地図データベースに格納されており、統計情報として地図上に表示することができます。



渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

G-BOOKセンターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることがもできます。

今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。

渋滞予測情報画面



渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
	渋滞	渋滞区間を示しています。
	混雑帯	混雑の区間を示しています。
	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。

なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。

交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

渋滞予測情報を提供する路線について

- ・都市間高速道路
- ・都市高速道路
- ・主な有料道路
- ・一部の一般道路

松永道路、名阪道路、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

※情報提供路線は随時更新されます。

- 1 **メニュー** を押します。
- 2 メニュー画面で、**渋滞予測** にタッチします。



- 3 G-BOOKセンターに接続し、渋滞予測情報を取得すると、情報の表示および読み上げを行います。



- ・データ取得を中止したい場合は、**切断** にタッチします。

知識

- ・渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読み上げ設定 (☎536) に関係なく、常に読み上げられます。
- ・以前に取得した渋滞予測情報が車載機に保存されているときは、G-BOOKセンターに接続しないことがあります。
- ・極端に遠い距離の渋滞予測情報 (到着予想時刻を含む) は、表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

渋滞予測情報画面の左側にある **+** または **-** にタッチして、渋滞予測時間を変更します。

- ・渋滞予測時間を進めるときは **+** にタッチし、渋滞予測時間をもどすときは **-** にタッチします。
- ・**現在** にタッチすると、現在の渋滞状況が表示されます。

知識

- ・G-BOOKセンターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- ・渋滞予測時間を変更したとき、その時間の渋滞予測情報を取得していないときは、G-BOOKセンターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測情報画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

このアイコンは、ON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

- 1 渋滞予測情報画面で、**設定** にタッチします。



- 2 **渋滞増減予測表示** にタッチします。






作動表示灯

- ・アイコン表示がONのときは、作動表示灯が点灯します。アイコン表示をやめたいときは、再度**渋滞増減予測表示** にタッチします。

- 3 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチすると、渋滞情報を読み上げます。



アイコン

アイコン	内容
	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

知識

- ・渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- ・渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測情報画面の地図は、通常の地図と同様に **広域** または **詳細** にタッチすると、地図の縮尺を切り替えることができます。



到着予想時刻

- ・ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上にIC毎の到着予想時刻が表示されます。

知識

もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3時間先以降は到着予想時刻設定 (☉104) で設定した車速から計算されます。そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。

ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

区間所要時間予測表示



- 1 渋滞予測情報画面で、**所要時間** にタッチします。
 - ・G-BOOKセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。
- 2 区間所要時間予測表示を解除するときは、**終了** または **戻る** にタッチします。

知識

- ・出口ICまでの距離が遠い場合は、出口ICまで表示されないことがあります。
- ・渋滞予測情報画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される到着予測時間は、それぞれ独自で計算するため異なる表示をすることがあります。

Ⅸ G-BOOKとナビの連携機能

Gルート探索（プローブ情報付）

Gルート探索をする （プローブ情報付）

G-BOOKセンターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探査し、ご案内します。

全ルート図表示画面と再探索画面で使用することができます。

知識

- ・オペレーターにナビの目的地設定を依頼すると、Gルート探索による最適なルート案内を行います。
- ・渋滞予測は突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- ・旅行時間データが提供されていない路線については、Gルート探索を実行してもルートが変わりません。
- ・Gルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。

全ルート図表示画面から Gルート探索する

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面から、Gルート探索することができます。

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で「**Gルート**」にタッチすると、G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。



- ・通常のルート探索をしたルートにもどきたいときは、「**元ルート**」にタッチします。

知識

- ・目的地案内開始後は、全ルート図表示画面からGルート探索させることはできません。この場合、「**再探索**」－「**Gルート探索**」の順にタッチすると、Gルート探索することができます。
- ・広域の渋滞予測情報が車載機に保存されていれば、「**元ルート**」にタッチしたあとに「**Gルート**」にタッチしても、G-BOOKセンターに接続されません。
- ・Gルート探索後にIC指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

再探索でGルート探索する

再探索するとき、Gルート探索することができます。

- 1 現在地画面で、**再探索** にタッチします。



- 2 **Gルート探索** にタッチすると、G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。



- ・ Gルート探索情報の取得を中止するときは、**再探索** → **取得中止** の順にタッチします。

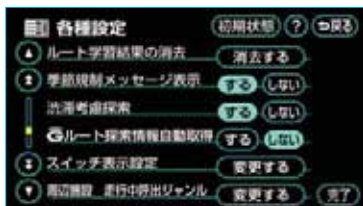
Gルート探索情報自動取得の設定をする

JCT手前や高速道路に乗る手前などで、G-BOOKセンターに接続して、Gルート探索情報（広域の渋滞予測情報）を取得することができます。このGルート探索情報の取得方法について、自動取得をON（する）にするか、OFF（しない）にするか選ぶことができます。設定はナビゲーションの各種設定で行います。（▶142）

知識

G-BOOKセンターに接続するときの確認メッセージを表示する／しないは、各種設定の定期通信サービス接続時の確認の項目（▶536）で選択することができます。

各種設定画面で、Gルート探索情報自動取得の**する**または**しない**にタッチします。



Ⅹ G-BOOKとナビの連携機能

Gメモリ地点

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを、車載機のメモリ地点に登録したものを「Gメモリ地点」といいます。

一度Gメモリ地点に登録すると、G-BOOKセンターに接続しなくても、Gメモリを呼び出すことができます。

・Gメモリ地点は、最大100件まで登録することができます。

Gメモリ地点を登録する

Gメモリを車載機に登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

車載機から登録する

車載機でG-BOOK.comコンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で**Gメモリ**にタッチします。

・パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのGメモリ、および車載機のGメモリ地点に地点情報が登録されます。

Gで設定を使って登録する

「Gメモリを一括ダウンロードする」をご覧ください。(●623)

Gメモリ地点を表示する

Gメモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから次の手順で呼び出すことができます。

- 1 メインメニュー画面で、**Gメモリ地点**にタッチします。



- 2 Gメモリ地点画面で、Gメモリ地点名称にタッチすると、その施設の情報を表示します。



- ・Gメモリ地点名称の右にある**地図**にタッチすると、その地点のアイコンを中心にした地図が表示されます。
- ・リストは3種類の並べ方をさせることができます。(●125)

知識

- ・ Gメモリ地点は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- ・ 同一のGメモリ地点は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。
- ・ Gメモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。
詳しくは、「メモリ地点の登録」をご覧ください。(➡124)

ドライブプラン

ドライブプランを利用する

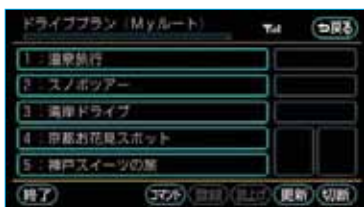
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておく、車載機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

- 1 メインメニュー画面で、**G-BOOK.com** にタッチします。
- 2 **ドライブプラン** にタッチします。



※表示されているメニューは一例です。

- 3 設定したいドライブプランにタッチします。



- 4 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索が開始されます。

知識

- ・目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。

なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

- ・ドライブプランは次のサービスからも利用できます。
 - ・ Myリクエスト (☎544)
 - ・ Gで設定 (☎621)

施設の情報を表示する

地図上にG-BOOK.comコンテンツから取得したアイコンが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチします。



2 **情報** にタッチします。



ブラウザ画面に切り替わり、G-BOOK.comコンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

Ⅹ G-BOOKとナビの連携機能

G情報マーク表示

G情報マークを表示する

G情報マークは、G-BOOK.comコンテンツが提供する地点情報です。通常は、情報を取得すると自動でG情報マークが地図に表示されます。G情報マークが表示されていないときは、次の手順で表示することができます。

G情報マーク表示



G情報マーク

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更**にタッチします。



- 2 表示変更画面で、**周辺施設**にタッチします。



- 3 周辺施設画面で**G情報マーク表示**にタッチすると、取得済みのG情報マークが表示されます。



- ・ G情報マーク表示がONのときは、作動表示灯が点灯します。G情報マーク表示を解除したいときは、再度**G情報マーク表示**にタッチします。

知識

G情報マーク表示で表示／非表示を切り替えることができるG情報マークは、次のいずれかになります。

- ・ パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのGメモリを表示させたG情報マーク
- ・ Myリクエストなどで、G-BOOK.comコンテンツを利用して表示させたG情報マーク

なお、Gメモリ地点のG情報マークは常に表示され、非表示にすることはできません。

G情報マークの表示種類について

G-BOOK.comコンテンツで取得したG情報マークには主に以下の種類があります。



G-駐車場利用時



マーク	内容
	G-BOOK.comコンテンツから取得した施設や地点情報
	満車（赤）
	混雑（橙）
	空車（青）
	G-駐車場 満空情報なし（灰）
	車両制限の可能性あり
	休止中

G情報マークの表示／非表示を設定できます。(☎618)

知識

G-駐車場のこだわり検索では、設定した優先順位に合わない駐車場を薄い色のマークで表示します。

G情報マーク連動サービスについて

G情報マーク連動サービスを利用すると、現在地が近接案内情報を持つ施設などに近づいたとき、その施設などの情報を読み上げ、G-BOOKセンターから情報を取得します。

G情報マーク連動サービスを利用するコンテンツ

G-駐車場	オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合、目的地に近づくとき最新の満空情報に自動で更新されます。 ・表示される駐車場のマークについては「G情報マークの表示種類について」(P.619)をご覧ください。
-------	--

知識

- ・各種設定のG情報マーク連動サービスで「する」を選択しているときに利用することができます。
- ・近接案内は、G情報マークの地点情報を取得していれば、マークの表示に関係なく行われます。また、マークが表示されていない場合でも、近接案内が行われるとマークが自動で表示されます。
- ・近接案内情報の読み上げは、ブラウザの自動読み上げ設定(P.536)に関係なく、常に読み上げられます。
- ・近接案内情報の読み上げ中の操作は、Myリクエスト(P.538)と同様です。
- ・近接案内中に別の近接案内対象施設に近づいたときは、案内中の近接案内は中止され、次の近接案内に切り替わります。
- ・G情報マーク連動サービスで「する」を選択すると、携帯電話が正しく接続されている場合に近接案内が行われます。

G情報マーク連動サービスの設定をする

G情報マーク連動サービスは、サービスをON(する)にするか、OFF(しない)にするか選ぶことができます。設定はナビゲーションの各種設定で行います。(P.141)

各種設定画面で、G情報マーク連動サービスの「**する**」または「**しない**」にタッチします。



IX G-BOOKとナビの連携機能

Gで設定

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランやGメモ리를、車載機で利用することができます。

知識

目的地が設定されているときに**Gで設定**で目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。

なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておく、車載機にダウンロードするだけで経路地および目的地が設定できます。

- 1 **目的地設定**を押します。
- 2 目的地設定画面で、**Gで設定**にタッチします。



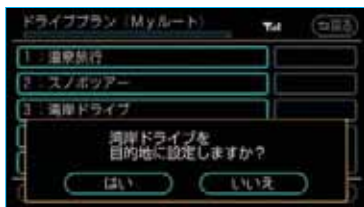
- 3 **Gで設定**画面で、**ドライブプラン (Myルート)** にタッチします。



- 4 ドライブプラン画面で、設定したいドライブプランにタッチします。



- 5 **はい**にタッチします。



- 6 ドライブプランがダウンロードされると、経路地・目的地が設定され、ルート探索を開始します。

Gメモリを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

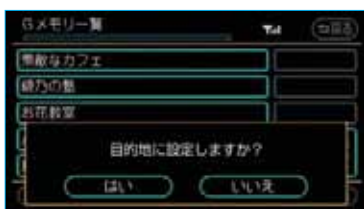
- 1 Gで設定画面で、**Gメモリ** にタッチします。



- 2 Gメモリー一覧画面で、目的地に設定したいGメモリにタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



- 4 目的地が設定され、ルート探索を開始します。

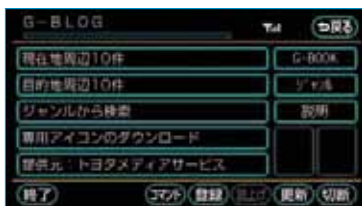
G-BLOGを利用する

GAZOO.comのユーザーが紹介するスポット情報や口コミ情報を検索し、目的地に設定できます。

- 1 Gで設定画面で、**G-BLOG** にタッチします。



- 2 目的に合わせて検索します。



- 3 画面の指示にしたがって操作してください。

Gメモリを一括ダウンロードする

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを一度車載機に一括ダウンロードすると、次からはG-BOOKセンターに接続しなくてもナビのメモリ地点（Gメモリ地点）として常にご利用することができます。

- 1 Gで設定画面で、**Gメモリー一括ダウンロード**にタッチします。



- 2 ダウンロード完了の画面が表示されたら、Gメモリ地点として利用できます。

X 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、以下の表にもとづき、まず確認してください。処置をしても解消されないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

メッセージ	原因	処置
通信ロック中 です ロックを解除 してからお使 い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を 忘れた場合は、各種設定画面で暗証 番号の 「忘れた場合」 にタッチして確 認してください。
回線が混み合 っている等により 表示できません しばらく待っ てから操作して下 さい	<ul style="list-style-type: none">・ サービスエリア圏外にいる。・ 認証に失敗した。・ 通信環境が悪い。・ 通信機器の接続状態に異常がある。	<ol style="list-style-type: none">①携帯電話について、次の点を確認してください。<ul style="list-style-type: none">・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。・ 携帯電話単体で正常動作するか。・ 携帯電話の異常でないか。 (携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障)②携帯電話とBluetooth接続ができていないか確認してください。③他の携帯電話に変えて、試してみてください。
時刻データが古 いため使用でき ません GPSを受信して 下さい	GPSが受信できていない。	GPSが受信できる場所に移動してください。
電話機をご確認 下さい	<ul style="list-style-type: none">・ 携帯電話がBluetooth接続されていない。・ 携帯電話に異常がある。 (携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障)・ 携帯電話が動作確認済みの機種でない。	次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">・ 携帯電話とBluetooth接続されているか。・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。・ 携帯電話の充電は十分であるか。

メッセージ	原因	処置
回線が混雑しています しばらく待って お使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通信圏外です 通信圏内に移動 してお使い下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により 情報を取得できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスエリア圏外にいる。 ・ 認証に失敗した。 ・ 通信環境が悪い。 ・ 通信機器の接続状態に異常がある。 ・ 通信設定に誤りがある。 	<p>①しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。</p> <p>②携帯電話の利用方式について、次の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パケット／回線交換の設定が正しいか。(携帯電話側の設定も確認する。) ・ パケットの場合、通信事業者の設定が正しいか。
低温のため使用 できません しばらくしてから お使い下さい	低温（-20℃以下）であるため。	しばらくしてから再度操作してください。

50音索引

あ

アミューズメント	550
暗証番号設定	529
暗証番号を忘れたとき	530
アンテナ	
ナビゲーション用アンテナ	32
ラジオ用アンテナ	32
案内道路情報（ルート情報）	96
案内表示設定	140

い

ETCシステム	405
ETCメニュー画面	407
登録情報の表示	408
履歴表示	408
割り込み表示	407
ETCの設定	408
ICの解除	119
ICの指定	118

う

迂回メモリ地点の修正	133
迂回メモリ地点の消去	133
迂回メモリ地点の登録	132
歌い放題コース	568
歌い放題パック	571
歌本	571

え

エアコン	271
エアコン操作スイッチ	272
基本的な使い方	274
いろいろな使い方	275
手入れのしかた	280

AMスイッチ	9
ASLの設定	183
英字・数字入力	16
FMスイッチ	9
FM多重放送	338
MD	200
同じグループを繰り返し聞く	204
曲を選ぶ	203
曲を探す	205
繰り返し聞く	204
グループリストの表示	205
グループを選ぶ	202
グループを探す	205
再生する	202
使用できるディスク	176
全グループの中からランダムに聞く	204
ディスクの出し入れ	200
トラックリストの表示	206
早送り、早戻し	203
ランダムに聞く	204
MP3（CDプレーヤー）	194
MP3について	178
同じフォルダを繰り返し聞く	196
楽曲情報の表示	199
繰り返し聞く	196
再生する	194
全フォルダの中からランダムに聞く	197
ディスクの出し入れ	189
早送り、早戻し	196
ファイルリストの表示	198
ファイルを選ぶ	195
フォルダの中からファイルを探す	197
フォルダの中からランダムに聞く	196
フォルダリストの表示	198
フォルダを選ぶ	195
フォルダを探す	197

MP3 (DVDチェンジャー)	215	AUTOLIVE BGM	591
MP3について	178	準備をする	596
同じフォルダを繰り返し聞く	217	チャンネルを選択する	598
楽曲情報の表示	220	チャンネルを追加する	601
繰り返し聞く	217	データを削除する	605
再生する	215	オペレーターサービス	547
全フォルダの中からランダムに聞く	218	購入	547
ディスクの出し入れ	208	情報確認	549
早送り、早戻し	217	専用電話番号	549
ファイルリストの表示	219	音質調整	183
ファイルを選ぶ	216	音声案内について	47
フォルダの中からファイルを探す	218	音声設定	75
フォルダの中からランダムに聞く	217	音声操作システム	282
フォルダリストの表示	219	拡張モード	296
フォルダを選ぶ	216	標準モード	286
フォルダを探す	218	音声認識コマンド一覧	309
		音声認識中止機能	425
		音声認識の対象設定	453
		音声認識発信	434
		音量設定 (ナビゲーション)	75
		音量設定 (ハンズフリー)	445
		音量調整 (オーディオ)	182
		オンルートスクロール	108
お			
応答音のON・OFF	27		
応答保留	437		
お車を手放すとき	492		
オーディオ&ビジュアル	168		
MDプレーヤー	200		
サウンドライブラリ	242		
CDプレーヤー	189		
DVDチェンジャー	208		
VTR	268		
ラジオ	185		
オーディオ操作画面	181		
オーディオ操作スイッチ	9		
オーディオ電源	182		
AUTOLIVE	568		
AUTOLIVE カラオケ	572		
準備をする	577		
選曲をする	579		
データを削除する	589		
予約をする	586		

か

各種設定	138、528
拡張モード	296
画質調整	28
カタカナ入力	16
かな・漢字入力	14
カメラ	378、398
画面・消スイッチ	9
画面モード切り替え	30
画面を消す	29
カレンダー機能	346
簡易画面	441
漢字入力（文字入力）	17

き

聴き放題コース	568
聴き放題パック	571
季節規制区間の迂回ルートの検索	122
季節規制区間の表示	66
距離の補正	135
緊急情報	165、338
緊急通報	503
局名スイッチ	188

<

区間所要時間予測	611
グループ名称の削除	458
グループ名称の登録	457

け

携帯電話の接続	422
携帯電話の登録	420
携帯電話の利用方式を設定する	534
県境案内表示	68
現在地スイッチ	9
現在地の修正	134
現在地の表示	50

こ

交差点案内	100
交差点拡大図表示	101
ターンリスト図表示	103
レーンリスト図表示	100
交差点拡大図表示	101
交差点拡大図表示の解除	101
高速道路表示	69
高速分岐案内	72
高速路線マップ	71
ハイウェイモード	69
高速分岐案内	72
高速分岐案内画面の解除	73
高速路線マップ表示	71
高速路線マップ表示の解除	71
交通事故多発区間警告	65
交通情報スイッチ	188
交通情報放送	188
購入済曲	583
購入済チャンネル	600
故障とお考えになる前に	150
個人情報の消去	31
5ルートの詳細表示	97
5ルート表示	97
コンテンツのコピー	553
コンテンツの削除	555
コンテンツの読み上げ	518
こんなメッセージが表示されたときは	148

さ

サウンド調整	183
音質の調整	183
音量バランスの調整	183
サウンドライブラリ	242
概要	242
構成	242
操作の流れ	246
データベースについて	244
サウンドライブラリの再生、録音	
同じプレイリストを繰り返し聞く	253
曲情報の表示	255
曲を選ぶ	252
繰り返し聞く	253
再生する	251
トラックリストの表示	255
早送り、早戻し	253
プレイモードの中から	
プレイリストを探す	254
プレイモードの中からランダムに聞く	253
プレイリストの中から曲を探す	254
プレイリストの中からランダムに聞く	253
プレイリストの表示	254
プレイリストを選ぶ	251
録音する	247
サウンドライブラリの編集	
曲情報の編集	262
曲の再生順番を変更する	265
曲の消去	266
曲の追加	260
タイトル情報の再取得	267
プレイリストの	
再生順番を変更する	259
プレイリストの作成	257
プレイリストの消去	259
プレイリストの名称編集	258
作動条件	7
サポートアドレス	490
残距離表示	110

し

SEEKスイッチ	9
G-SOUNDカタログ	558
G-SOUNDコンテンツ	559
コンテンツ削除	565
コンテンツの検索	561
コンテンツの試聴	562
G-SOUNDライセンス	559
ライセンス確認	565
ライセンス購入手続き	563
G情報マーク表示	618
G情報マーク連動サービス	620
G情報マーク連動サービスの設定	620
CD (CDプレーヤー)	189
曲を選ぶ	191
曲を探す	192
繰り返し聞く	191
再生する	190
使用できるディスク	174
ディスクの出し入れ	189
トラックリストの表示	192
早送り、早戻し	191
ランダムに聞く	192
CD (DVDチェンジャー)	211
同じディスクを繰り返し聞く	213
曲を選ぶ	212
曲を探す	213
繰り返し聞く	212
再生する	211
CDを探す	214
使用できるディスク	174
全音楽CDの中からランダムに聞く	213
ディスクの出し入れ	208
トラックリストの表示	214
早送り、早戻し	212
ランダムに聞く	213
CDタイトル情報取得	567
Gで設定	621
G-テーマ	564
GPS	143

GPS時計	351	施設の表示	61
GPSボイスナビゲーション	34	施設の情報の検索	347
地図の操作	48	自宅の登録	130
地点の登録	124	自宅の解除	131
目的地案内	90	視点の調整（リアル市街図）	57
G-BOOK ALPHA	476	自動音量切り替え	75
利用開始操作	485	自動再探索	112
G-BOOKオンラインサービス	470	自動着信応答	447
アミューズメント	550	自動表示切替設定	139
AUTOLIVE	568	自動保守点検	507
オペレーターサービス	547	車載機のBluetooth設定変更	466
各種手続きをする	482	車速設定（平均車速の設定）	104
受信レベル表示	481	車両情報画面	336
各種設定画面の表示	528	車両情報の設定	106
ナビ連携機能	607	ジャンルで地図を呼び出す	85
ヘルプネット（ワンタッチタイプ）	494	周辺施設走行中呼出ジャンルの変更	63
Myリクエスト	538	住所で地図を呼び出す	83
メインメニュー	516	渋滞・規制音声案内	157
G-BOOKサポートセンター	485、487、492	渋滞考慮探索	160
G-BOOK設定の初期化	533	渋滞増減予測表示	610
G-BOOK.com	516	渋滞予測	608
G-BOOKの設定	528	渋滞予測時間変更	609
G-BLOG	622	渋滞予測情報表示	608
Gメモリ	622	縦列ガイドモード	364
Gメモリー一括ダウンロード	623	縦列駐車のみかた	364
Gメモリ地点	614	縦列ガイドモード	364
G-ライブラリコピー	551	駐車ガイド線表示モード	373
G-ライブラリディスク	551	手動保守点検	507
Gルート探索（プローブ情報付）	612	受話音量	445
Gルート探索情報自動取得の設定	613	情報画面	334
市街図表示	59	情報・Gスイッチ	9
市街図表示の解除	59	情報付き施設の検索	347
自転車位置マーク	45	知りたインフォ機能	305
システム初期化中画面	381	進路表示モード	358
シーズンレジャーランドマークの表示	68		
施設情報表示	617		
施設で地図を呼び出す	82		
施設内容の表示	60		
施設表示の消去	62		

す

スイッチ表示	50
スイッチ表示設定	51
数字・記号入力	16
スケール表示	146
ステアリングオーディオスイッチ	269
ステアリングスイッチ	9
3D交差点拡大図表示	102
3D表示	56
角度の調整	56
地図の回転	58
ルート方向アップ表示	58
3D表示の解除	56

せ

精度について	152
切断スイッチ	481
設備マーク表示	69
説明音声（操作説明音声）	75
説明機能	12
選曲メニュー画面	576
全ルート図表示	93

そ

走行軌跡の消去	67
走行軌跡の表示	66
操作ガイド	12
操作画面継続表示の設定	26
その他設定	142
ソフトウェアキーボード	14

た

タイムスタンプ	155
ダイヤル発信	426
ダウンロードコース	568
タッチスイッチ色の切り替え	26

タッチスイッチの表示	50
WMA（CDプレーヤー）	194
同じフォルダを繰り返し聞く	196
楽曲情報の表示	199
繰り返し聞く	196
再生する	194
全フォルダの中からランダムに聞く	197
WMAについて	178
ディスクの出し入れ	189
早送り、早戻し	196
ファイルリストの表示	198
ファイルを選ぶ	195
フォルダの中からファイルを探す	197
フォルダの中からランダムに聞く	196
フォルダリストの表示	198
フォルダを選ぶ	195
フォルダを探す	197
WMA（DVDチェンジャー）	215
同じフォルダを繰り返し聞く	217
楽曲情報の表示	220
繰り返し聞く	217
再生する	215
全フォルダの中からランダムに聞く	218
WMAについて	178
ディスクの出し入れ	208
早送り、早戻し	217
ファイルリストの表示	219
ファイルを選ぶ	216
フォルダの中からファイルを探す	218
フォルダの中からランダムに聞く	217
フォルダリストの表示	219
フォルダを選ぶ	216
フォルダを探す	218
単語の登録	21
探索条件の変更	114
ターンリスト図表示	103
ターンリスト図表示の解除	103

ち

近くの施設の検索	62
チケット	571
地図記号・表示	146
地図データの情報を見るには	144
地図データベースについて	145
地図向きの切り替え	53
地図について	144
地図の移動（ワンタッチスクロール）	51
地図の縮尺切り替え	52
地図の縮尺スケール表示	146
地図の操作	48
地図の表示	50
地図の表示色の切り替え	58
地図の文字サイズの変更	54
地図の呼び出し方法	76
施設	82
ジャンル	85
住所	83
電話番号	84
マップコード	87
名称	78
郵便番号	85
履歴	86
地図表示画面の設定	61
地点の登録	124
着信音音量	445
着信音拒否する	438
着信中の操作	437
着信割り込み表示	446
チャンネル	568
チャンネルガイド	571
チャンネルの選択をする	598
チャンネルリスト	601
チャンネルを追加する	601
駐車ガイド線表示モード	
縦列駐車	373
並列駐車	362
駐車場マップの解除	60
駐車場マップ表示	60
TUNEツマミ	9

つ

通過道路指定の解除	121
通過道路の指定	119
通過道路の修正	120
通過道路ワンタッチ登録	120
通信機器の設定	464
通信機器の選択	464
通信ロック	532
通話中の操作	439
通話転送	440

て

提携駐車場の検索	88
定型文入力	16
定型文の編集	18
DISCスイッチ	9
ディスクの出し入れ	
CDプレーヤー	189
DVDチェンジャー	208
MDプレーヤー	200
DVDビデオ・DVDオーディオ	
(DVDチェンジャー)	221
アングルの切り替え	228
一時停止する	224
音声の切り替え	227
再生する	223
再生中の操作について	237
字幕の切り替え	228
使用できるディスク	174
初期設定	229
スロー再生する	224
静止画の切り替え	224
DVDビデオ・DVDオーディオについて	238
停止する	224
ディスクの指定位置に戻る	229
トラックを繰り返し再生する	224
トラックをランダムに再生する	224
トラックを探す	225

と

早送り、早戻し	224	統一エラーコードの表示	408
見たい、聞きたい場所を選ぶ	225	到着予想時刻	611
メニュー画面の操作	226	到着予想時刻の表示	104
メニュー番号を選ぶ	227	道路形状警告	65
出入口ICの解除	119	トークスイッチ	285
出入口ICの指定	118	特別メモリ地点の解除	131
デモンストレーション (デモ)	98	特別メモリ地点の登録	130
TVスイッチ	9	時計スイッチ	9
電池残量表示	417	時計の調整	351
電話機詳細情報表示	465	都市高速道路表示	69
電話設定画面表示	442	都市高速マップの解除	74
電話	410	都市高速マップの表示	73
画面を表示する	430	ドライブプラン	544、616、621
電話スイッチ	424	TRACKスイッチ	9
電話を受ける	428		
電話をかける	426		
電話を切る	427		
電話を保留する	437		
電話帳 (ナビゲーション)	350		
電話帳 (ハンズフリー)	448		
データの転送	448		
電話帳の削除	455		
電話帳の修正	454		
電話帳のセキュリティ	461		
電話帳の追加	451		
表示切り替え	431		
電話帳の設定	448		
電話帳発信	430		
電話番号で地図を呼び出す	84		

な

ナビゲーション画面の調整	28
ナビゲーション画面の見方	45
ナビゲーション用アンテナ	32
ナビ設定一覧	138
ナビ設定の記憶	136
ナビ設定の消去	137
ナビ発信	435
ナビブラウザ画面	347
ナビ連携機能	607

に

2画面表示	55
右画面の操作	55
2画面表示の解除	55
入力履歴の削除	19

の

ノースアップ表示	53
----------	----

は

ハイウェイモード	69
ハイウェイモードの解除	70
バックガイドモニター	353
縦列駐車のみかた	364
並列駐車のみかた	358
バックガイドモニターの設定	382
パッケージ	551
発着信履歴制限	462
HDDオーディオ	242
HDDナビゲーションシステム	4
ハートフル音声	75
PWRスイッチ	9
ハンズフリー	410
音量設定	445
画面設定	446
受信レベル表示	417
ハンズフリーの準備	420
ハンズフリーの設定	442
販売店の修正	345
販売店の設定	344
販売店の消去	345

ひ

ビーコン	163
ビジュアルシティマップ表示	64
VICS	154
VICS記号	166
VICS情報の表示	154
VICS情報表示の消去	155
VICS図形情報	157
VICS文字情報	157
放送局の選択	161

ビデオCD (DVDチェンジャー)	233
一時停止する	235
音声モードの切り替え	236
再生中の操作について	237
使用できるディスク	174
スロー再生する	235
再生する	234
早送り、早戻し	235
見たい場所を選ぶ	235
メニュー画面の表示	236
メニュー番号を選ぶ	236
標準モード	286
昼画表示	29
ヒント機能	13
ピンポイント検索	88

ふ

FILEツマミ	9
VTR	268
フェリー航路の案内	107
ブックマーク	
(G-BOOKオンラインサービス)	524
ブックマークの削除	525
ブックマークの登録	524
ブックマークの編集	525
ブックマーク (情報付き施設)	
削除する	349
登録したコンテンツを見る	348
登録する	348
タイトルを変更する	348
ブラウザ	518
閲覧履歴	523
閲覧履歴削除	523
閲覧履歴表示	523
Bluetooth接続確認表示	422
Bluetooth接続状態表示	418
Bluetooth携帯電話	412
Bluetoothの設定	464

フロント&サイドモニター	385
サイドモニター	392
自動表示モード	387
フロントモニター	388
フロント&サイドモニタースイッチ	386
フロント&サイドモニターの設定	402
フロントワイド表示	54

へ

平均車速の設定	104
並列駐車のみ	358
進路表示モード	358
駐車ガイド線表示モード	362
ヘディングアップ表示	53
ヘルプ機能を使う	287
ヘルプネット (ワンタッチタイプ)	494
サービス開始操作	501
自動保守点検	507
手動保守点検	508
利用登録の解除	511

ほ

方位マーク	45
補正が必要なとき	134
ポップアップ機能	491
VOLツマミ	9

ま

マイク	285、415、497
Myリクエスト	538
画面の操作	538
ドライブプラン	544
Myリクエストの登録	546
Myリクエストを使う	539
マップコード	87
マップコードで地図を呼び出す	87
マップマッチング	38

み

右画面の操作 (2画面表示時)	55
-----------------	----

め

名称で地図を呼び出す	78
英数字、記号入力	79
カタカナ入力	79
ひらがな入力	78
ひらがな・漢字入力	79
名称入力	127
英数字入力	128
カタカナ入力	128
数記号入力	128
ひらがな・漢字入力	127
メインメニュー	516
メニュー画面	48
メニュースイッチ	9
メモリ地点の修正	125
位置修正	129
自宅、特別メモリ地点に登録	130
自宅、特別メモリ地点の解除	131
電話番号入力	130
マークの変更	126
名称入力	127
名称表示のON・OFF	129
名称読み入力	129
メモリ地点の消去	131
メモリ地点の登録	124
メモリ地点ワンタッチ登録	125
メンテナンス機能	341
メンテナンスメニュー画面	341
メンテナンス案内	343
メンテナンス案内の設定	343
メンテナンス時期の設定	341
メンテナンス設定の更新	344
メンテナンス設定の消去	343

も

目的地案内	90
目的地案内の開始	98
目的地案内の中止	98
目的地設定スイッチ	9
目的地の設定	91
目的地の追加	114
目的地の消去	117
目的地の並び替え	116
目的地方向マーク	46
目的地履歴の消去	123
目的地ワンタッチ登録	91

ゆ

ユーザー画面	488
郵便番号で地図を呼び出す	85
有料コンテンツ	491

よ

予測変換	20
呼び出した地図の操作	88
予約リスト	586
夜画表示	29

ら

ラジオ	185
局名スイッチ	188
交通情報を聞く	188
自動で放送局を記憶する	187
放送局を選ぶ	186
放送局を記憶する	187
ラジオを聞く	186
ラジオ用アンテナ	32

り

リアル市街図表示	57
リスト画面	23
立体ランドマーク表示	64
利用開始操作	485
料金案内	105
利用手続きをする	
G-BOOK	482
PC・携帯連携	486
履歴で地図を呼び出す	86
履歴入力	16
履歴の削除	460
履歴発信	432

る

ルート学習	92
ルート学習結果の消去	93
ルート系設定	142
ルート情報（案内道路情報）	96
ルート探索	92
ルートの再探索	112
自動再探索	112
ルートの変更	114
ルートの変更	114
季節規制区間の迂回ルートの探索	122
探索条件の変更	114
通過道路指定の解除	121
通過道路の指定	119
通過道路の修正	120
出入口ICの解除	119
出入口ICの指定	118
目的地の消去	117
目的地の追加	114
目的地の並び替え	116

れ

レーンリスト図表示	100
レーンリスト図表示の解除	100

ろ

ロックNo.	461
録音する (サウンドライブラリ)	247
LOADスイッチ	9

わ

割り込み情報 (ビーコン即時案内)	
の表示	158
ワンタッチスクロール	51
ワンタッチダイヤル	443
ワンタッチダイヤルの削除	444
ワンタッチダイヤルの設定	443
ワンタッチダイヤルの登録	443
ワンタッチ通過道路指定	120
ワンタッチ発信	433
ワンタッチメモリ地点登録	125
ワンタッチ目的地設定	91

アルファベット索引

A

AUTOLIVE	568
AUTOLIVE カラオケ	572
AUTOLIVE BGM	591
ASL	183
AMスイッチ	9

B

Bluetooth携帯電話	412
---------------	-----

C

CDプレーヤー	189
---------	-----

D

DISCスイッチ	9
DVDチェンジャー	208

E

ETCシステム	405
---------	-----

F

FILEツマミ	9
FMスイッチ	9

G

G-BLOG	622
G-BOOKオンラインサービス	470
G-BOOK ALPHA	476
G-BOOK.com	516
GPS	143
GPS時計	351
GPSボイスナビゲーション	34
G-SOUNDカタログ	558
G-SOUNDコンテンツ	559
G-SOUNDライセンス	559
G情報マーク連動サービス	620
G-テーマ	564

Gメモリ	622
Gメモリー一括ダウンロード	623
Gメモリ地点	614
G-ライブラリコピー	551
G-ライブラリディスク	551
Gルート探索（プローブ情報付）	612

L

LOADスイッチ	9
----------	---

M

MDプレーヤー	200
MP3	178
Myリクエスト	538

P

PWRスイッチ	9
---------	---

S

SEEKスイッチ	9
SOUND	183

T

TRACKスイッチ	9
TUNEツマミ	9
TVスイッチ	9

V

VICS	154
VOLツマミ	9
VTR	268

W

WMA	178
-----	-----



VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
(当センターが行う契約の解除)

第12条

1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされず。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSSサービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定によりVICSSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表 視聴料金】

視聴料金：315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2006年6月1日変更時のものを掲載しています。



MEMO





MEMO

ハリアー HDDナビゲーションシステム ア-67



お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目10の27
第二豊田ビル西館7階

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp>にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷 NA I-2010年 8月19日 ●発行 -2010年 8月26日 初版

M 48B87
01999-48B87